

令和7年度  
栄区区民意識調査  
結果報告書  
(詳細版)

令和8年2月

横浜市栄区役所





## 【目次】

調査の概要 .....	1
回答者の属性 .....	5
集計分析結果 .....	11
1 生活の満足度について .....	13
2 定住意向について .....	25
3 生活意識について .....	37
4 道路・交通について .....	72
5 健康・福祉について .....	87
6 子育てについて .....	114
7 防災について .....	127
8 地域のつながりについて .....	139
9 環境行動について .....	152
10 読書について .....	157
11 広報について .....	159
資料編 .....	163
資料1 地区ごとの主な回答結果 .....	165
資料2 調査票 .....	181



# 調査の概要



## ■ 調査目的

栄区民のみなさんが暮らしの中で感じる満足や不安、生活スタイル、地域のつながりなどの意識を把握し、今後の区政を進める基礎資料として活用する。

## ■ 調査概要

### 【調査対象】

栄区内に居住する 18 歳以上の市民 6,000 人

### 【抽出方法】

住民基本台帳からの無作為抽出

### 【調査方法】

郵送配布、郵送回収またはインターネット回答（横浜市電子申請・届出システム）

### 【調査期間】

令和 7 年 11 月 1 日～11 月 28 日

### 【回収数】

2,983 票（回収率 49.7%、うち有効回答票 2,982 票）

### 【集計結果の見方】

図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。

回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

項目をまとめてひとつのカテゴリーにする場合（例えば問 1 など）、各回答項目の回答者数の合計を基数として%を算出している。各回答項目は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、回答項目の%の合計と一致しない場合がある。

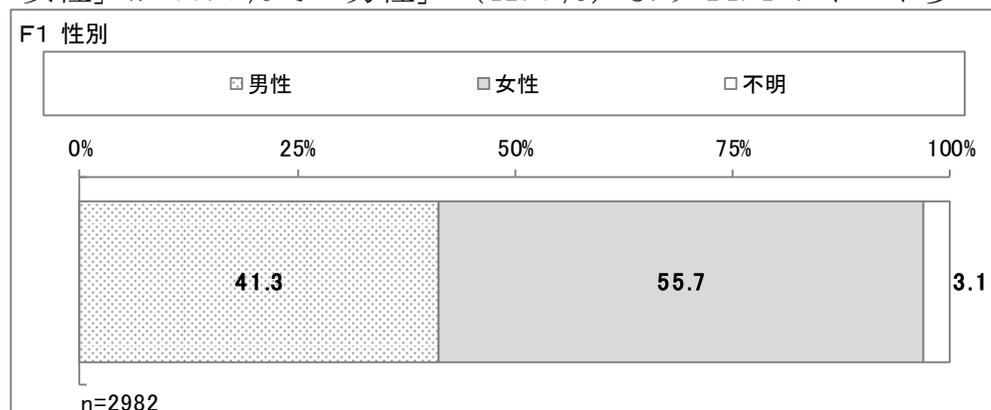


## 回答者の属性



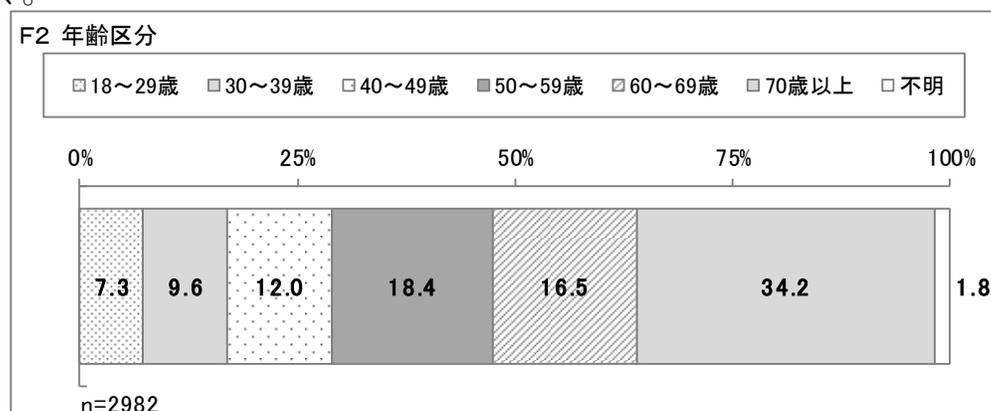
## ■ 性別

- ・「女性」が55.7%で「男性」（41.3%）より14.4ポイント多い。



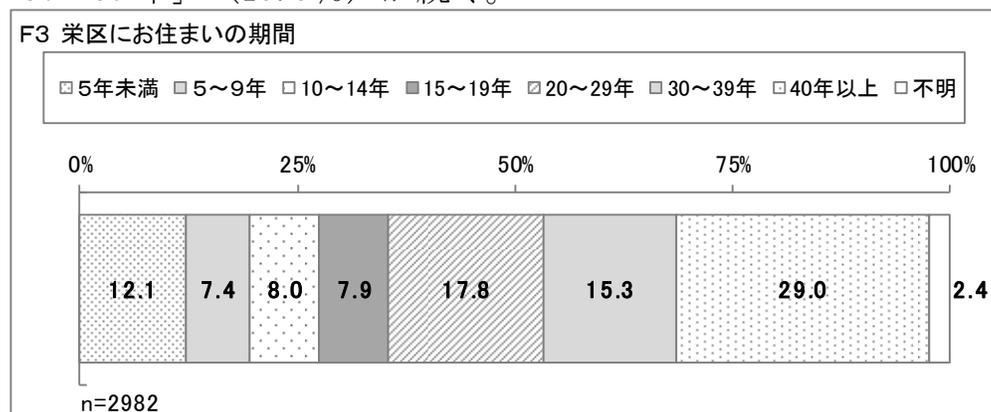
## ■ 年齢

- ・「70歳以上」（34.2%）が最も多く、「50～59歳」（18.4%）が続く。



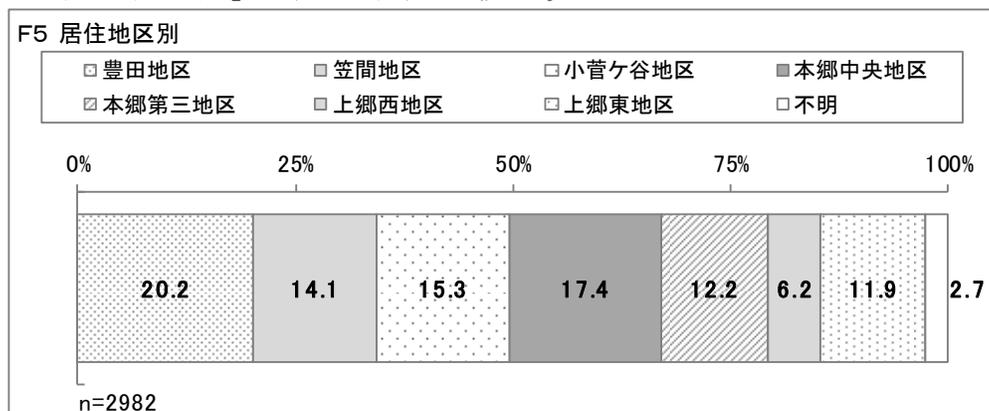
## ■ 居住期間

- ・「40年以上」（29.0%）が最も多く、「20～29年」（17.8%）、「30～39年」（15.3%）が続く。



## ■ 居住地区

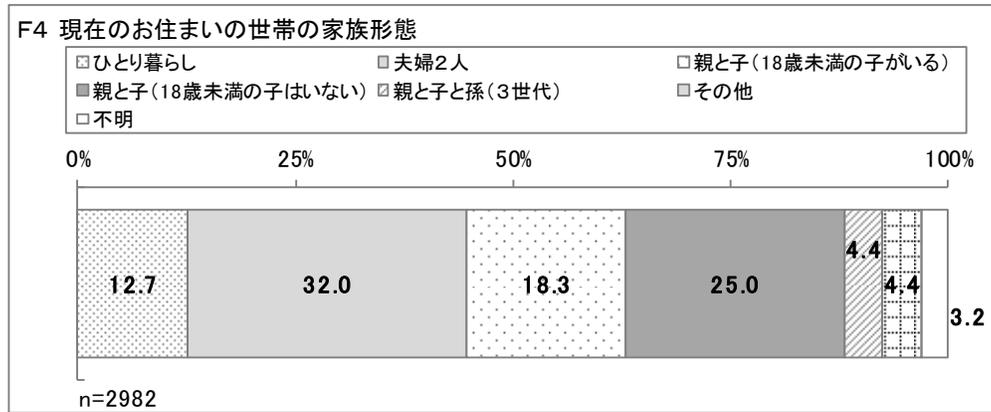
- ・「豊田地区」(20.2%)が最も多く、「本郷中央地区」(17.4%)、「小菅ヶ谷地区」(15.3%)が続く。



豊田地区： 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目  
 笠間地区： 笠間一丁目～五丁目  
 小菅ヶ谷地区： 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目  
 本郷中央地区： 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町  
 本郷第三地区： 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町  
 上郷西地区： 犬山町、尾月、上之町、亀井町  
 上郷東地区： 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町  
 ※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

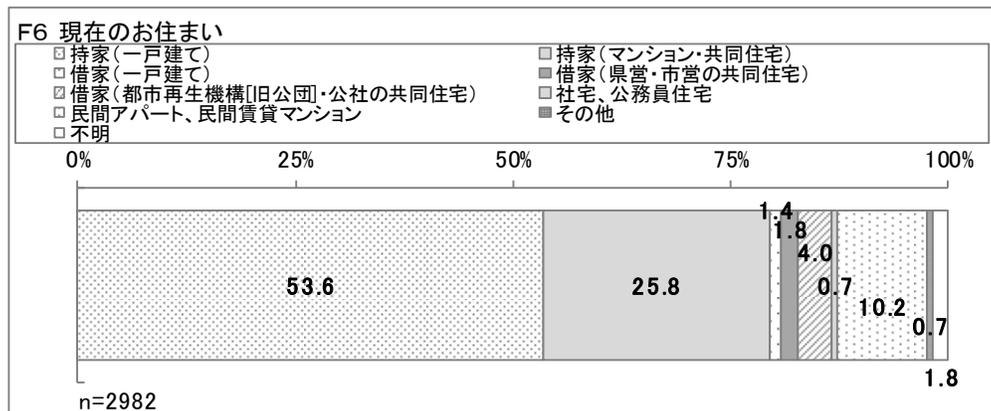
## ■ 家族形態

- ・「夫婦ふたり」（32.0%）が最も多く、続く「親と子（18歳未満の子はいない）」（25.0%）を7ポイント上回る。



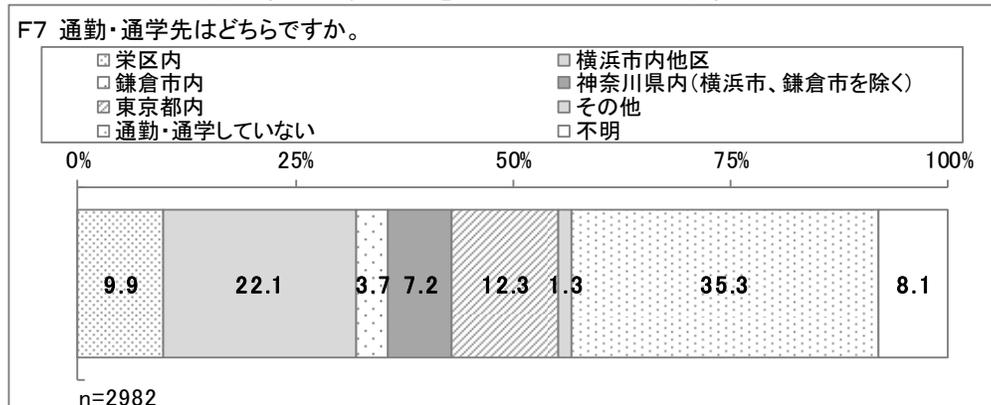
## ■ 住居形態

- ・「持家（一戸建て）」（53.6%）が最も多く、続く「持家（マンション・共同住宅）」（25.8%）と合わせると約8割が『持家』である。



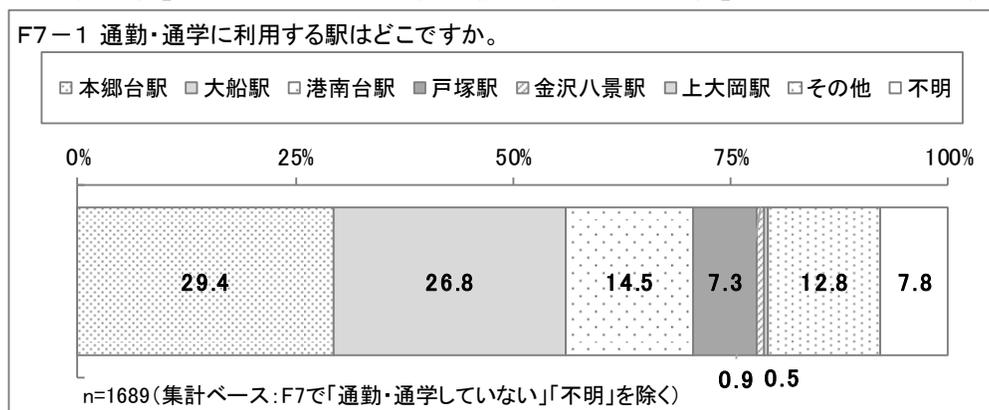
## ■ 主な通勤・通学先

- ・「通勤・通学していない」（35.3%）が最も多く、「横浜市内他区」（22.1%）が続く。「栄区内」は9.9%である。



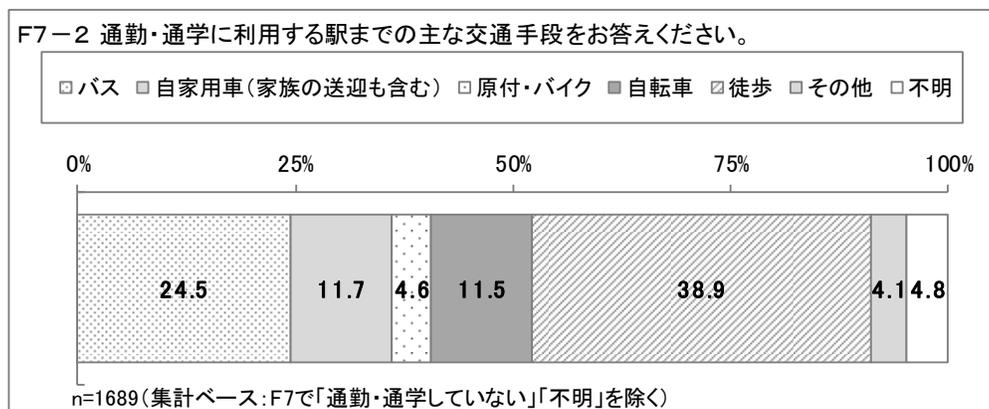
## ■ 通勤・通学に利用する駅

- ・「本郷台駅」(29.4%)が最も多く、「大船駅」(26.8%)が続く。



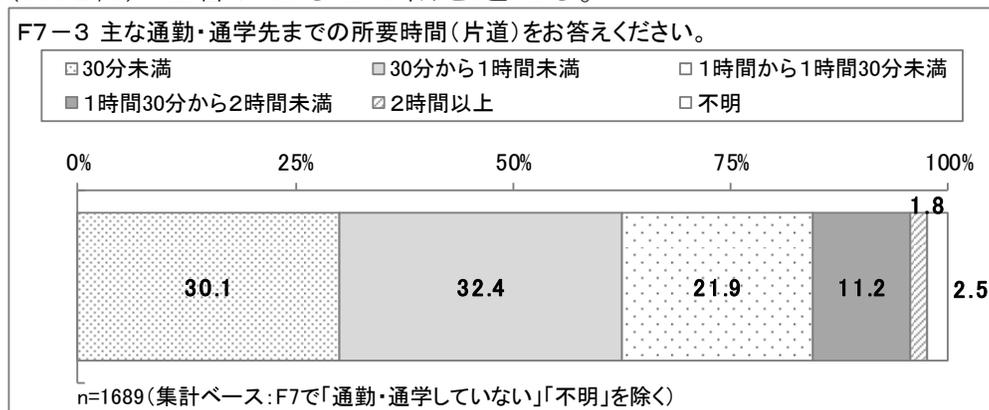
## ■ 駅までの交通手段

- ・「徒歩」(38.9%)が最も多く、「バス」(24.5%)、「自家用車(家族の送迎も含む)」(11.7%)、「自転車」(11.5%)が続く。



## ■ 通勤・通学の所要時間

- ・「30分から1時間未満」(32.4%)が最も多く、続く「30分未満」(30.1%)と合わせると6割を超える。



## 集計分析結果

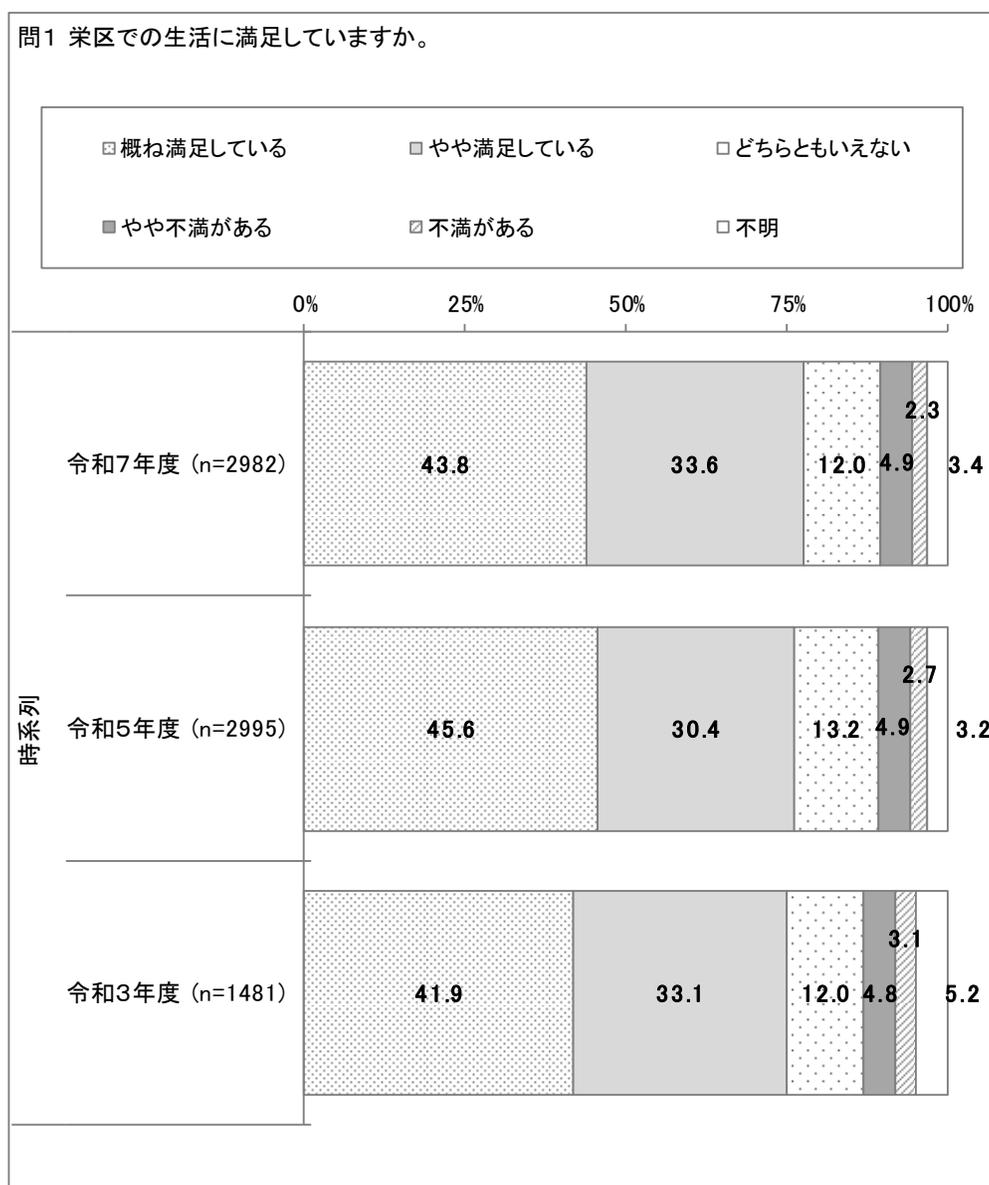


# 1 生活の満足度について

## (1) 栄区での生活満足度（問1）

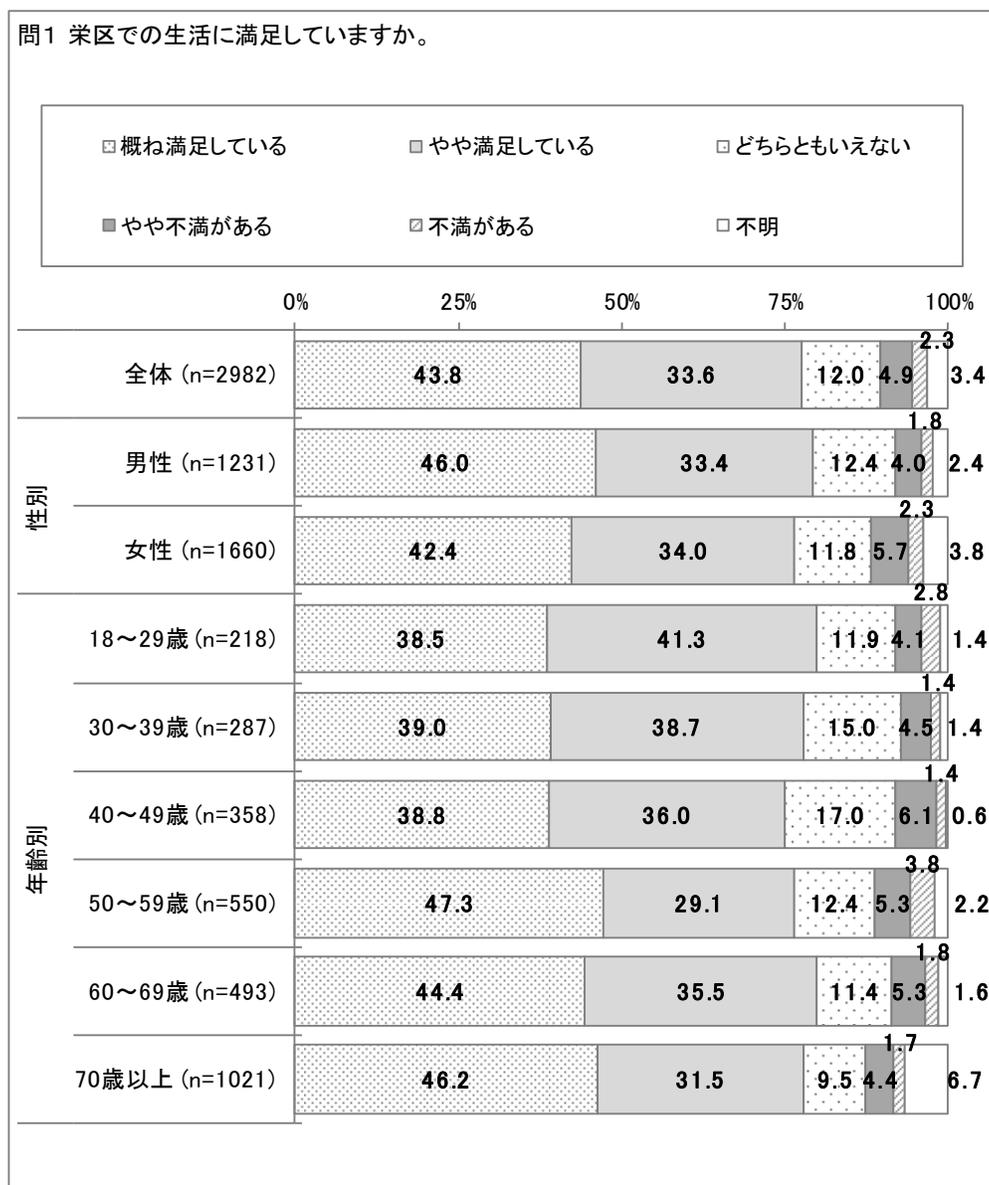
### ア 栄区での生活満足度：全体・時系列

- ・「概ね満足している」（43.8%）と「やや満足している」（33.6%）を合わせると（以下『満足』）77.4%が『満足』していると回答している。
- ・一方で「やや不満がある」、「不満がある」の合計（以下『不満』）の割合は7.2%である。
- ・時系列の変化をみると『満足』の割合に微増傾向が見られる。



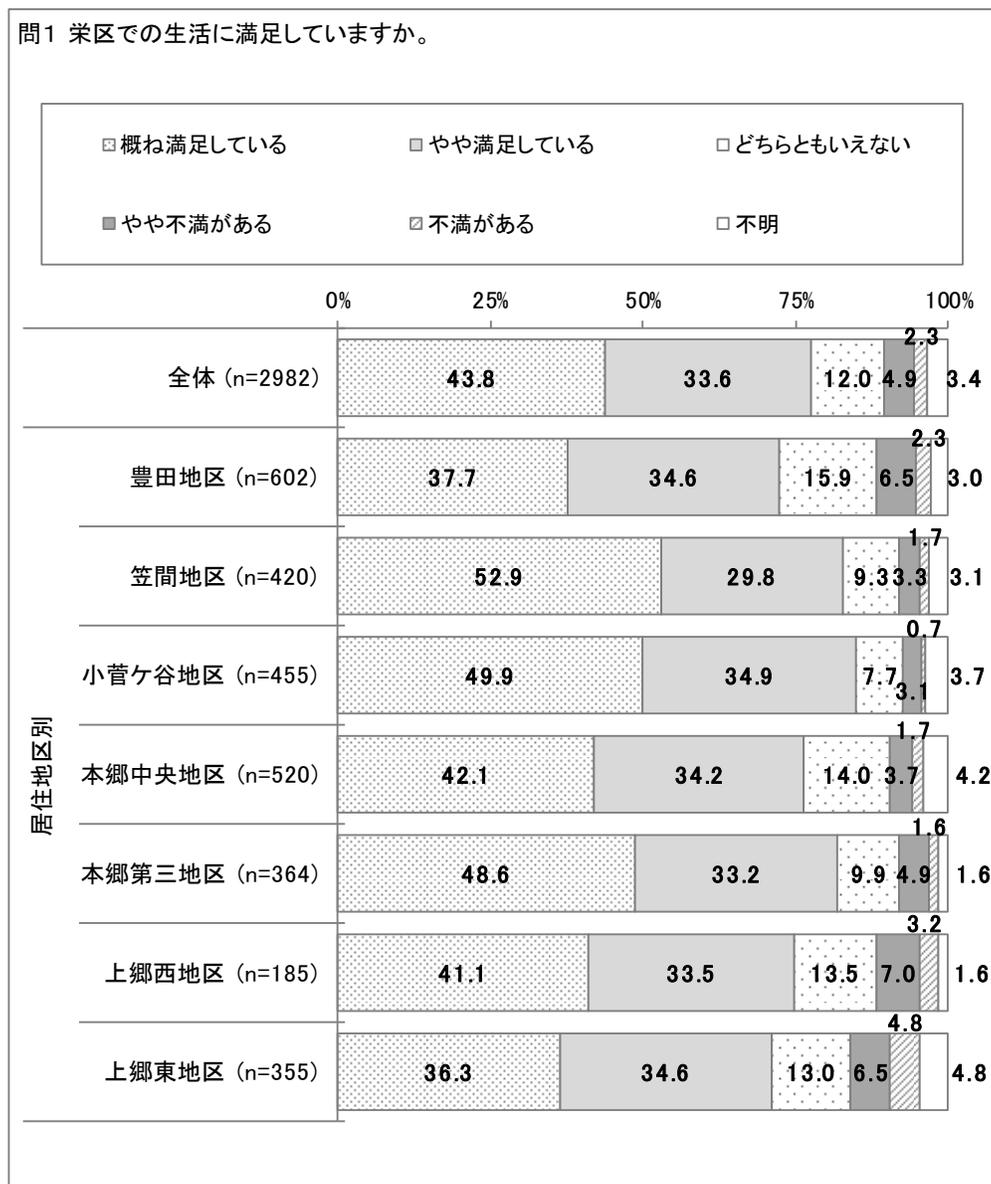
## イ 栄区での生活満足度：性別・年齢別

- ・性別では『満足』の割合は男性が79.4%、女性は76.4%と大きな差は見られない。
- ・年齢別ではどの年代も『満足』の割合には大きな差は見られないが、「概ね満足している」の割合は「50～59歳」（47.3%）が最も多い。
- ・一方、『不満』の割合は「50～59歳」（9.1%）が最も多い。



### ウ 栄区での生活満足度：居住地区別

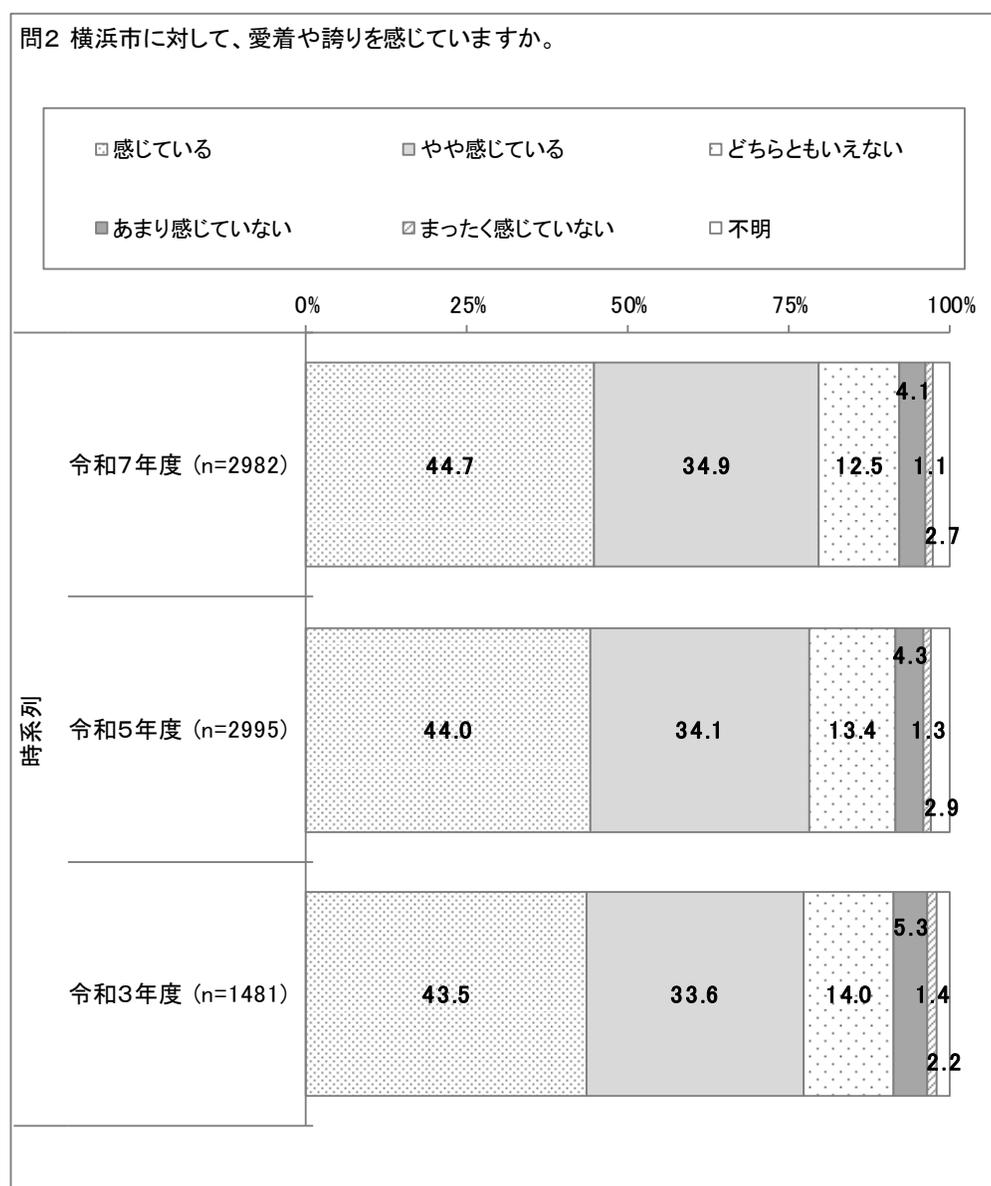
- ・『満足』が最も多いのは「小菅ヶ谷地区」（84.8%）で、「笠間地区」（82.7%）、「本郷第三地区」（81.8%）が続く。
- ・一方『不満』が最も多いのは「上郷東地区」（11.3%）で、「上郷西地区」（10.2%）が続く。



## (2) 横浜市への愛着や誇り（問2－1）

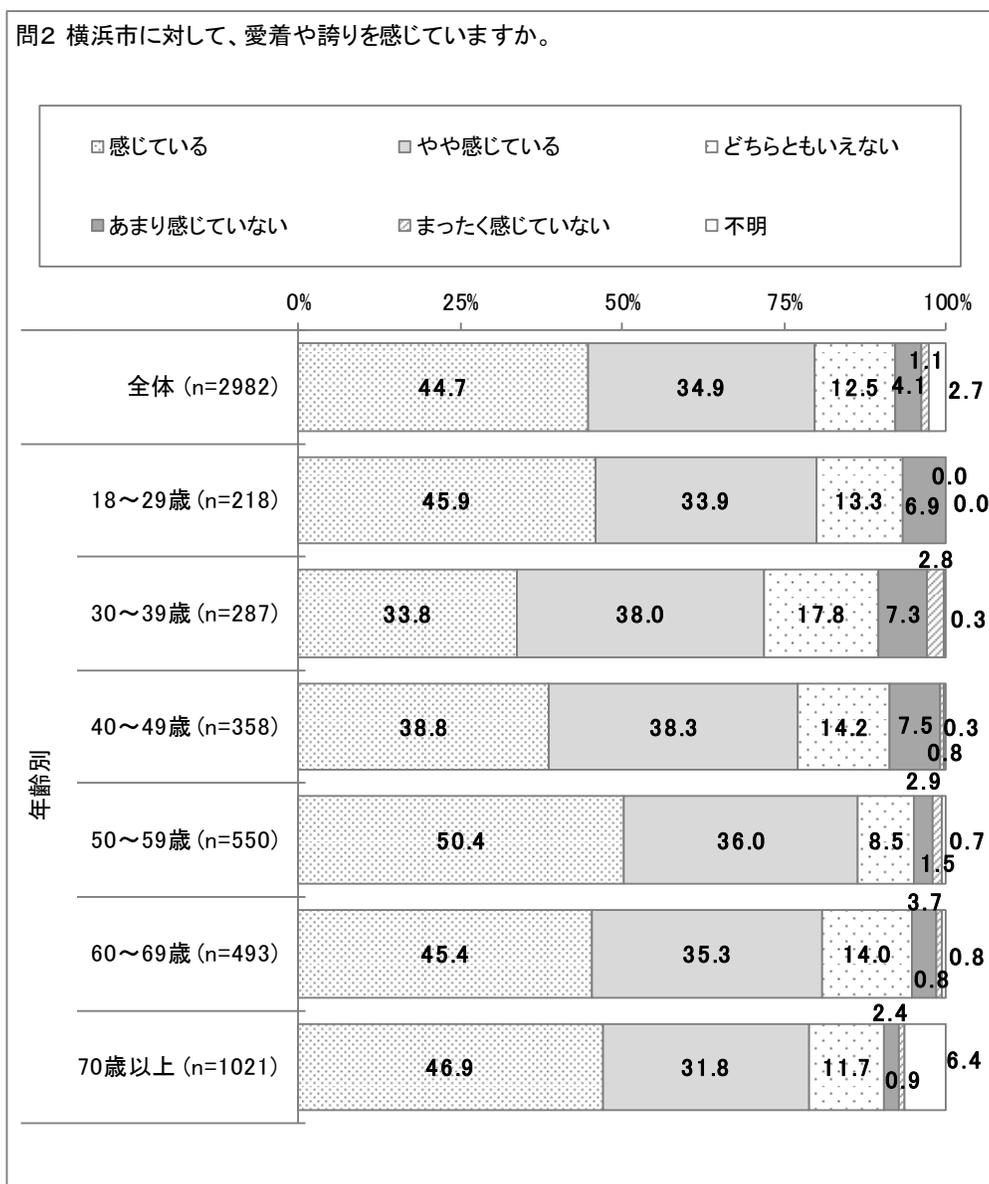
### ア 横浜市への愛着や誇り：全体・時系列

- ・「感じている」（44.7%）と「やや感じている」（34.9%）を合わせると（以下『感じている』）79.6%が『感じている』と回答している。
- ・一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計（以下『感じていない』）の割合は5.2%である。
- ・時系列の変化をみると『感じている』の割合は約8割で推移しており、全体の傾向に大きな変化は見られない。



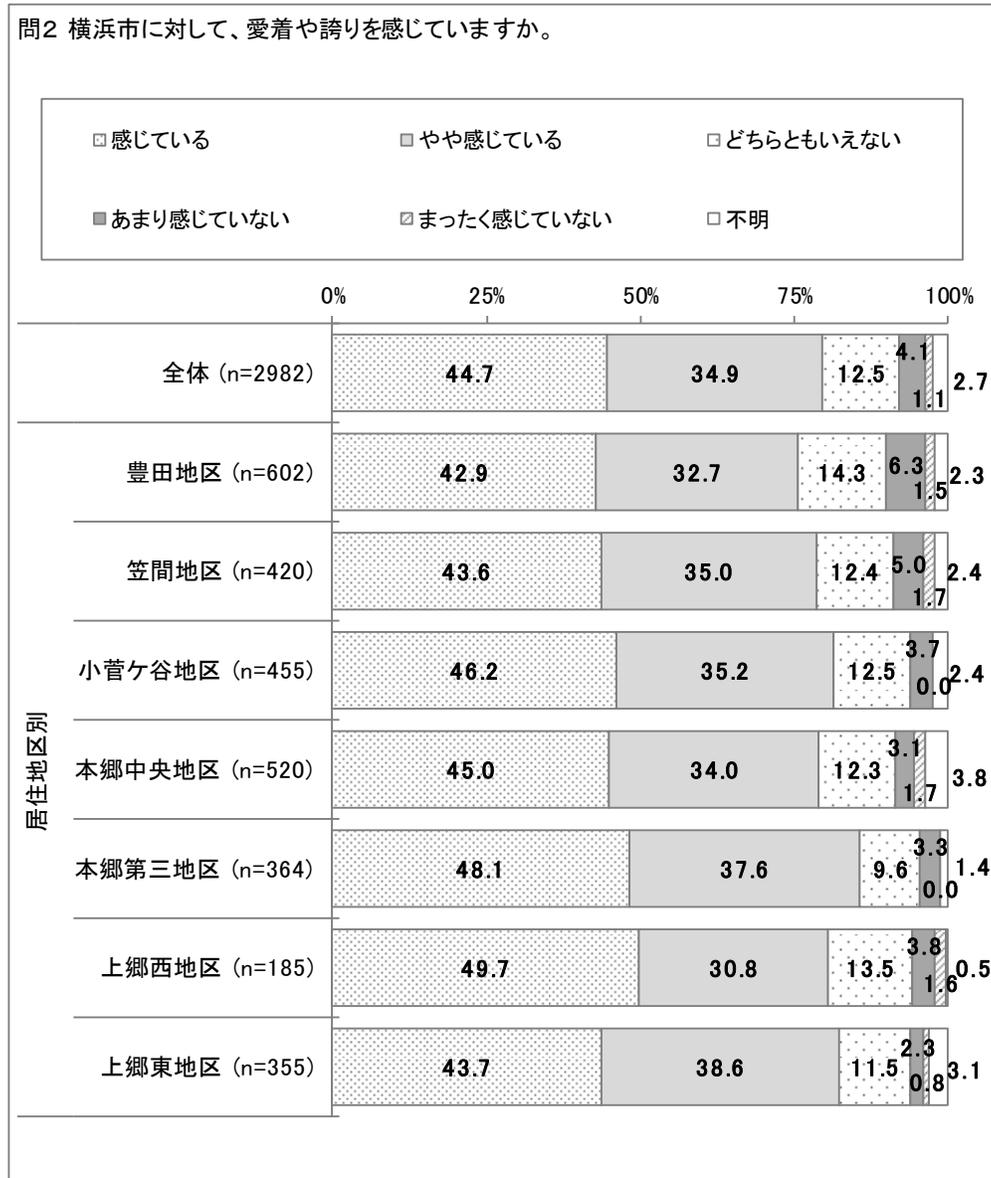
## イ 横浜市への愛着や誇り：年齢別

- ・年齢別では『感じている』との回答は「50～59歳」（86.4%）が最も多く、「60～69歳」（80.7%）が続く。
- ・「30～39歳」では『感じている』（71.8%）との回答が他の年齢と比べ少なくなっている。



## ウ 横浜市への愛着や誇り：居住地区別

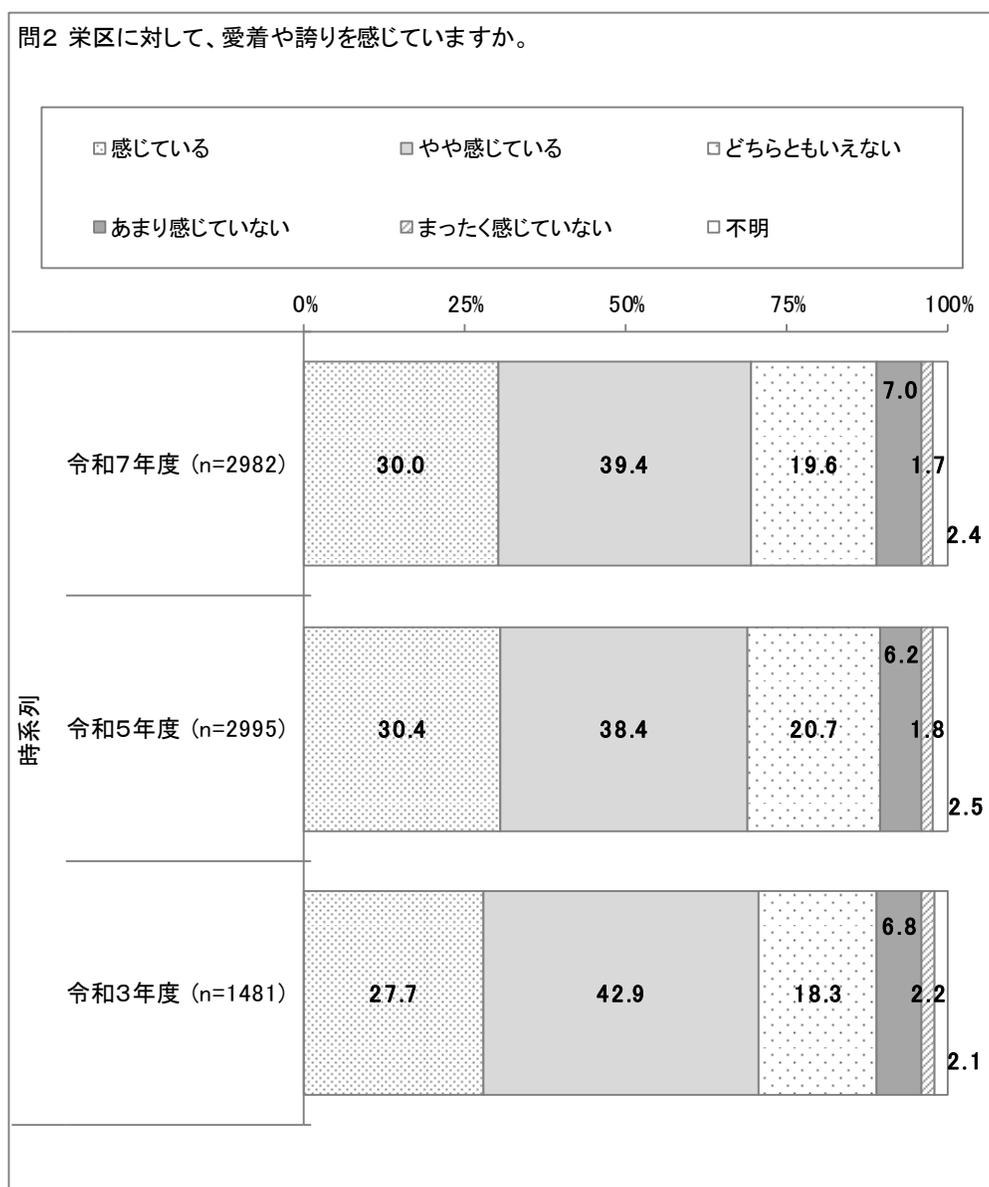
- ・居住地区別では、「本郷第三地区」で『感じている』が85.7%と最も多く、「上郷東地区」（82.3%）が続く。



### (3) 栄区への愛着や誇り（問2-2）

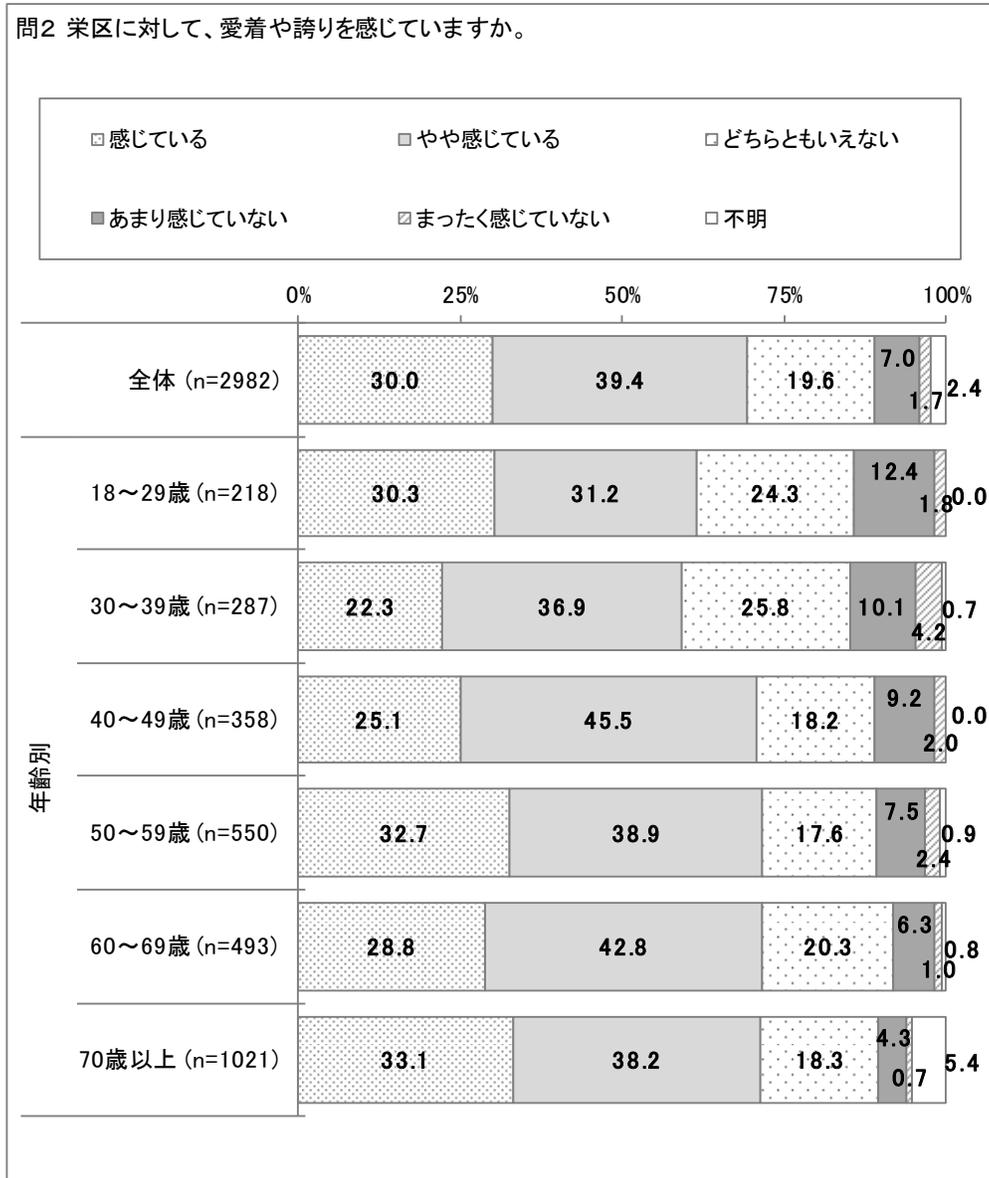
#### ア 栄区への愛着や誇り：全体・時系列

- ・「感じている」（30.0%）と「やや感じている」（39.4%）を合わせると（以下『感じている』）69.4%が『感じている』と回答している。
- ・一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計（以下『感じていない』）の割合は8.7%である。
- ・時系列の変化をみると『感じている』の割合は約7割で大きな変化は見られない。



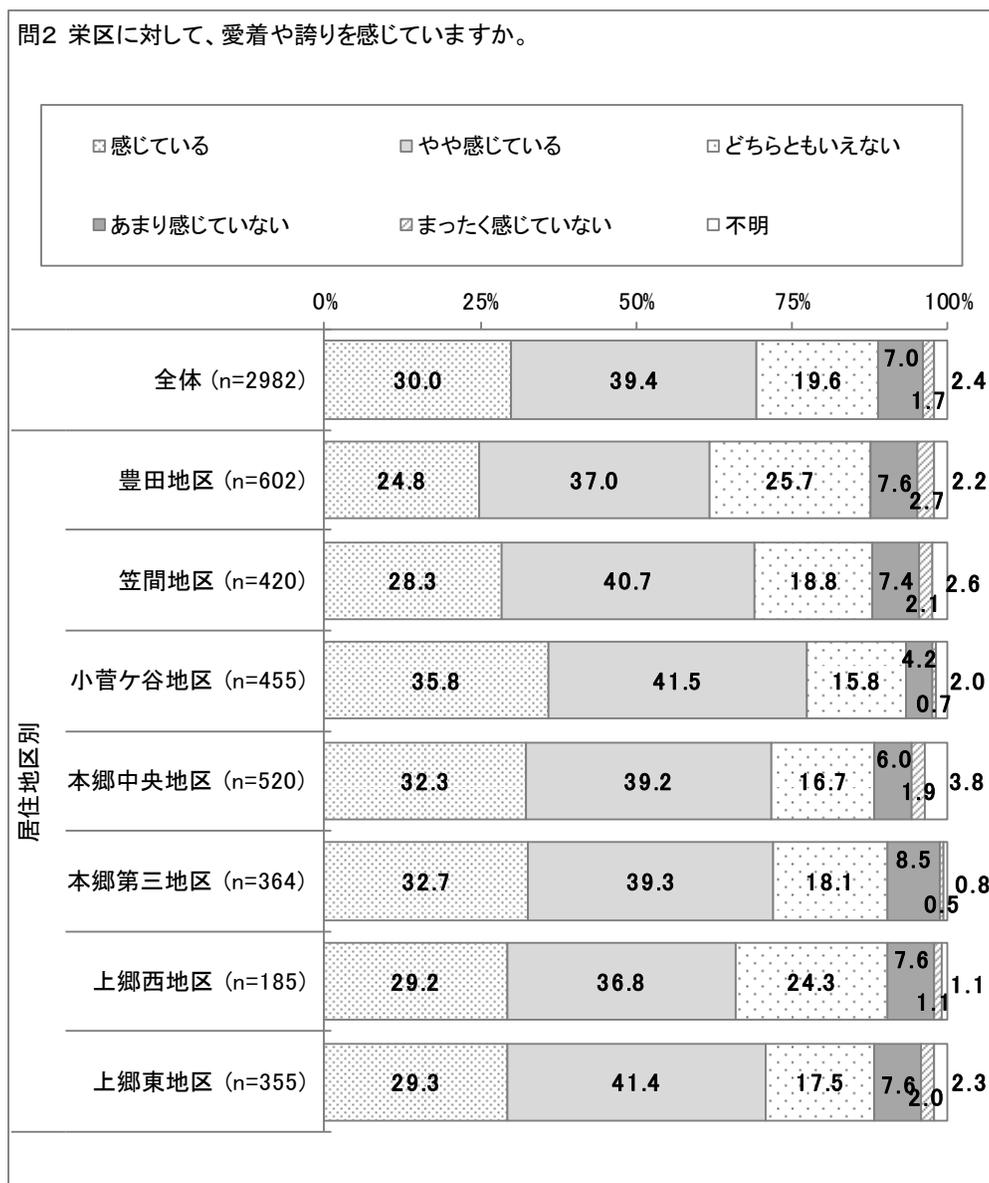
## イ 栄区への愛着や誇り：年齢別

- ・年齢別では、『感じている』の割合が「40～49歳」以上の年代では7割を超えているが、「18～29歳」では61.5%、「30～39歳」では59.2%と全体より10ポイント以上下回っている。
- ・一方で『感じていない』は「18～29歳」（14.2%）、「30～39歳」（14.3%）と若い世代で全体を5ポイント以上上回っている。



## ウ 栄区への愛着や誇り：居住地区別

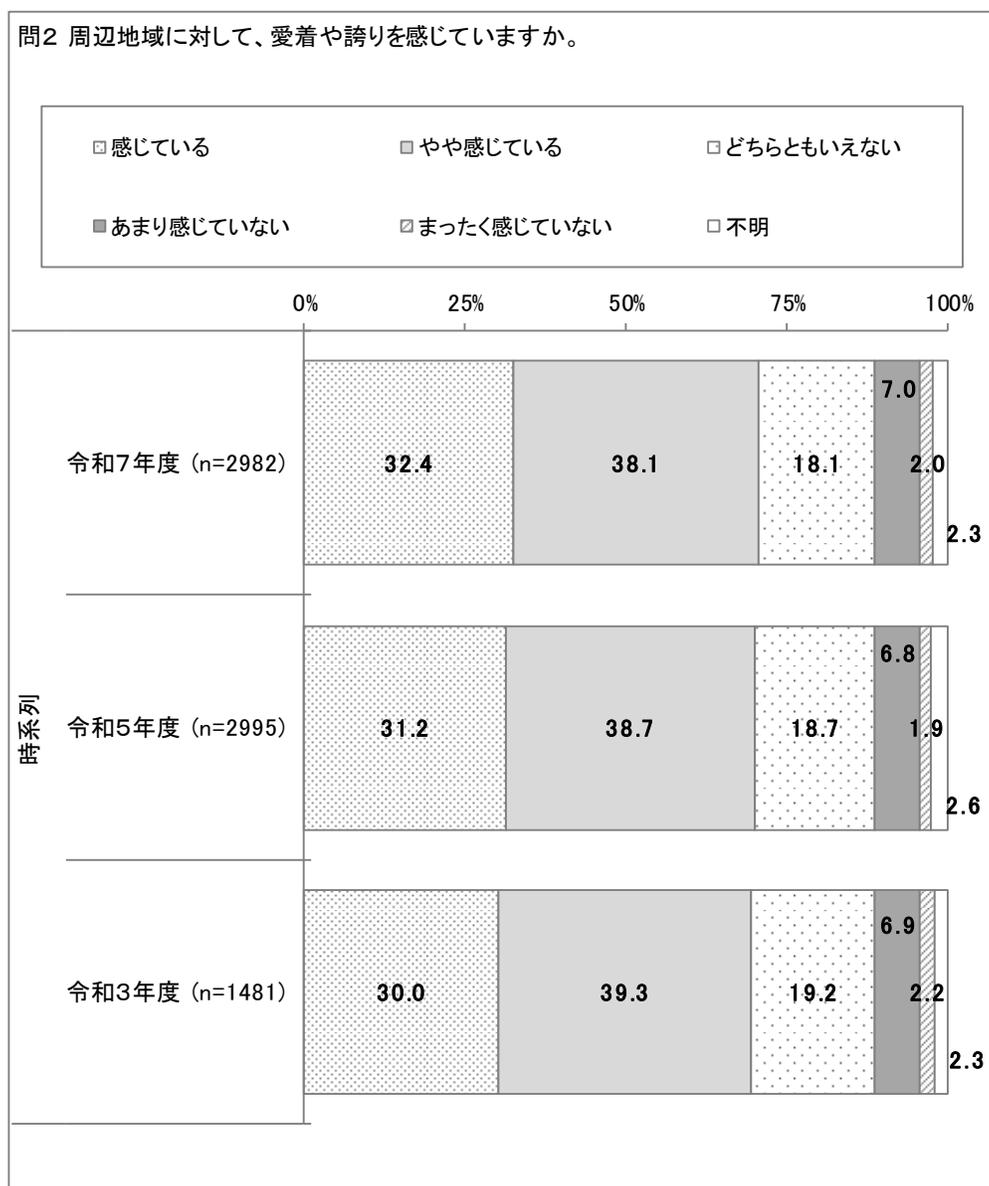
- ・居住地区別では、『感じている』が最も多いのは「小菅ヶ谷地区」(77.3%)で、「本郷第三地区」(72.0%)、「本郷中央地区」(71.5%)の順に続く。



#### (4) 周辺地域への愛着や誇り（問2－3）

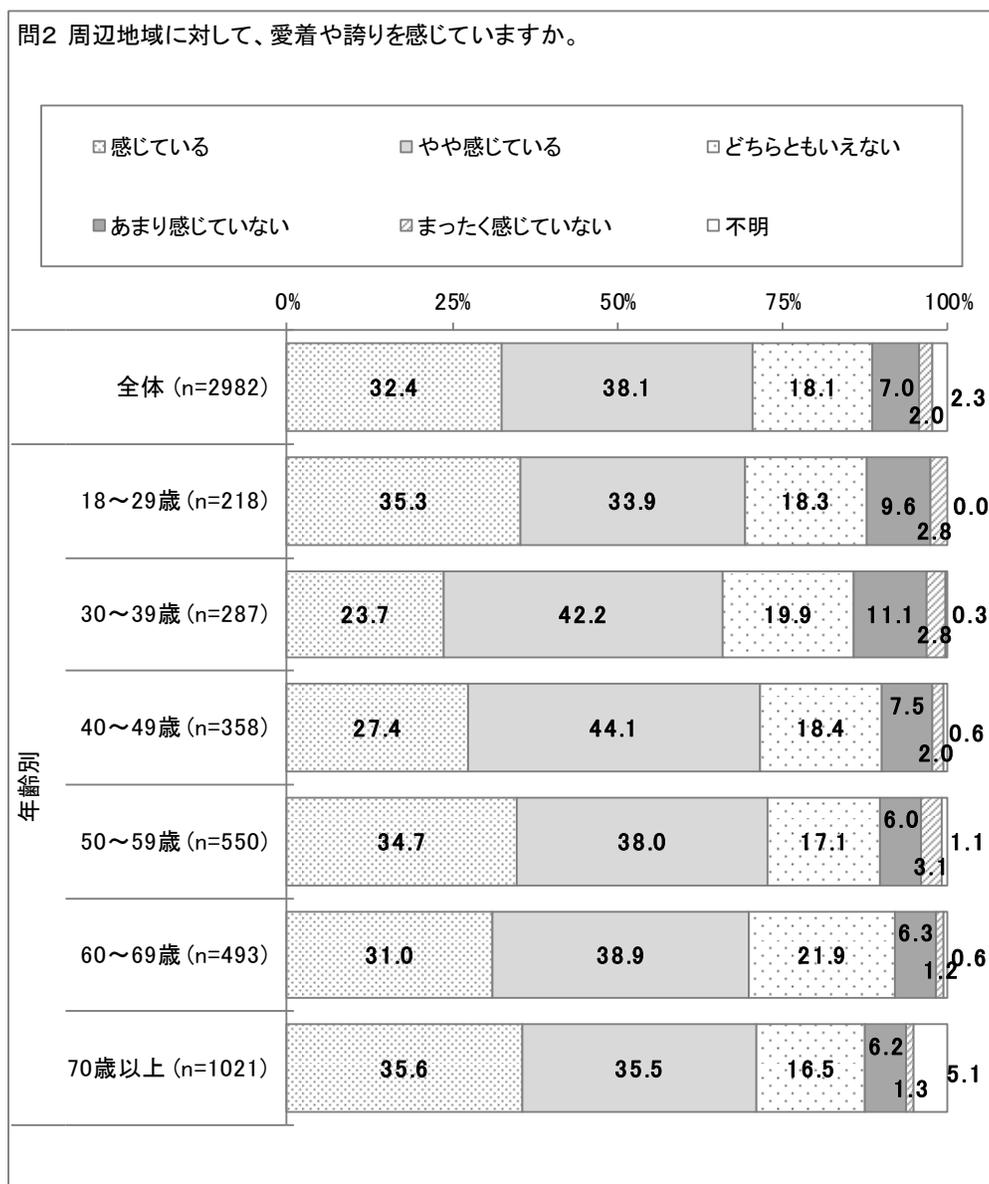
##### ア 周辺地域への愛着や誇り：全体・時系列

- ・「感じている」（32.4%）と「やや感じている」（38.1%）を合わせると（以下『感じている』）70.5%が『感じている』と回答している。
- ・一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計（以下『感じていない』）の割合は9.0%である。
- ・時系列の変化をみると『感じている』の割合は約7割で推移しており、全体の傾向に大きな変化は見られない。



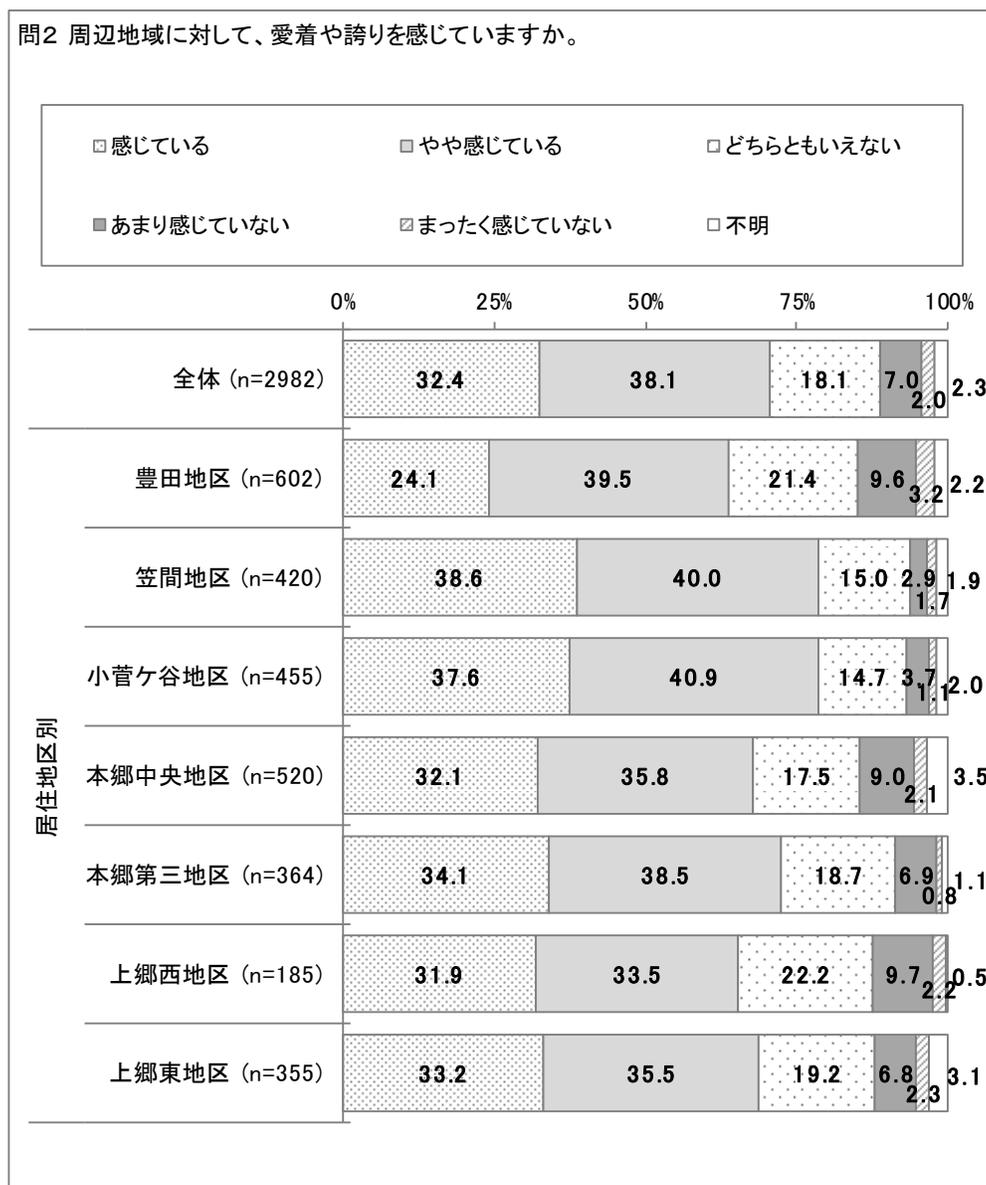
## イ 周辺地域への愛着や誇り：年齢別

- ・年齢別では『感じている』との回答は、「30～39歳」（65.9%）をのぞくと、どの世代も約7割となっている。



## ウ 周辺地域への愛着や誇り：居住地区別

- ・居住地区別では、「笠間地区」（78.6%）と「小菅ヶ谷地区」（78.5%）で『感じている』との回答が多く、全体を約8ポイント上回っている。

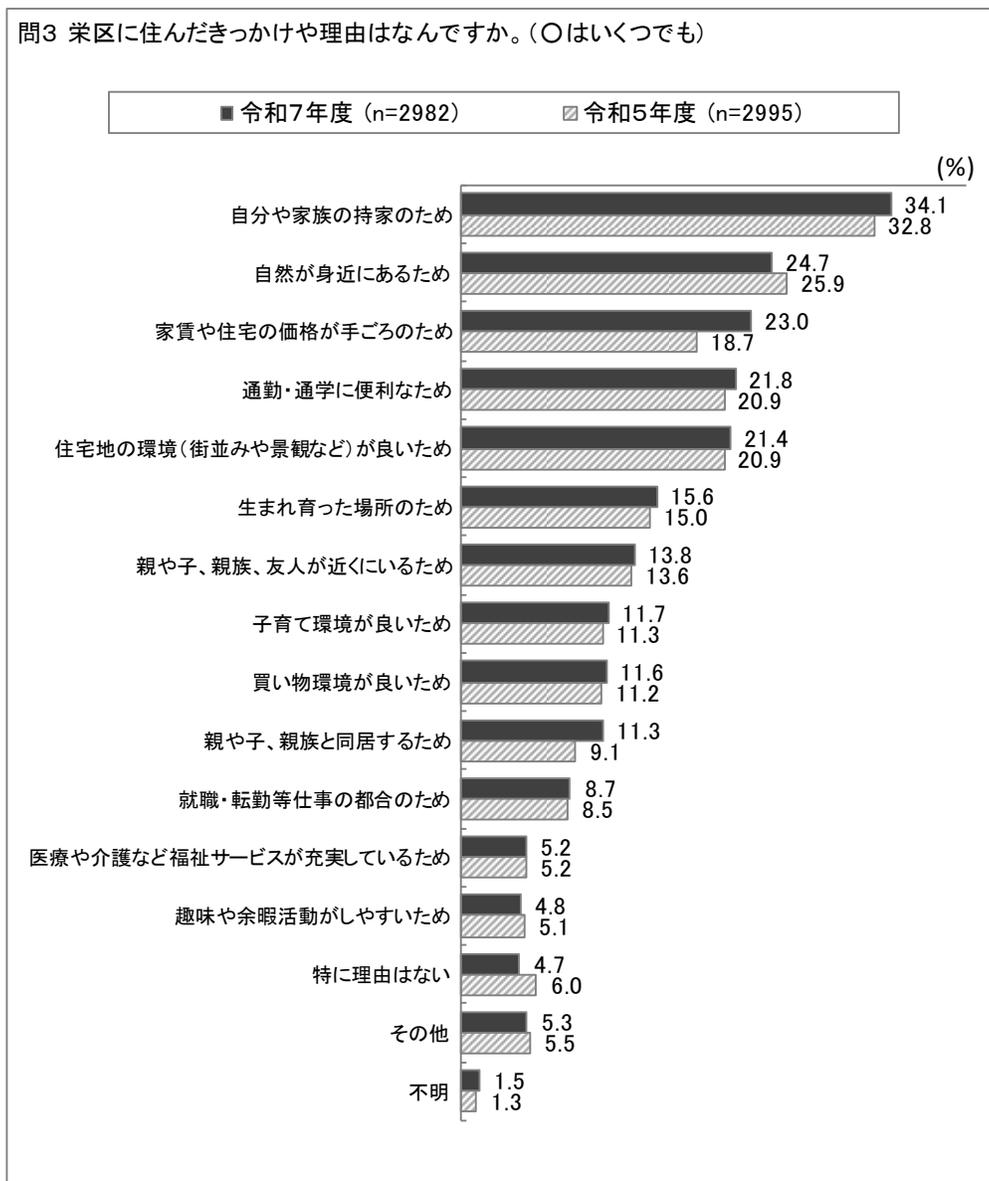


## 2 定住意向について

### (1) 栄区に住んだきっかけや理由（問3）

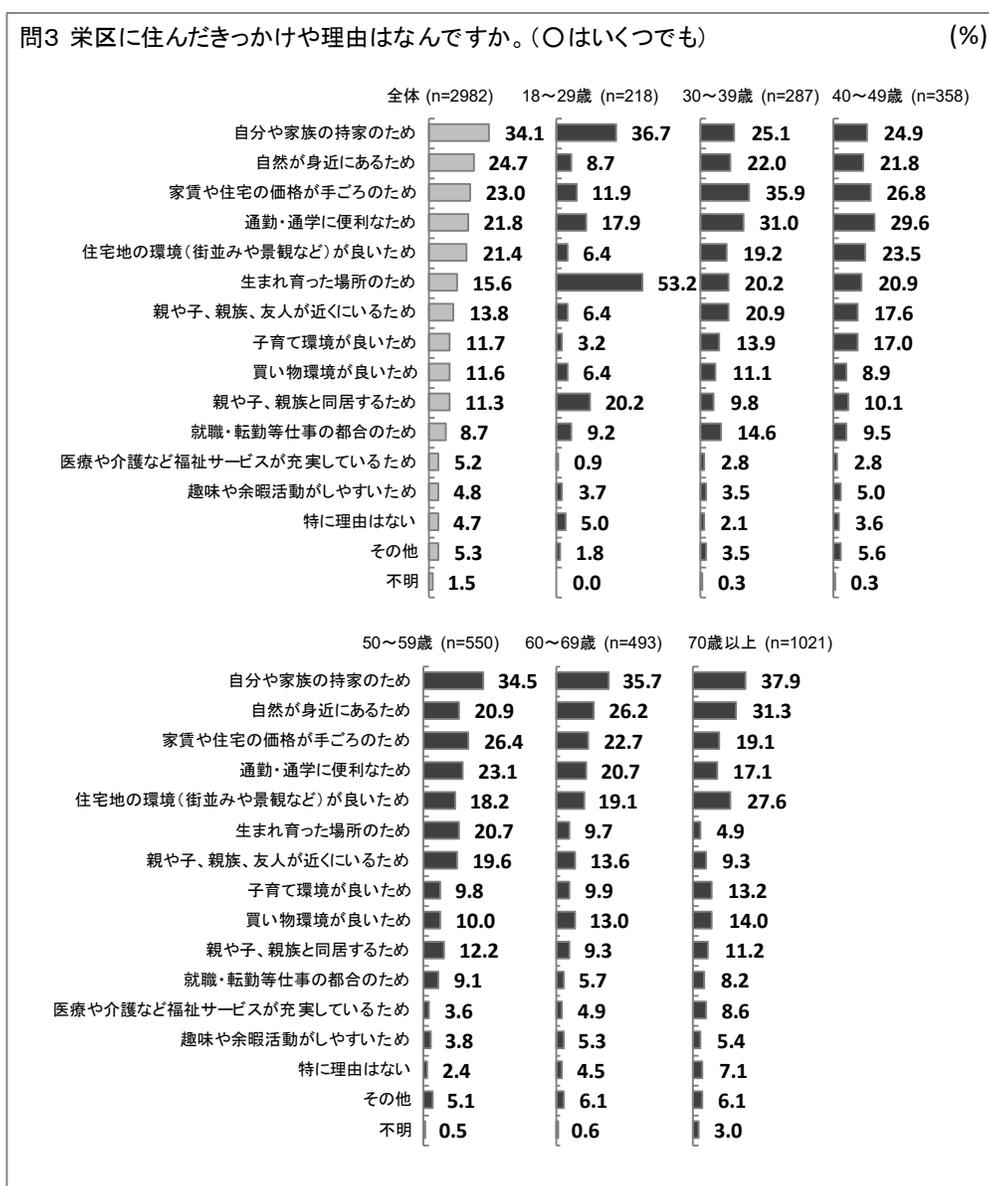
#### ア 栄区に住んだきっかけや理由：全体・時系列

- ・「自分や家族の持家のため」（34.1%）が最も多く、「自然が身近にあるため」（24.7%）、「家賃や住宅の価格が手ごろのため」（23.0%）が上位に挙げられている。
- ・時系列でみると、「家賃や住宅の価格が手ごろのため」は令和5年度調査（18.7%）より4.3ポイント増加し、令和7年度調査では23.0%となっている。



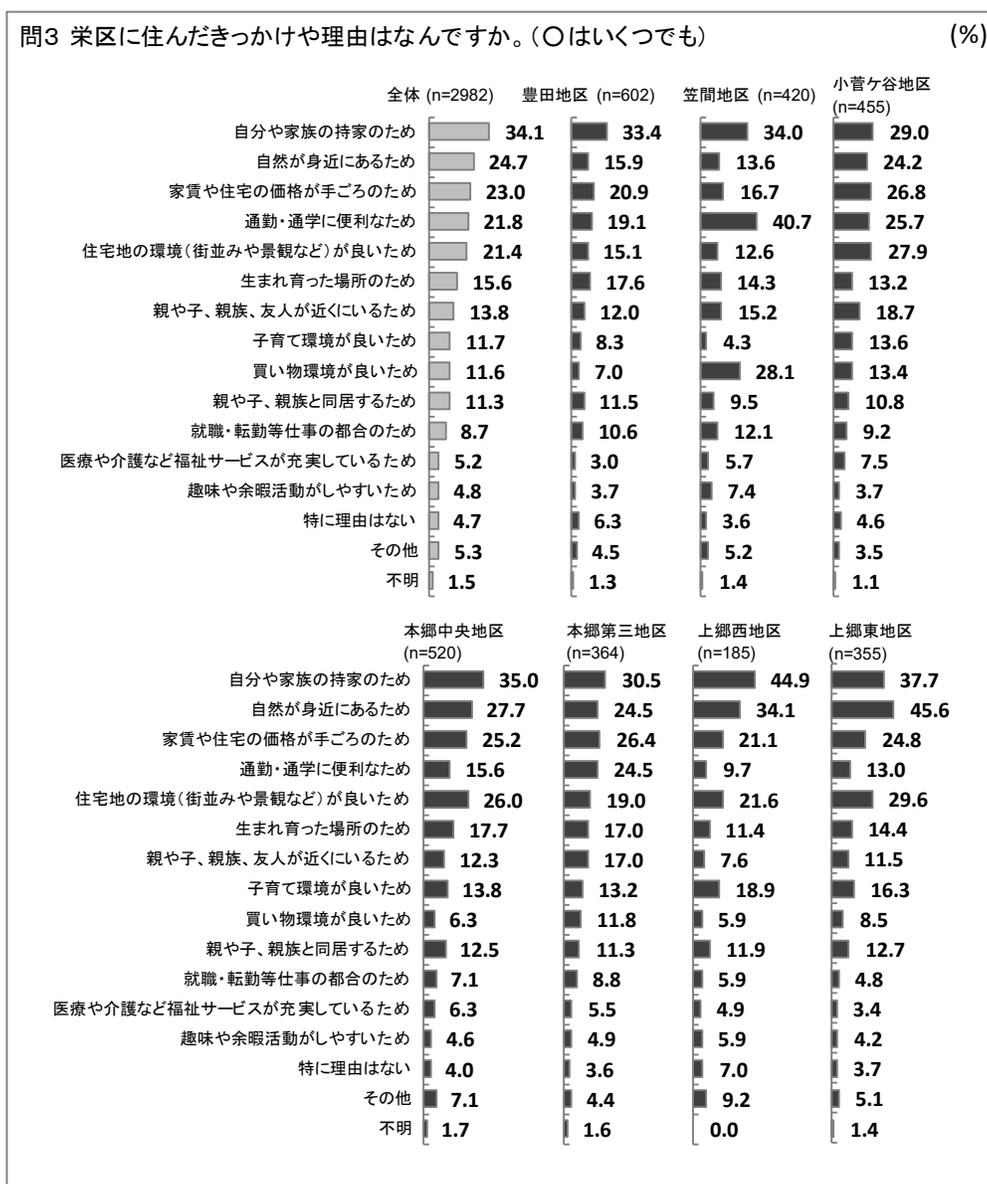
## イ 栄区に住んだきっかけや理由：年齢別

- ・年齢別では「18～29歳」で「生まれ育った場所のため」（53.2%）が最も多く、全体に比べ37.6ポイント多くなっている。
- ・「30～39歳」では「家賃や住宅の価格が手ごろのため」（35.9%）が最も多く、「通勤・通学に便利のため」（31.0%）が続く。
- ・「40～49歳」では「通勤・通学に便利のため」（29.6%）が最も多く、「家賃や住宅の価格が手ごろのため」（26.8%）の順に続く。
- ・「50～59歳」以上の年代では「自分や家族の持家のため」が最も多い回答である。



## ウ 栄区に住んだきっかけや理由：居住地区別

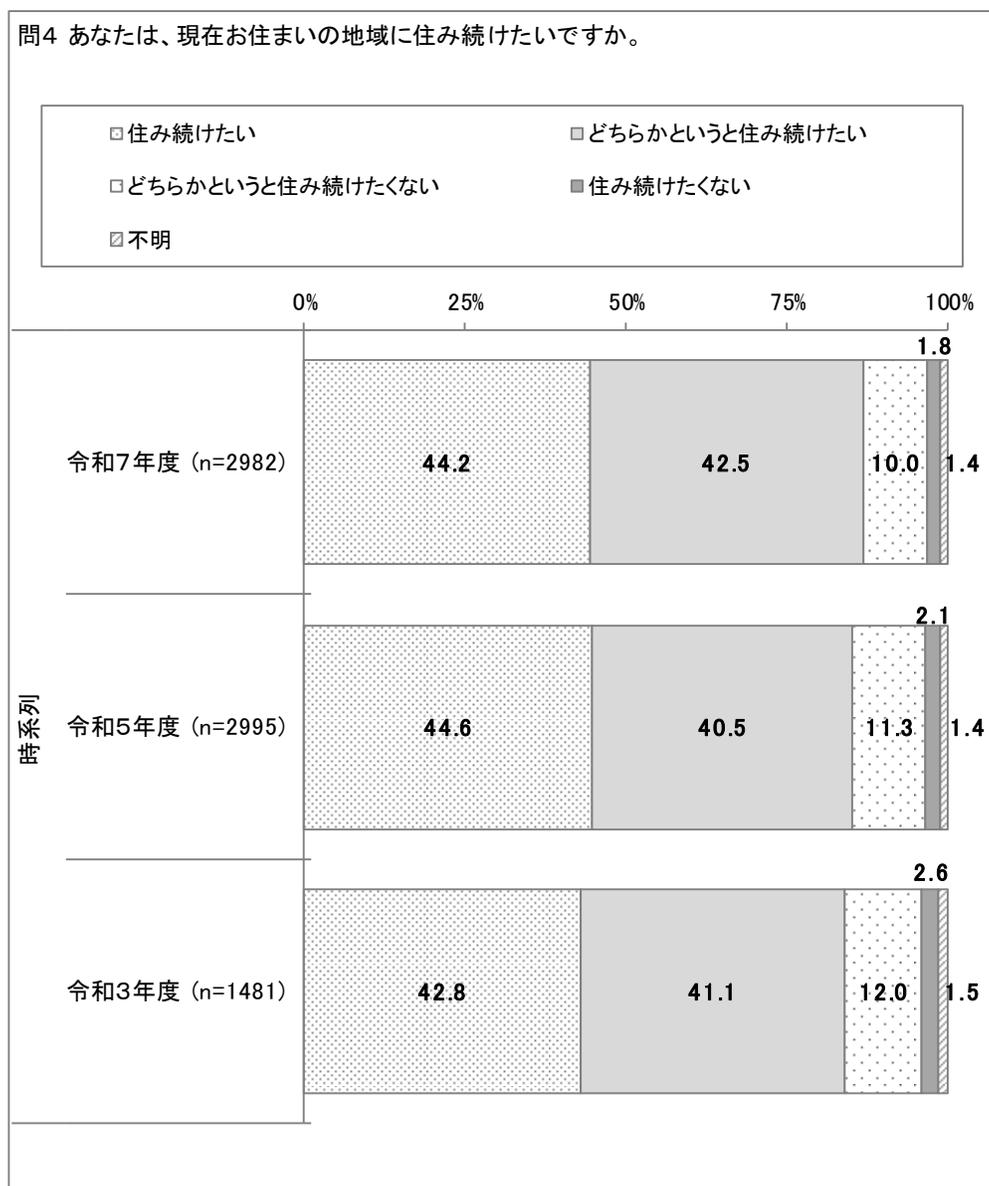
- ・居住地区別では「豊田地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」、「上郷西地区」で「自分や家族の持家のため」が最も多い。
- ・「笠間地区」では「通勤・通学に便利のため」（40.7%）が最も多く、全体を18.9ポイント上回っている。
- ・「上郷東地区」では「自然が身近にあるため」（45.6%）が最も多く、20.9ポイント上回っている。



(2) 定住意向（問4）

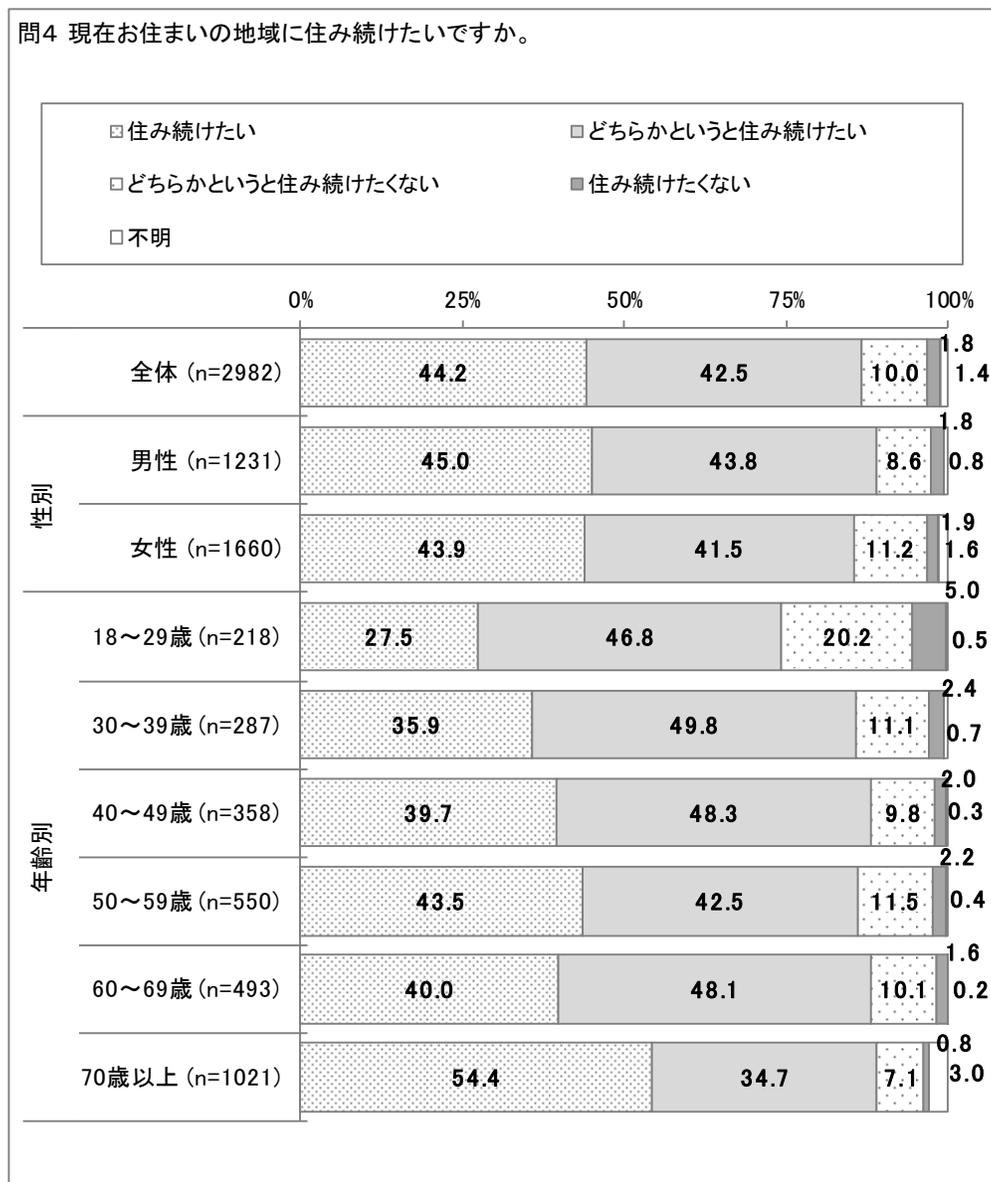
ア 定住意向：全体・時系列

- ・「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせた現在の居住地域に『住み続けたい』の割合は86.7%である。
- ・時系列では、『住み続けたい』の割合は微増傾向が見られる。



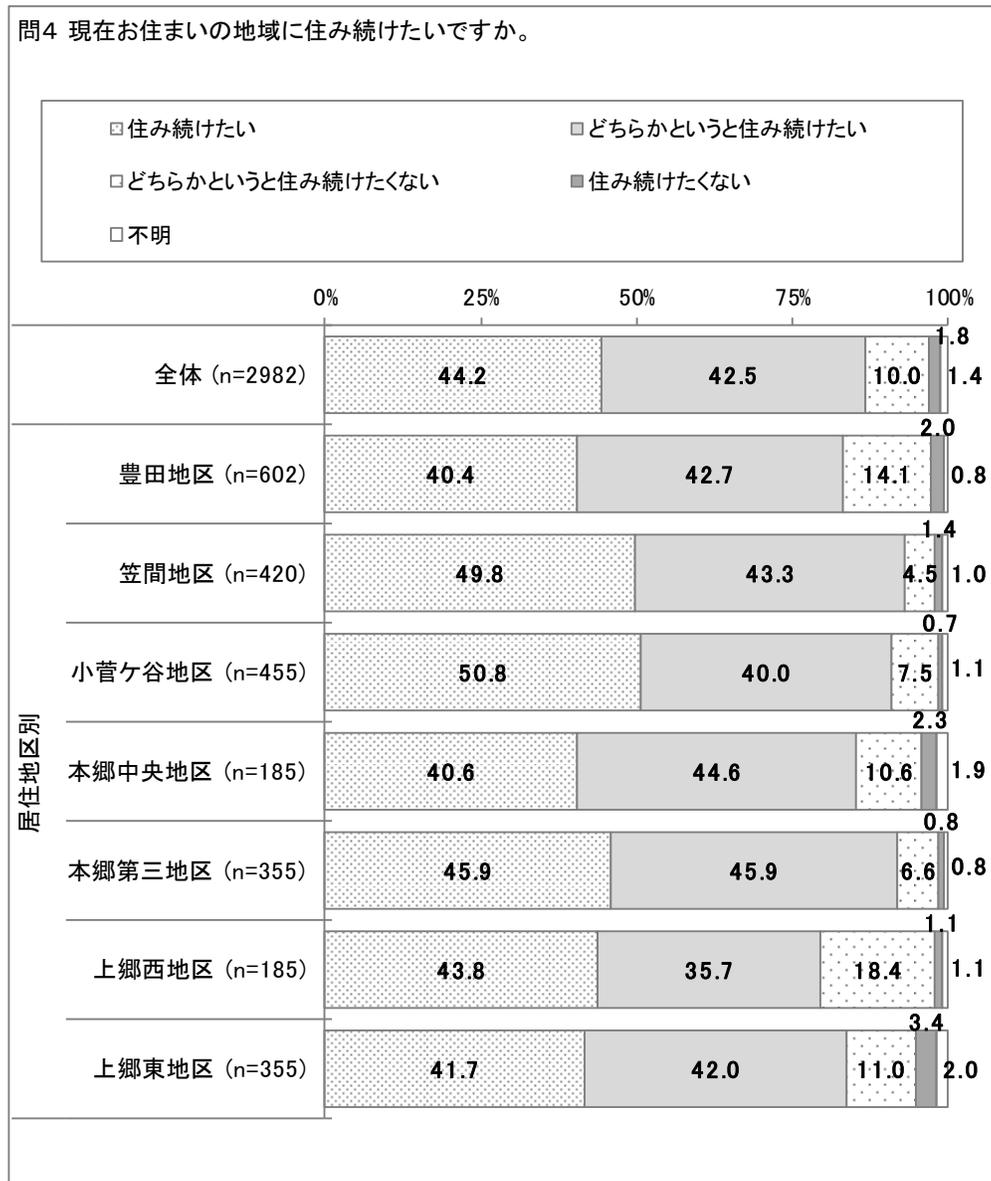
## イ 定住意向：性別・年齢別

- ・性別の違いをみると、『住みたい』の割合は男性（88.8%）が女性（85.4%）を上回っている。
- ・年齢別では、『住みたい』との回答は「18～29歳」（74.3%）を除くといずれの年代も8割を超えており、最も多い「70歳以上」（89.1%）では9割弱となっている。



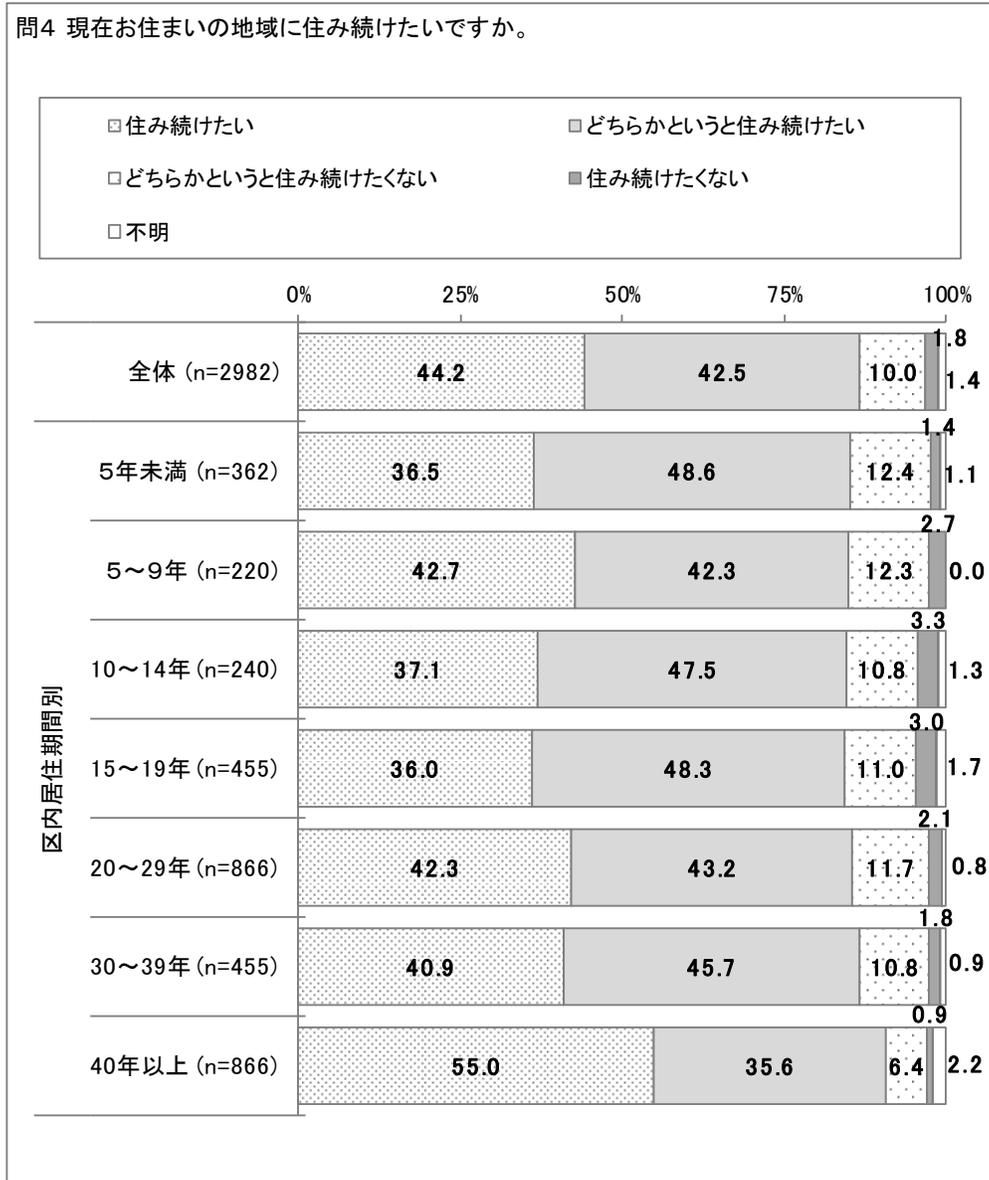
## ウ 定住意向：居住地区別

- ・居住地区別では、「笠間地区」で『住みたい』との回答が93.1%と最も多くなっており、「本郷第三地区」（91.8%）、「小菅ヶ谷地区」（90.8%）の順に続く。



### ウ 定住意向：区内居住期間別

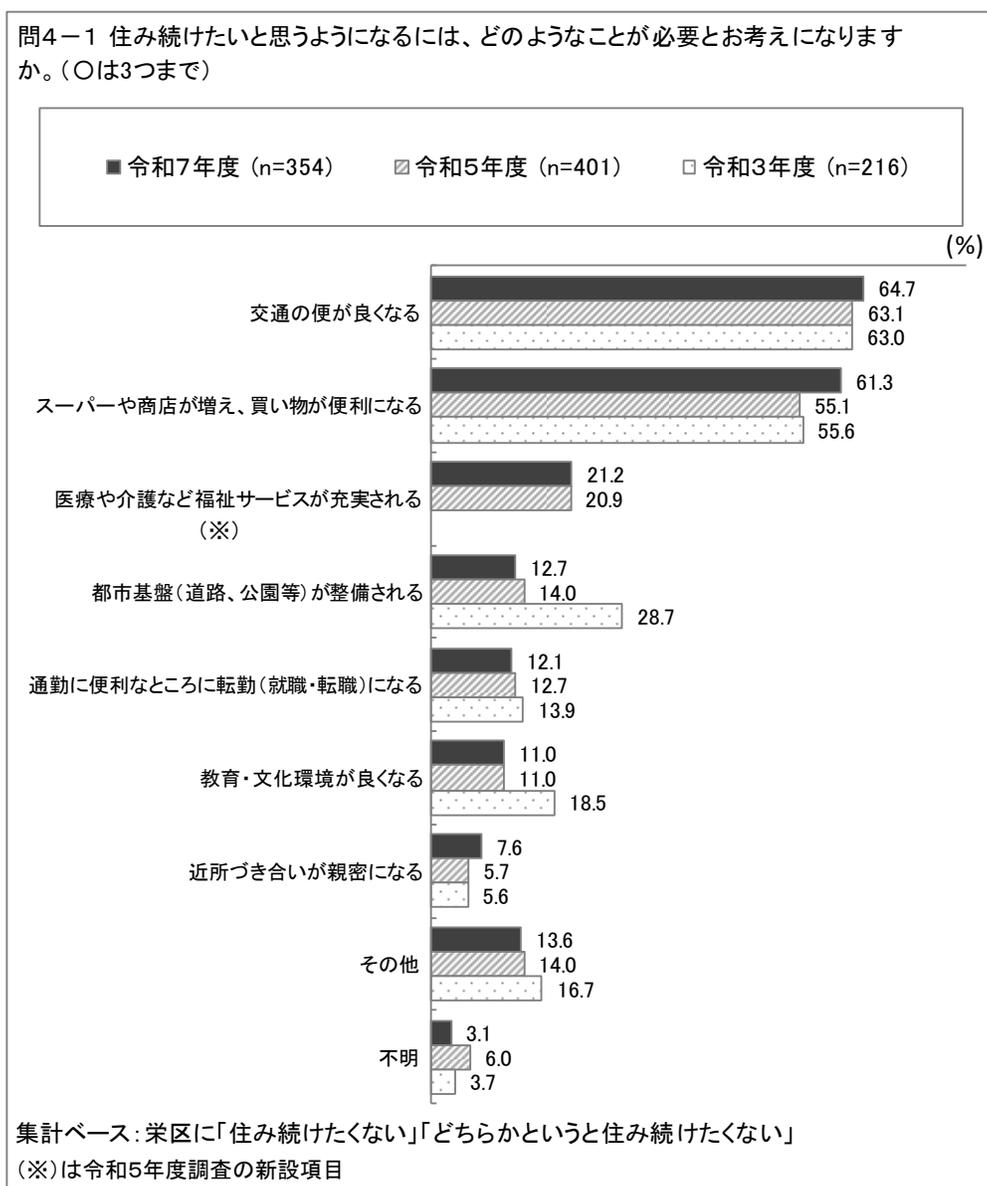
- 区内居住期間別では、居住期間にかかわらず『住み続けたい』が8割を超えているが、「40年以上」（90.6%）が最も多くなっている。



### (3) 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと（問4-1）

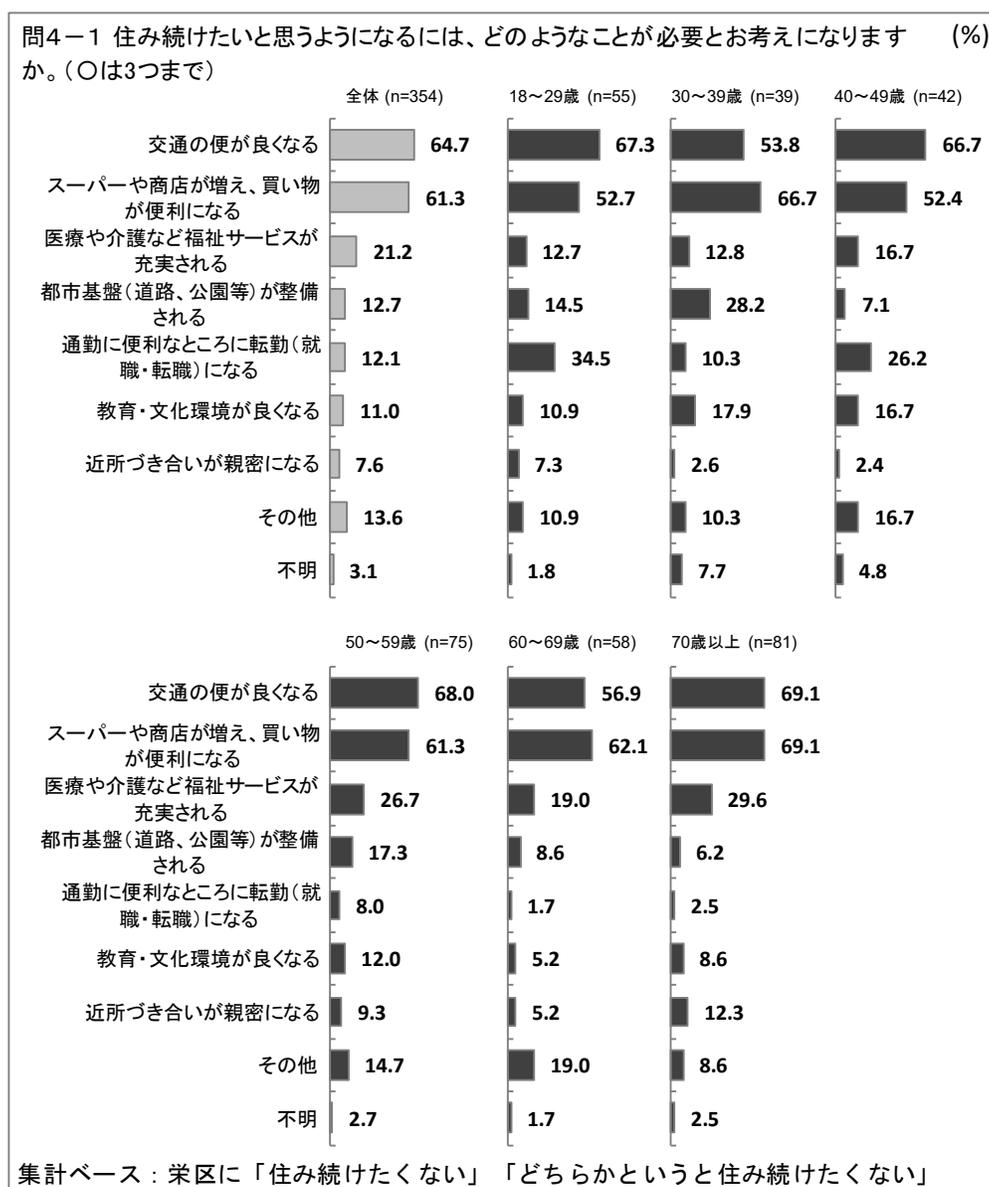
#### ア 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：全体・時系列

- ・「交通の便が良くなる」（64.7%）、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」（61.3%）が6割を超え、他の項目を大きく上回る。
- ・令和5年度調査と比べると順位に大きな変化はないが、2位に挙げられている「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」は今回調査が6.2ポイント増加している。



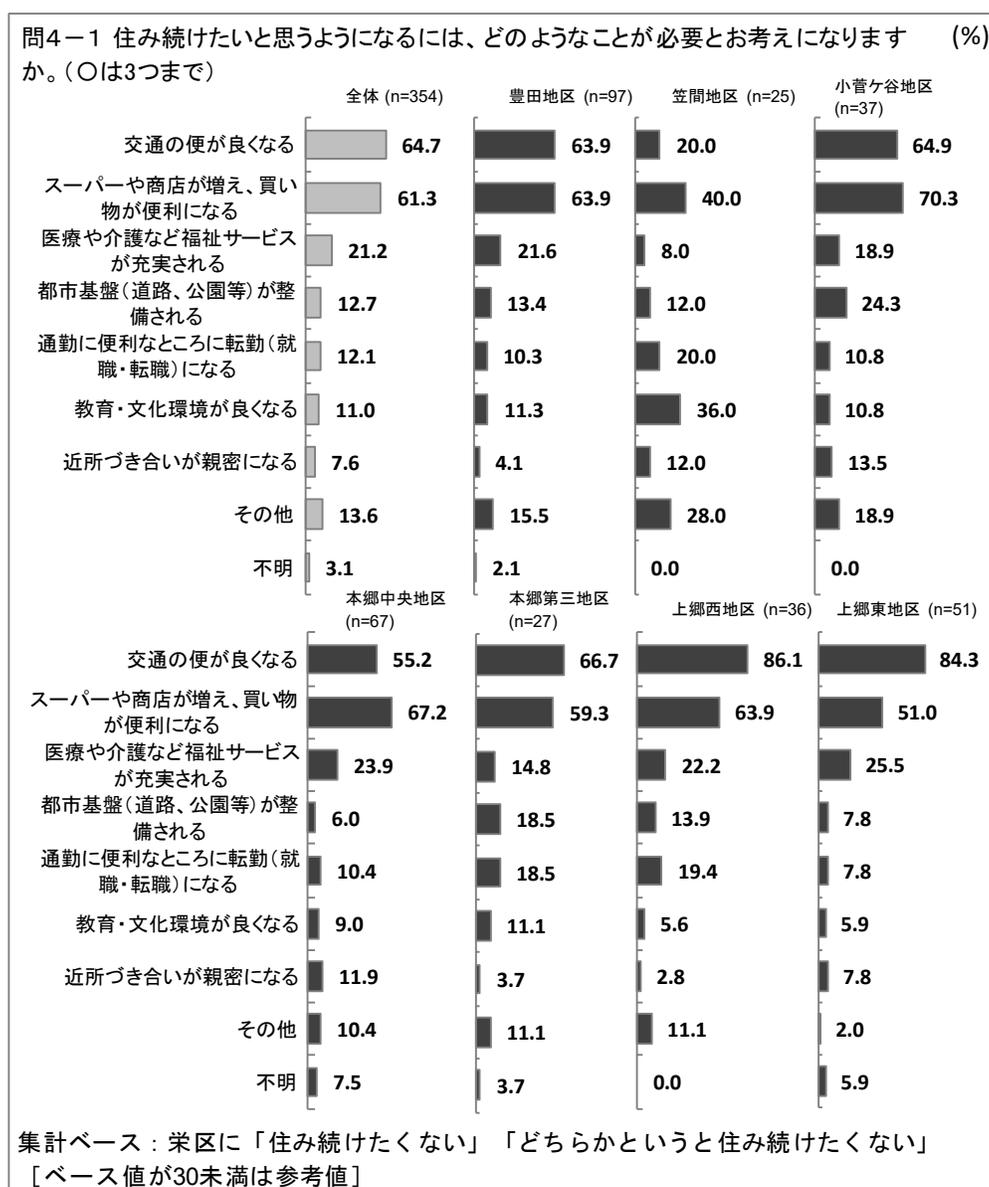
## イ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：年齢別

- ・いずれの年代も「18～29歳」、「40～49歳」、「50～59歳」では「交通の便が良くなる」が最も多い回答である。
- ・「30～39歳」と「60～69歳」では「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が最も多い回答となっている。
- ・「70歳以上」では「交通の便が良くなる」と「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が同率1位の回答となっている。



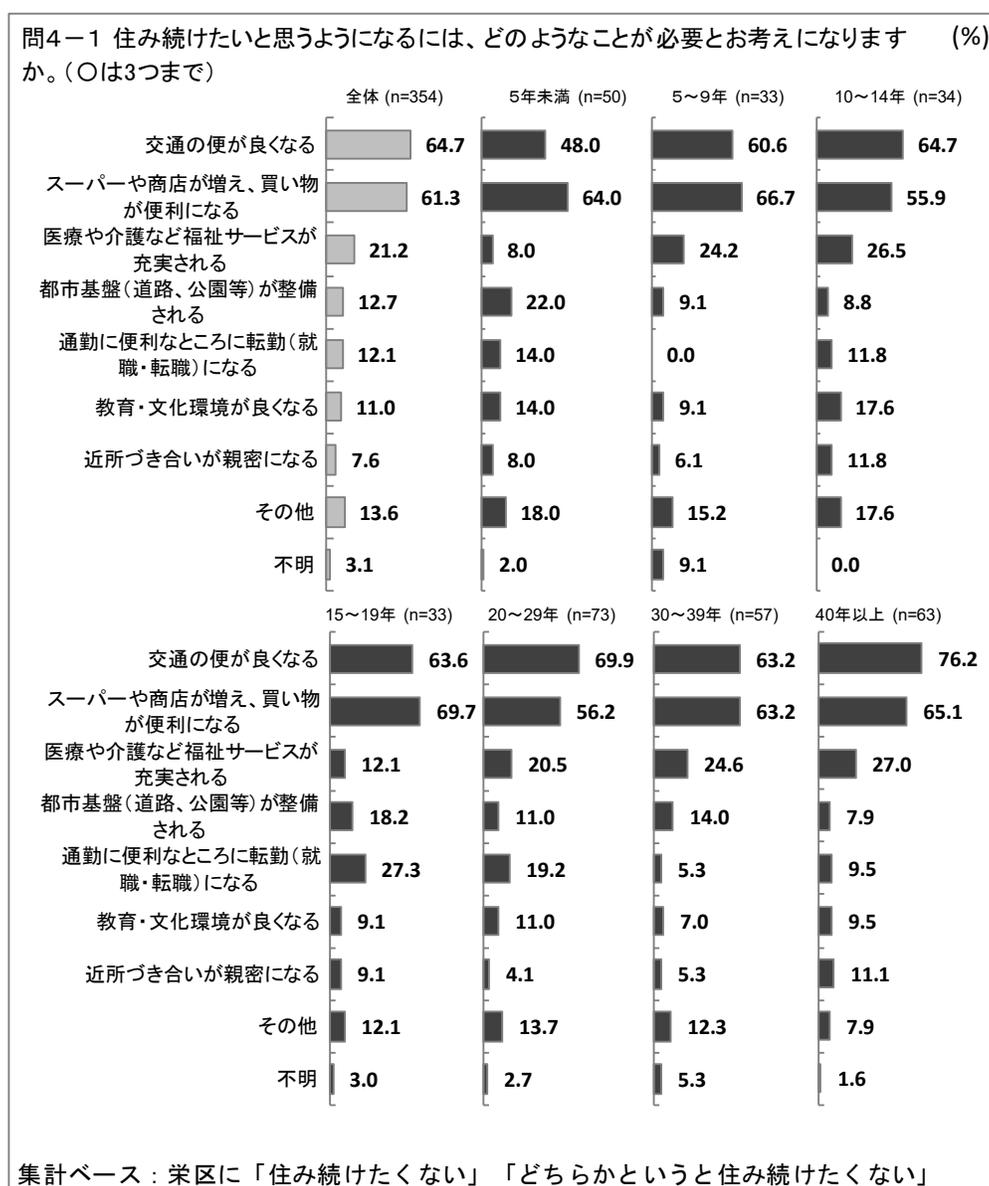
## ウ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：居住地区別

- ・「豊田地区」では「交通の便が良くなる」と「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」がそれぞれ63.9%で最も多い。
- ・「笠間地区」では「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」(40.0%)が最も多く「教育・文化環境が良くなる」(36.0%)が続く。
- ・「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」では「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が最も多く「交通の便が良くなる」が続く。
- ・「本郷第三地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「交通の便が良くなる」が最も多く、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が続く。



## エ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：区内居住期間別

- ・区内居住期間が「5年未満」、「5～9年」、「15～19年」では「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が最も多く「交通の便が良くなる」が続く。
- ・「10～14年」、「20～29年」、「40年以上」では「交通の便が良くなる」が最も多く「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が続く。
- ・「30～39年」では「交通の便が良くなる」と「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」がそれぞれ63.2%で同率1位である。



オ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：「その他」の内容

- ・「まちづくり・環境改善」が23件で最も多く、と「道路・交通改善」が7件、「安全・安心強化、行政サービス改善」が6件と続く。

問4-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。

「7. その他」の内容 (件)

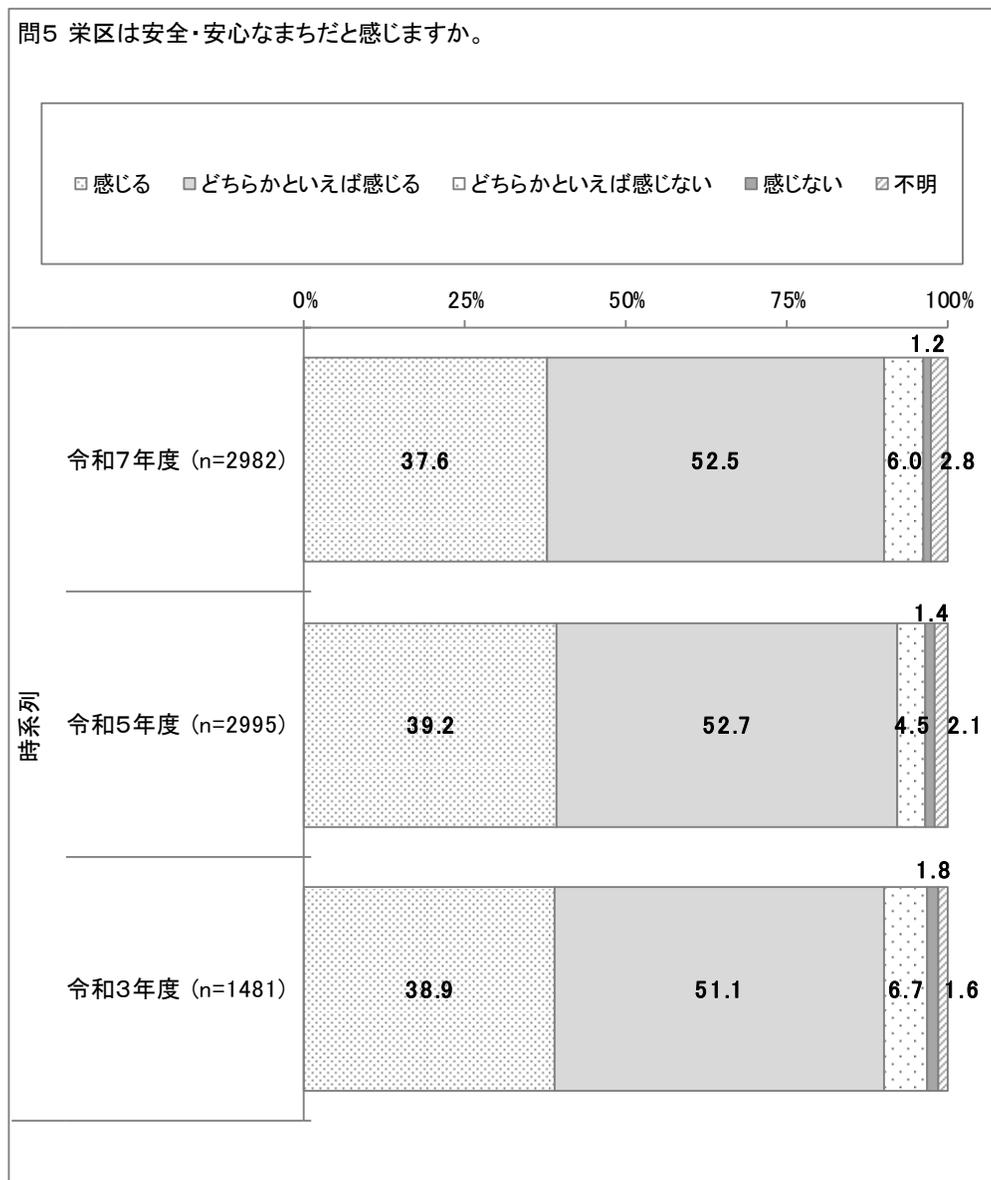
まちづくり・環境改善	23	安全・安心強化、行政サービス改善	6
自治会・町内会活動が負担	4	防犯の強化	3
高齢者にやさしい街	4	行政サービスの改善	3
子育て環境	4	転居の予定	5
若者が過ごしやすい街	2	商業施設等の充実・サービス向上	2
騒音・日当たりの改善	2	その他	7
道路工事の影響が大きい	2		
その他のまちづくり・環境改善	5		
道路・交通改善	7		
交通利便性の向上	3		
坂が多い	3		
安全性の確保	1		

### 3 生活意識について

#### (1) 安全なまちだと感じるか（問5）

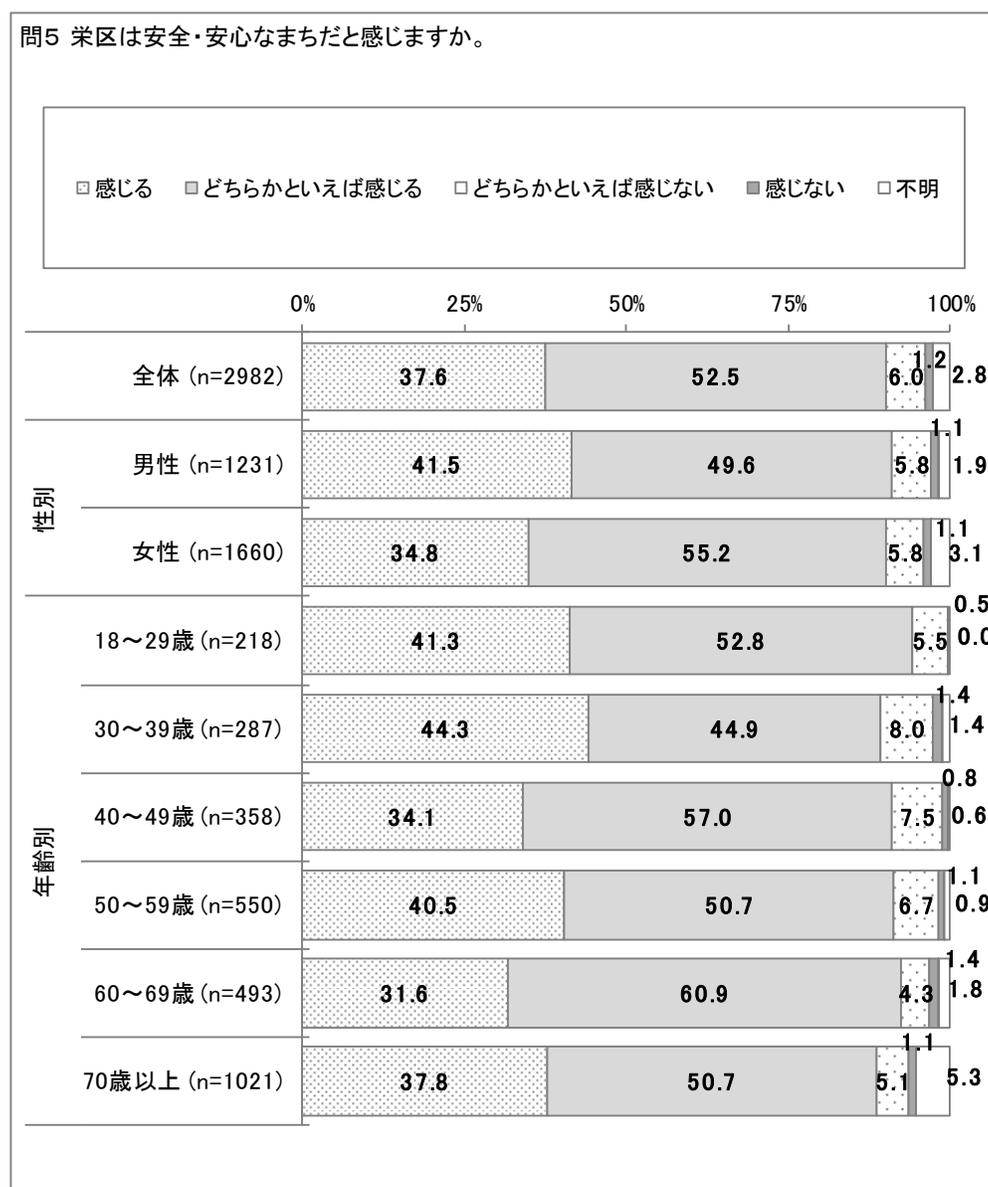
##### ア 安全なまちだと感じるか：全体・時系列

- ・「感じている」（37.6%）と「やや感じている」（52.5%）を合わせると（以下『感じている』）90.1%が『感じている』と回答している。
- ・時系列にみると大きな変化は見られず、『感じている』の割合は約9割となっている。



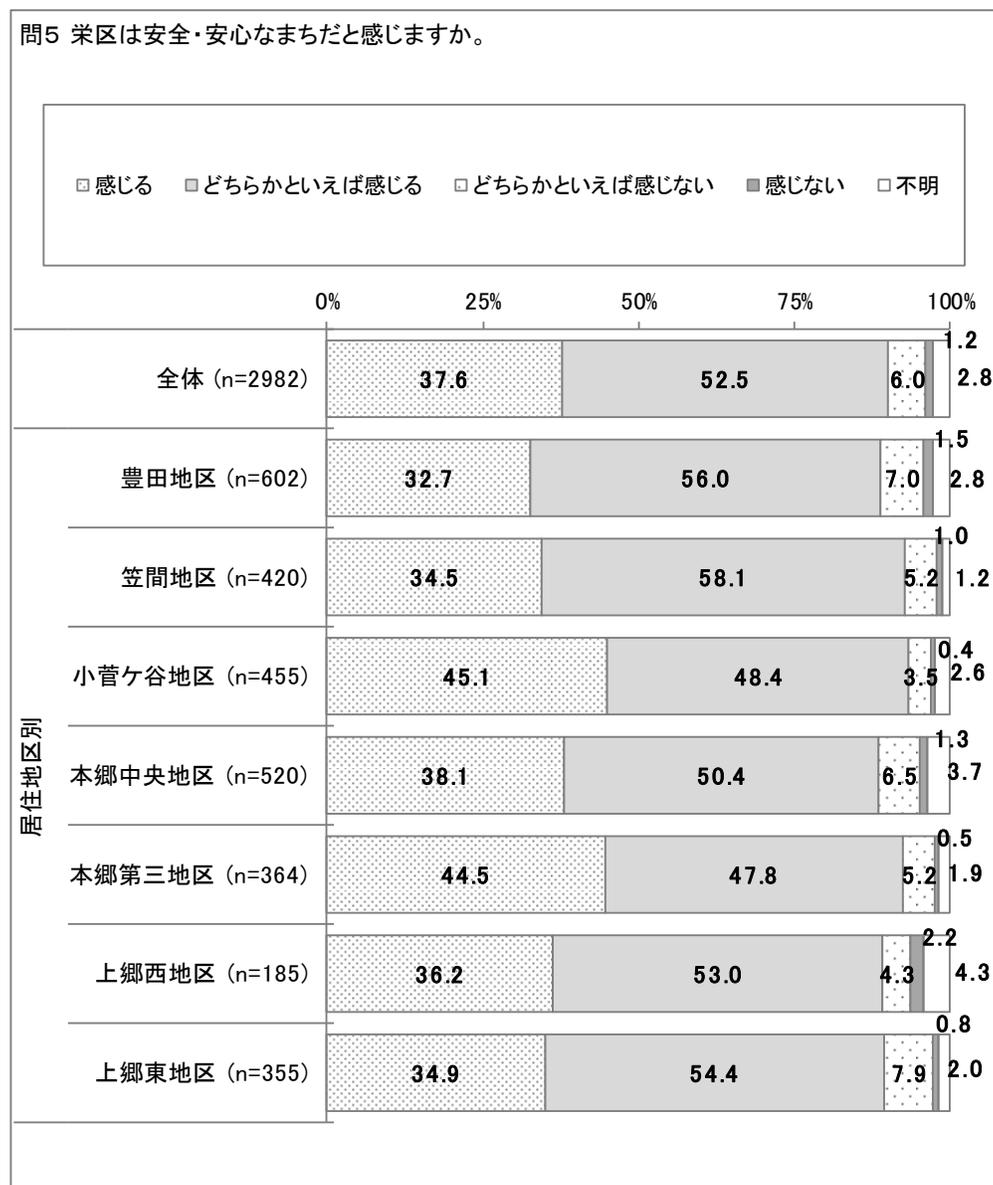
## イ 安全なまちだと感じるか：性別・年齢別

- ・性別では『感じている』には差が見られないが、「感じる」は男性（41.5%）が女性（34.8%）より6.7ポイント多い。
- ・年齢別では、いずれも『感じている』との回答が約9割となっている。「感じる」の割合は「30～39歳」（44.3%）が最も多く、「18～29歳」（41.3%）、「50～59歳」（40.5%）で4割を超えている。



## ウ 安全なまちだと感じるか：居住地区別

- ・居住地区別ではどの地区も『感じている』が約9割となっている。  
「感じる」が最も多いのは「小菅ヶ谷地区」（45.1%）で、「本郷第三区」（44.5%）、「本郷中央地区」（38.1%）の順に続く。



## (2) 生活環境への満足度（問6）

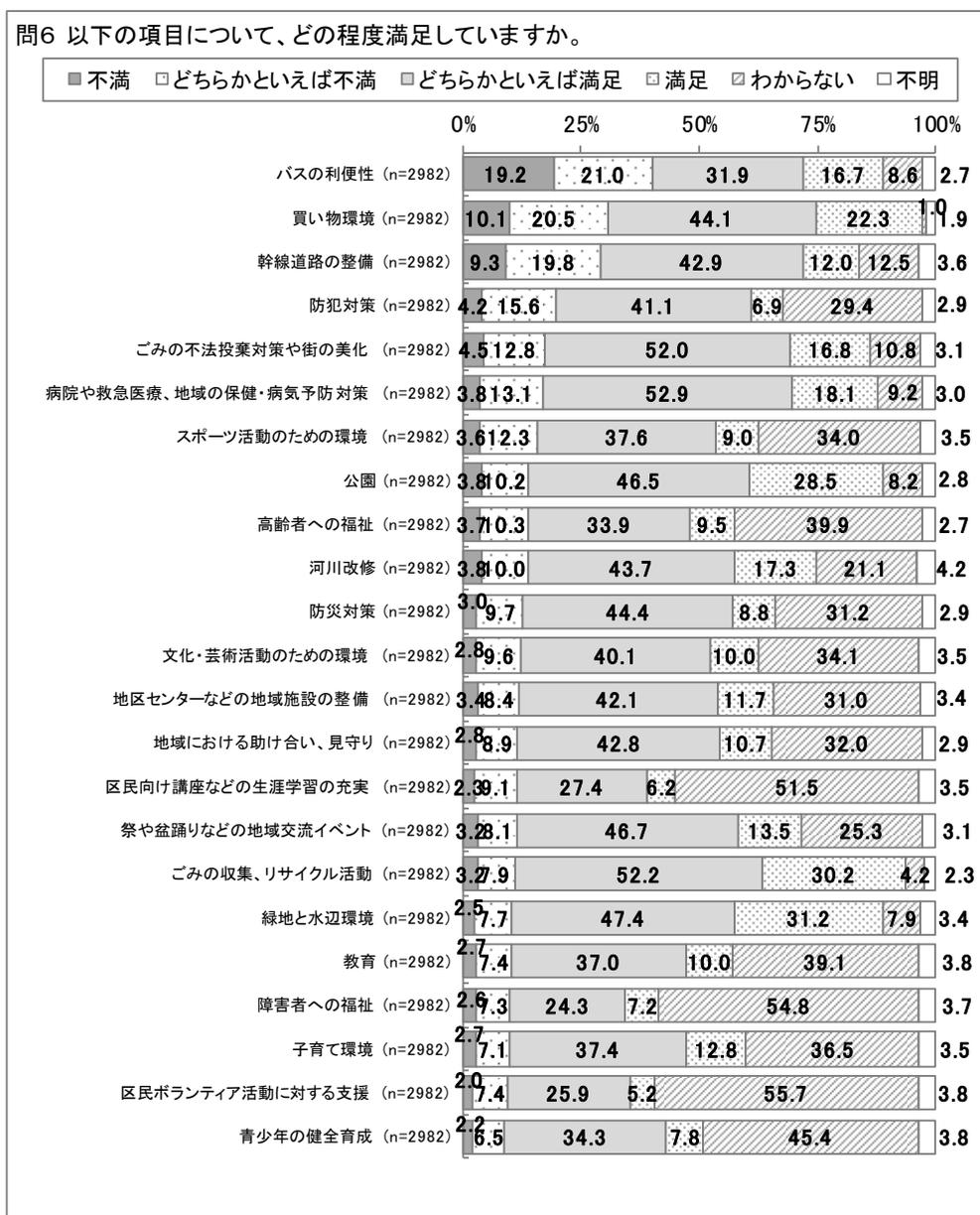
### ア 生活環境への満足度：満足度の高い項目

- ・満足度の高い（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計、以下『満足』）項目としては、「ごみの収集、リサイクル活動」（82.4%）が最も多く、「緑地と水辺環境」（78.6%）、「公園」（75.0%）の順に続く。



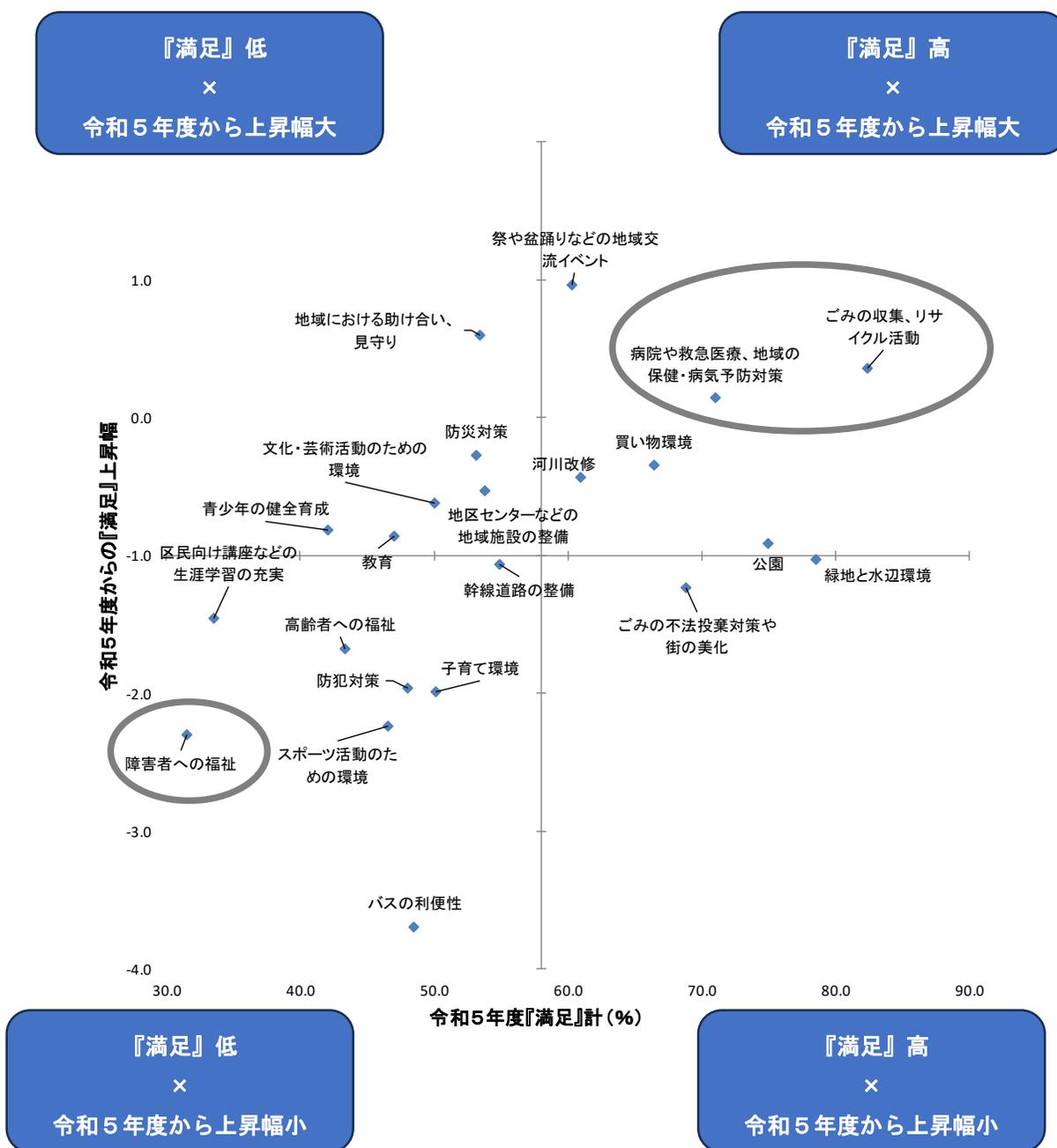
## イ 生活環境への満足度：満足度の低い項目

- ・満足度の低い（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計、以下『不満』）項目としては、「バスの利便性」（40.2%）が最も多く、「買い物環境」（30.6%）、「幹線道路の整備」（29.1%）の順に続く。



## ウ 生活環境への満足度：時系列

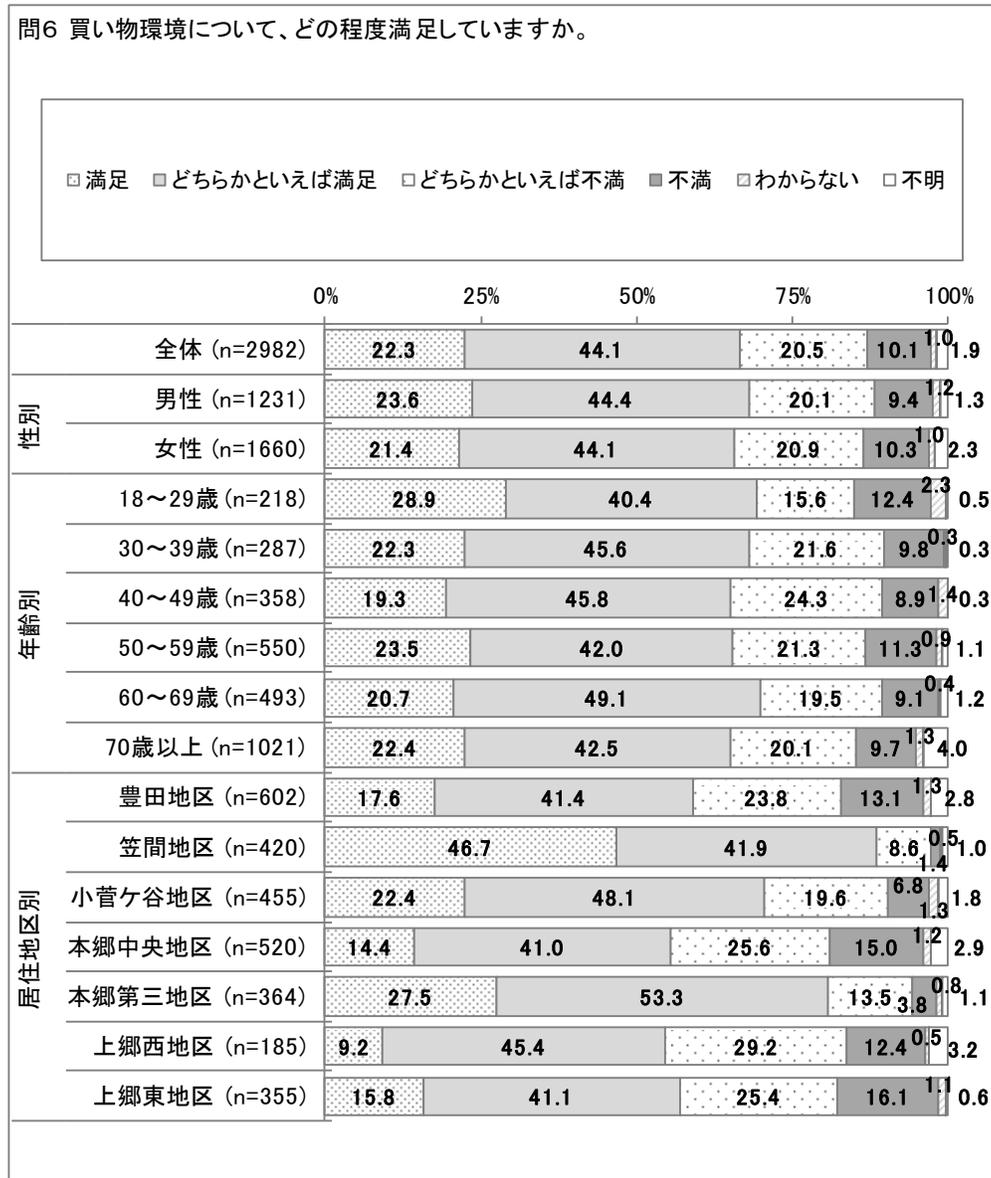
- ・『満足』が高く、前回調査から上昇幅の大きな項目としては「ごみの収集、リサイクル活動」、「病院や救急医療、地域の保健・病気の予防対策」があげられる。
- ・一方、『満足』が低く、前回調査から上昇幅が小さい項目としては、「障害者への福祉」があげられる。



※縦軸、横軸はそれぞれ『満足』計 (%)、令和5年度からの『満足』上昇幅の単純平均を示す。

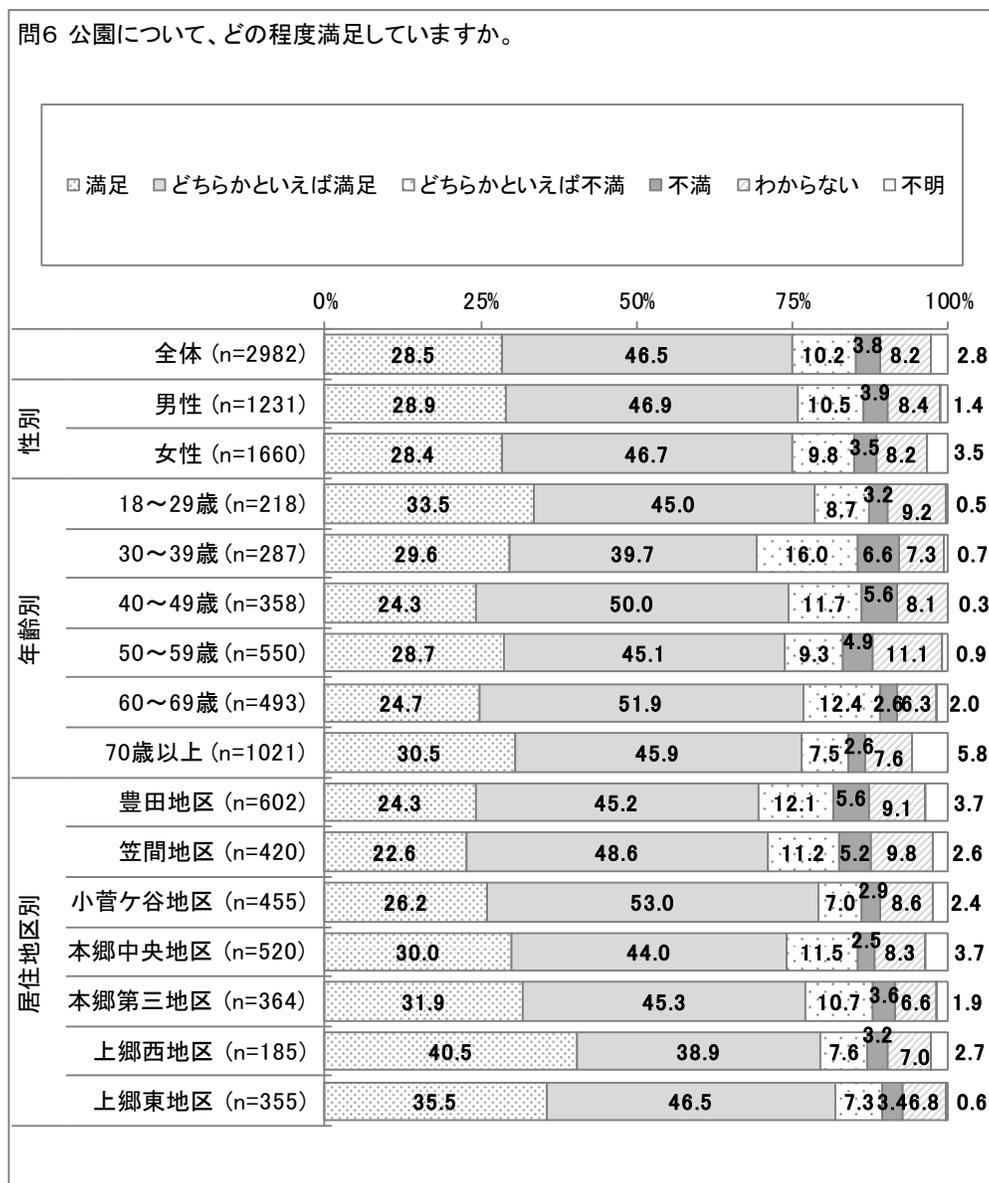
## エ 買い物環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は66.4%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」と「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「本郷中央地区」と「上郷西地区」である。



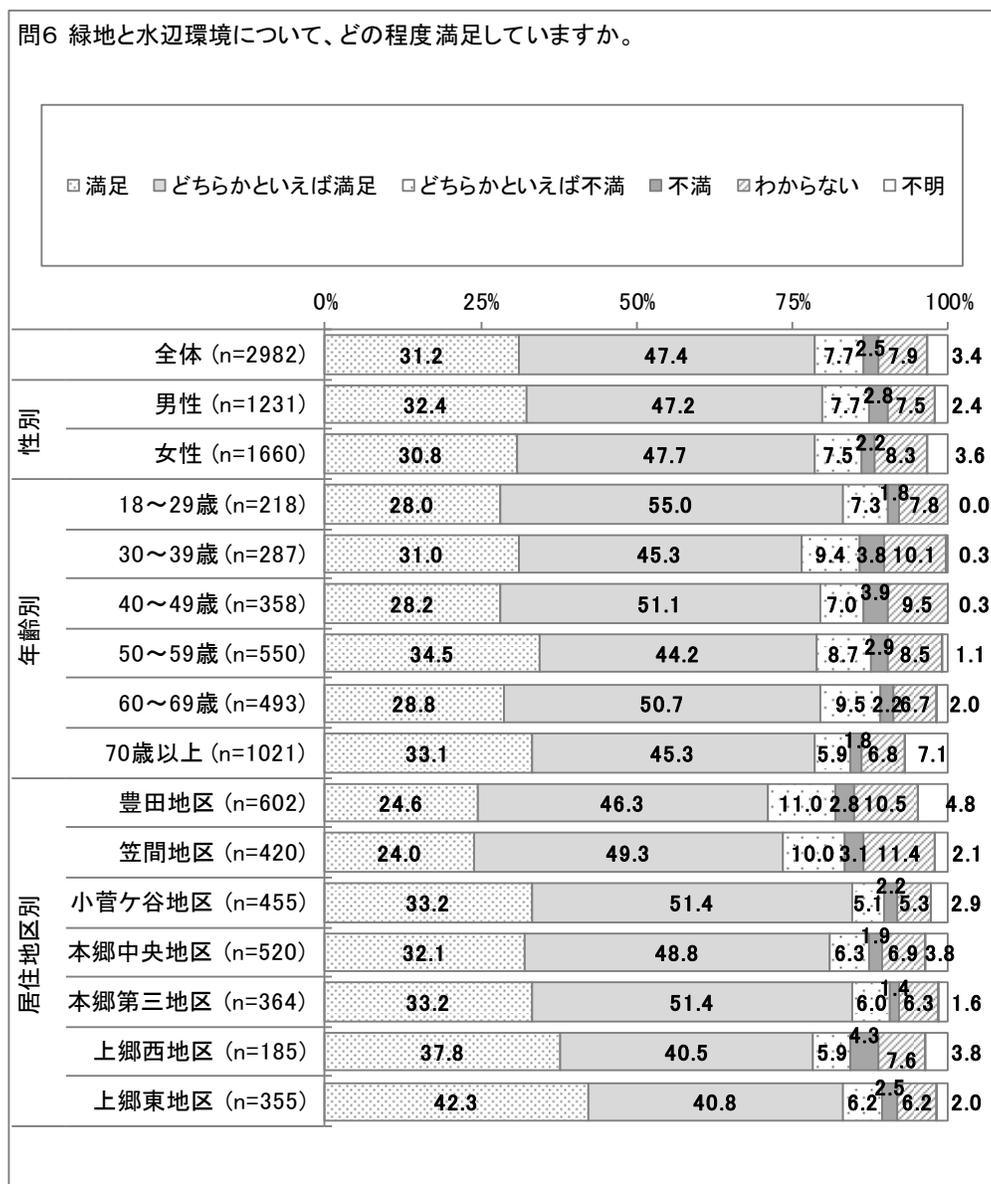
## オ 公園についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は75.0%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷東地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」と「豊田地区」である。



## カ 緑地と水辺環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は78.6%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」と「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「豊田地区」と「笠間地区」である。



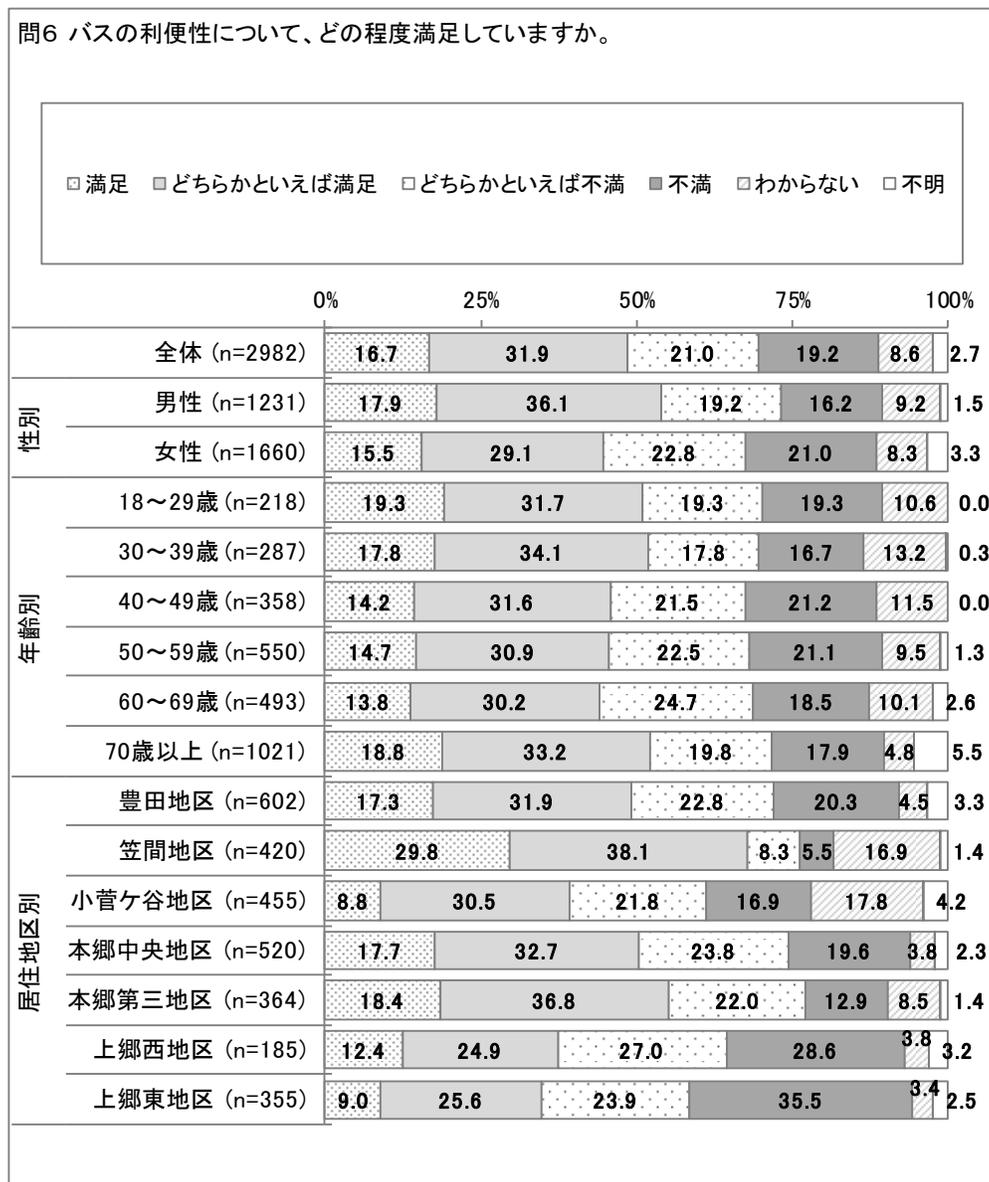
## キ 河川改修についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は61.0%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「50～59歳」、である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」である。



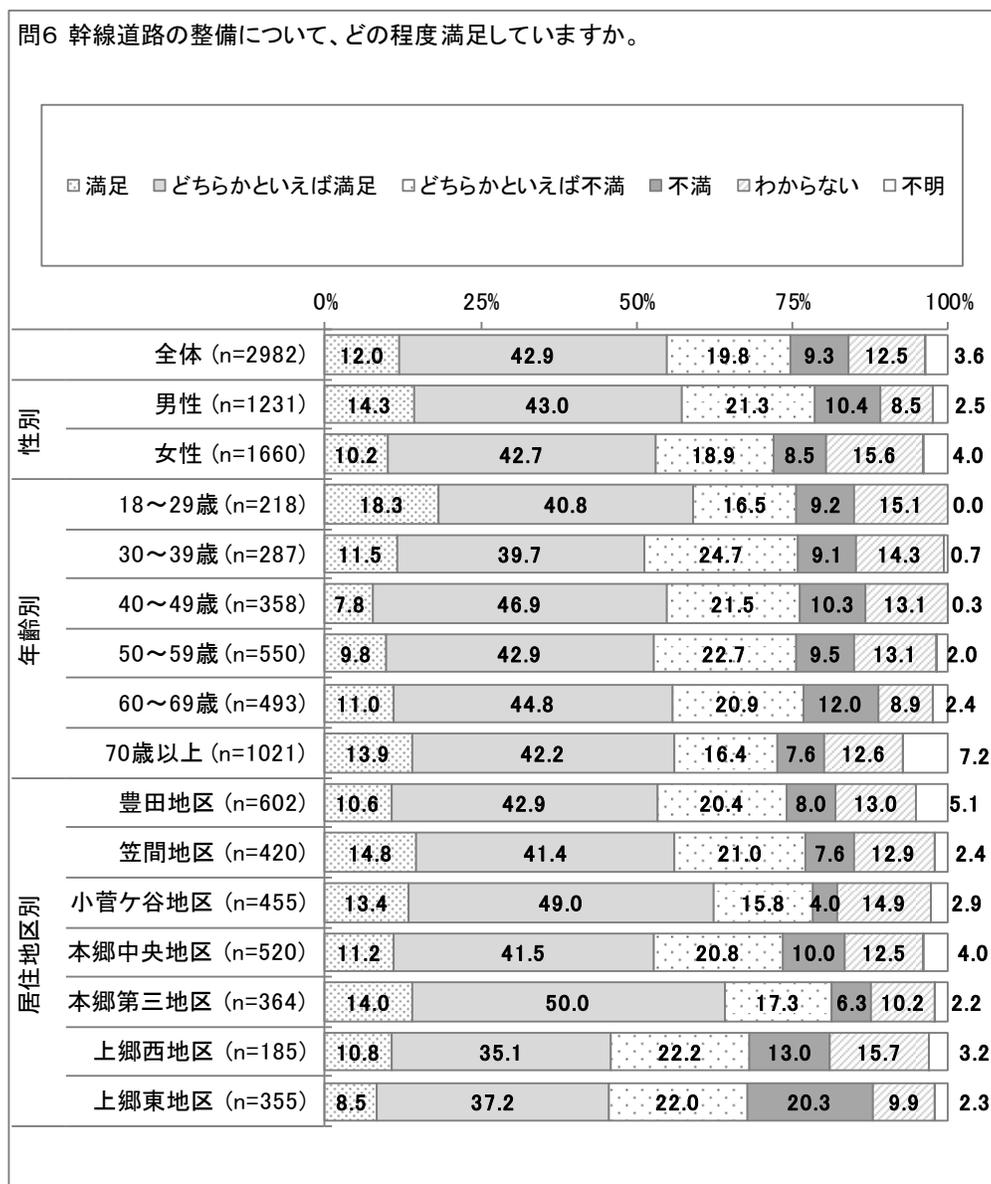
## ク バスの利便性についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は48.6%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷西地区」と「上郷東地区」である。



## ケ 幹線道路の整備についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は54.9%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」と「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「上郷西地区」と「上郷東地区」である。



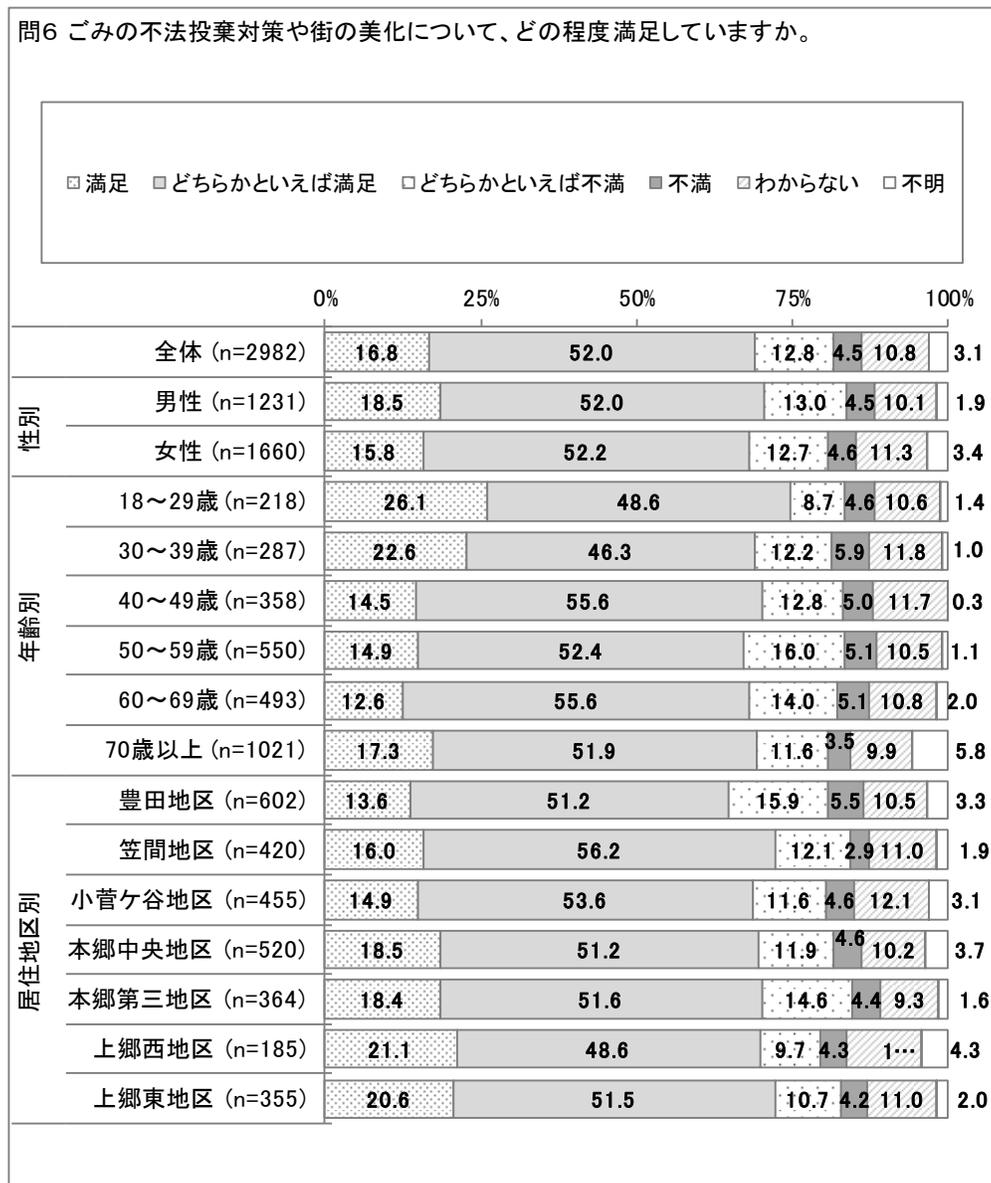
コ ごみの収集、リサイクル活動についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は82.4%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷東地区」である。



サ ごみの不法投棄対策や街の美化についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は68.8%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「18～29歳」である。居住地区別には大きな差が見られない。



## シ 子育て環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は50.2%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、  
「小菅ヶ谷地区」と「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「18～29歳」である。



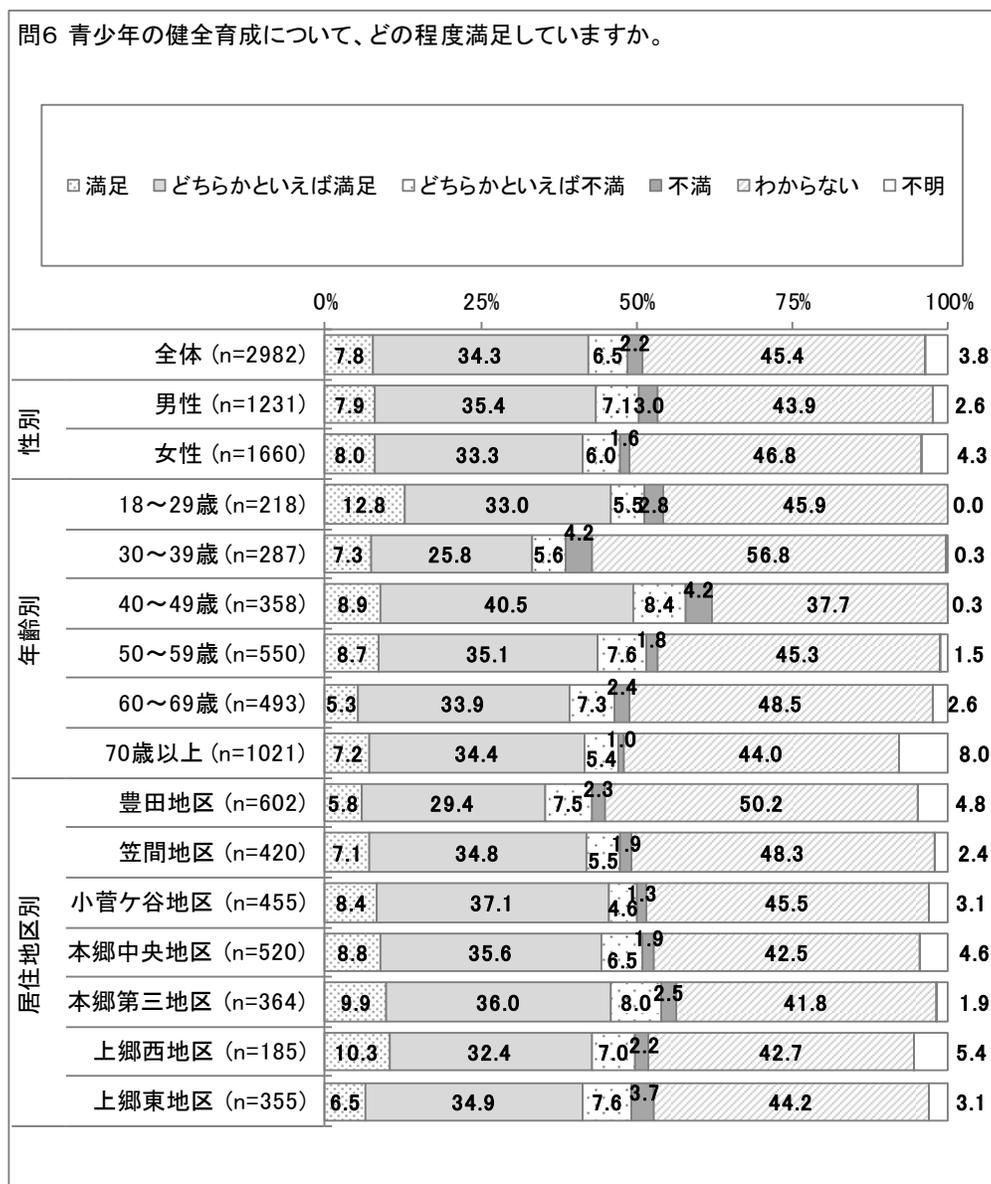
## ス 教育についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は47.0%である。
- ・年代別、居住地区別とも『満足』が全体に比べて多いものは見られなかった。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」と「豊田地区」である。



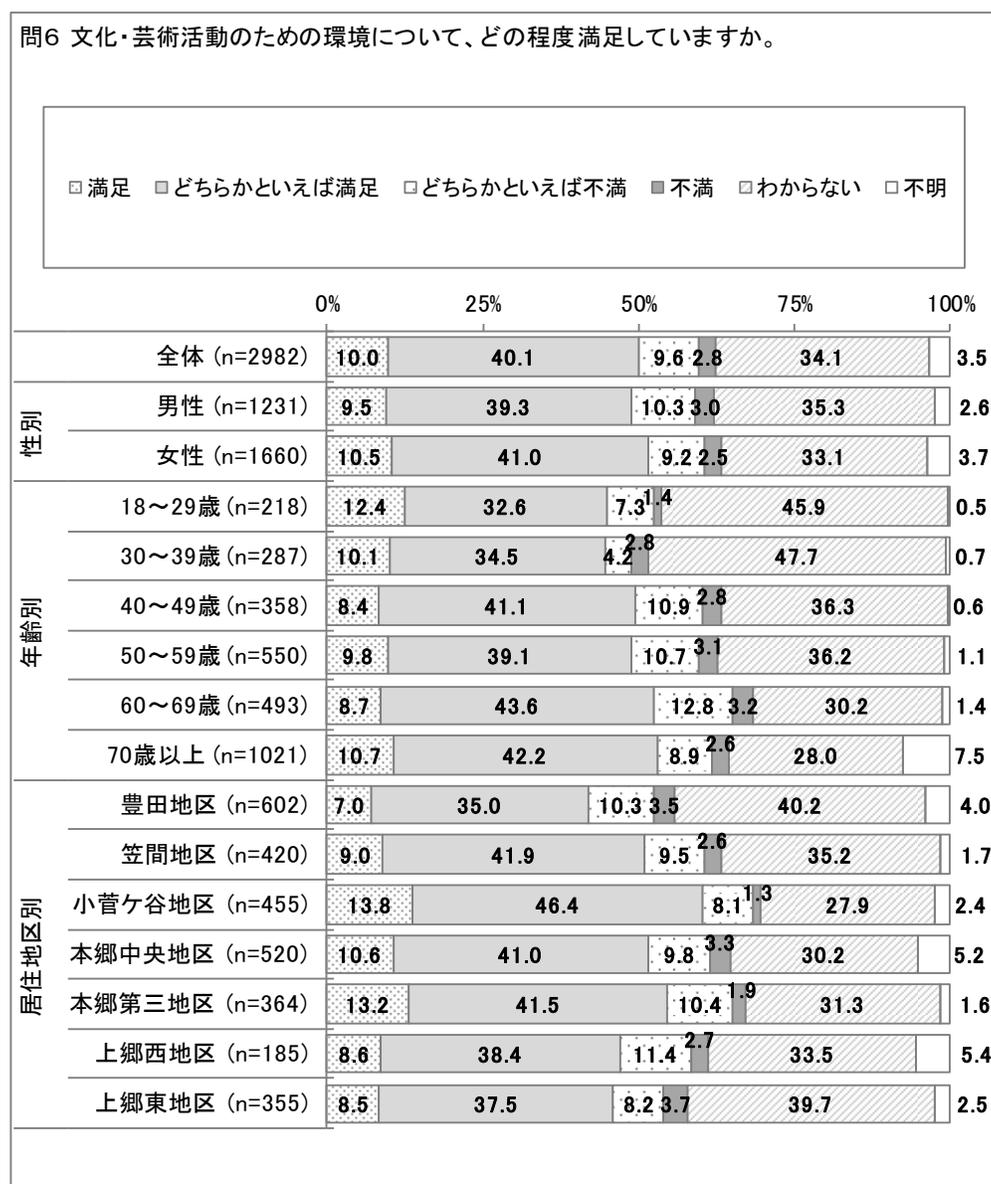
## セ 青少年の健全育成についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地 別

- ・全体の『満足』は42.1%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」と「豊田地区」である。



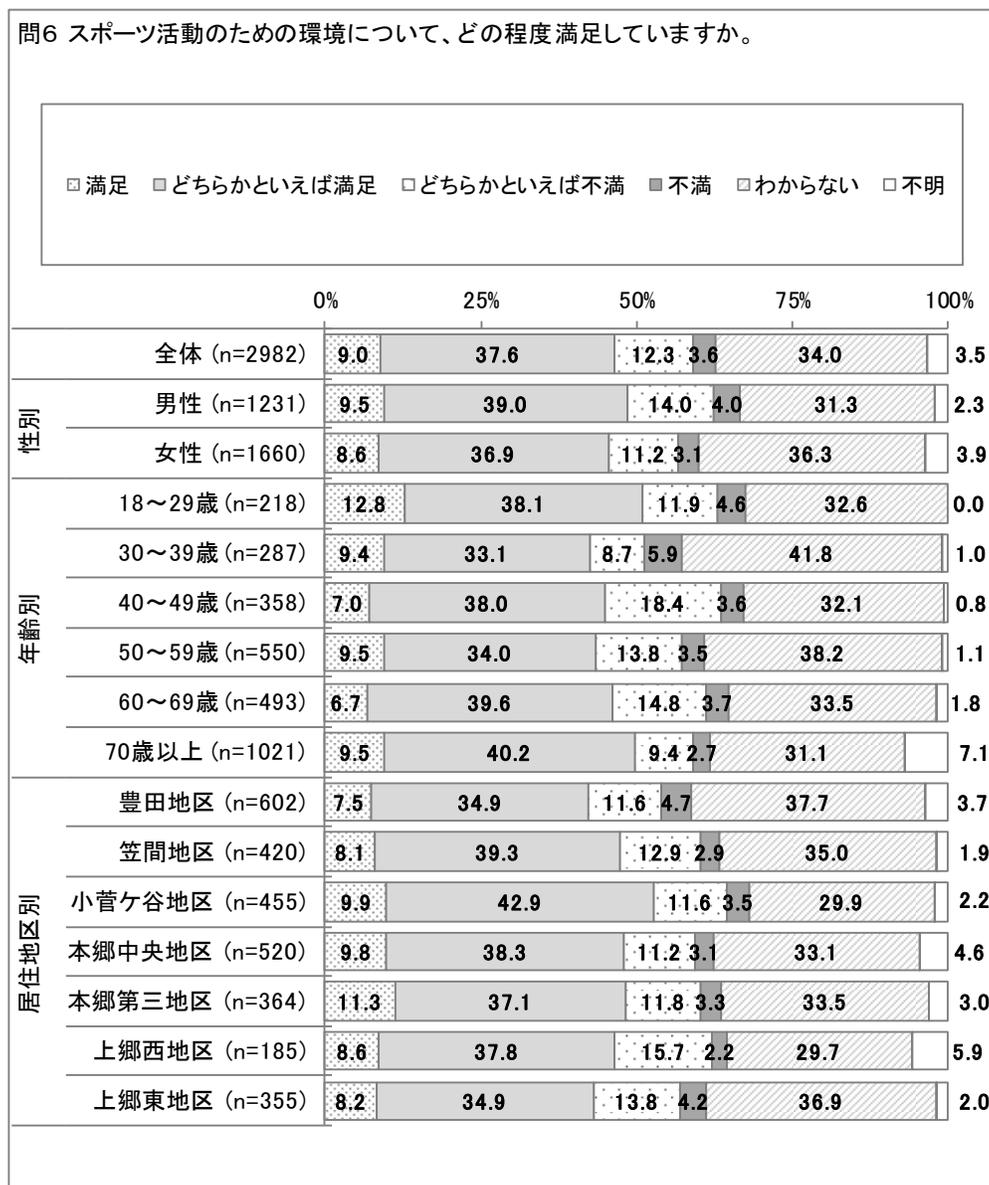
## ソ 文化・芸術活動のための環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は50.0%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「18～29歳」と「30～39歳」、「豊田地区」である。



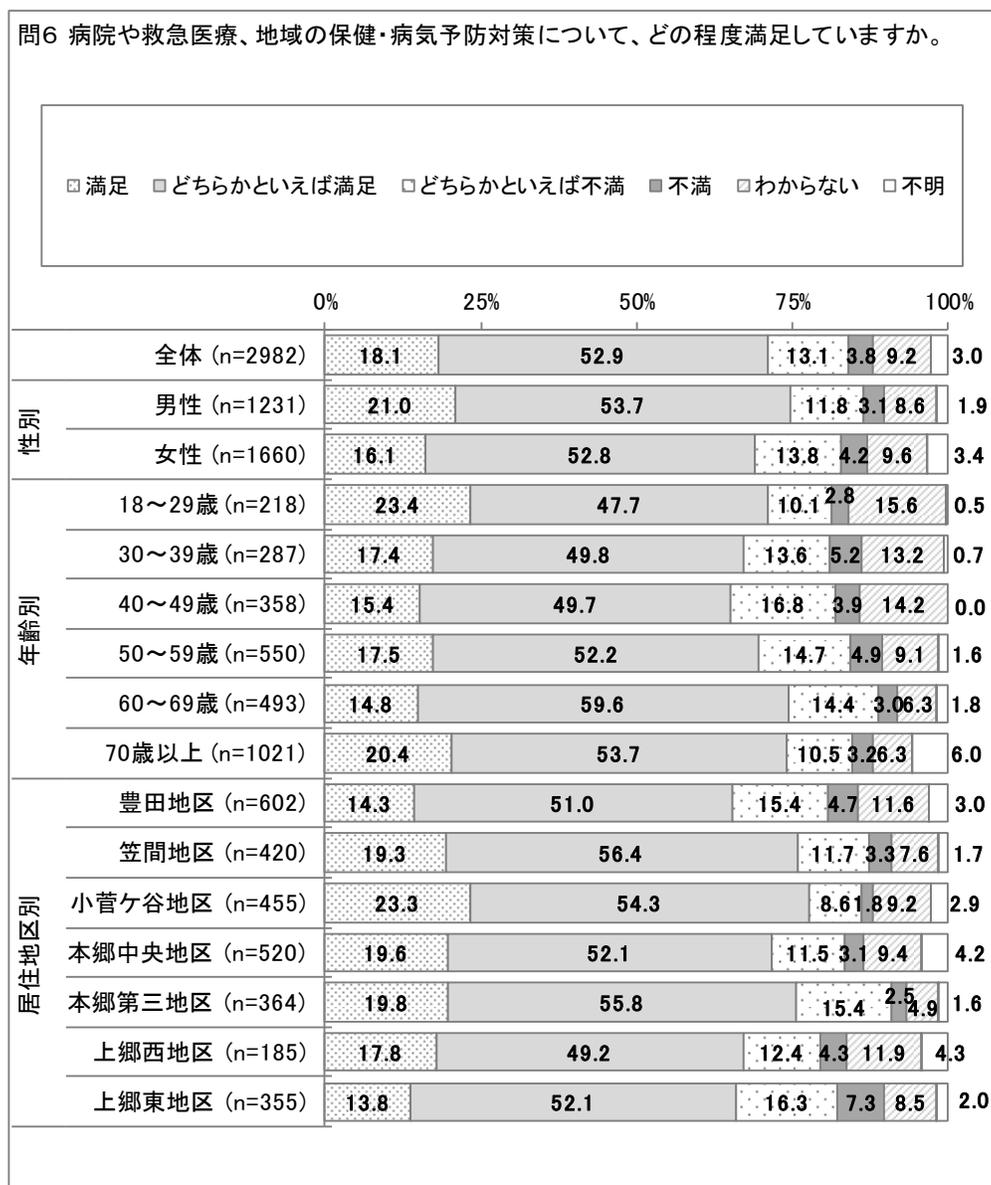
タ スポーツ活動のための環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は46.6%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」である。



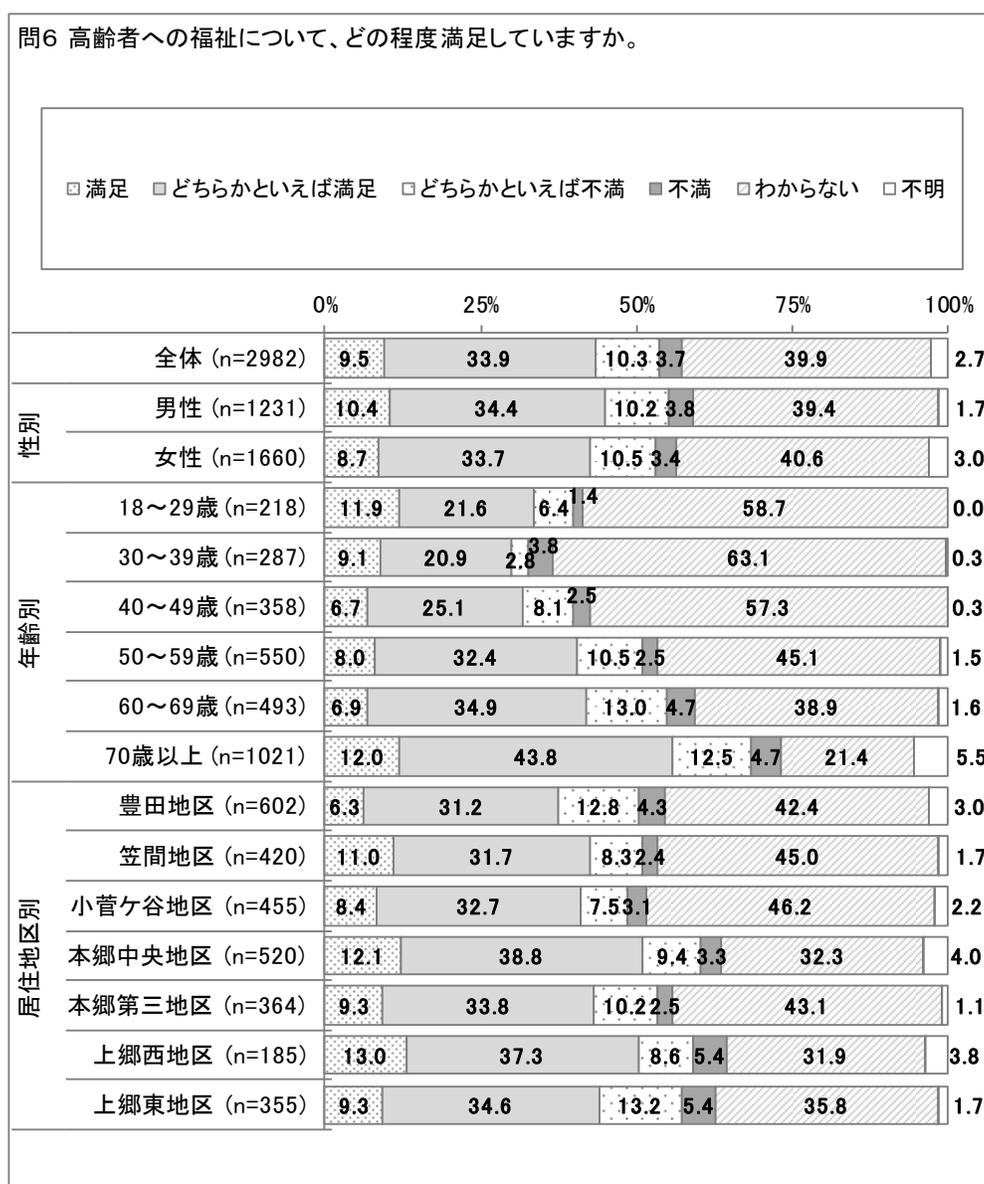
チ 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は71.0%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「40～49歳」、「豊田地区」、「上郷東地区」である。



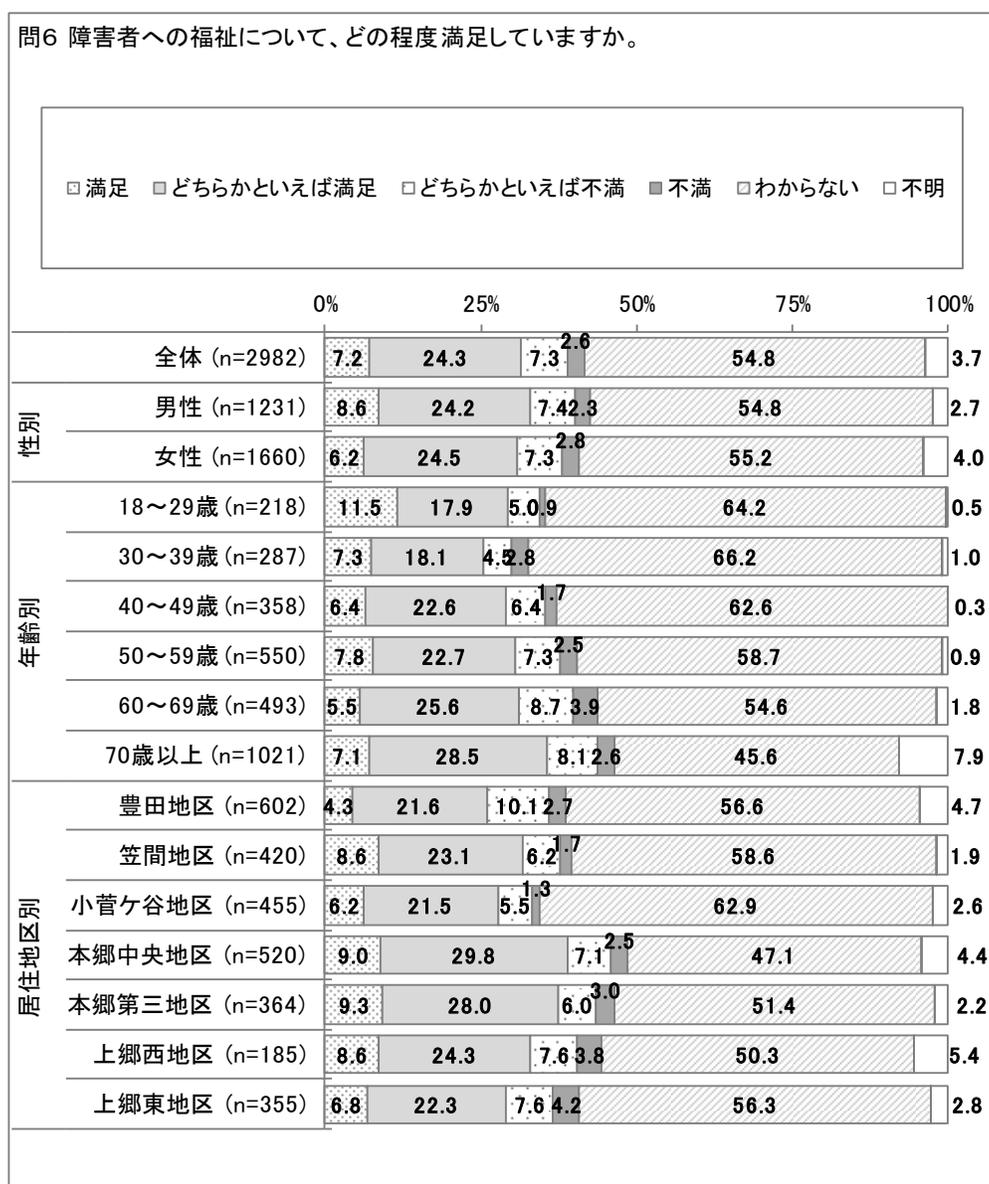
## ツ 高齢者への福祉についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は43.4%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「70歳以上」である。5ポイント以上多いのは、「本郷中央地区」、「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは「30～39歳」、5ポイント以上少ないのは「18～29歳」、「豊田地区」である。
- ・「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」では「わからない」が50%以上となっている。



## テ 障害者への福祉についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は31.5%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「本郷中央地区」と「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」、「豊田地区」である。
- ・「わからない」が全体の54.8%であり、「70歳以上」を除く各年代と「本郷中央地区」を除く居住地区で「わからない」が50%を超える。



ト 区民向け講座などの生涯学習の充実についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は33.6%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「70歳以上」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「18～29歳」、「40～49歳」である。
- ・「70歳以上」の各年代、「本郷中央地区」と「上郷西地区」以外の居住地区で「わからない」が50%を超えている。



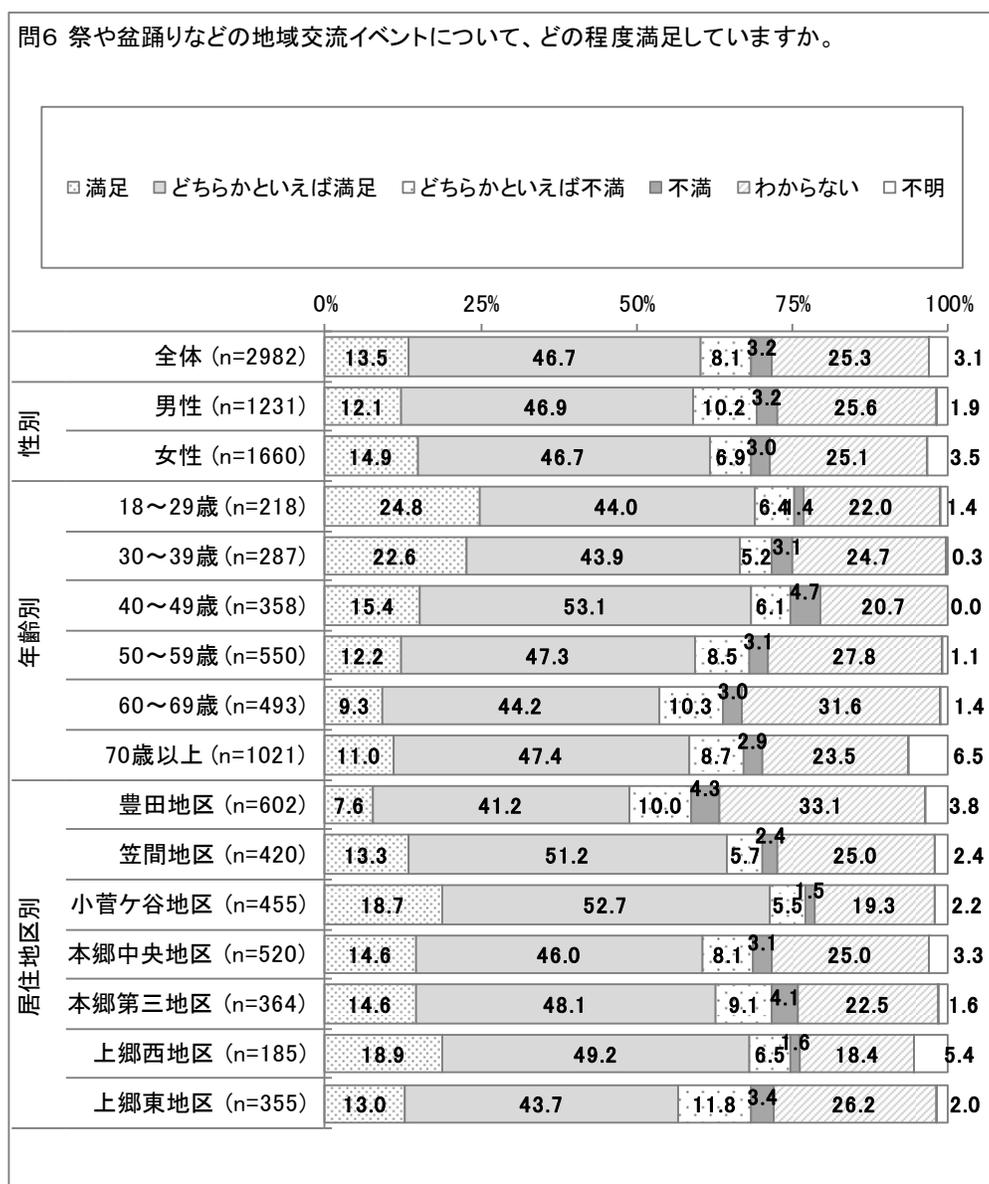
ナ 区民ボランティア活動に対する支援についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は31.1%である。
- ・「わからない」が全体の55.7%となっており、「70歳以上」を除く各年代と全ての居住地区で50%を超えている。



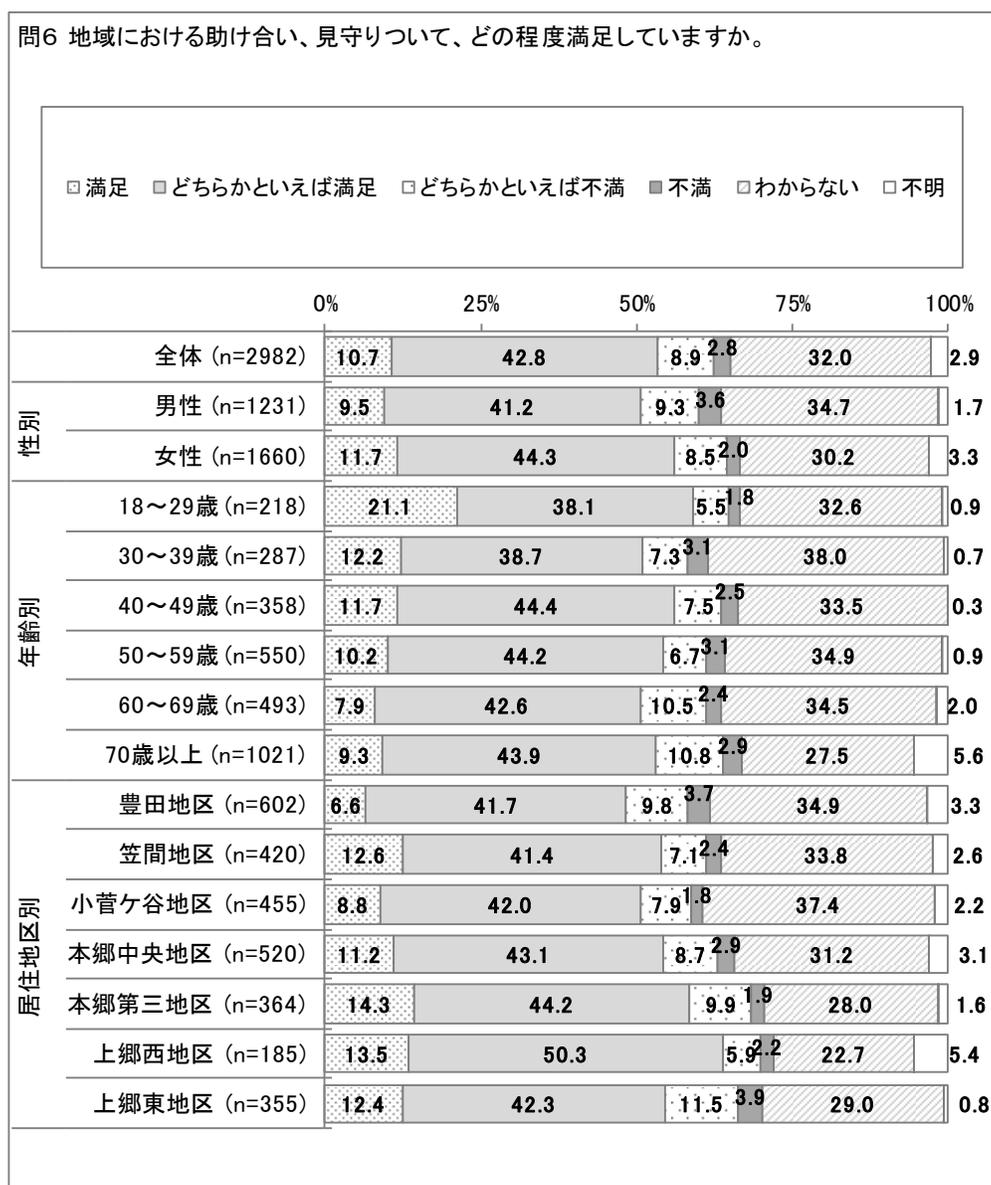
## 二 祭や盆踊りなどの地域交流イベントについての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は60.2%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「豊田地区」である。



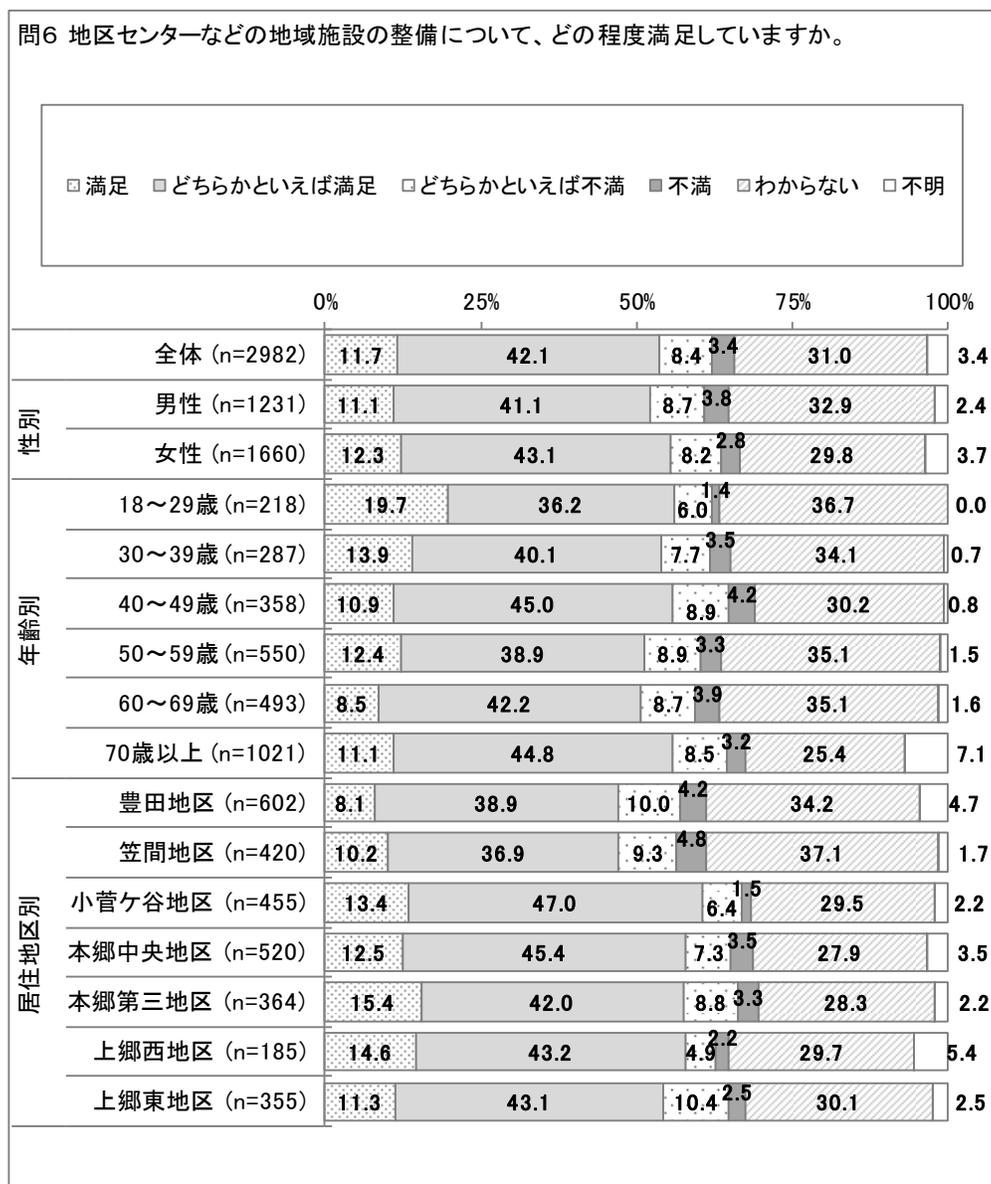
又 地域における助け合い、見守りについての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は53.5%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」、5ポイント以上多いのは「18～29歳」、「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「豊田地区」である。



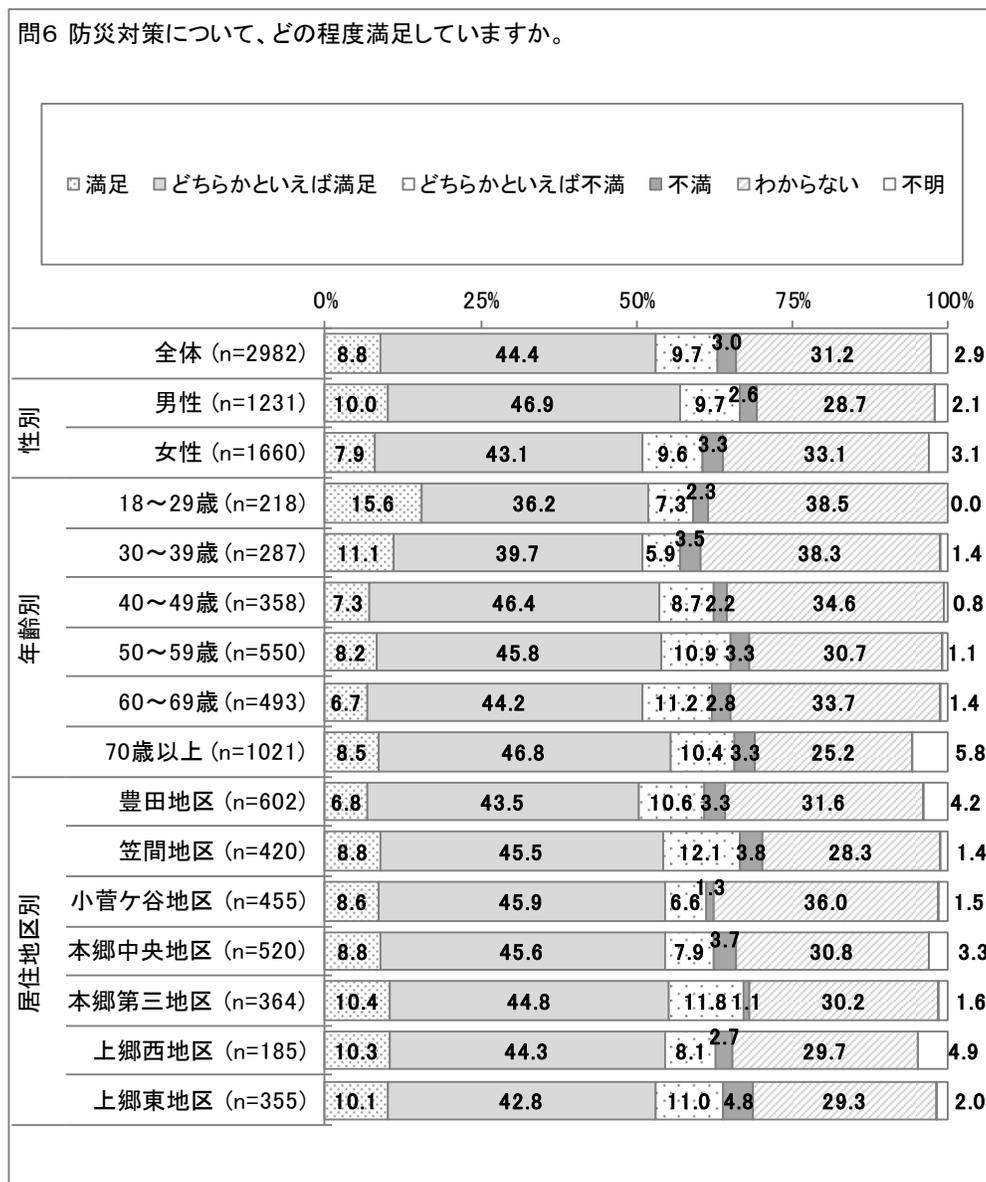
ネ 地区センターなどの地域施設の整備についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は53.8%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「豊田地区」、「笠間地区」である。



ノ 防災対策についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は53.2%である。
- ・『満足』の割合は、性別、年代別、居住地区別で見ても全体と比べ5ポイント以上の差は見られない。



## ハ 防犯対策についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

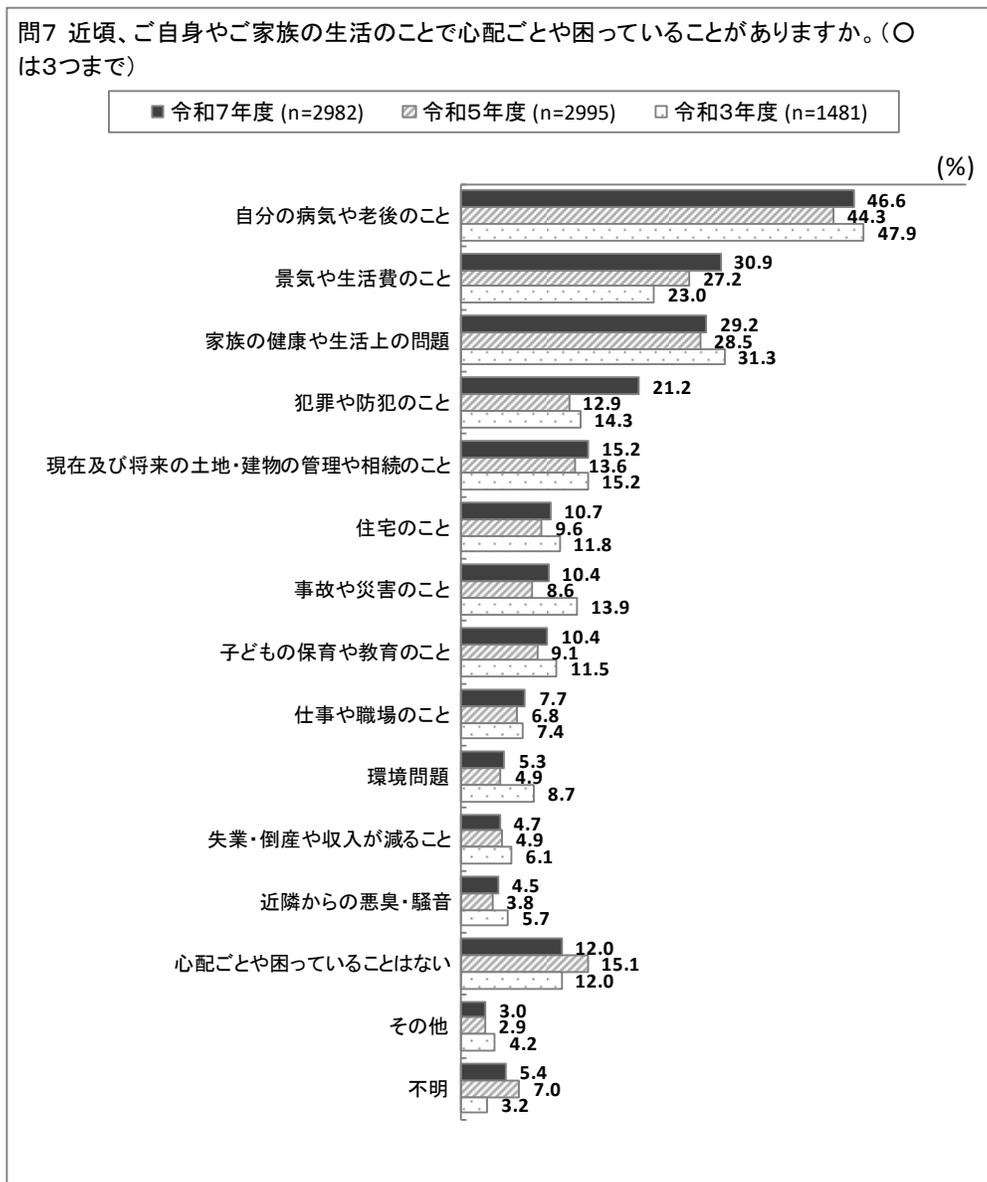
- ・全体の『満足』は48.0%である。
- ・『満足』の割合は、性別、年代別、居住地区別で見ても全体と比べ5ポイント以上の差は見られない。



### (3) 心配ごとや困っていること（問7）

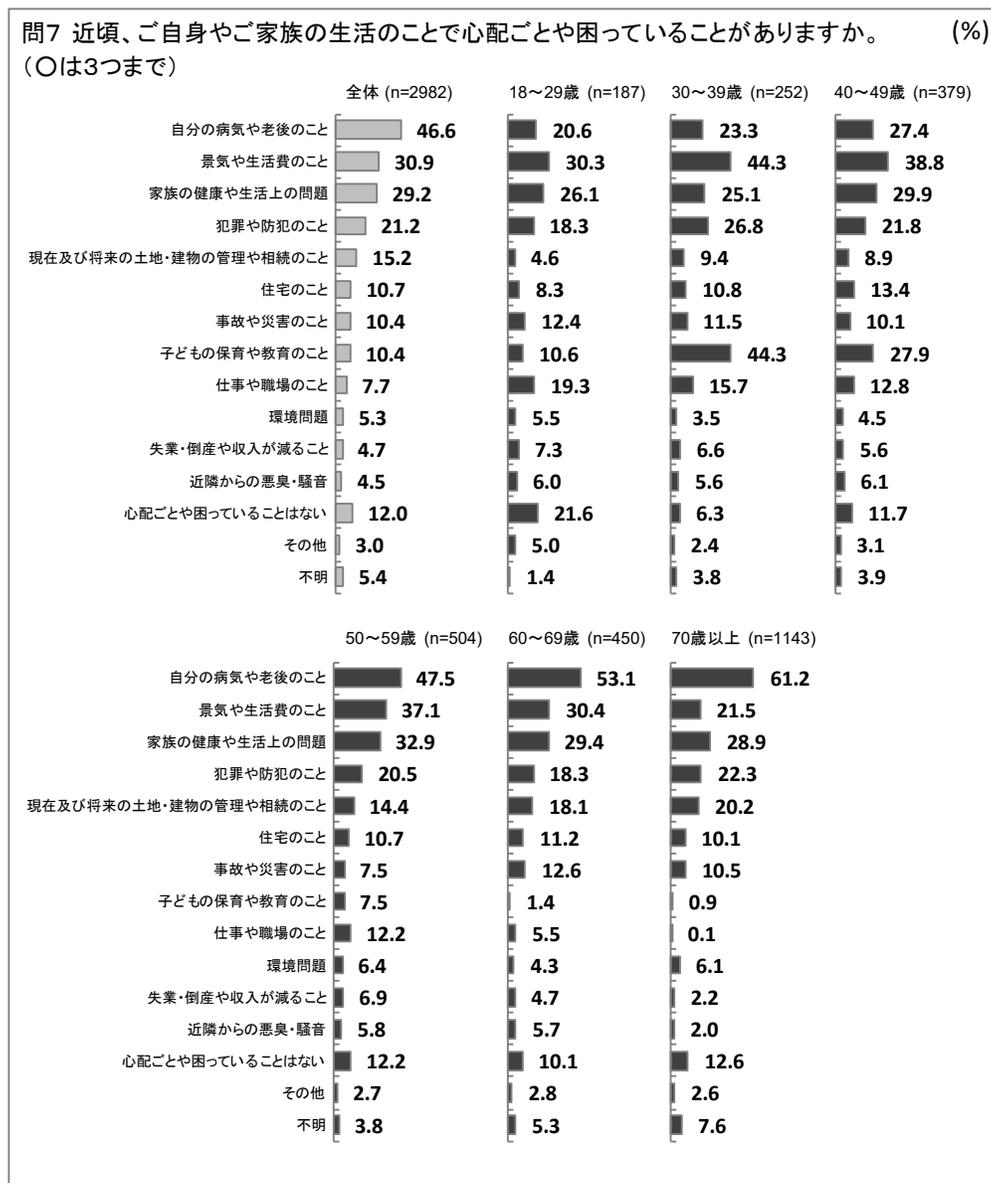
#### ア 心配ごとや困っていること：全体・時系列

- ・「自分の病気や老後のこと」（46.6%）が最も多く、「景気や生活費のこと」（30.9%）、「家族の健康や生活上の問題」（29.2%）、の順に続く。
- ・時系列で見ると「犯罪や防犯のこと」（8.3ポイント増）、「景気や生活費のこと」（3.7ポイント増）をはじめ、前回調査と比べ11項目で増加している。



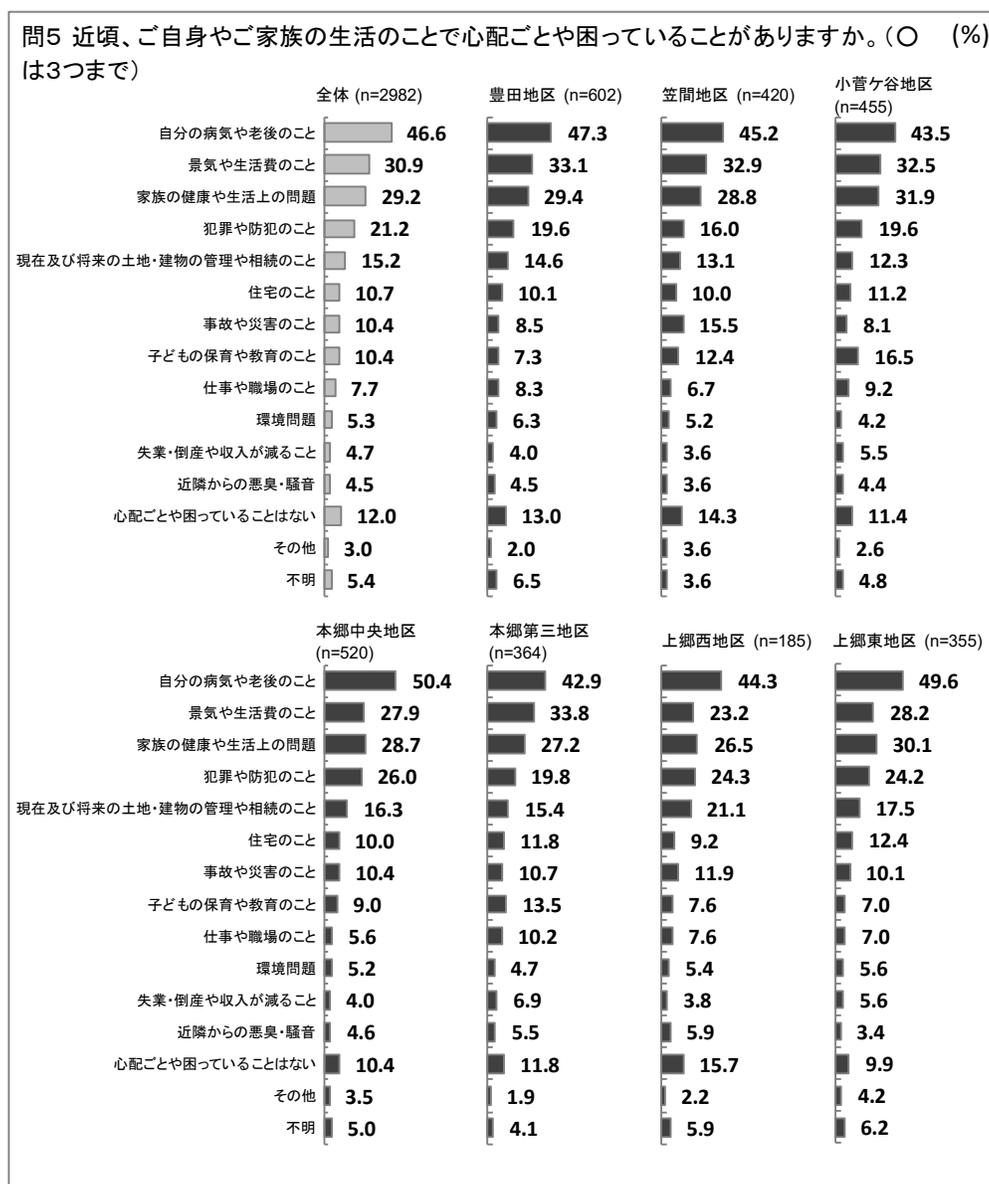
## イ 心配ごとや困っていること：年齢別

- ・年齢別では、「18～29歳」と「40～49歳」では「景気や生活費のこと」が最も多い回答で、「30～39歳」では「景気や生活費のこと」と「子どもの保育や教育のこと」が同率で1位に挙げられている。
- ・「50～59歳」から「70歳以上」では「自分の病気や老後のこと」が最も多い回答であり、「70歳以上」では約6割が回答している。



## ウ 心配ごとや困っていること：居住地区別

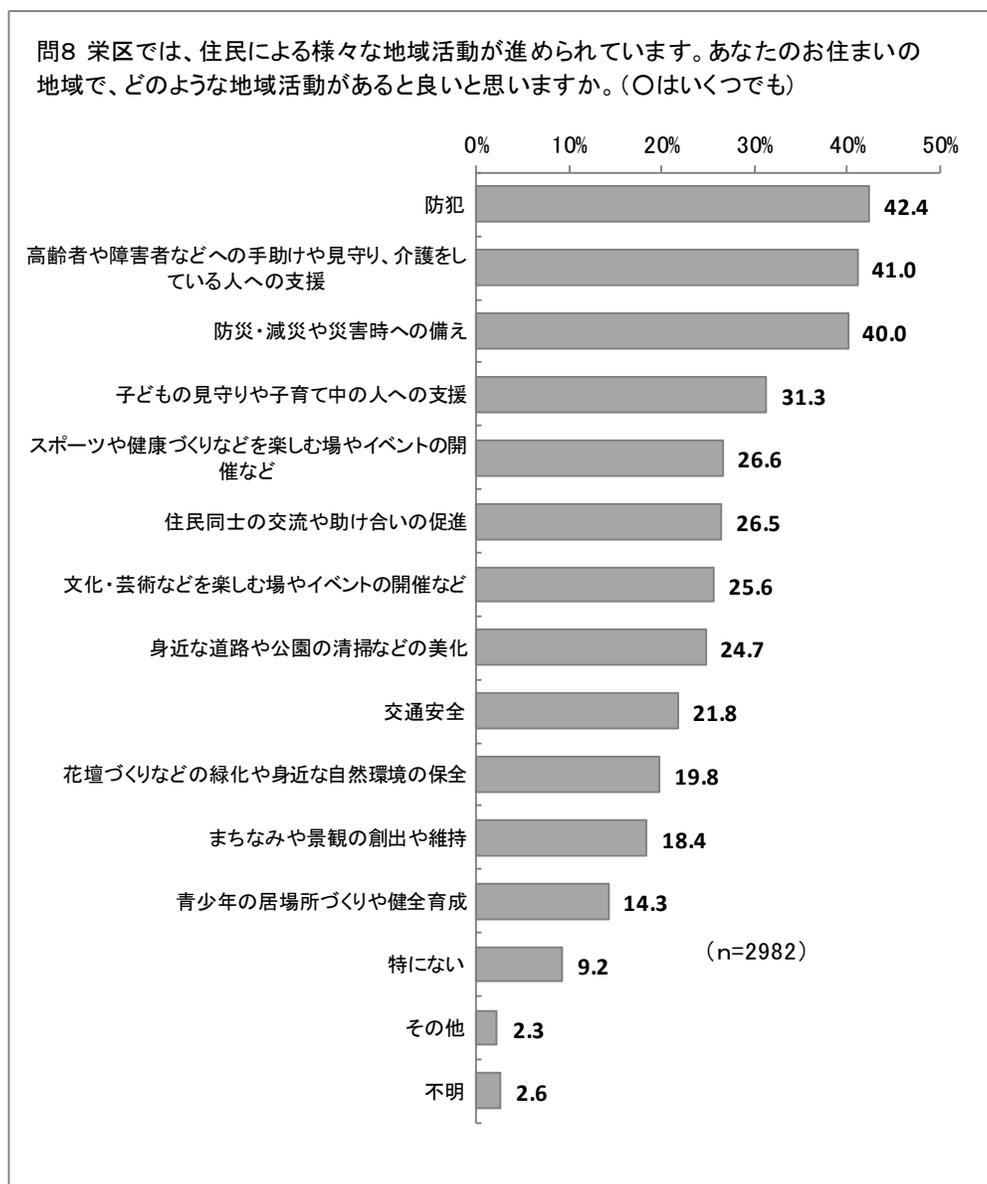
- ・居住地区別ではどの地区も「自分の病気や老後のこと」が最も多い回答であり、「景気や生活費のこと」と「家族の健康や生活上の問題」が上位3つの回答になっている。
- ・「笠間地区」では「事故や災害のこと」、「小菅ヶ谷地区」では「子どもの保育や教育のこと」が全体より5ポイント以上多くなっている。「上郷西地区」では「景気や生活費のこと」が全体より7.7ポイント下回っている。



#### (4) お住まいの地域にあると良い地域活動（問8）

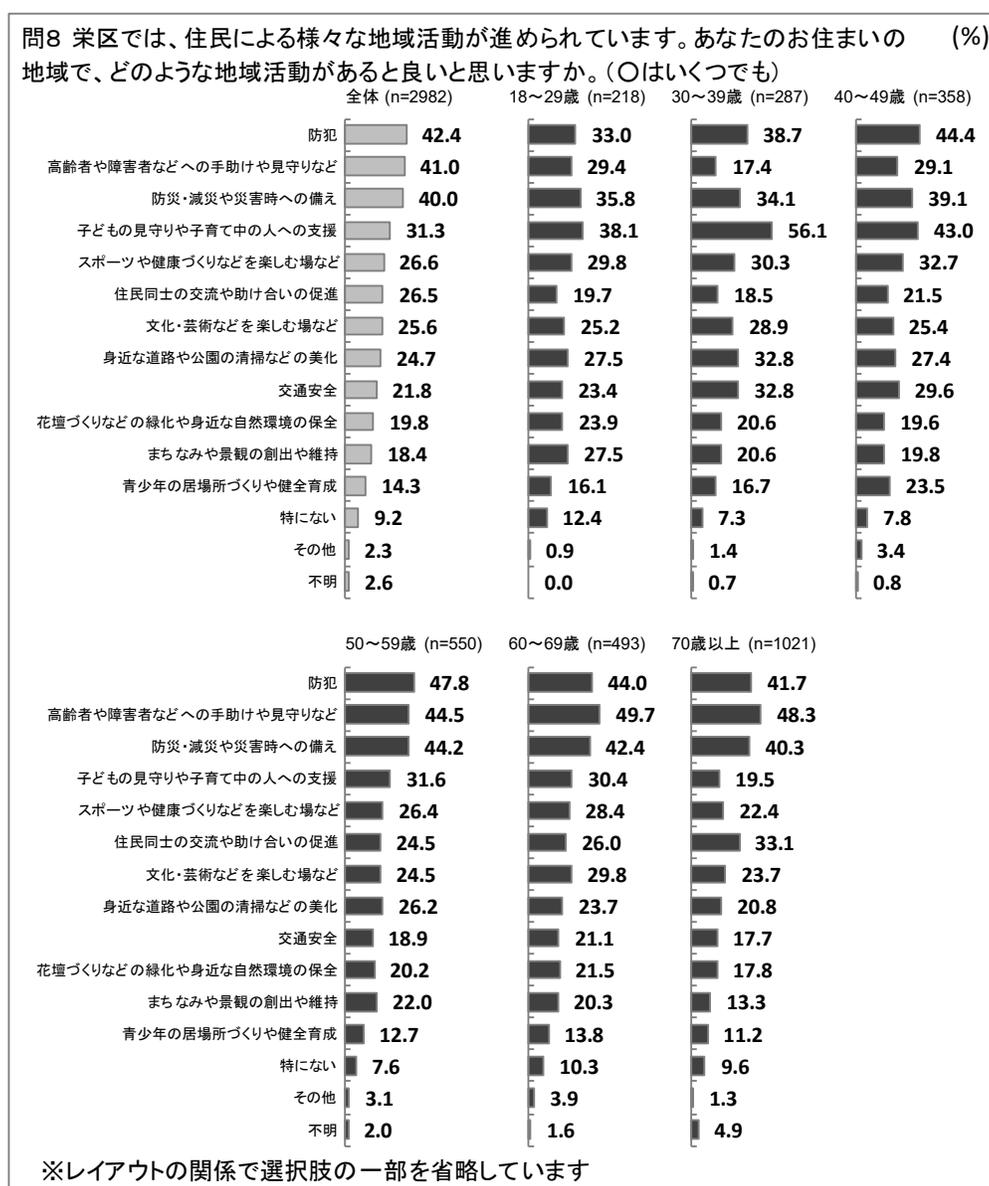
##### ア お住まいの地域にあると良い地域活動：全体

- ・「防犯」（42.4%）が最も多く、「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」（41.0%）、「防災・減災や災害時の備え」（40.0%）の順に続く。



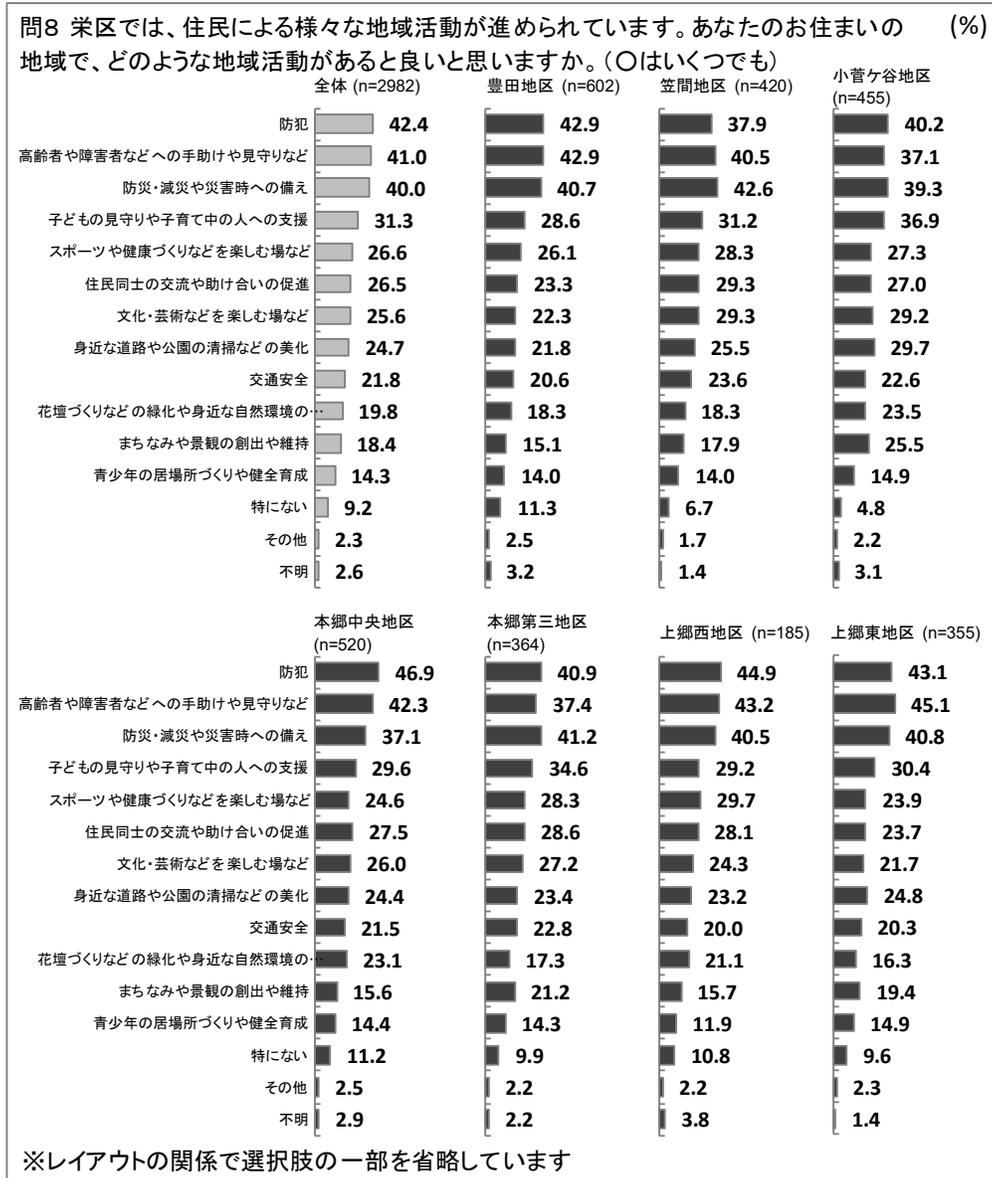
## イ お住まいの地域にあると良い地域活動：年齢別

- ・年齢別では、「18～29歳」と「30～39歳」では「子どもの見守りや子育て中の人への支援」が最も多い回答で、とりわけ「30～39歳」では全体を24.8ポイント上回っている。「40～49歳」では「防犯」に次いで「子どもの見守りや子育て中の人への支援」が挙げられ、全体を11.7ポイント上回っている。
- ・「60～69歳」と「70歳以上」では「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が最も多い回答であり、5割近い回答となっている。



## ウ お住まいの地域にあると良い地域活動：居住地区別

- ・「笠間地区」と「本郷第三地区」では「防災・減災や災害時の備え」が最も多い回答である。
- ・「上郷東地区」では「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が最も多い回答である。

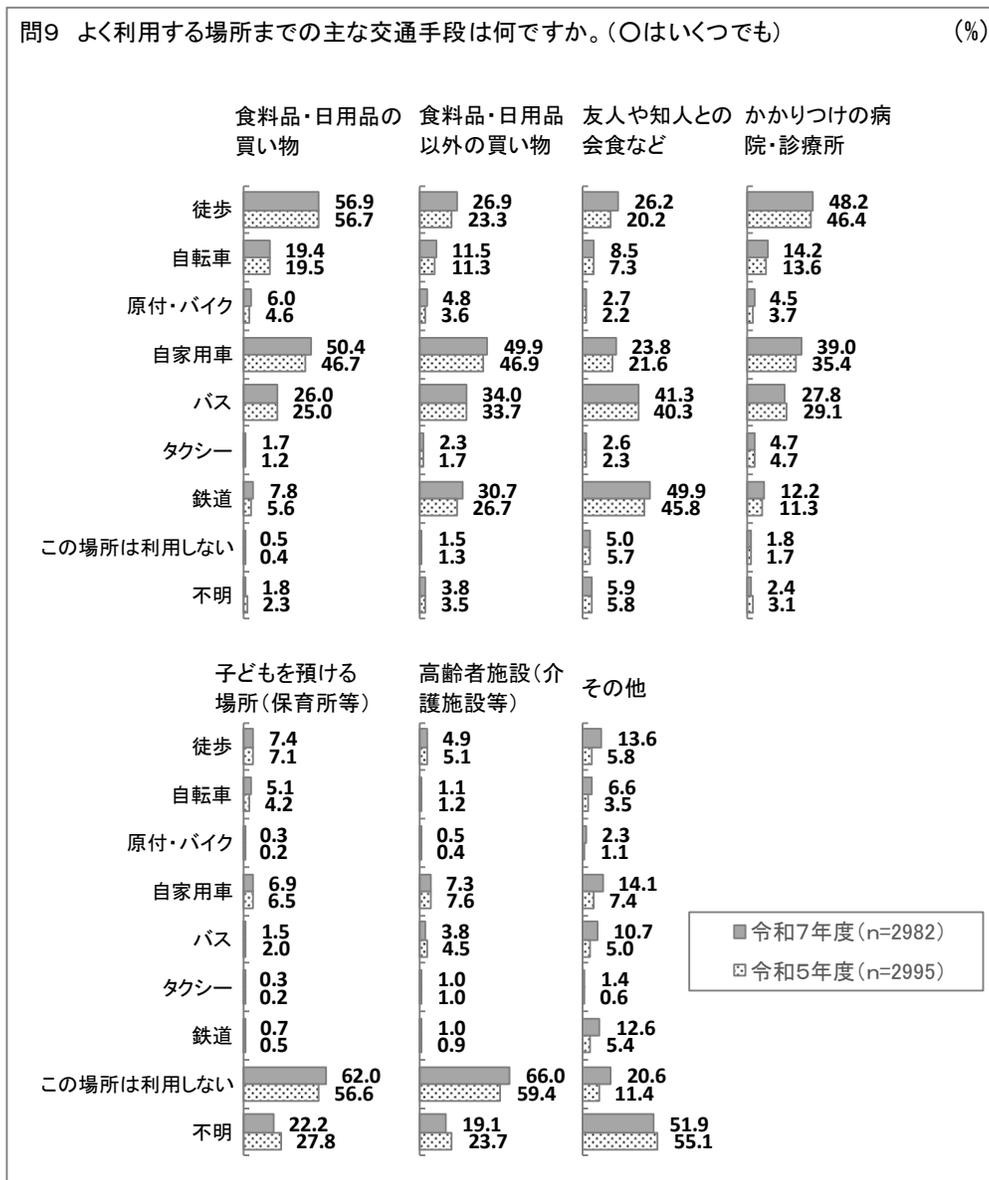


## 4 道路・交通について

### (1) よく利用する場所までの主な交通手段（問9）

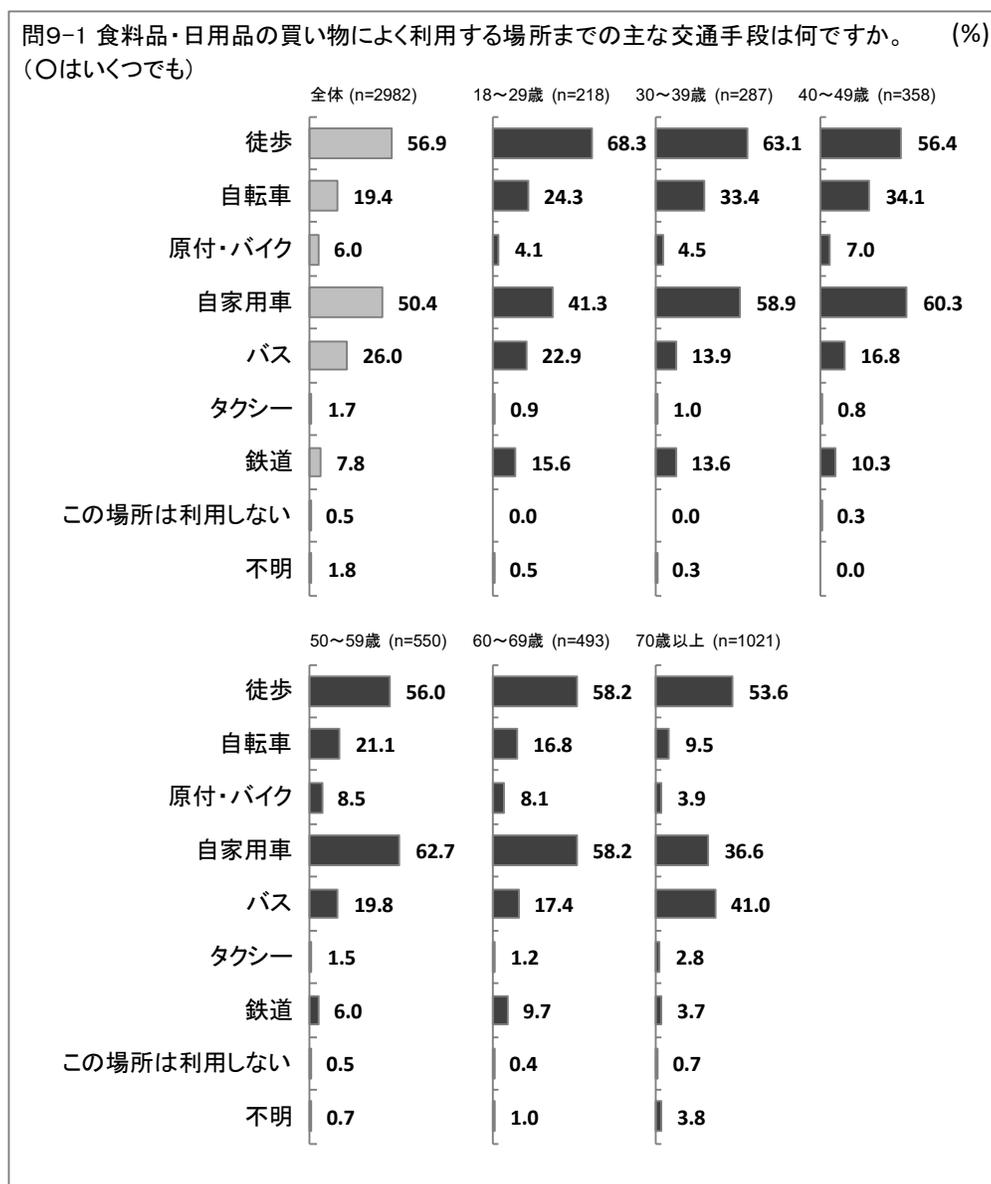
#### ア よく利用する場所までの主な交通手段：全体・時系列

- ・「食料品・日用品の買い物」と「かかりつけの病院・診療所」までの交通手段としては「徒歩」が最も多く、「食料品・日用品以外の買い物」では「自家用車」、「友人や知人との会食など」では鉄道が最も多く使われている。
- ・前回調査と比べ、ほぼ同様の結果となっている。



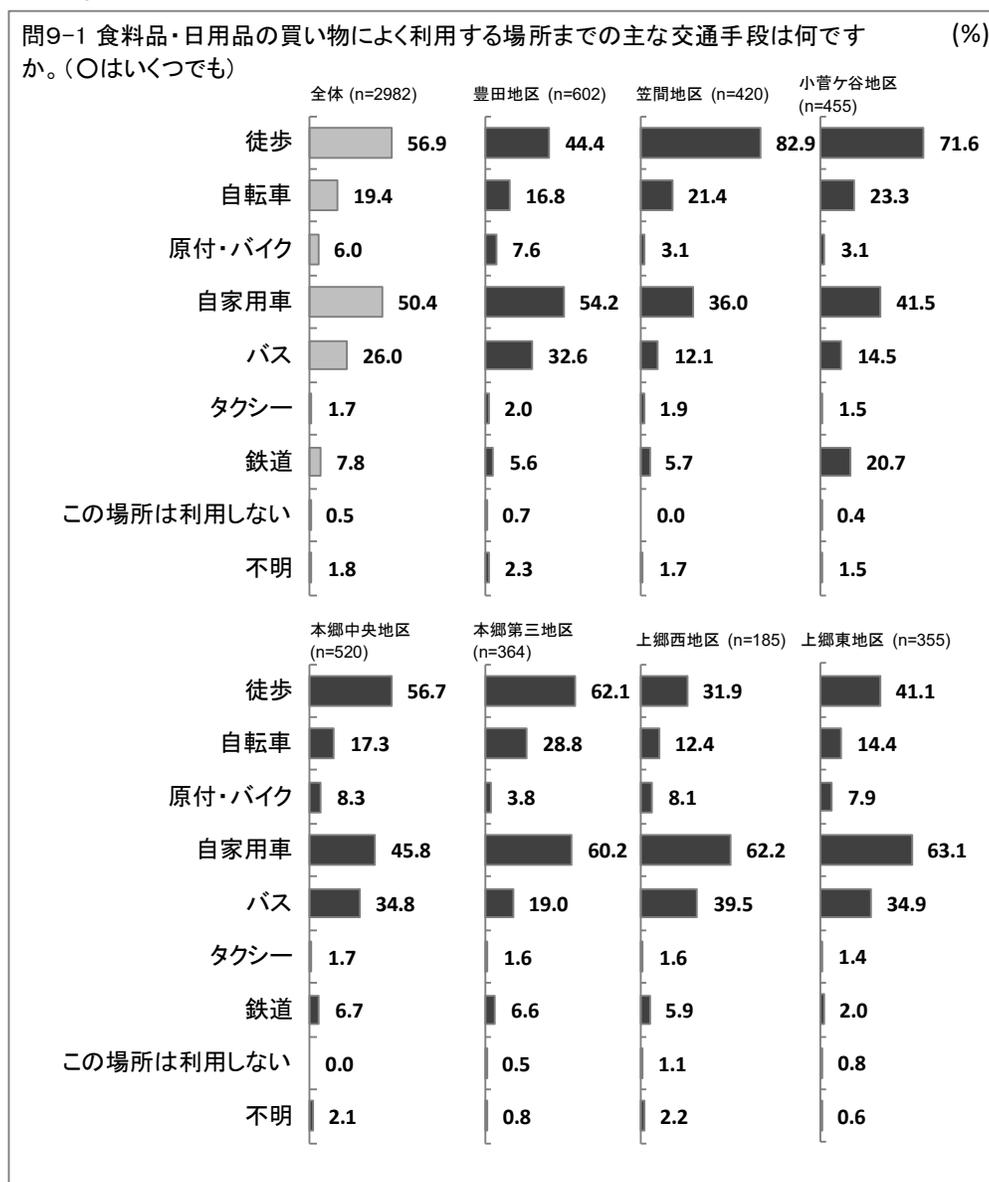
イ 食料品・日用品の買い物によく利用する場所までの主な交通手段：  
年齢別

- ・「18～29歳」、「30～39歳」では「徒歩」が最も多く、「自家用車」が続く。「60～69歳」では「徒歩」と「自家用車」が同率で最も多い。
- ・「40～49歳」と「50～59歳」では「自家用車」が最も多く、「徒歩」が続く。
- ・「70歳以上」は「徒歩」が最も多く、「バス」が続く。「バス」の割合が全体より15.0ポイント多い。



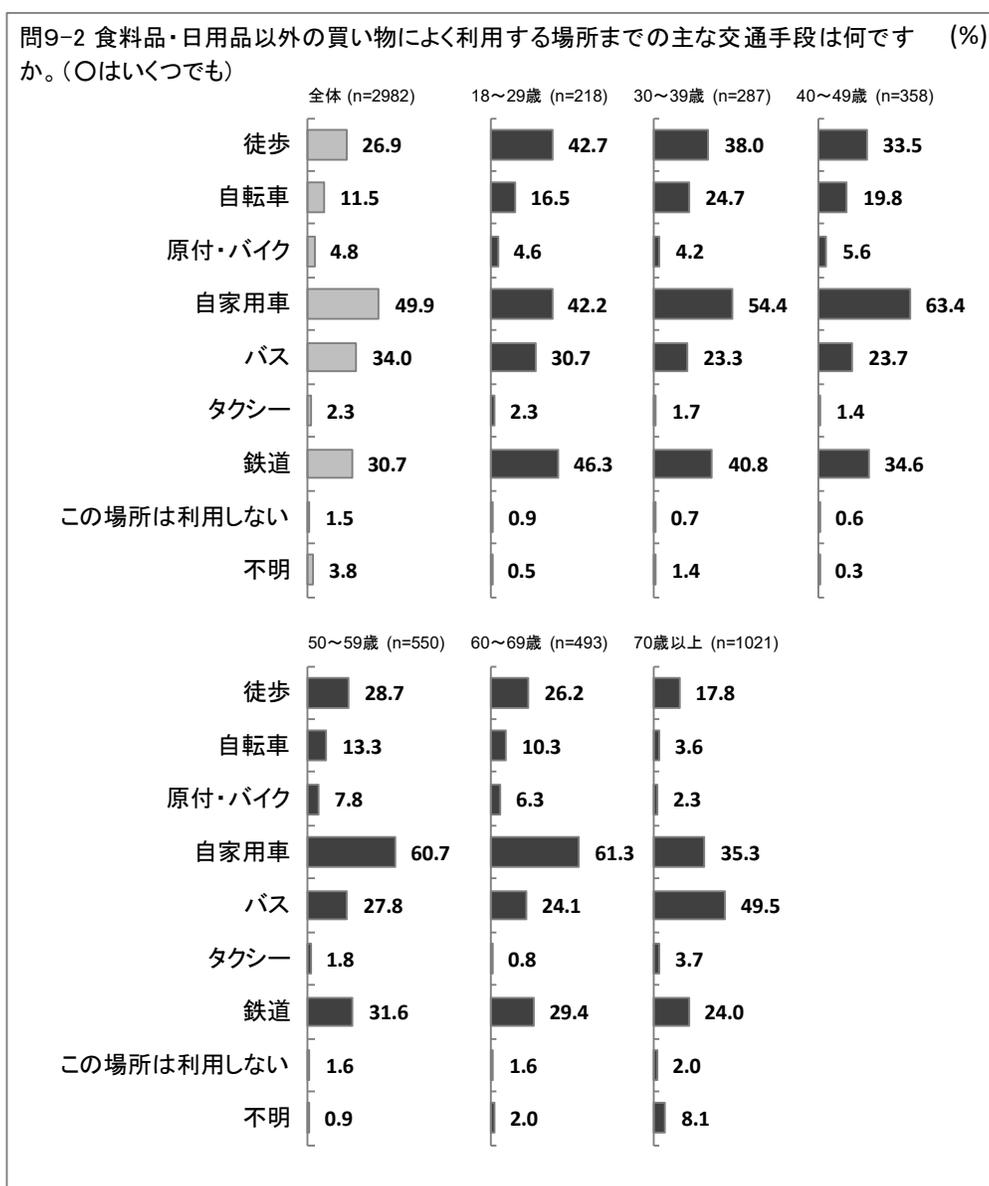
ウ 食料品・日用品の買い物によく利用する場所よく利用する場所までの  
 の主な交通手段：居住地区別

- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」では、「徒歩」が最も多く、特に「笠間地区」では82.9%と全体より26.0ポイント多い。
- ・「豊田地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多い回答で、いずれも5割を超えている。「本郷第三地区」では「自家用車」が2番目の回答であるが、60.2%と6割を超えている。



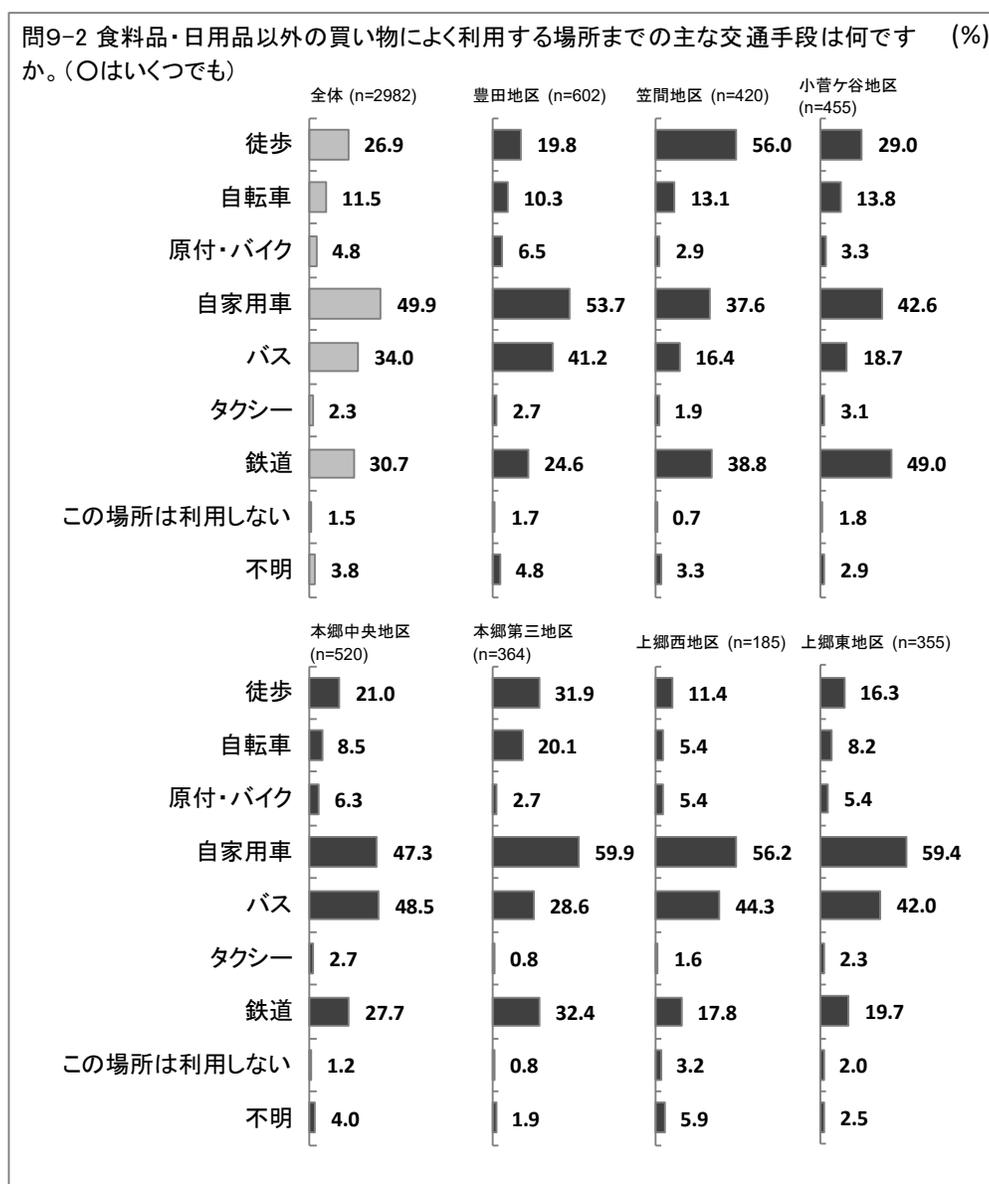
エ 食料品・日用品以外の買い物によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「18～29歳」と「70歳以上」を除く各年代で「自家用車」が最も多い回答である。
- ・「18～29歳」では「鉄道」（46.3%）が最も多く、全体より15.6ポイント多い。
- ・「70歳以上」では「バス」が最も多く、「自家用車」、「鉄道」の順に続く。「バス」の割合は49.5%で全体より15.5ポイント多い。



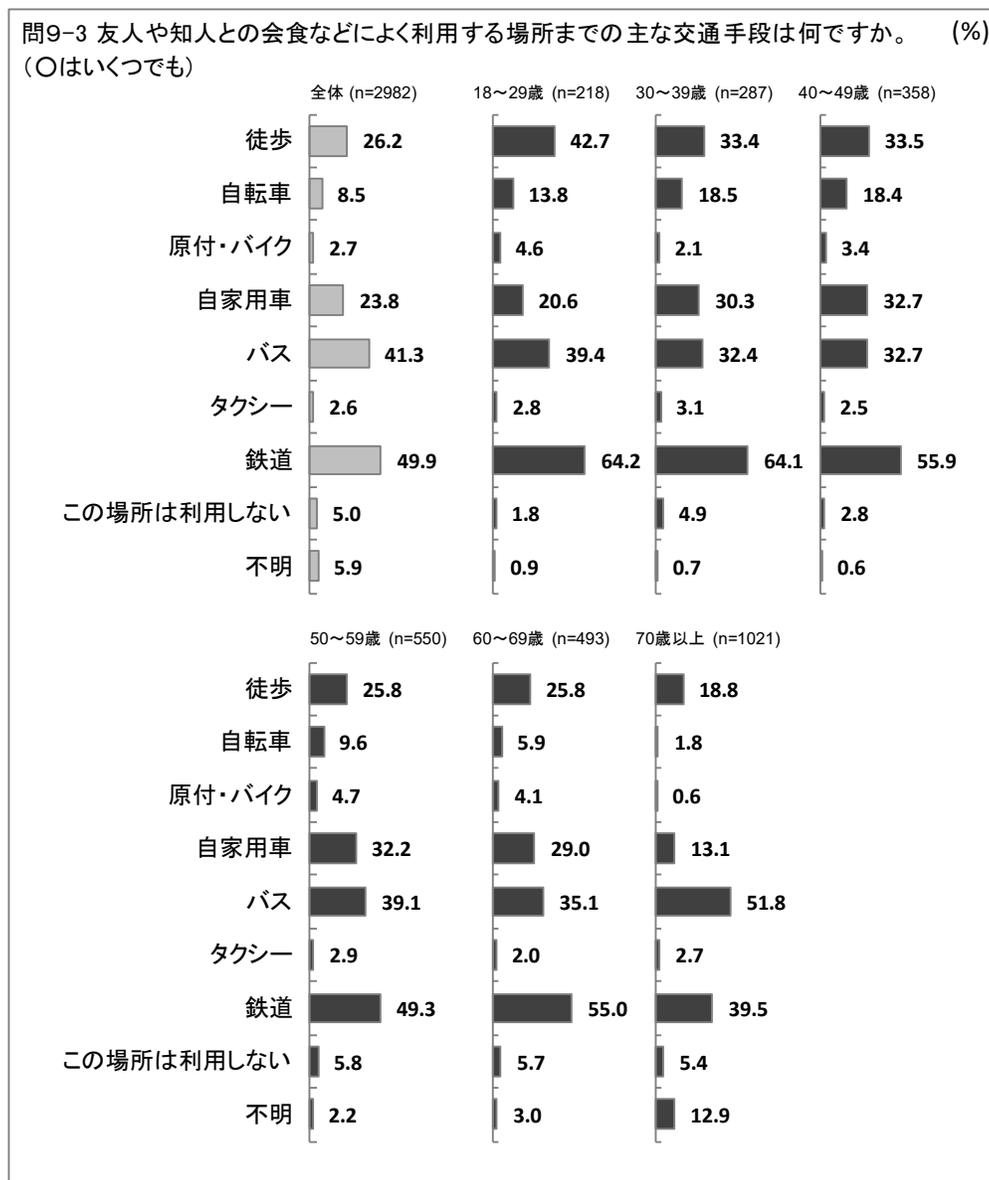
オ 食料品・日用品以外の買い物によく利用する場所よく利用する場所  
までの主な交通手段：居住地区別

- ・「豊田地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多く、「バス」が続く。
- ・「笠間地区」は「徒歩」が56.0%と最も多く、全体より29.1ポイント多い。
- ・「小菅ヶ谷地区」は「鉄道」が最も多く、「自家用車」、「徒歩」と続く。
- ・「本郷中央地区」では「バス」が最も多く、「自家用車」が続く。
- ・「本郷第三地区」では「自家用車」が最も多く、「鉄道」、「徒歩」の順に続く。



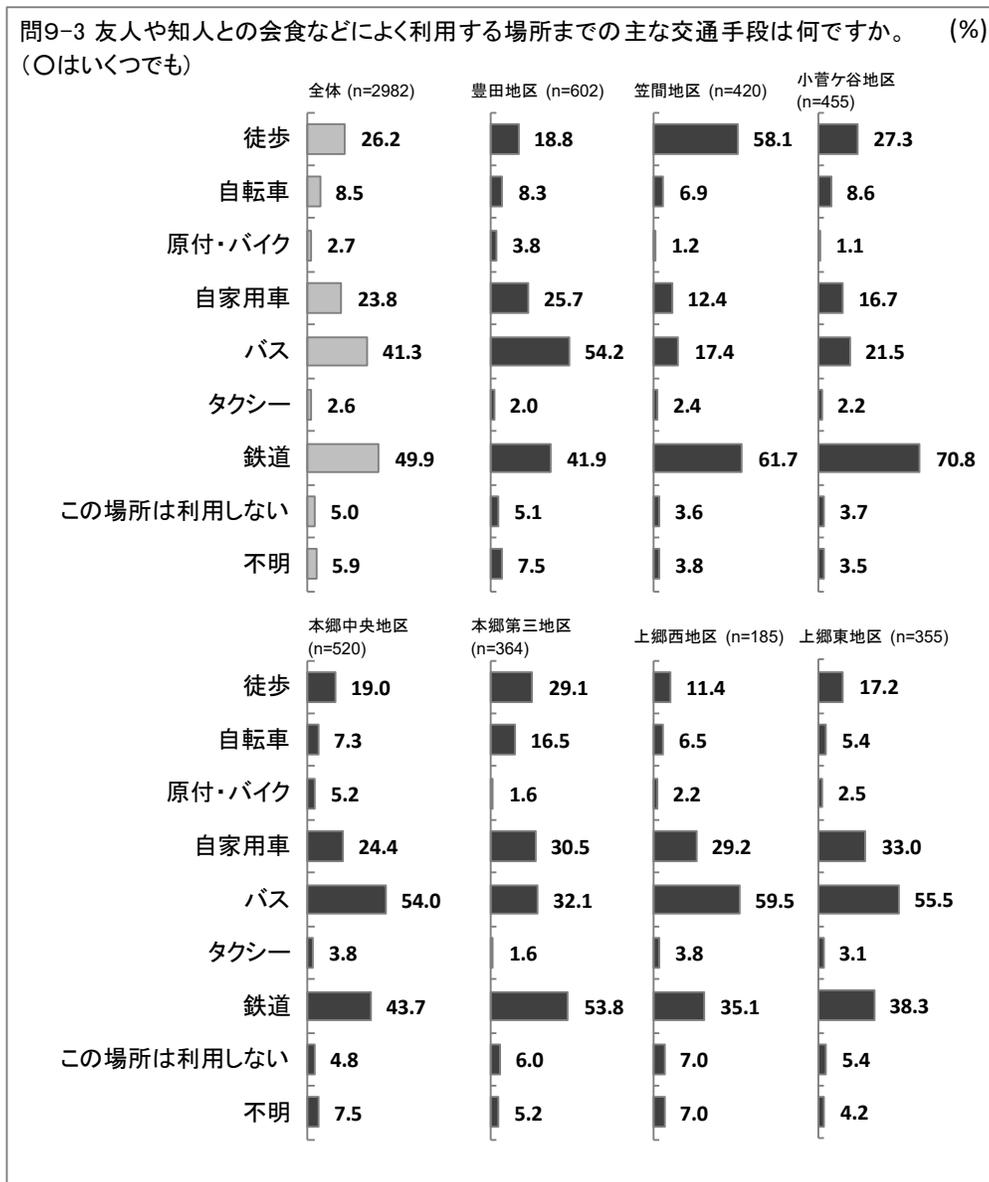
カ 友人や知人との会食などによく利用する場所よく利用する場所までの  
 の主な交通手段：年齢別

- ・「70歳以上」を除く各年代で「鉄道」が最も多く、「18～29歳」と「30～39歳」は6割を超えている。
- ・「70歳以上」では「バス」が最も多く、「鉄道」が続く。「バス」は全体より10.5ポイント多い。



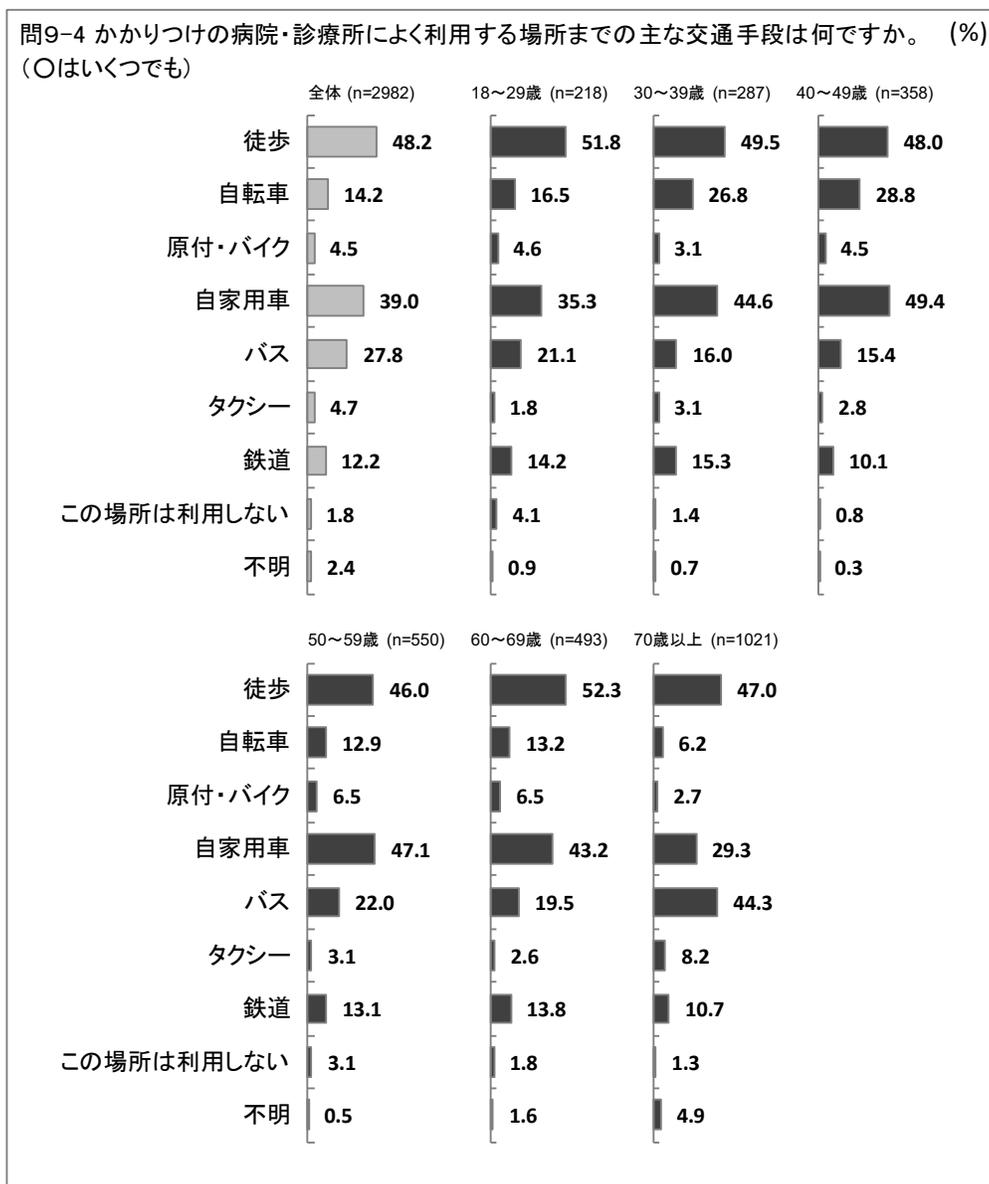
キ 友人や知人との会食などによく利用する場所よく利用する場所までの  
 主な交通手段：居住地区別

- ・「笠間地区」と「小菅ヶ谷地区」では「鉄道」が最も多く、「徒歩」、「バス」の順に続く。「笠間地区」ではとりわけ「徒歩」の割合が多く全体より 31.9 ポイント多い。
- ・「本郷第三地区」では「鉄道」が最も多く、「バス」、「自家用車」が続く。
- ・「豊田地区」、「本郷中央地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「バス」が最も多く、「鉄道」、「自家用車」の順に続く。



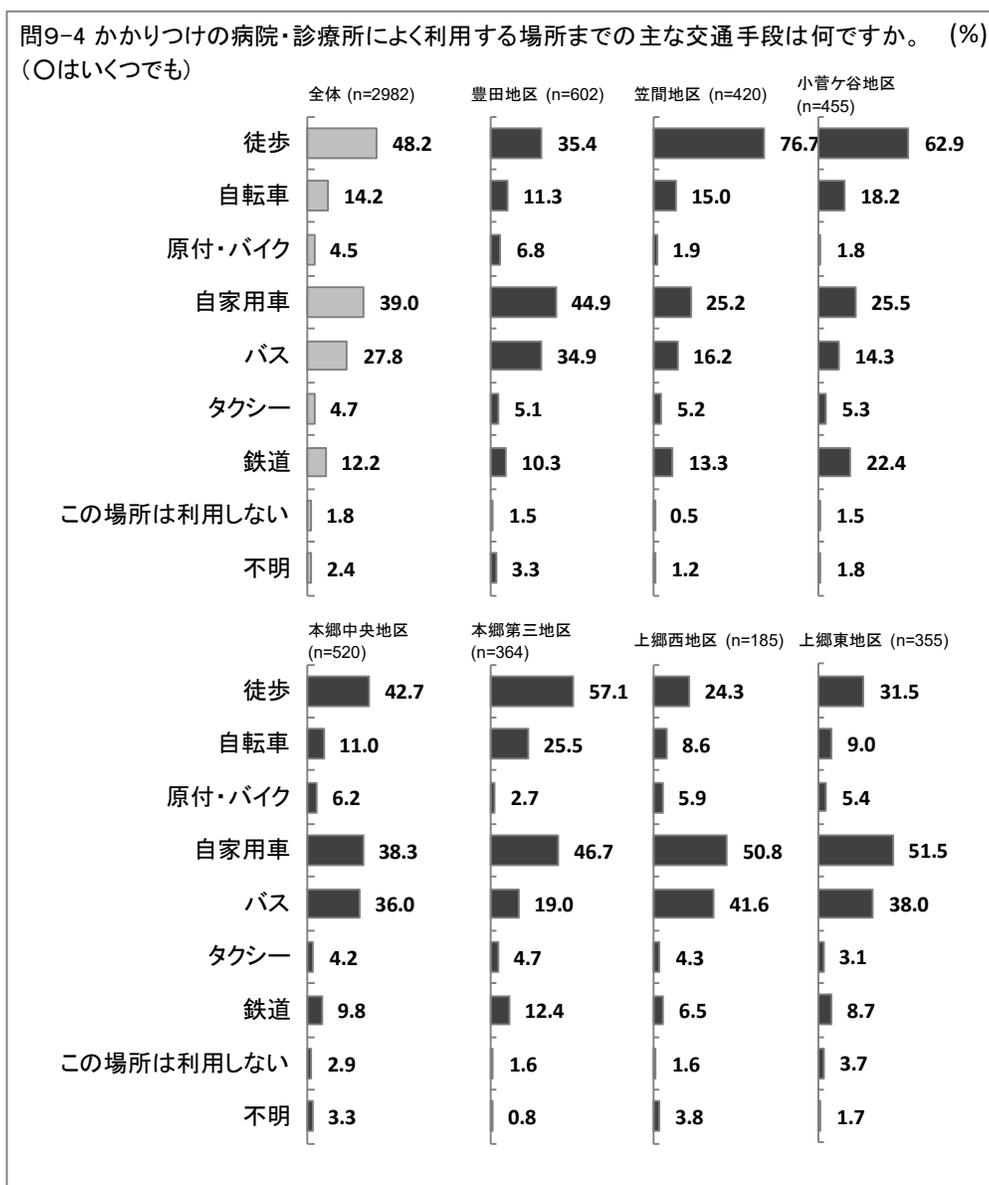
ク かかりつけの病院・診療所によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「40～49歳」と「50～59歳」は「自家用車」が最も多く、それ以外の年代は「徒歩」が最も多い。
- ・「70歳以上」では「徒歩」の次に「バス」が多く、「バス」は全体より16.5ポイント多い。



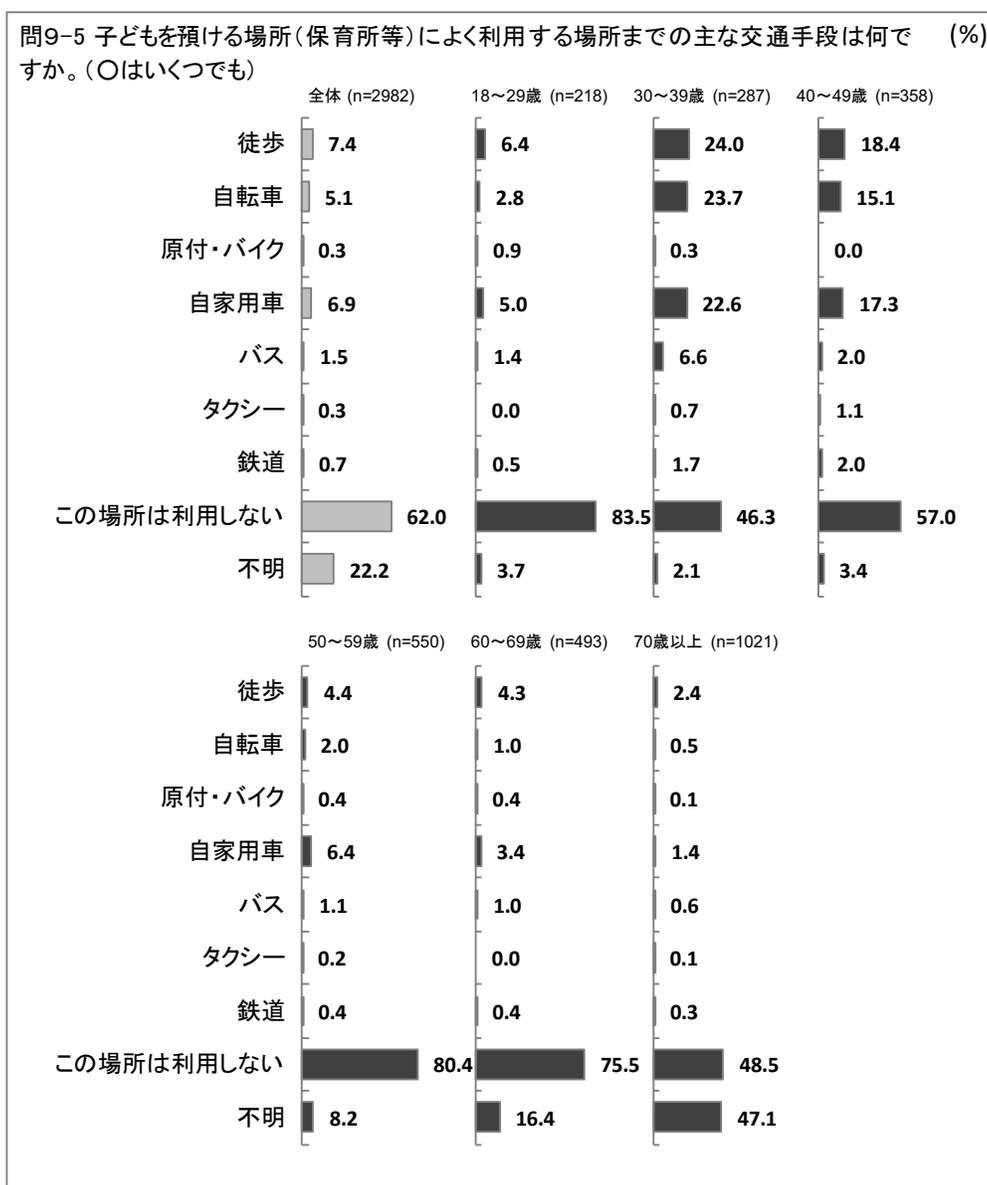
ケ かかりつけの病院・診療所によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」では「徒歩」が最も多く、とりわけ「笠間地区」では全体より28.5ポイント多い。
- ・「豊田地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多い。



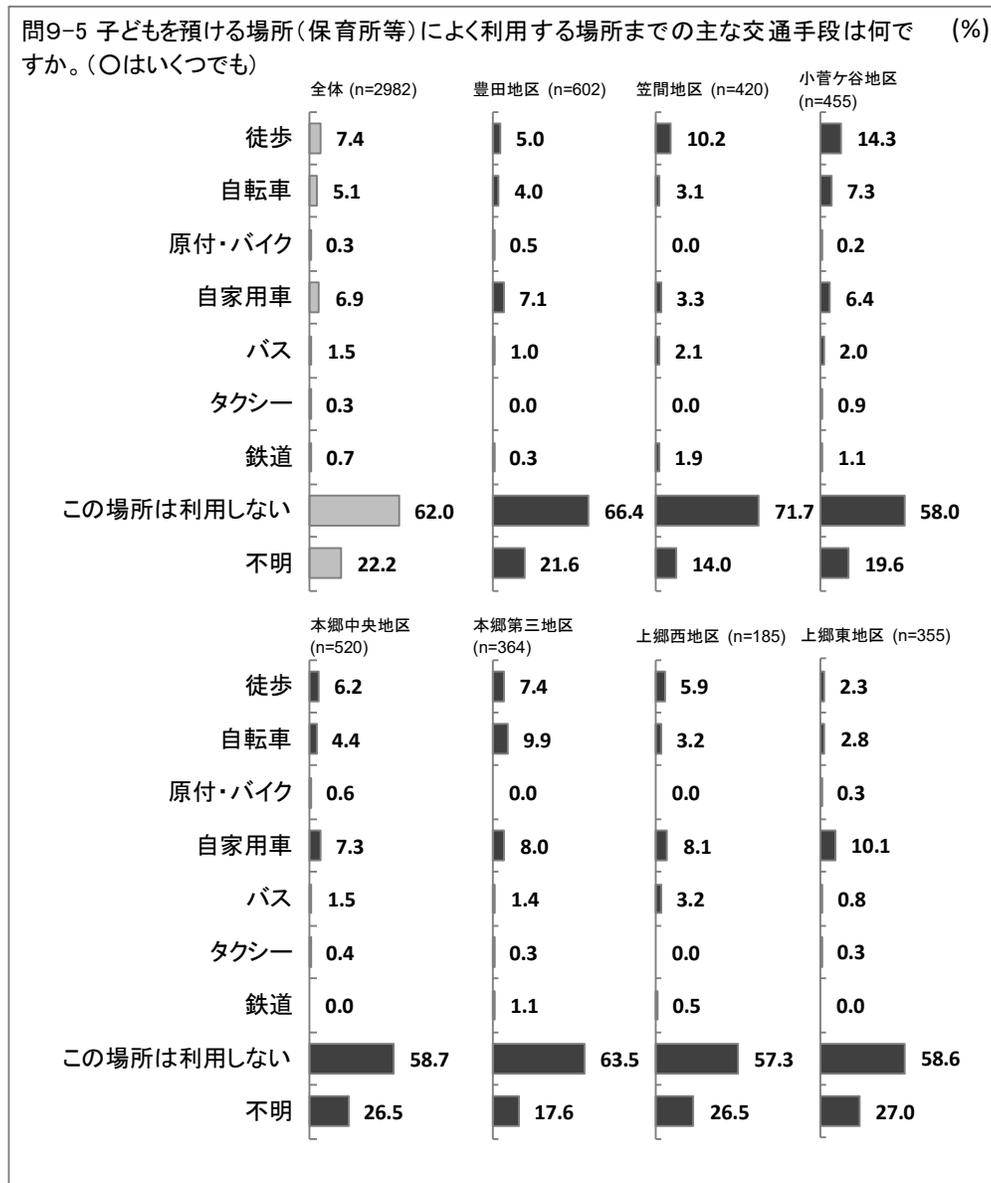
コ 子どもを預ける場所（保育所等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「30～39歳」、「40～49歳」を除く各年代で「この場所を利用しない」と「不明」の合計が8割を超えている。
- ・「30～39歳」では「この場所を利用しない」を除くと「徒歩」(24.0%)が最も多く、「自転車」(23.7%)、「自家用車」(22.6%)の順に続く。
- ・「40～49歳」では「この場所を利用しない」を除くと「徒歩」(18.4%)が最も多く、「自家用車」(17.3%)、「自転車」(15.1%)の順に続く。



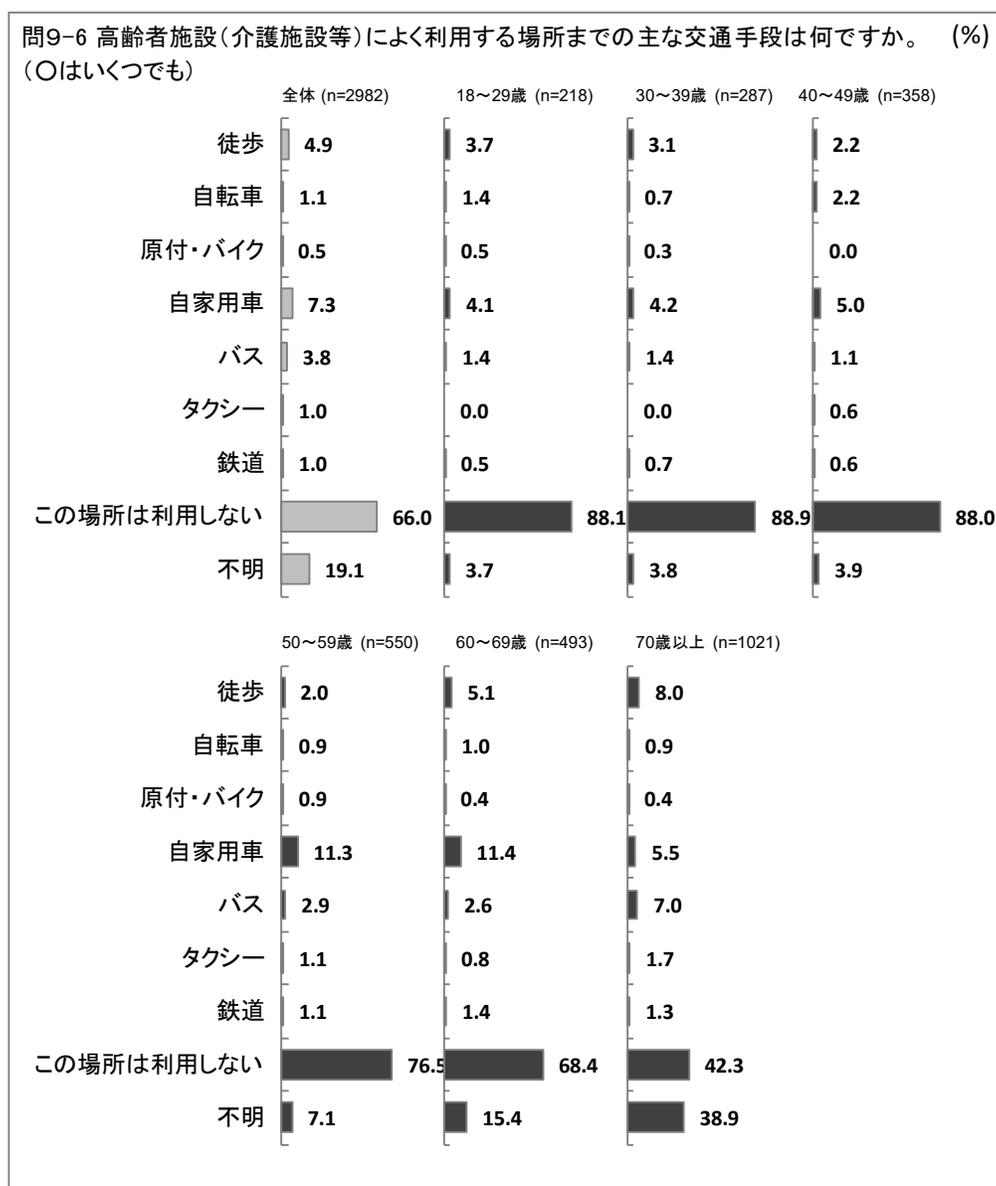
サ 子どもを預ける場所（保育所等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・各地区で「この場所は利用しない」と「不明」の合計が8割を超えている。
- ・「笠間地区」と「小菅ヶ谷地区」では「徒歩」が最も多く、「豊田地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多い回答である。



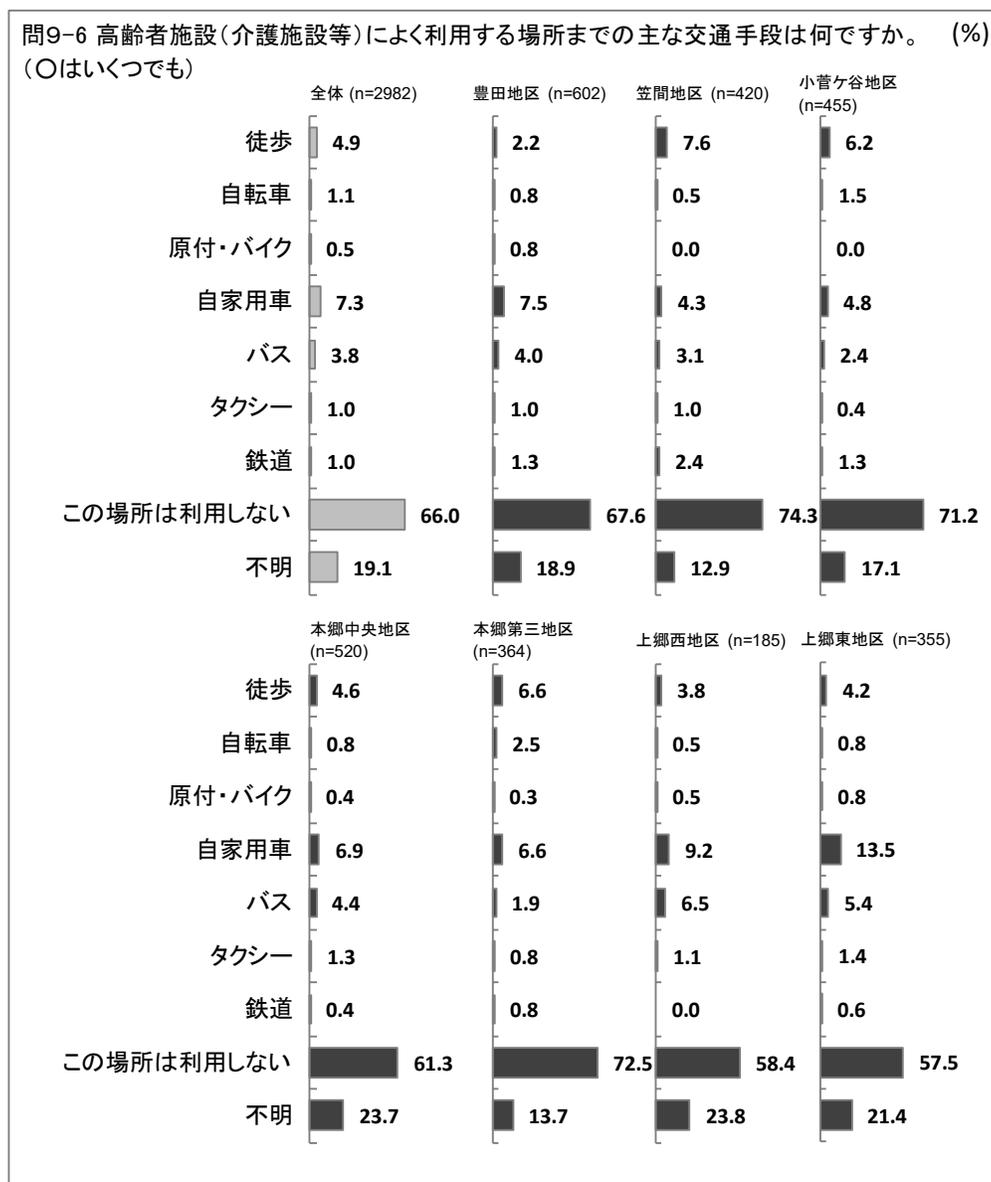
シ 高齢者施設（介護施設等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「この場所は利用しない」と「不明」の合計が8割を超えている。
- ・「50～59歳」、「60～69歳」で「自家用車」が1割を超えている。
- ・「70歳以上」では、「徒歩」（8.0%）が最も多く、「バス」（7.0%）、「自家用車」（5.5%）の順に続く。



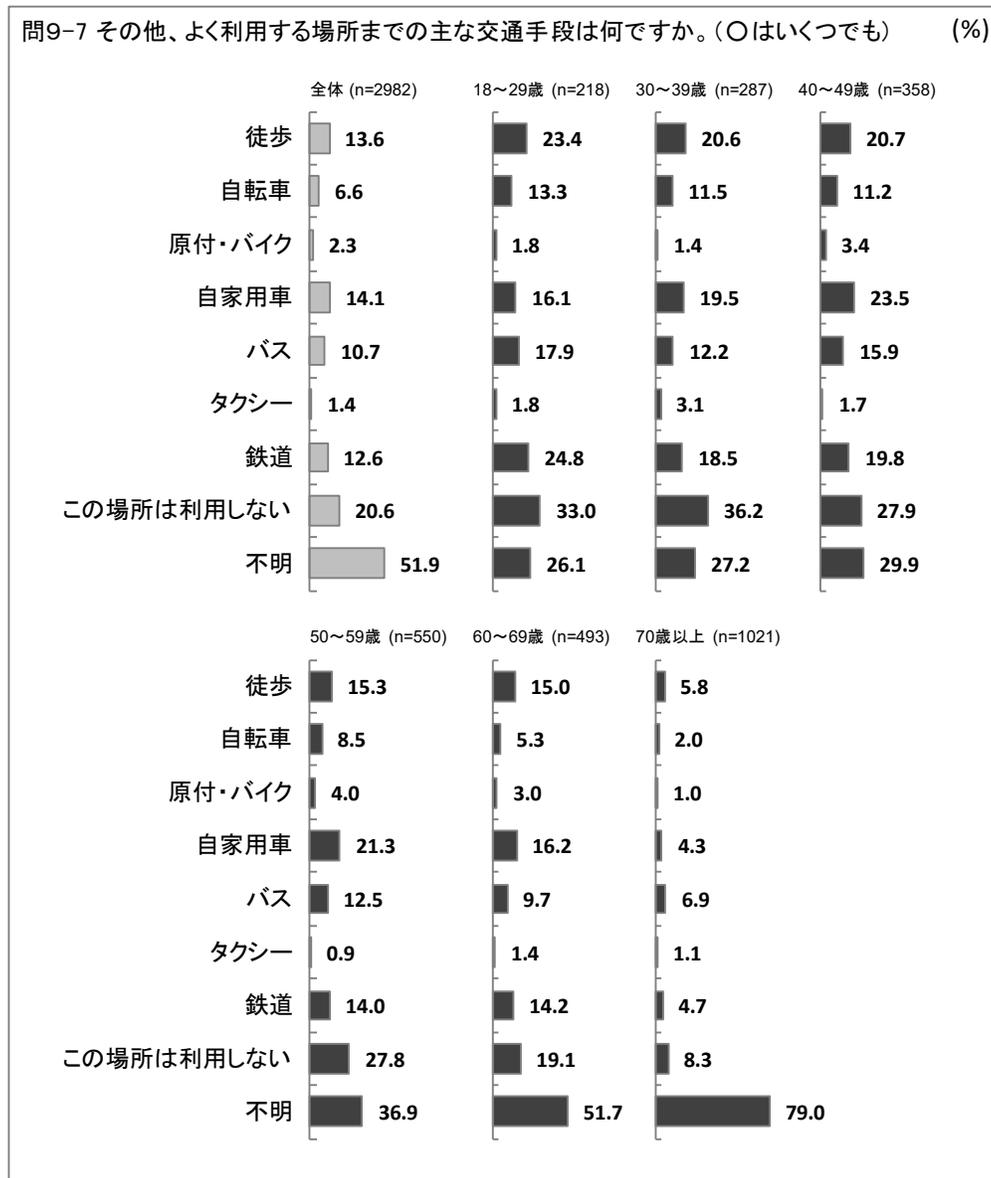
ス 高齢者施設（介護施設等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・各地区で「この場所は利用しない」と「不明」の合計が約8割となっている。
- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」を除く各地区で、「自家用車」が最も多く、「上郷東地区」では13.5%と1割を超えている。
- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」では「徒歩」が最も多い。



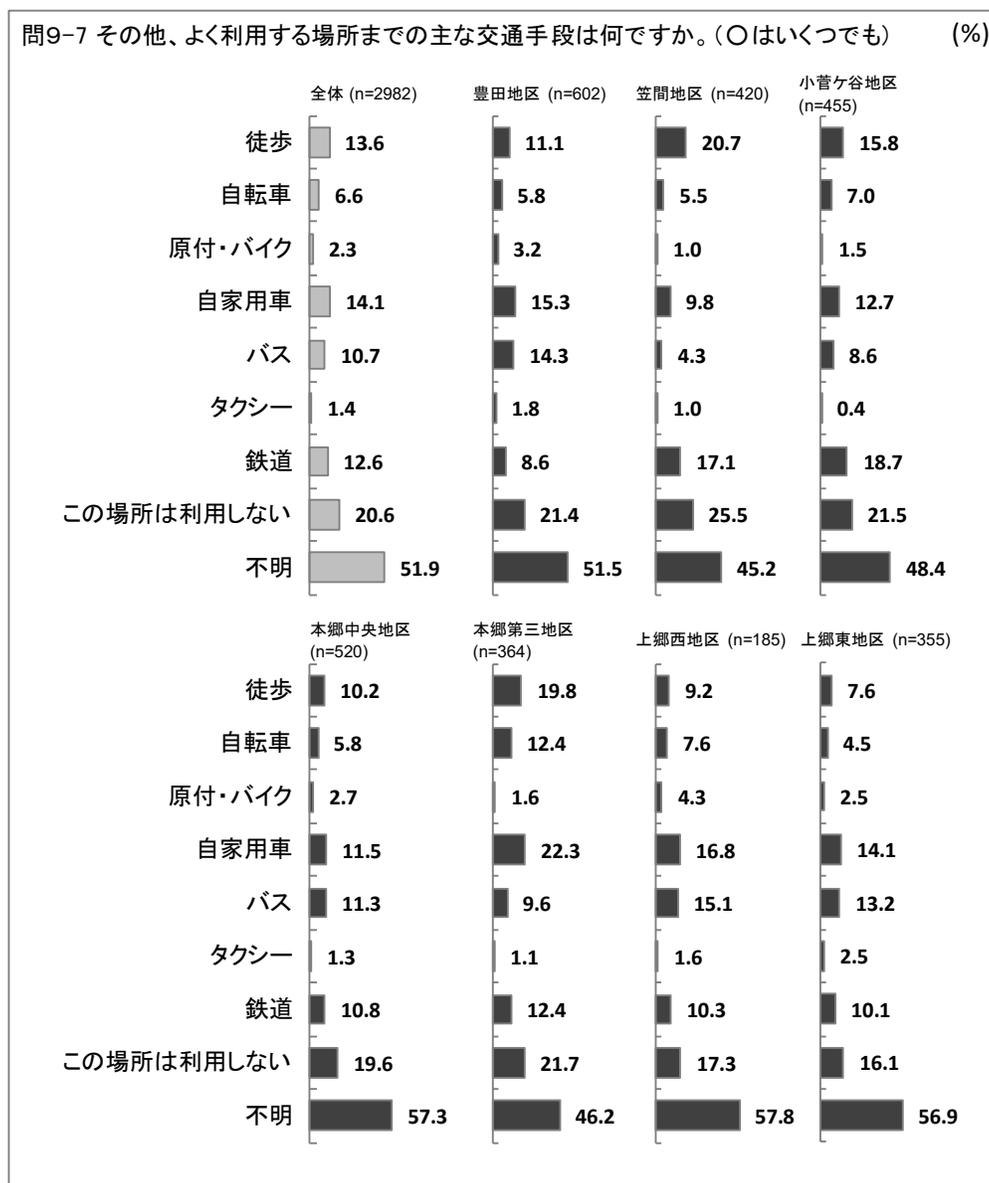
セ その他、よく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：  
年齢別

- ・「18～29歳」では「鉄道」が最も多く、「30～39歳」では「徒歩」が最も多い。「40～49歳」、「50～59歳」、「60～69歳」では「自家用車」が最も多く、「70歳以上」では「バス」が最も多い。



ソ その他、よく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：  
居住地区別

- ・「笠間地区」では「徒歩」の回答が最も多い。
- ・「豊田地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」の回答が最も多くあげられた。

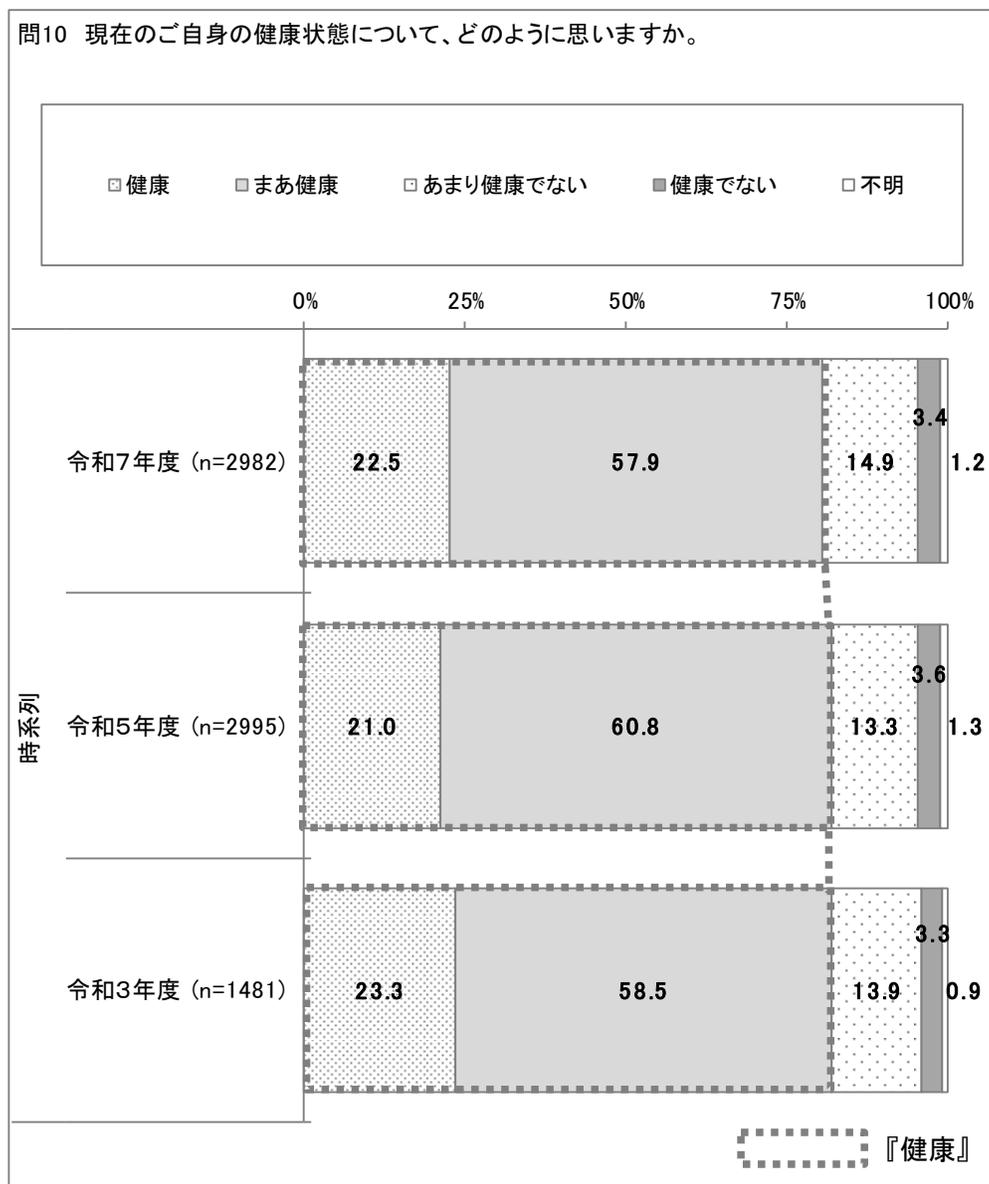


## 5 健康・福祉について

### (1) 健康状態（問10）

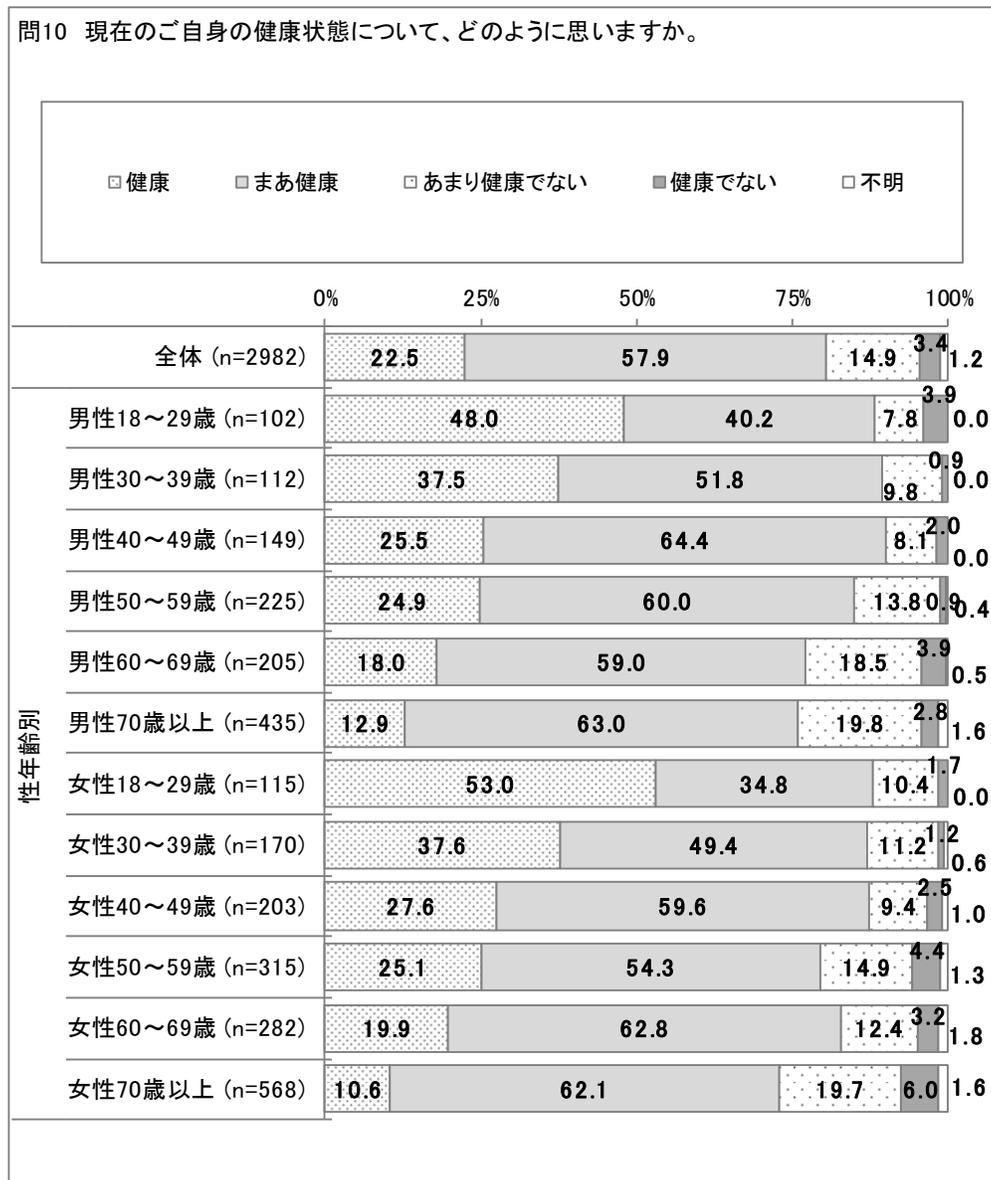
#### ア 健康状態：全体・時系列

- ・『健康』（「健康」と「まあ健康」の合計）は80.4%で、前回調査と比べ大きな変化は見られない。



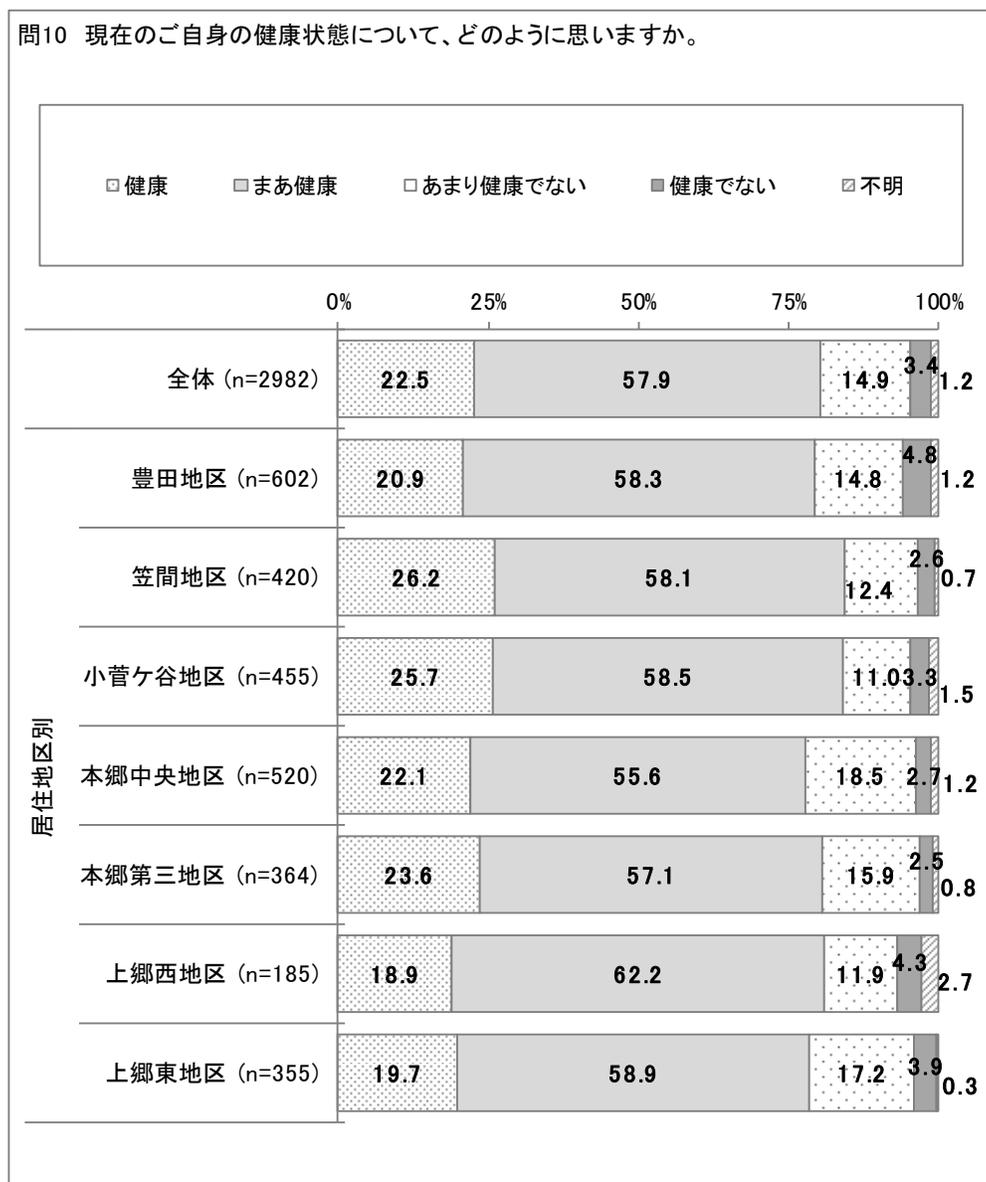
## イ 健康状態：性年齢別

- ・性別に関わらず、年代が上がるにつれ『健康』との回答が少なくなっている。
- ・男性、女性ともに、「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」で5ポイント以上『健康』の割合が全体より多い。



## ウ 健康状態：居住地区別

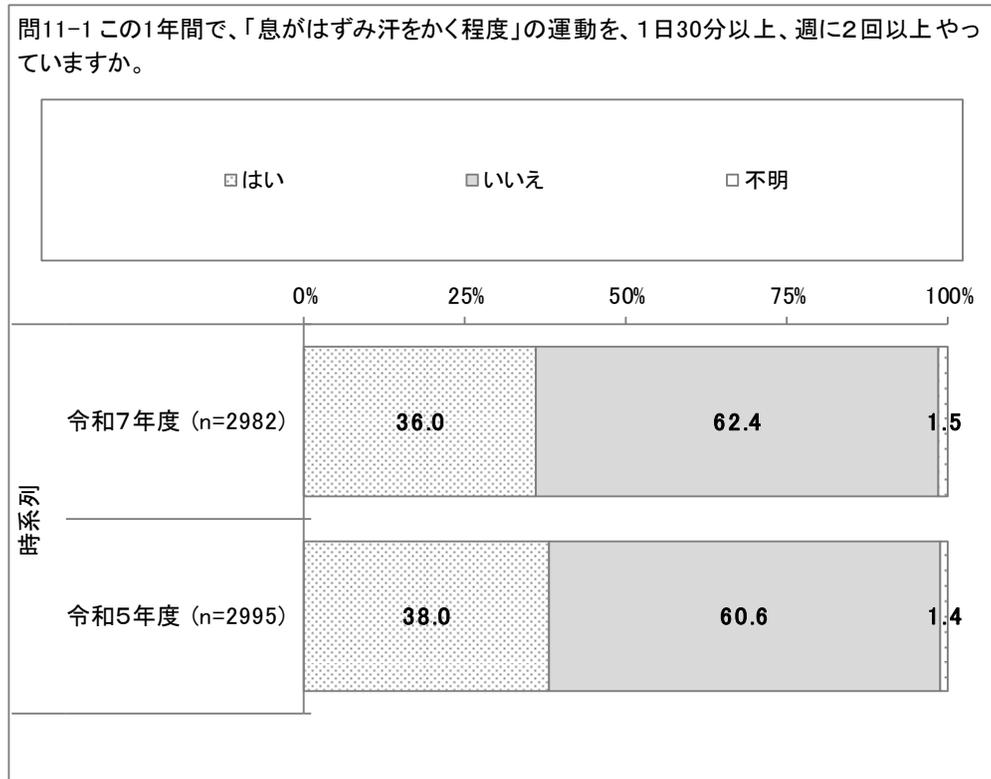
- ・各地区とも約8割が『健康』との回答であり、居住地区による大きな差は見られない。



## (2) 健康に関する取組の実施状況（問 11）

### ア 「息がはずみ汗をかく程度」の運動の実施状況：全体・時系列

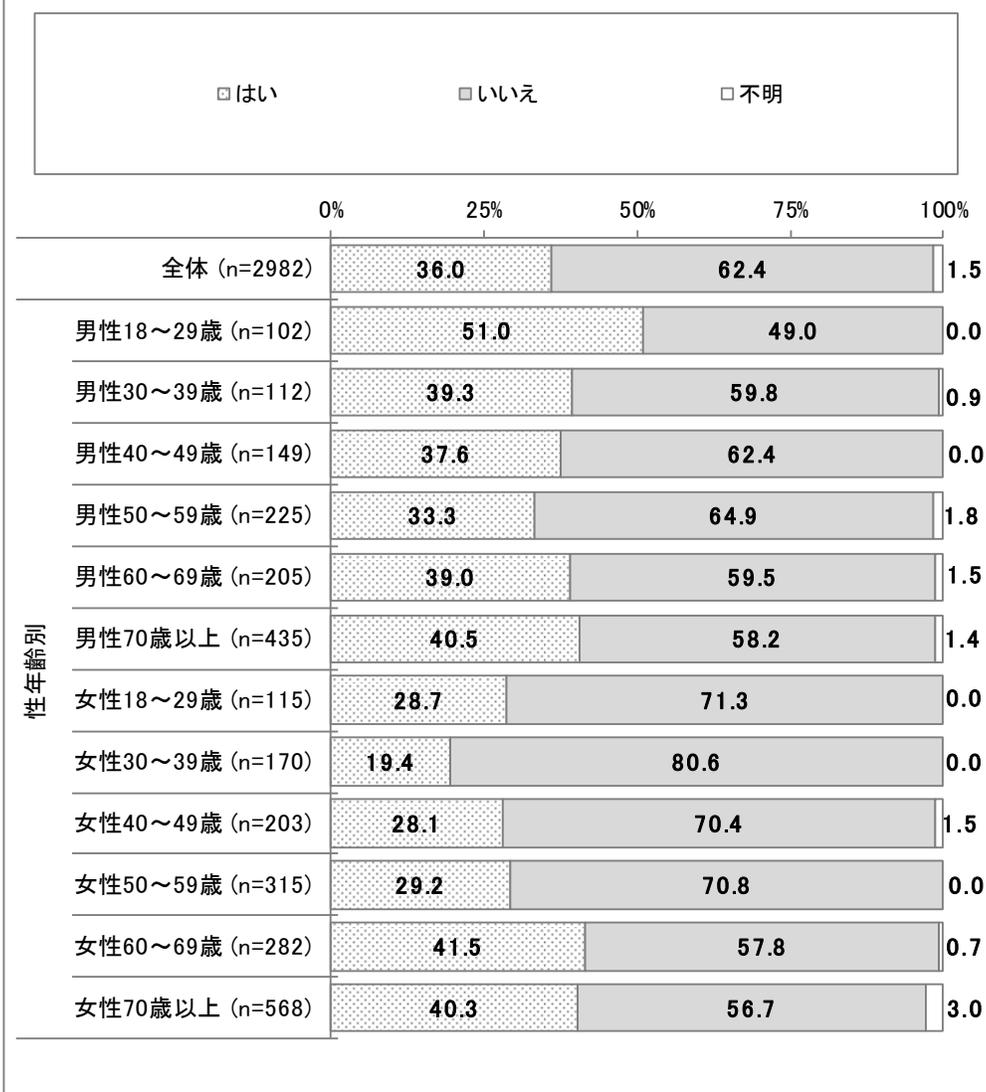
- ・運動の実施については「いいえ」（62.4%）が「はい」（36.0%）を大きく上回る。
- ・前回調査においても約6割が「いいえ」と回答しており、大きな変化は見られない。



## イ 「息がはずみ汗をかく程度」の運動の実施状況：全体・性年齢別

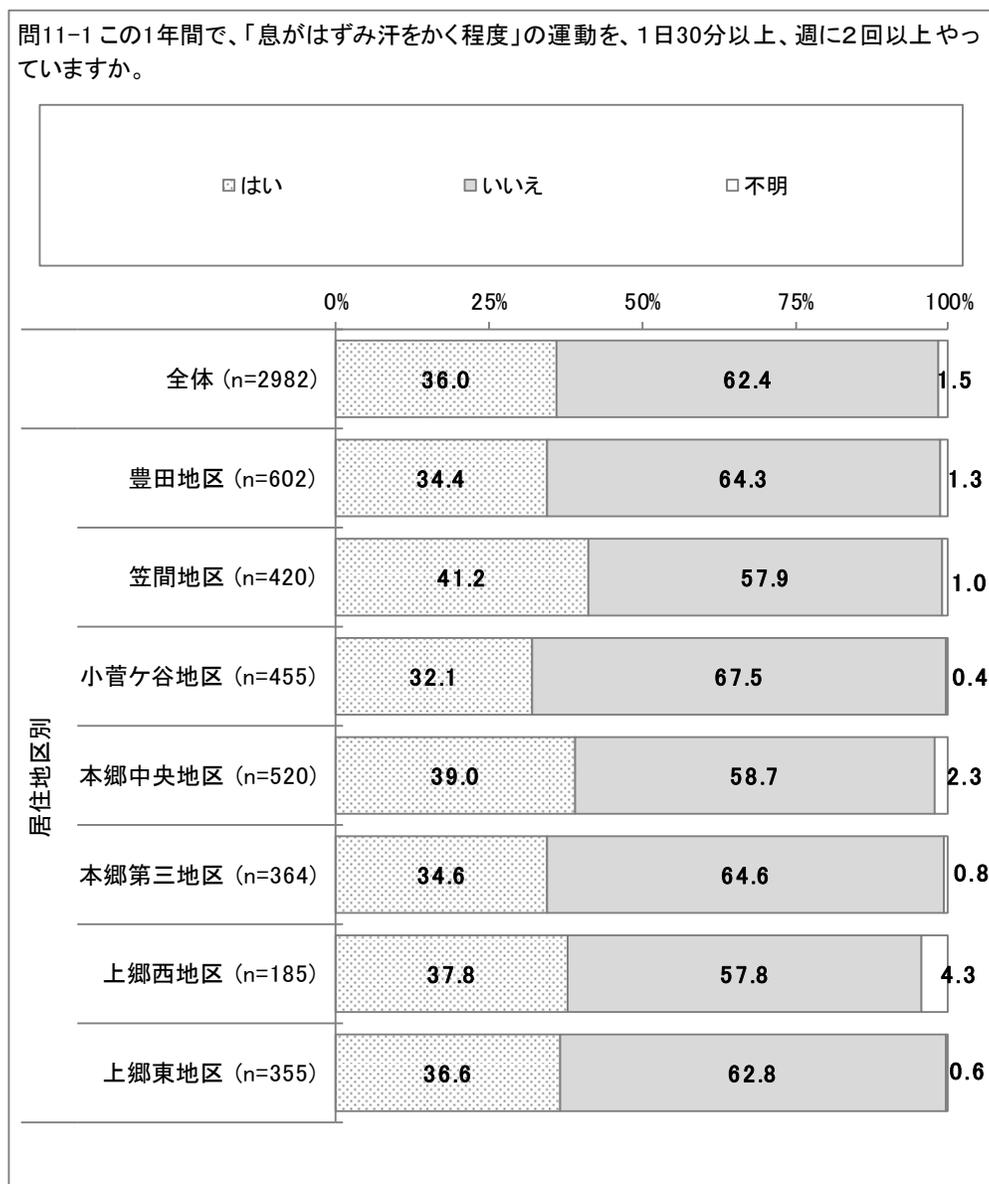
- ・男性は、「はい」の割合が「18～29歳」（51.0%）が最も多く、全体より15.0ポイント多い。次いで「70歳以上」（40.5%）、「30～39歳」（39.3%）の順に続く。
- ・女性は、「はい」の割合が「60～69歳」で最も多く、5.5ポイント全体より多い。「30～39歳」で「はい」の割合が10ポイント以上全体より少ない。

問11-1 この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を、1日30分以上、週に2回以上やっていますか。



### ウ 「息がはずみ汗をかく程度」の運動の実施状況：居住地区別

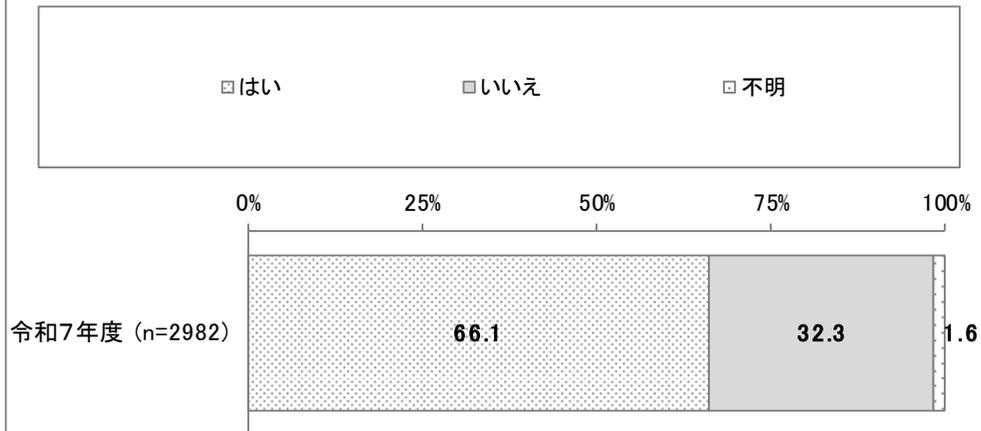
- ・「はい」の割合が最も多いのは「笠間地区」（41.2%）、最も少ないのは「小菅ヶ谷地区」（32.1%）である。



## エ がん検診：全体・時系列

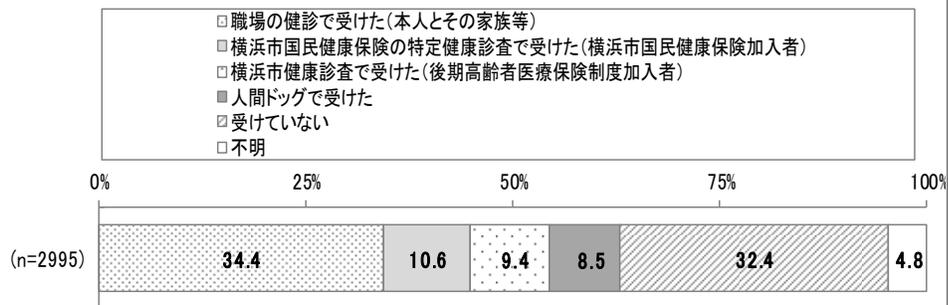
- ・過去1年間のがん検診を「受けた（はい）」は41.1%、「受けていない（いいえ）」は57.5%である。

問11-3 過去1年間に生活習慣病の早期発見・重症化予防のために健康診断を受けましたか。



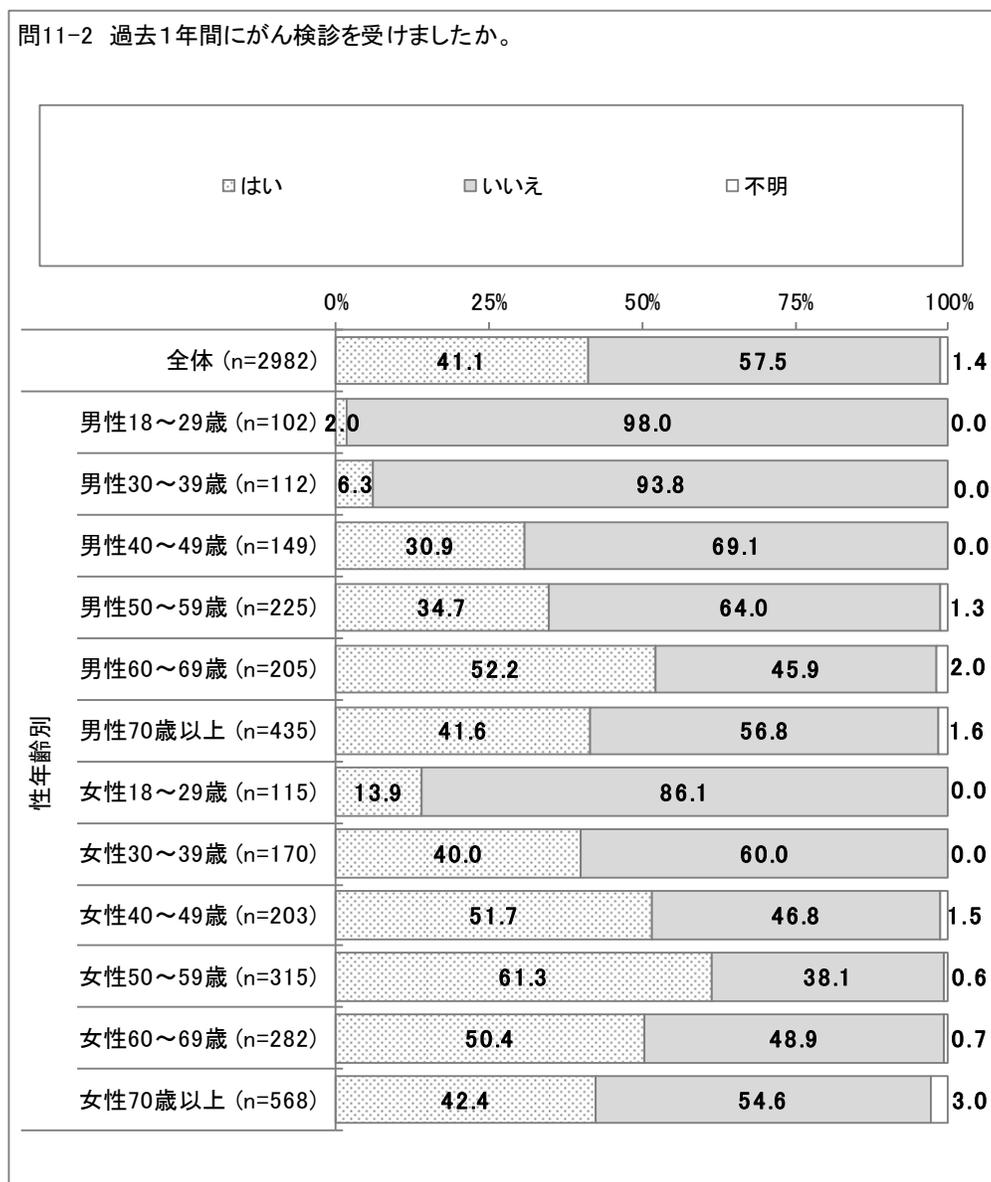
※質問変更のため参考

令和4年度に、生活習慣病の早期発見・重症化予防のために健康診断を受けていますか。



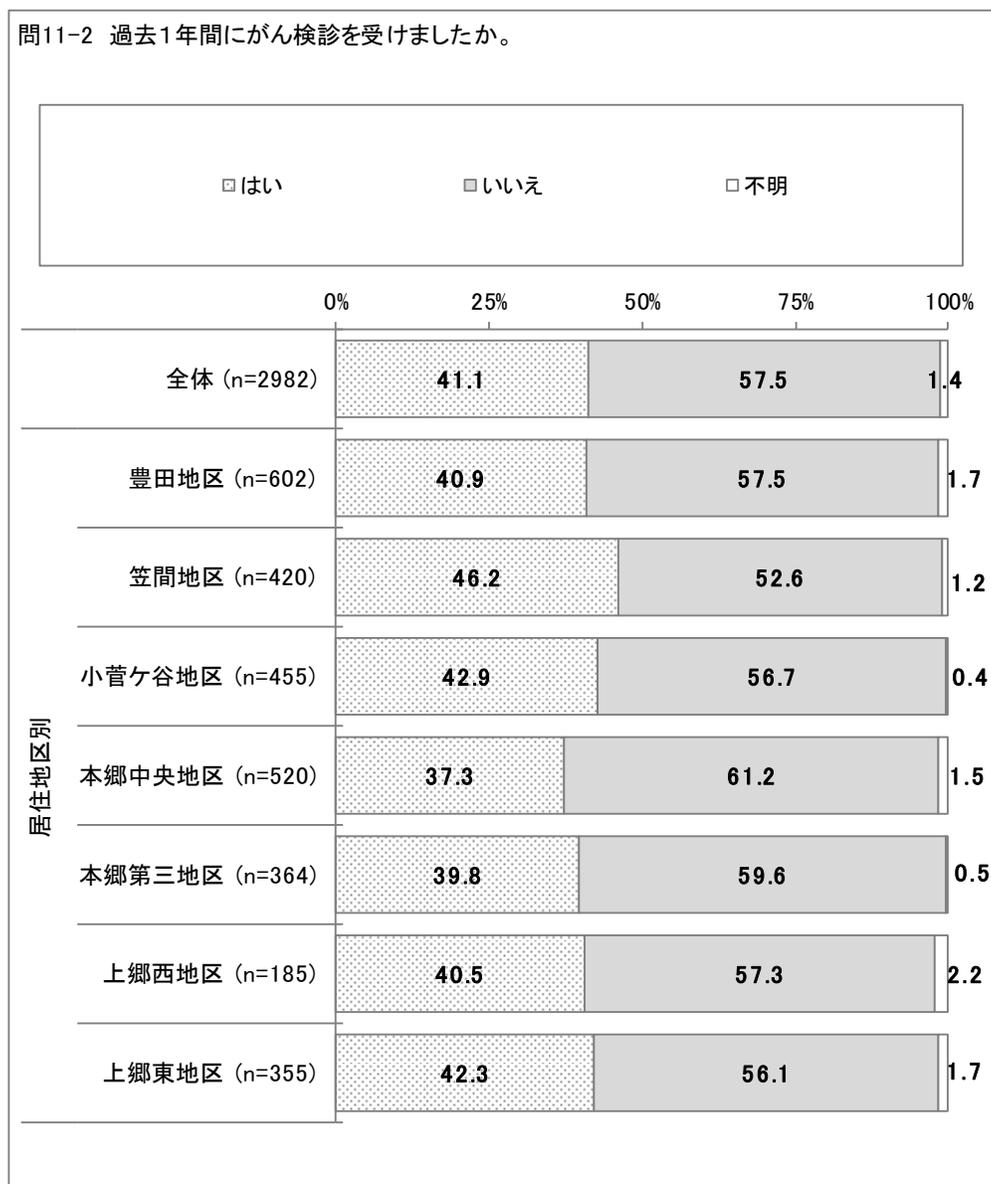
## オ がん検診：性年齢別

- ・男性は、「受けた」の割合が年代が上がるにつれ多くなる傾向が見られる。最も多いのは「60～69歳」（52.2%）で、「70歳以上」（41.6%）が続く。
- ・女性は、「受けた」の割合が多いのは「50～59歳」（61.3%）で「40～49歳」（51.7%）が続く。



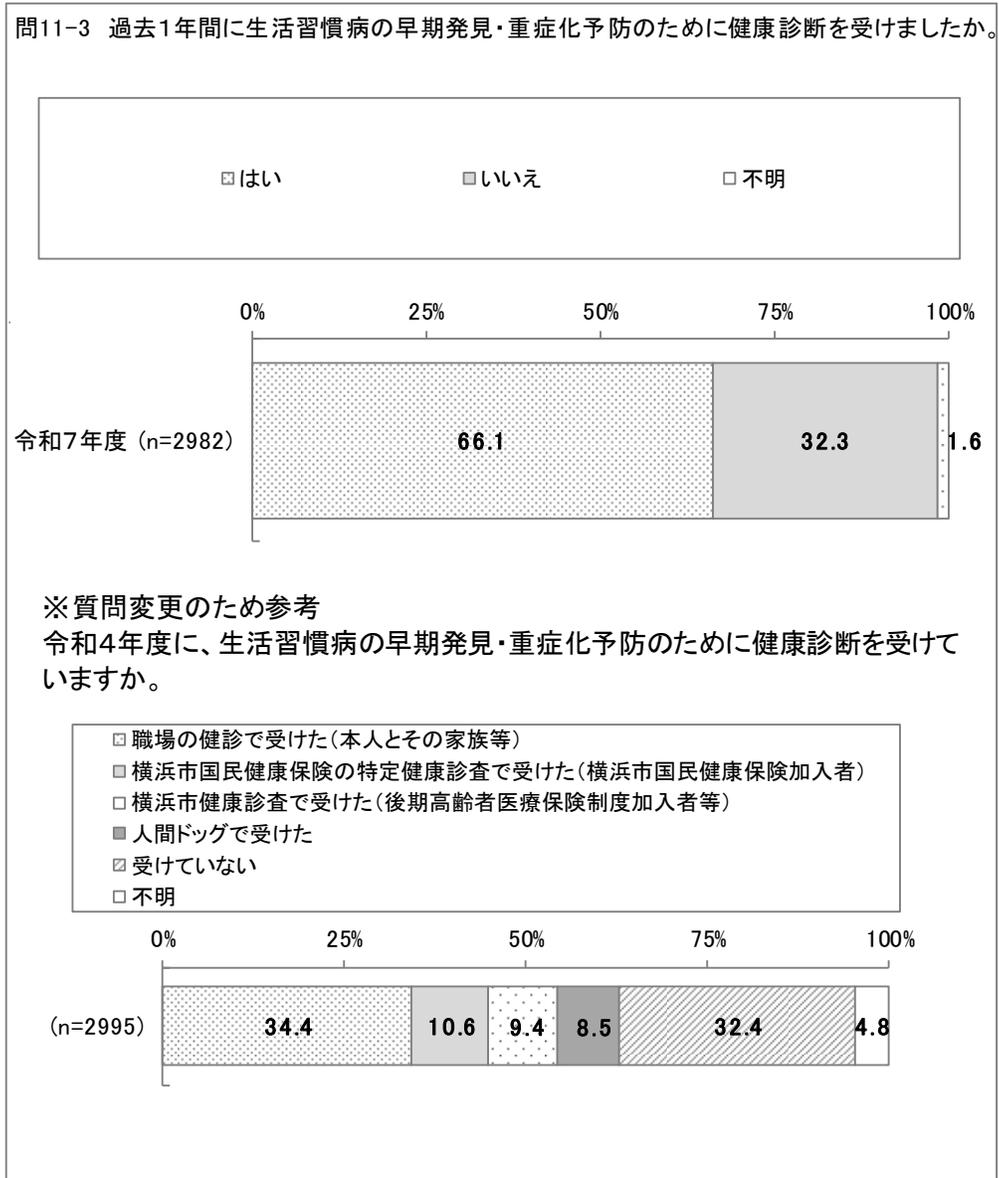
## カ がん検診：居住地区別

- ・「受けた」の割合が最も多いのは「笠間地区」（46.2%）で、全体を5ポイント以上多くなっている。



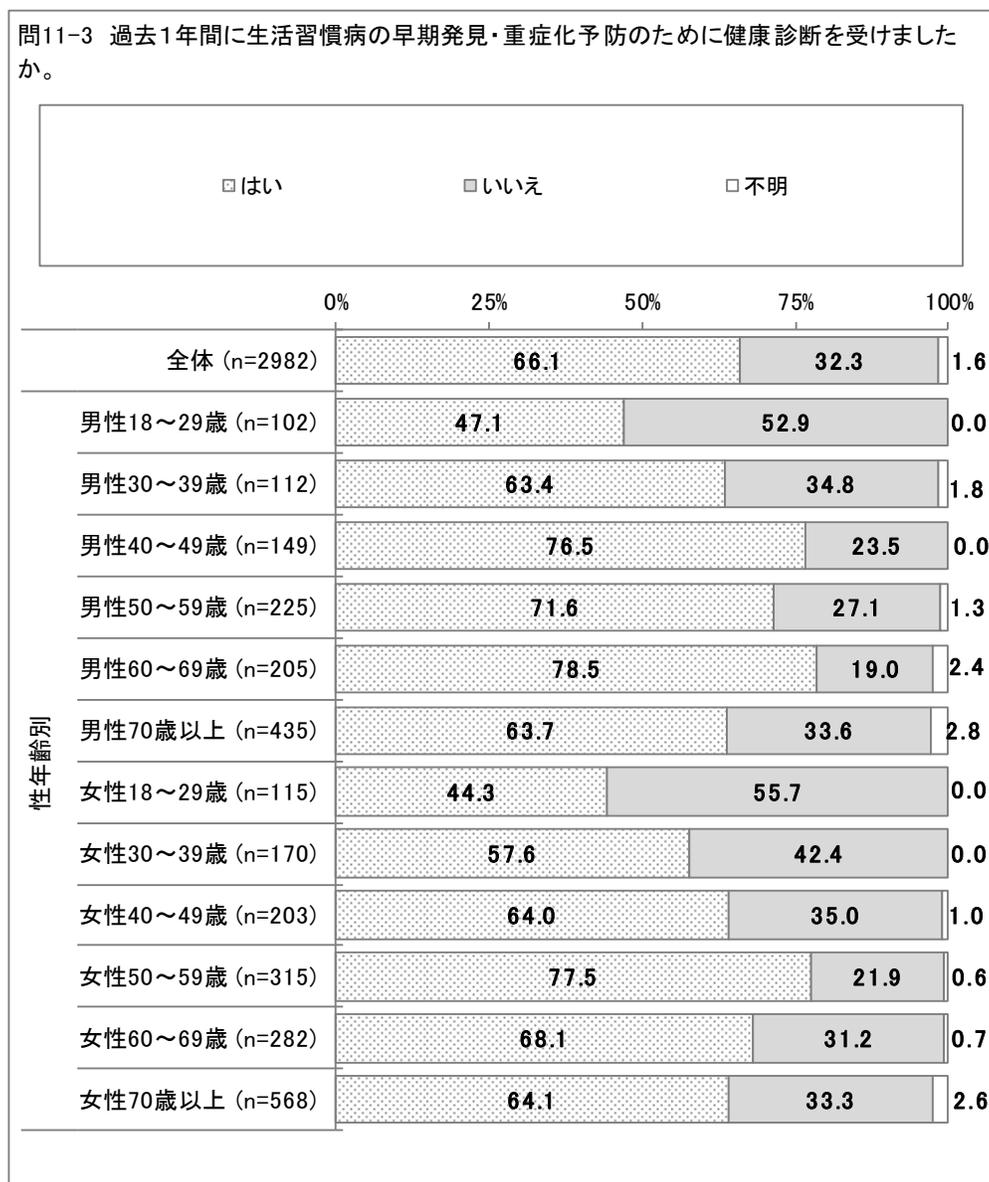
キ 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断：全体・時系列

- ・「受けた（はい）」の割合は66.1%で、「受けていない（いいえ）」（32.3%）を30ポイント以上上回る。



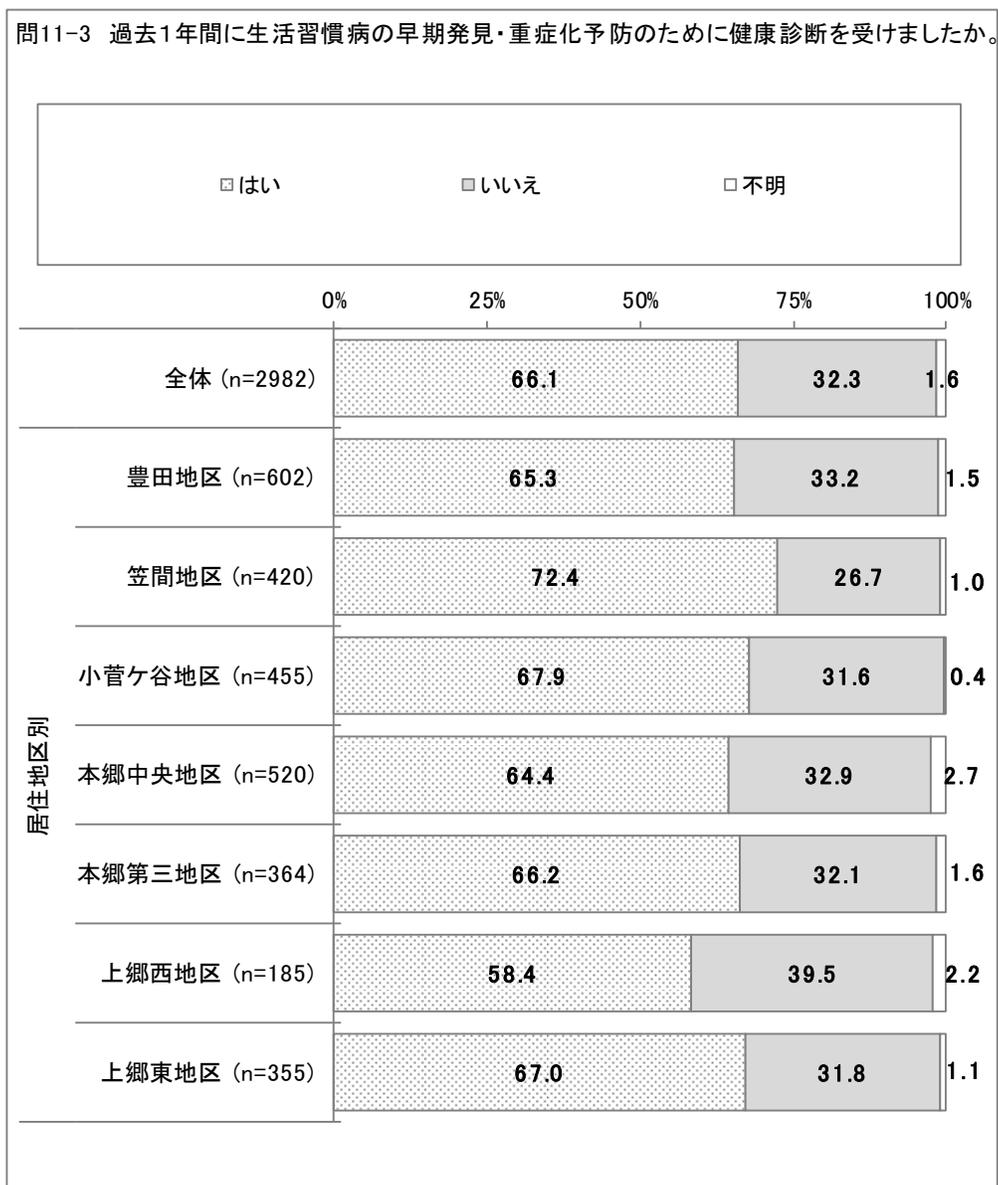
## ク 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断：全体、性年齢別

- ・「受けた」の割合は男性では「60～69歳」が78.5%で最も多く、「40～49歳」、「50～59歳」が続く。
- ・女性では「50～59歳」が「受けた」割合が最も多く、77.5%である。「60～69歳」、「70歳以上」が続く。



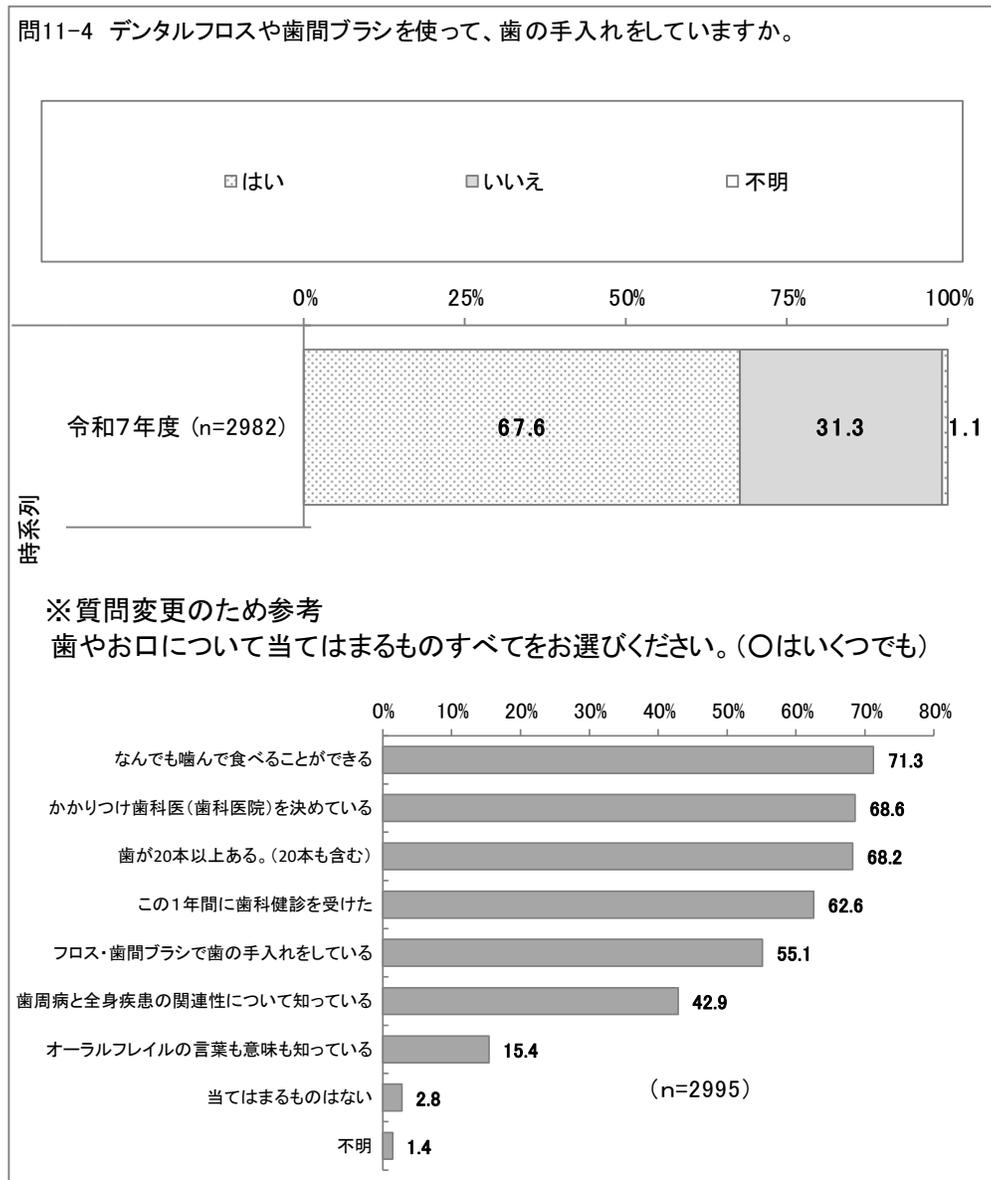
## ケ 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断：居住地区別

- ・「受けた」の割合が最も多いのは「笠間地区」（72.4%）で、全体より6.3ポイント多い。
- ・「受けていない」の割合は、「上郷西地区」（39.5%）が最も多く、全体より7.2ポイント多い。



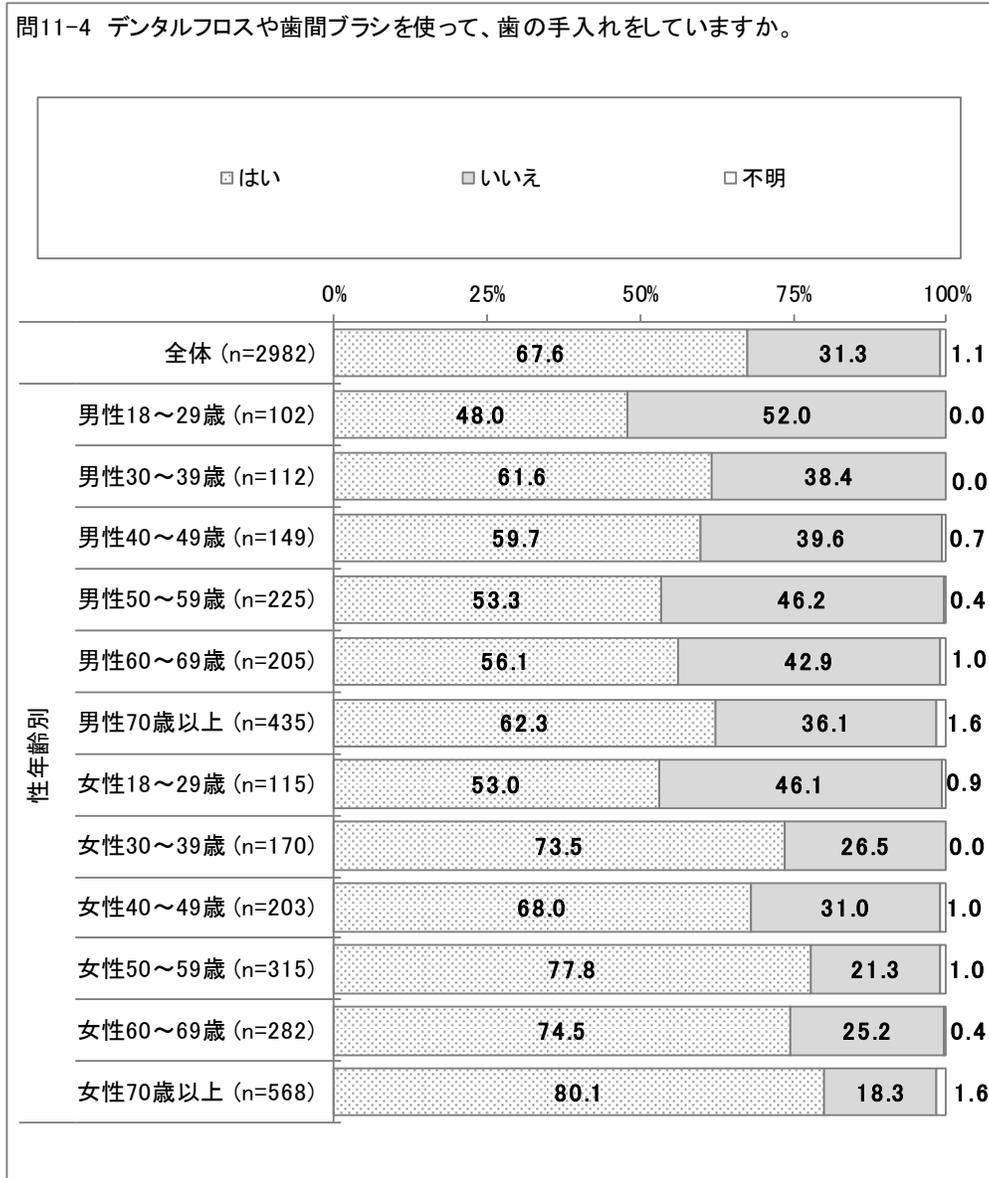
## コ 歯やお口の手入れ：全体

- ・デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯の手入れをしている人（「はい」の回答）の割合は67.6%である。



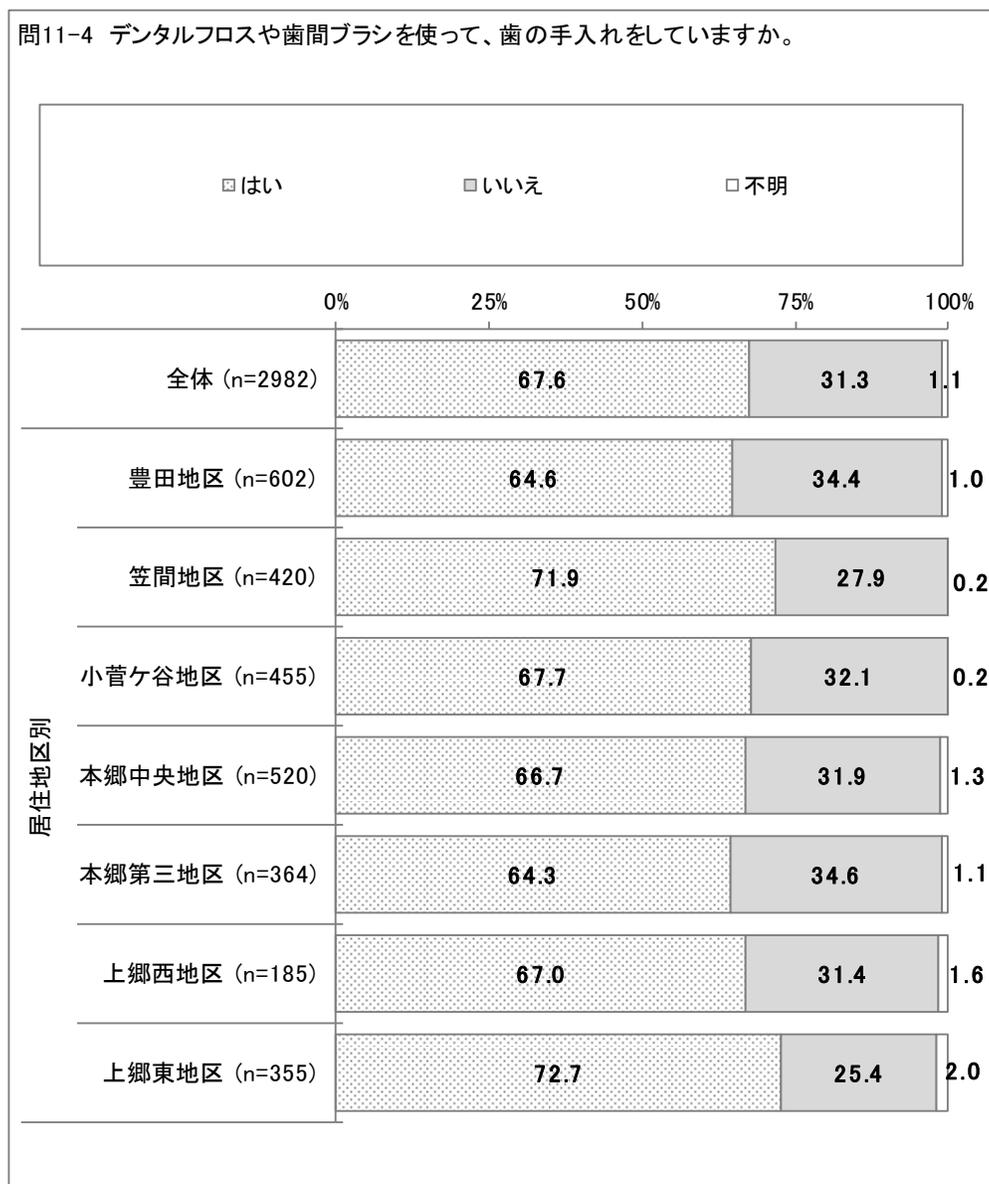
## サ 歯やお口の手入れ：性年齢別

- ・性年代別では、男女とも「18～29歳」で「はい」の割合が最も少ない。男性では「30～39歳」と「70歳以上」で「はい」の割合が6割を超えている。女性では、「70歳以上」は「はい」の割合が8割を超えている。
- ・いずれの年代も男性より女性の方が「はい」の割合が多い。



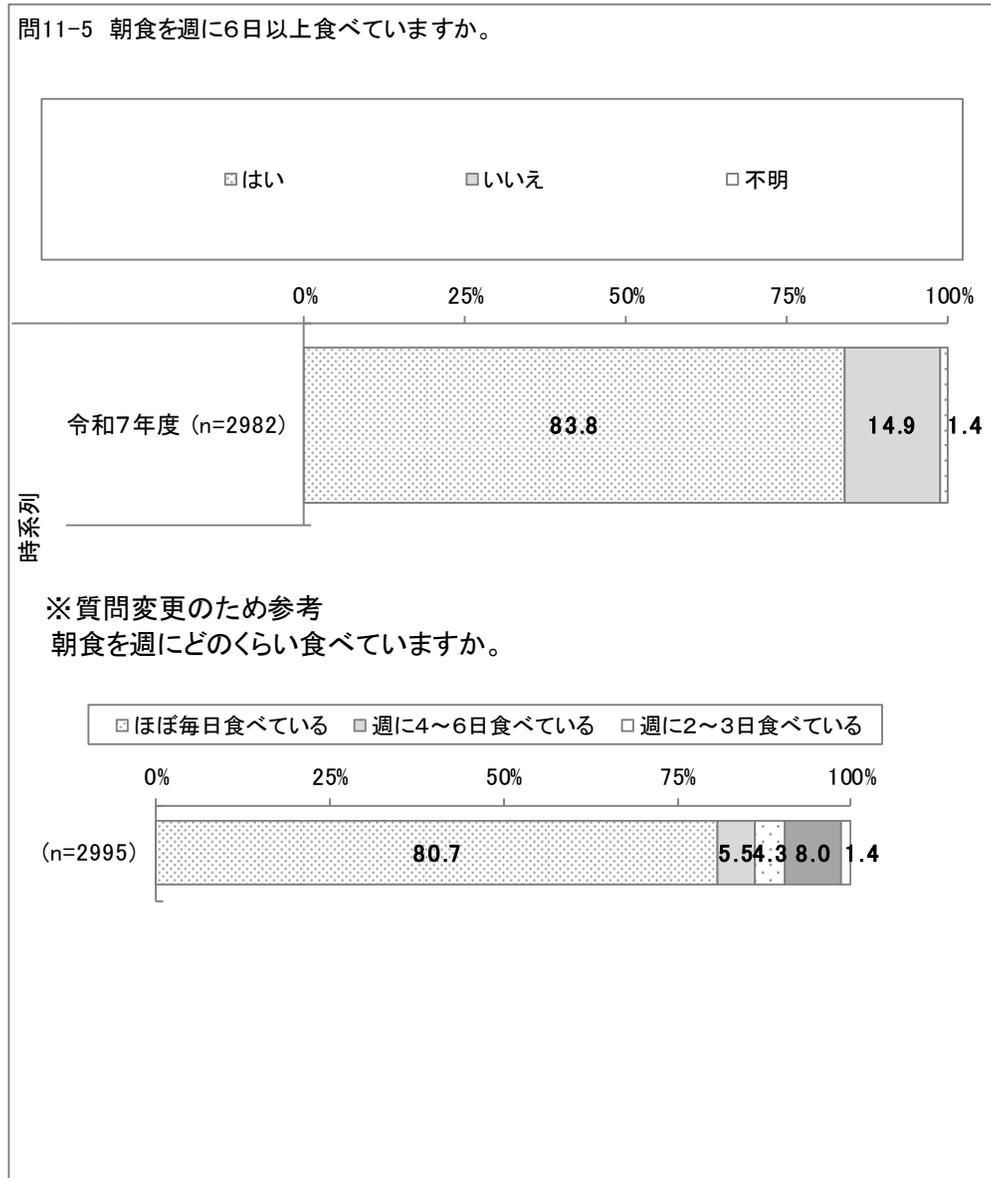
## シ 歯やお口の手入れ：居住地区別

- ・居住地区別では、「はい」の割合が最も多いのは「上郷東地区」(72.7%)で、「笠間地区」(71.9%)、「小菅ヶ谷地区」(67.7%)が続く。



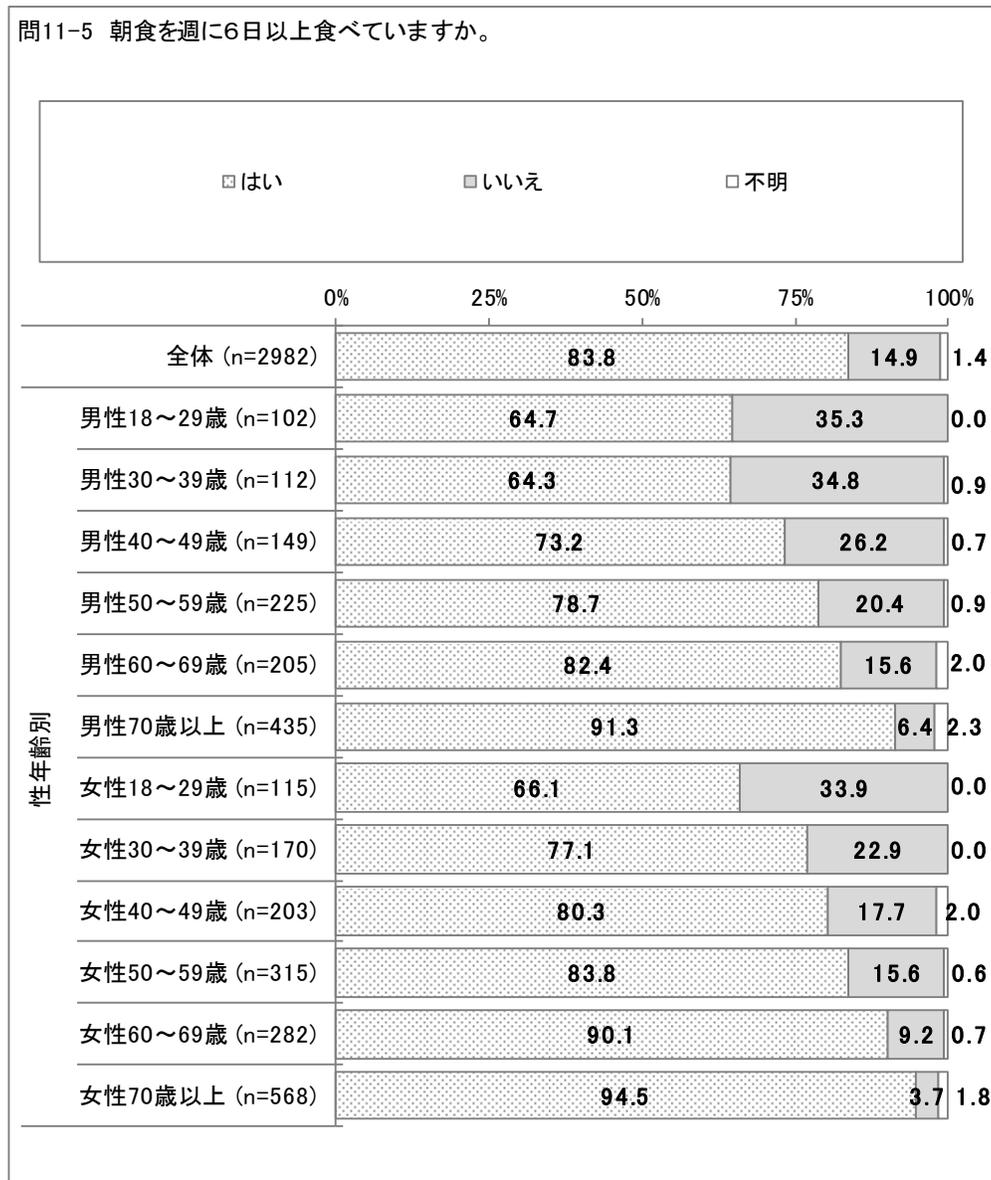
## ス 朝食：全体

- ・朝食を週に6日以上食べている人（「はい」の割合）は、83.8%と「いいえ」（14.9%）を大きく上回る。。



## セ 朝食：年齢別

- ・性別に関わらず、「はい」の割合は年代が上がるにつれ割合が多くなっている。
- ・「男性 18～29 歳」、「男性 30～39 歳」、「女性 18～29 歳」は「はい」の割合が 7 割を下回る。
- ・「男性 70 歳以上」、「女性 60～69 歳」、「女性 70 歳以上」は「はい」の割合が 9 割を超えている。



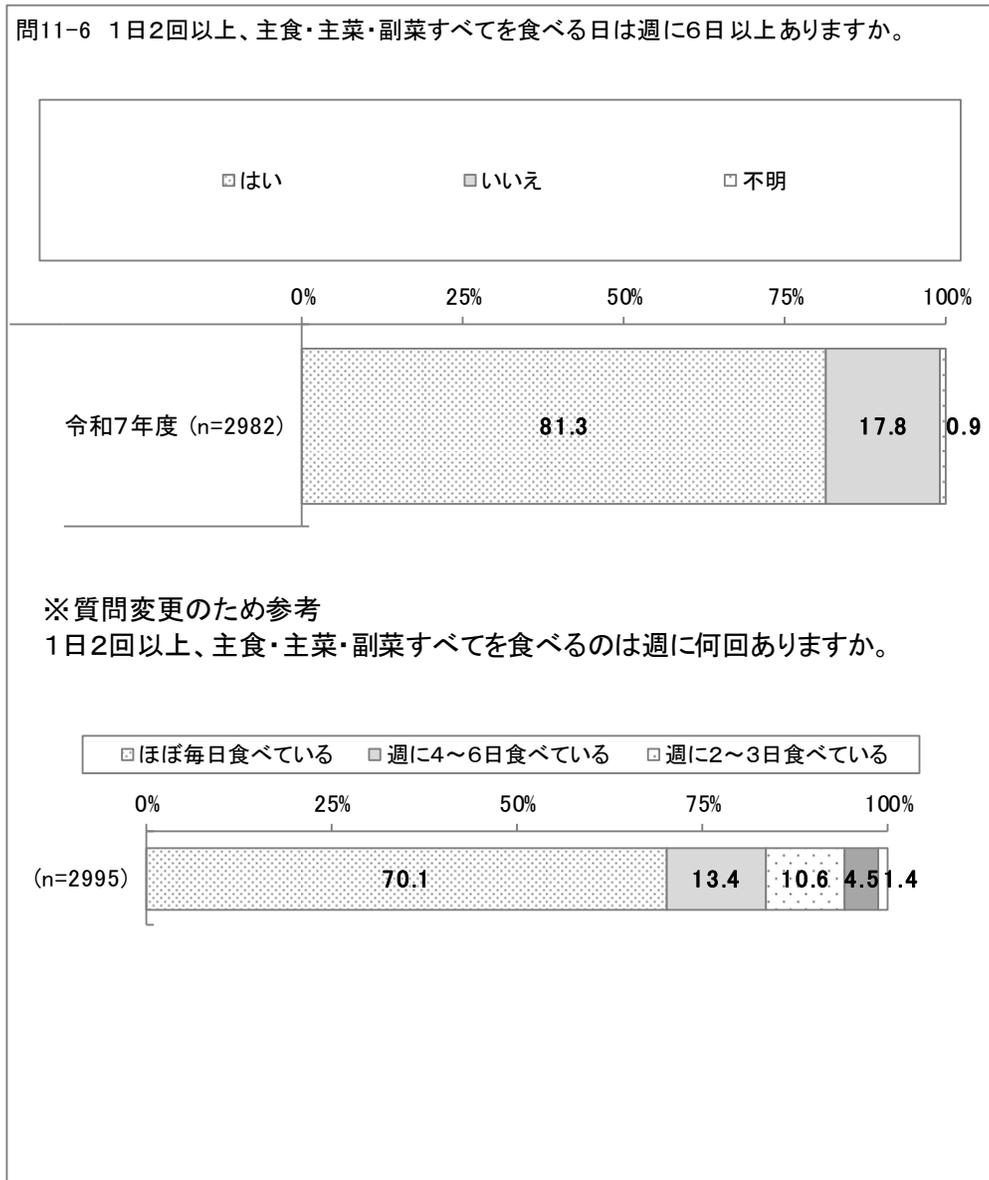
## ソ 朝食：居住地区別

- ・各地区とも約8割が「はい」との回答であり、居住地区による大きな差は見られない。



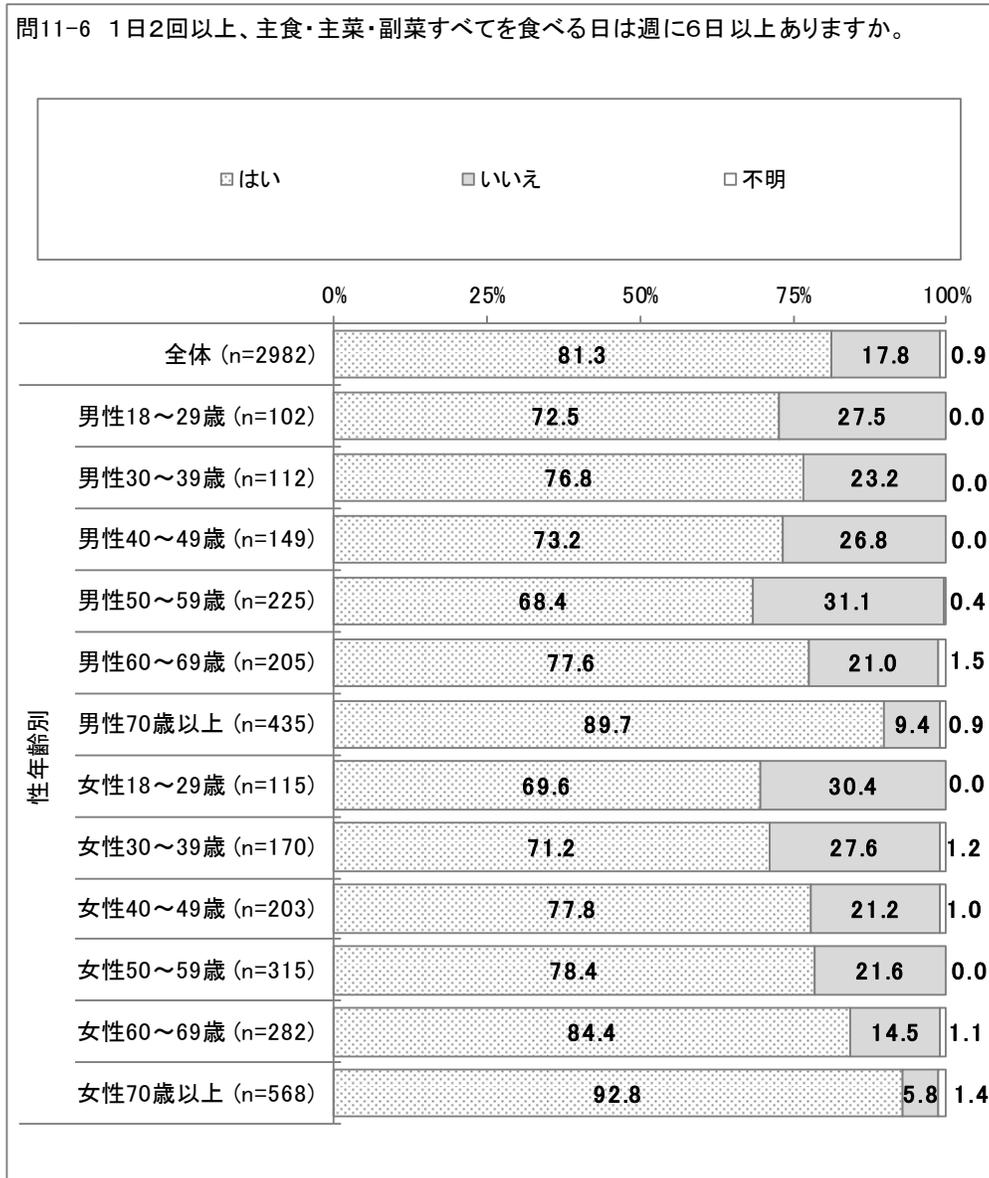
## タ 1日2回以上の食事：全体

- ・1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べる日が週6日以上ある（「はい」の割合）は、81.3%で、「いいえ」を大きく上回る。



## チ 1日2回以上の食事：年齢別

- ・「はい」の割合が多いのは、「女性70歳以上」(92.8%)、「男性70歳以上」(89.7%)である。
- ・「はい」の割合が少ないのは、「男性50～59歳」(68.4%)と「女性18～29歳」(69.6%)で全体より10ポイント以上少ない。



## ツ 1日2回以上の食事：居住地区別

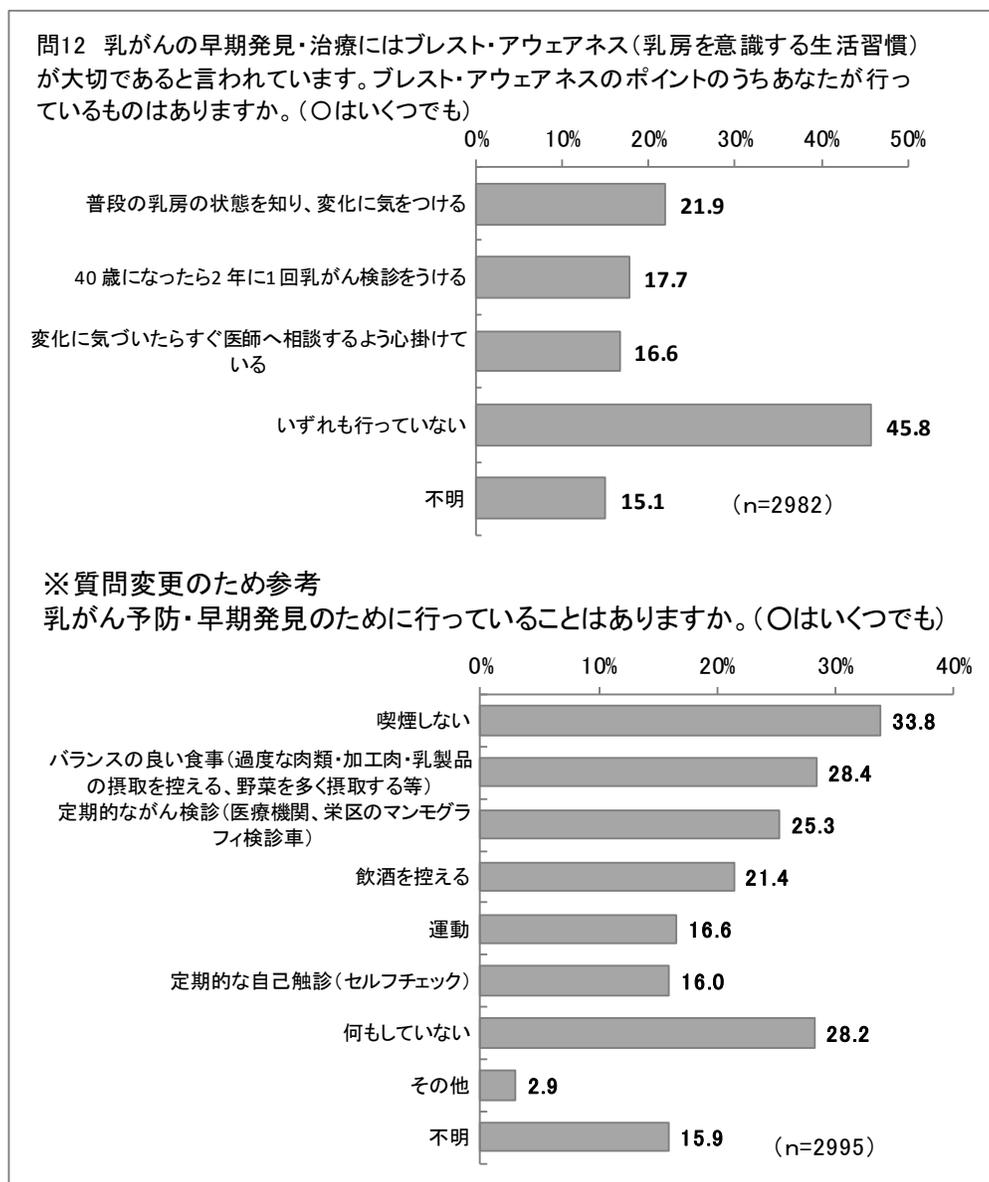
- ・居住地区別では「はい」の割合が約8割で、大きな差は見られない。



### (3) ブレスト・アウェアネス（乳がん予防・早期発見）（問 12）

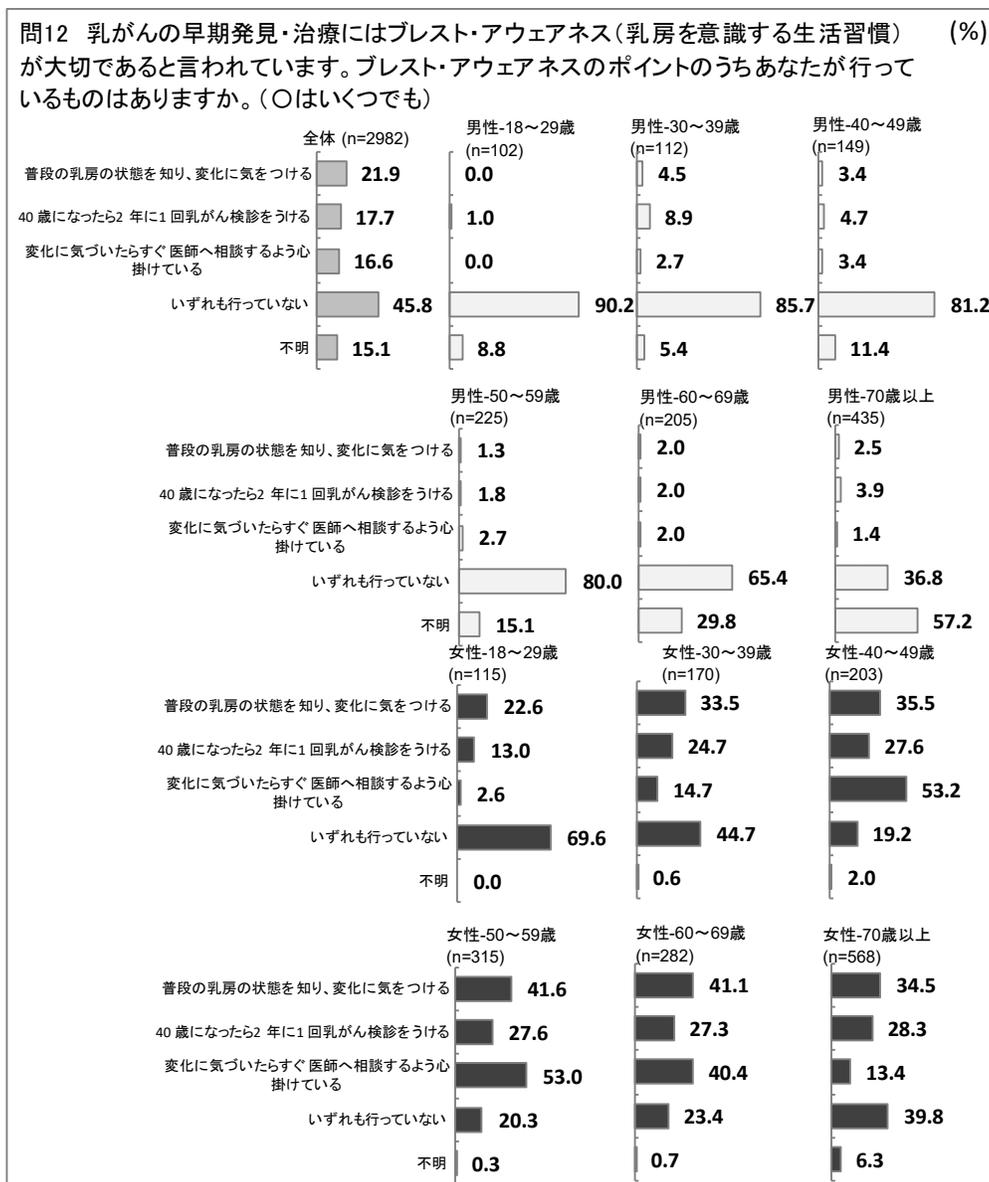
#### ア ブレスト・アウェアネス：全体

- ・「いずれも行っていない」を除くと、「普段の乳房の状態を知り、変化に気をつける」（21.9%）が最も多く、「40歳になったら2年に1回乳がん検診をうける」（17.7%）、「変化に気づいたらすぐ医師へ相談するよう心掛けている」（16.6%）が続く。



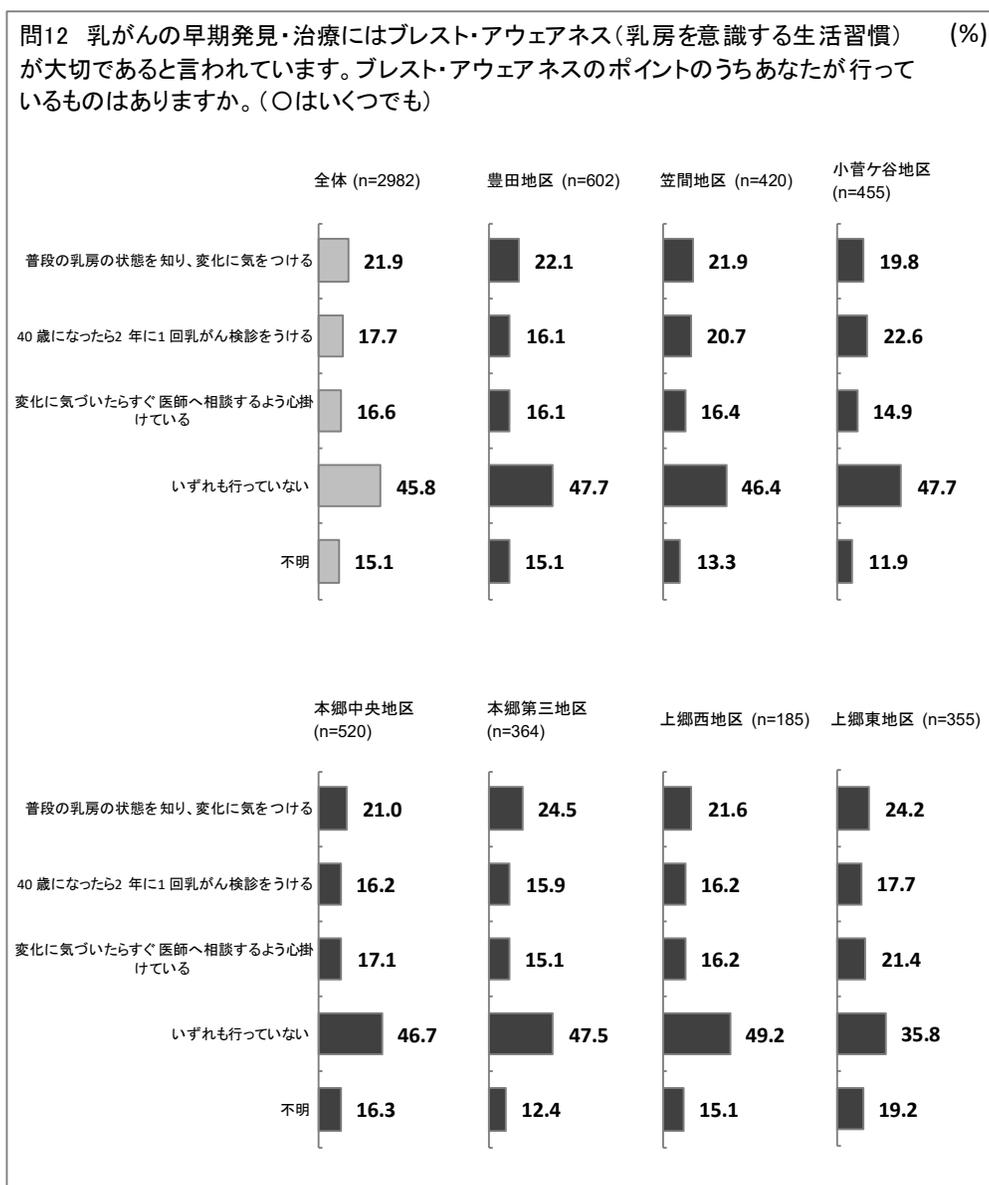
## イ ブレスト・アウェアネス：全体・性年齢別

- ・男性は各年代で「いずれも行っていない」と「不明」の合計が約9割を占める。
- ・女性は、「18～29歳」では約7割が「いずれも行っていない」との回答である。「40～49歳」と「50～59歳」で「変化に気づいたらすぐ医師へ相談するよう心掛けている」の割合が5割を超えている。



## ウ ブレスト・アウェアネス：居住地区別

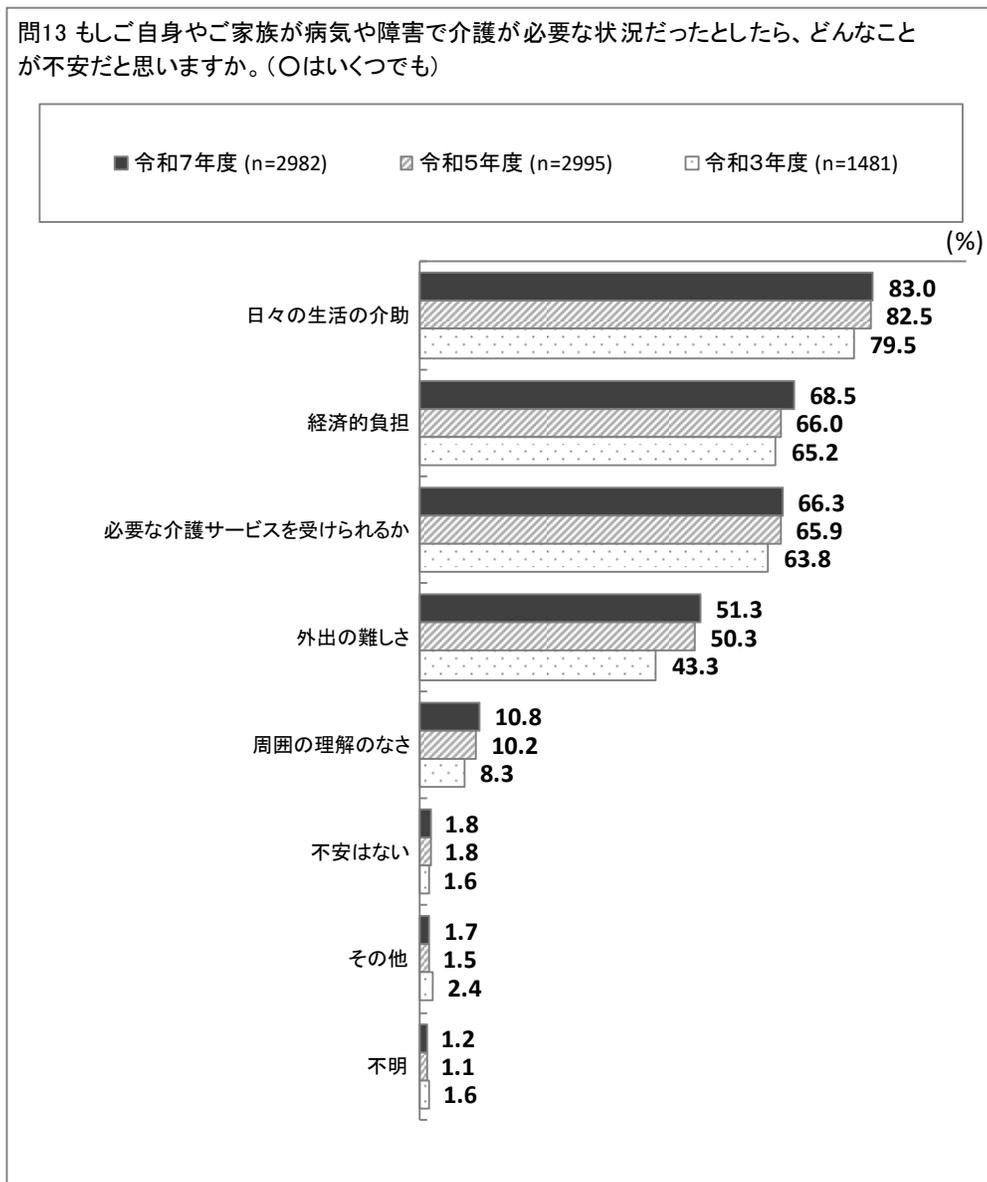
- ・「小菅ヶ谷地区」以外の各地区では、「いずれも行っていない」を除くと「普段の乳房の状態を知り、変化に気をつける」が最も多い。
- ・「小菅ヶ谷地区」では、「いずれも行っていない」を除くと「40歳になったら2年に1回乳がん検診をうける」が最も多い。



#### (4) 介護に対する不安（問13）

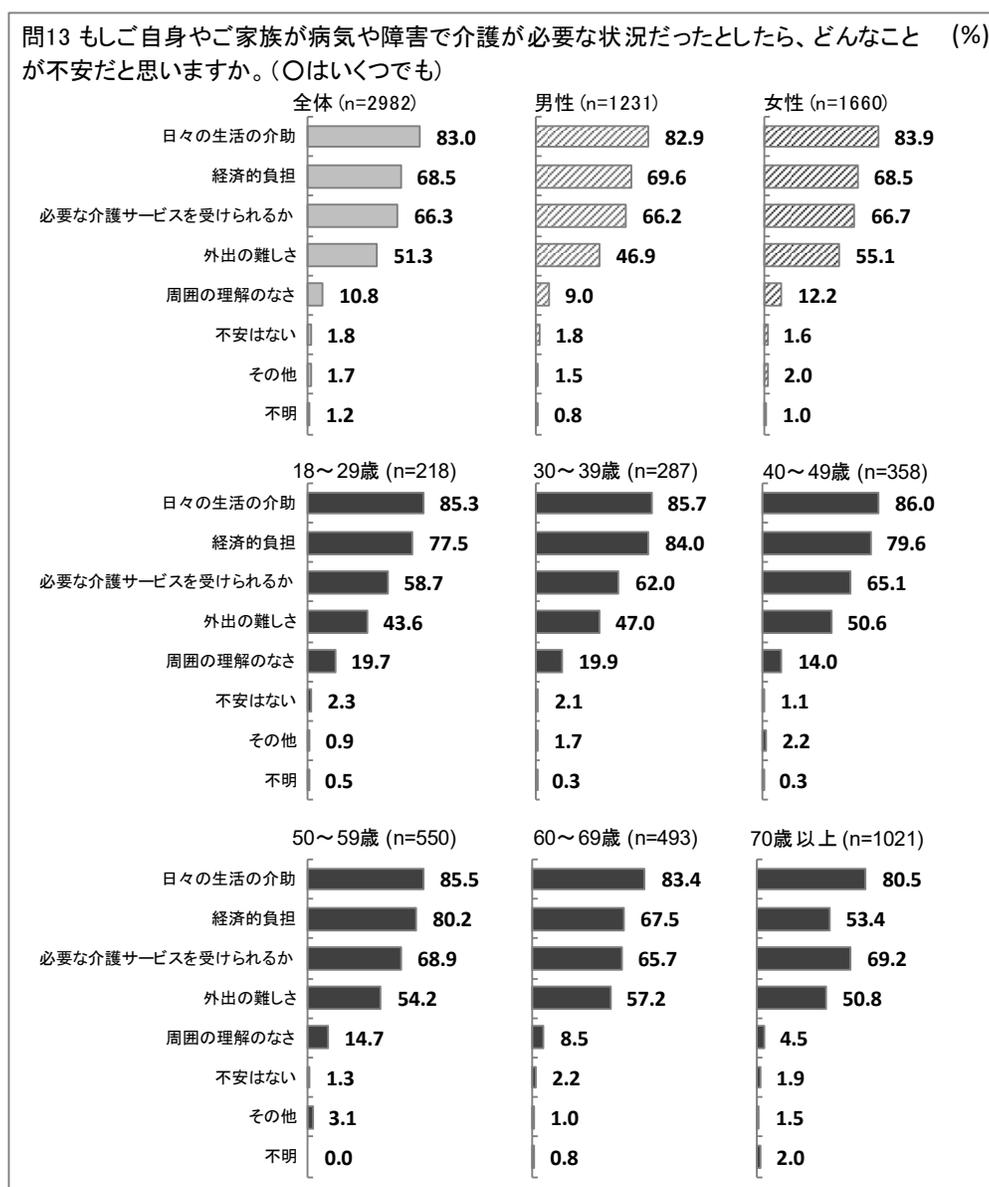
##### ア 介護に対する不安：全体・時系列

- ・全体では「日々の生活の介助」（83.0%）が最も多く、「経済的負担」（68.5%）、「必要なサービスが受けられるか」（66.3%）、「外出の難しさ」（51.3%）の4項目が半数を超える回答となっている。
- ・上位4つの順位は前回調査と同様であるが、いずれも割合は増加傾向が見られる。



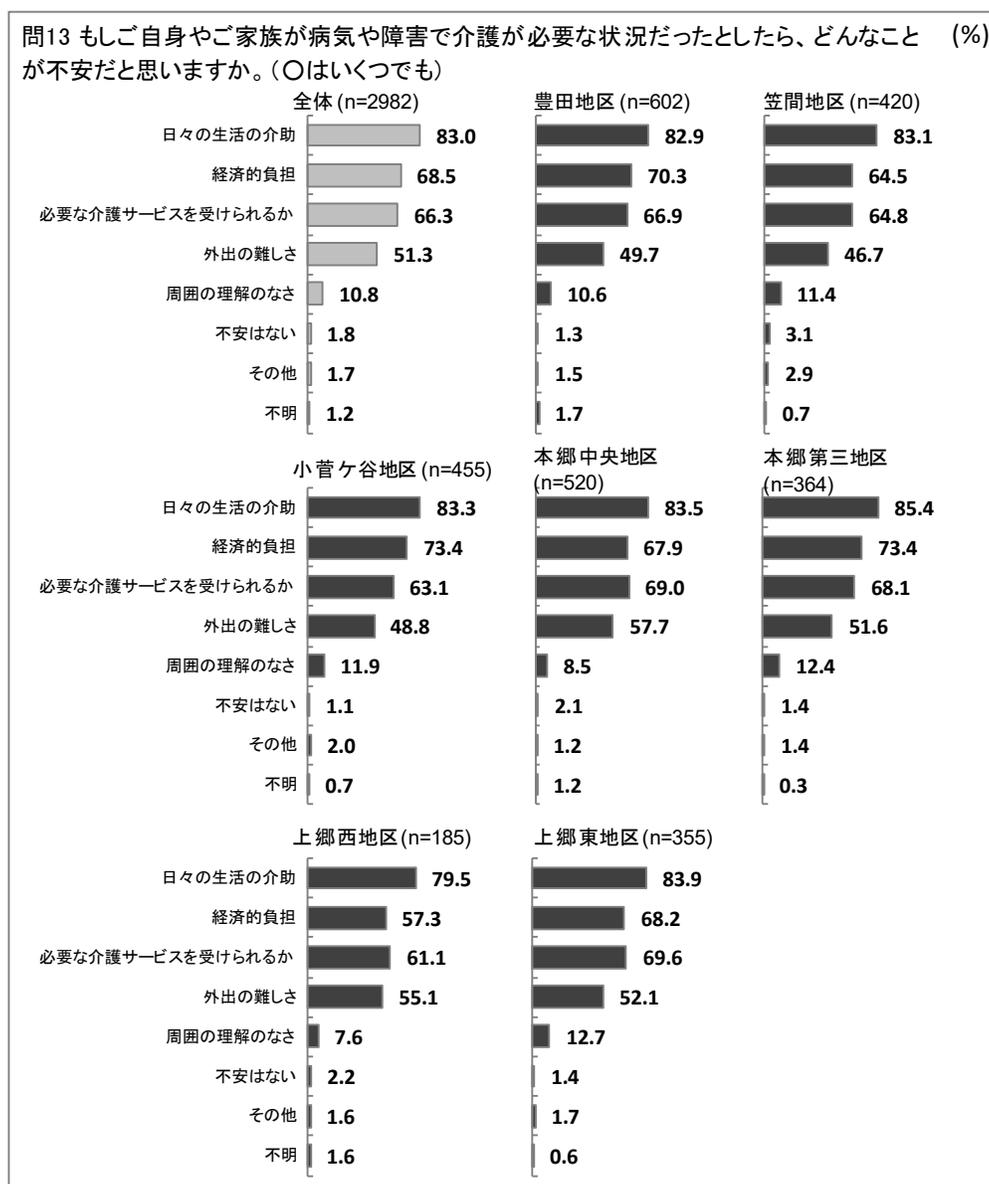
## イ 介護に対する不安：性別・年齢別

- ・介護に対する不安は、性別で大きな差は見られない。
- ・いずれの年代で「日々の生活の介助」が最も多い。
- ・「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」で「経済的負担」の回答が多く、全体より10ポイント以上多い。「70歳以上」では他の年代より「経済的負担」（53.4%）の割合が少なく、全体より15.1ポイント少ない。



## ウ 介護に対する不安：居住地区別

- ・いずれの居住地区でも「日々の生活の介助」が最も多い。
- ・「笠間地区」、「本郷中央地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「必要なサービスを受けられるか」が2番目に多く、「豊田地区」、「本郷第三地区」、「小菅ヶ谷地区」では「経済的負担」が2番目に多い。
- ・「本郷中央地区」では「外出の難しさ」が全体より5ポイント以上多い回答となっている。

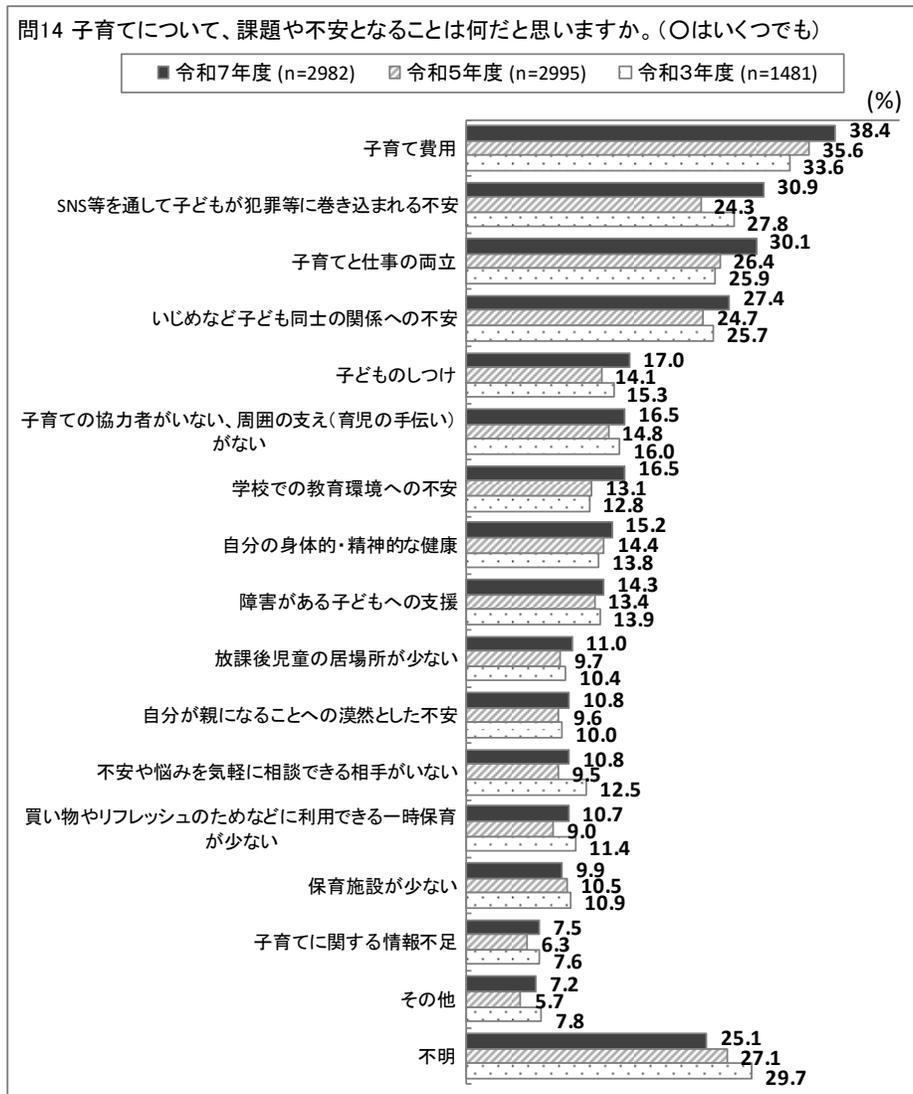


## 6 子育てについて

### (1) 子育てについての課題や不安（問14）

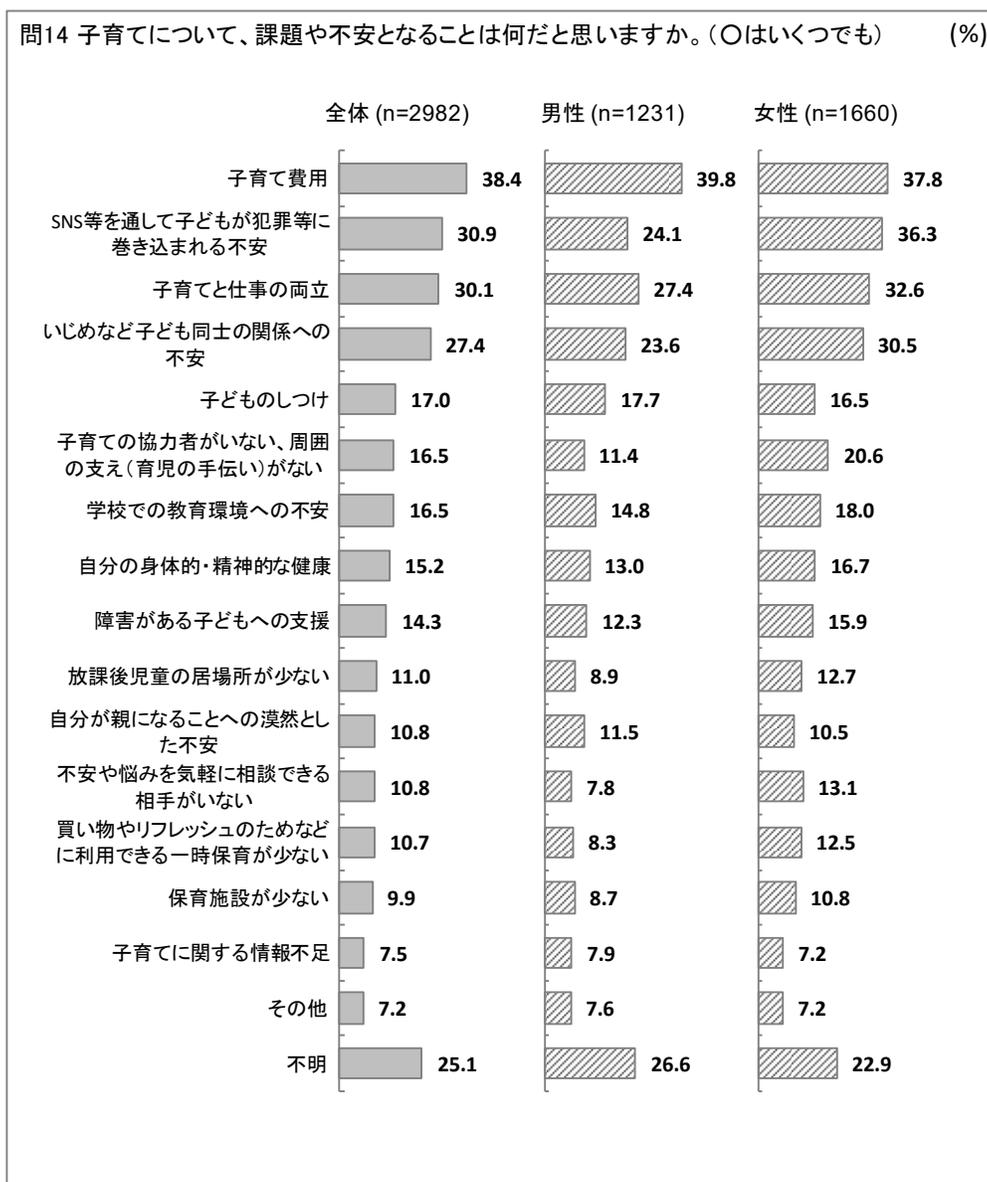
#### ア 子育てについての課題や不安：全体・時系列

- ・全体では「子育て費用」（38.4%）が最も多く、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」（30.9%）、「子育てと仕事の両立」（30.1%）、「いじめなど子ども同士の関係への不安」（27.4%）、が上位にあげられる。
- ・「その他」を除く選択肢15項目のうち「保育施設が少ない」以外の14項目で前回調査を上回っている。割合が最も増えているのは「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」（6.6ポイント増）で、前回調査は4位であったが今回は2位に挙げられている。



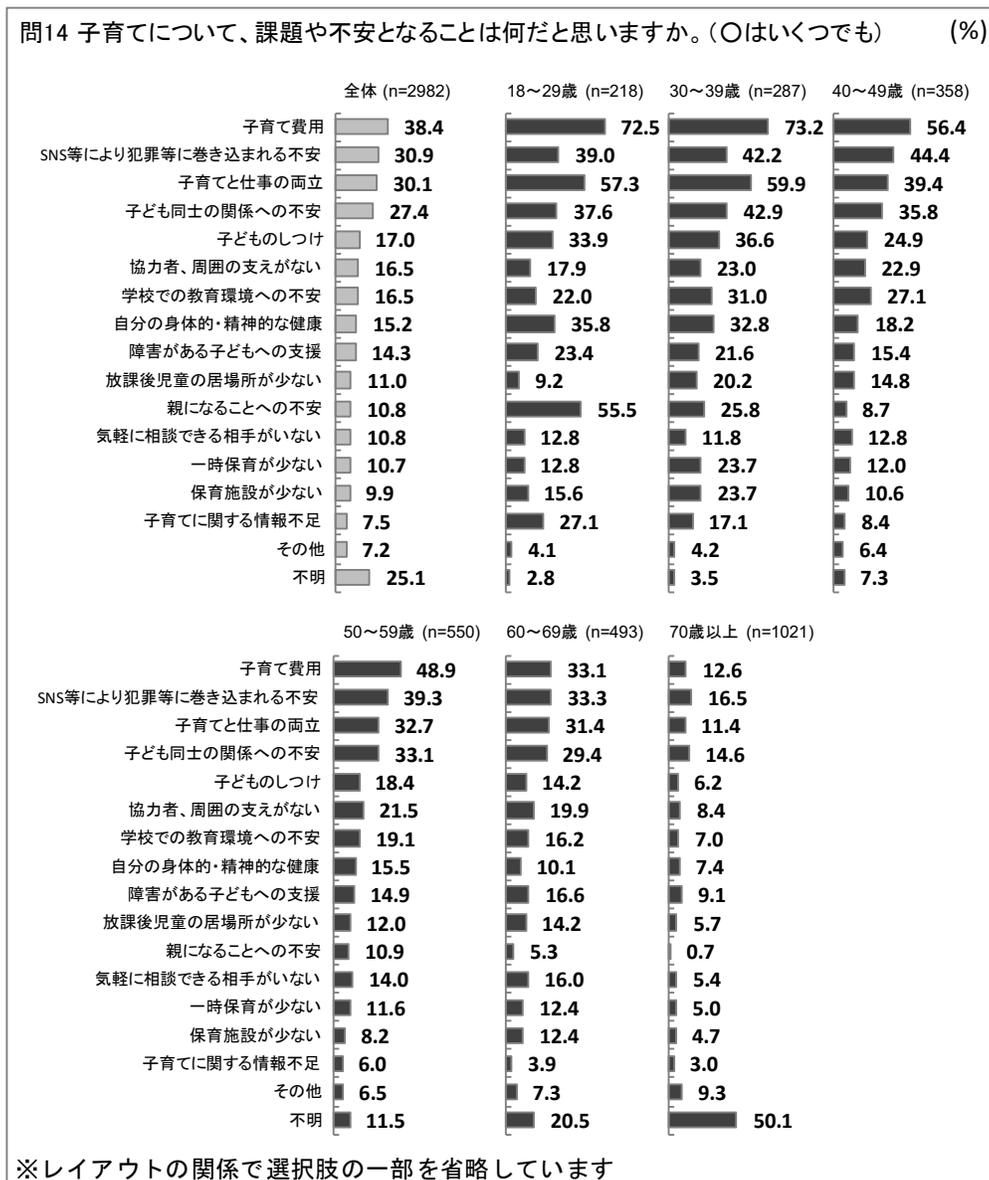
## イ 子育てについての課題や不安：性別

- ・男女とも「子育て費用」が最も多い項目であるが、男性は「子育てと仕事の両立」が、女性は「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」が2位にあげられている。
- ・性別で最も大きな差が見られるのは「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」で、女性が男性を12.2ポイント上回っている。次いで「子育ての協力者がいない、周囲の支え（育児の手伝いがない）」は女性が男性を9.2ポイント上回っている。



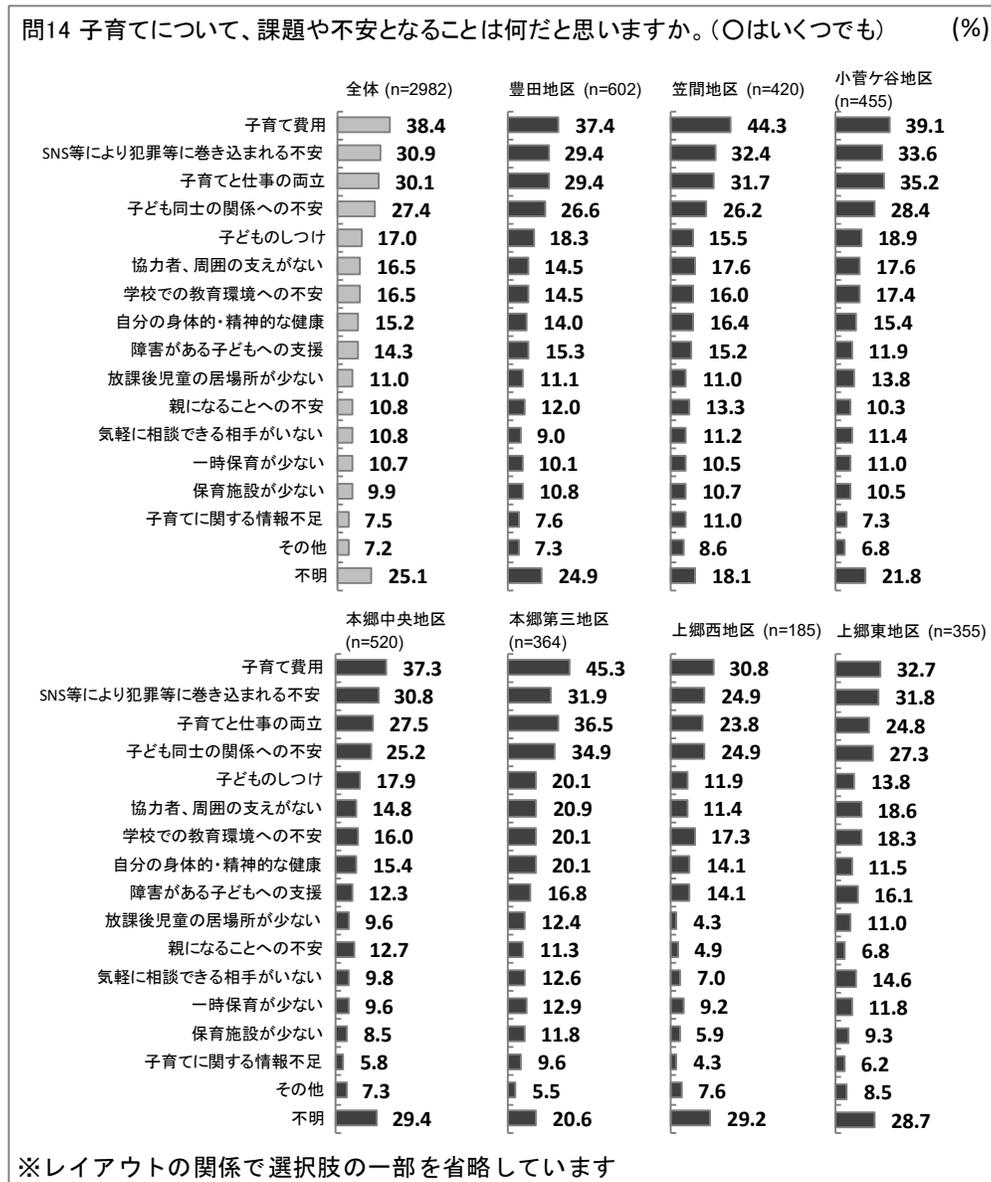
## ウ 子育てについての課題や不安：年齢別

- ・若年層ほど「子育て費用」の割合が多くなる傾向が見られ、「18～29歳」と「30～39歳」では全体を30ポイント以上上回り、約7割の回答となっている。
- ・「子育てと仕事の両立」は、「18～29歳」と「30～39歳」では6割弱の回答で、全体より20ポイント以上多い。
- ・「親になることへの不安」は「18～29歳」の割合が55.5%と他の年代に比べて多く、続く「30～39歳」に比べ約30ポイント多い。



## エ 子育てについての課題や不安：居住地区別

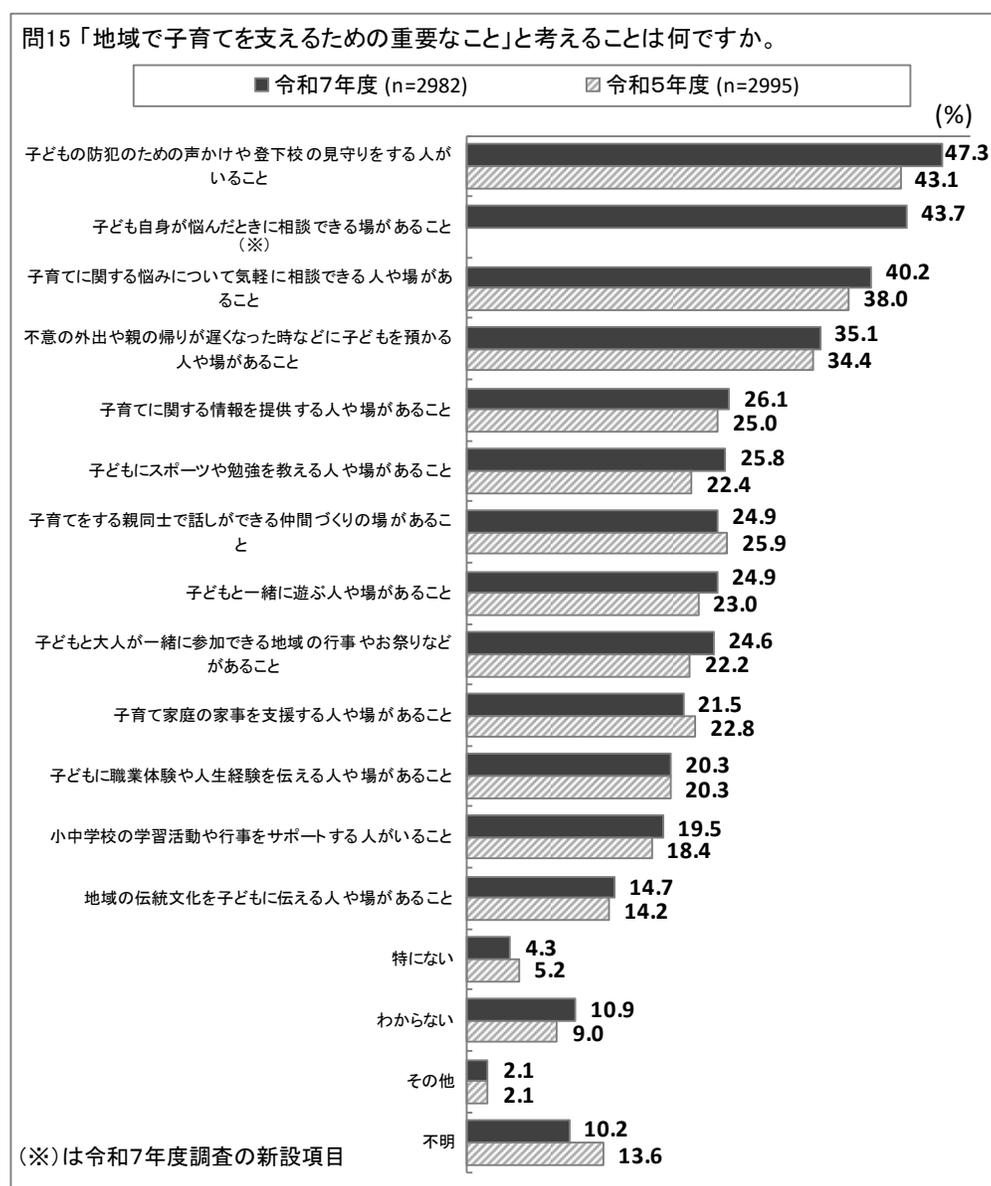
- ・居住地区別では概ね全体と同じ傾向であるが、「笠間地区」と「本郷第三地区」は「子育て費用」が全体より5ポイント以上多く4割以上の回答となっている。
- ・「小菅ヶ谷地区」と「本郷第三地区」では「子育てと仕事の両立」が全体より5ポイント以上多く、「本郷第三地区」では「子ども同士の関係への不安」が全体より5ポイント多い回答となっている。



## (2) 地域で子育てを支えるために重要なこと（問 15）

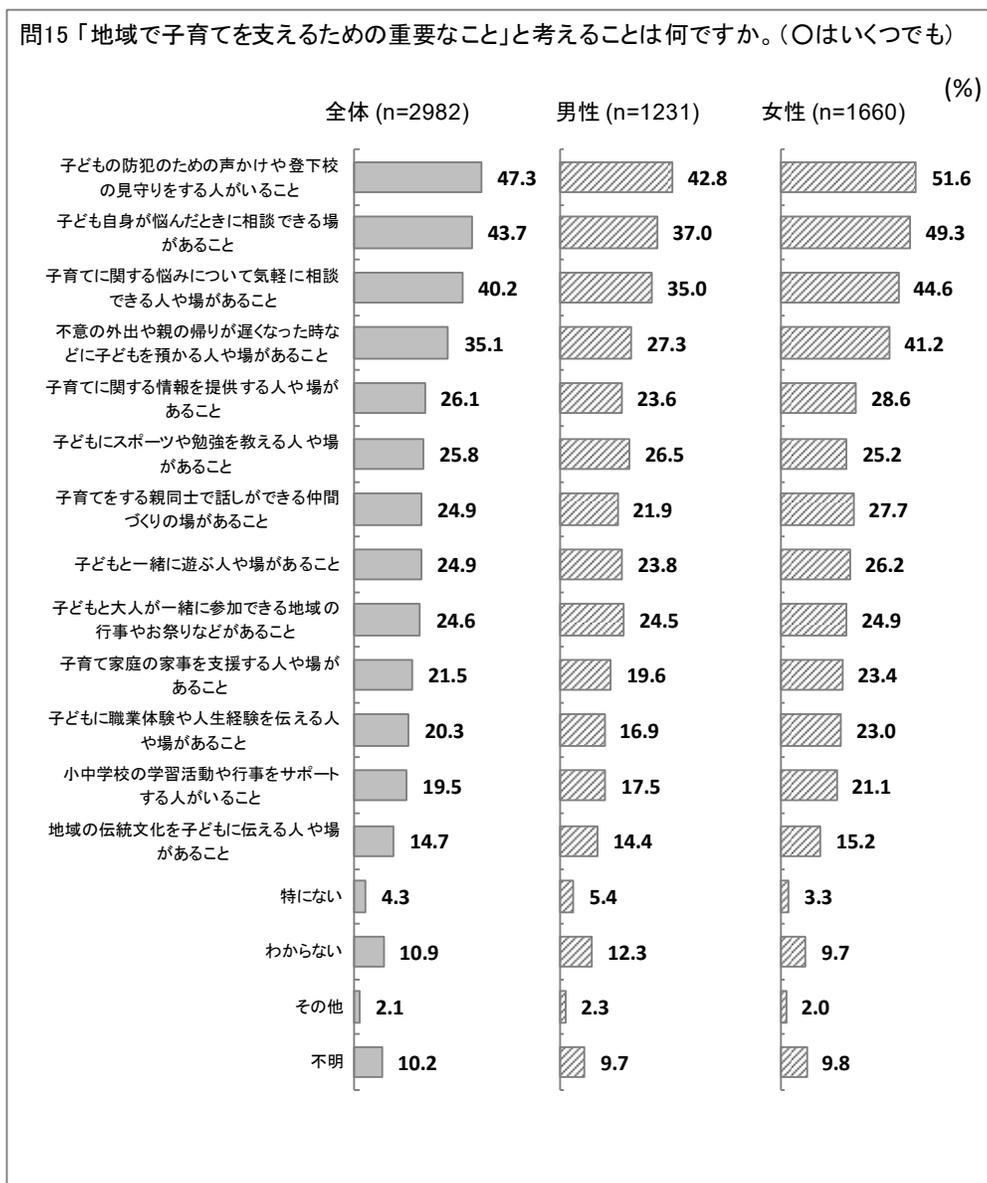
### ア 地域で子育てを支えるために重要なこと：全体・時系列

- ・全体では「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」（47.3%）が最も多く、「子ども自身が悩んだときに相談できる場があること」（43.7%）、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」（40.2%）が上位にあげられる。
- ・前回調査と比べると「特にない」、「わからない」、「その他」を除く12項目のうち9項目で微増している。



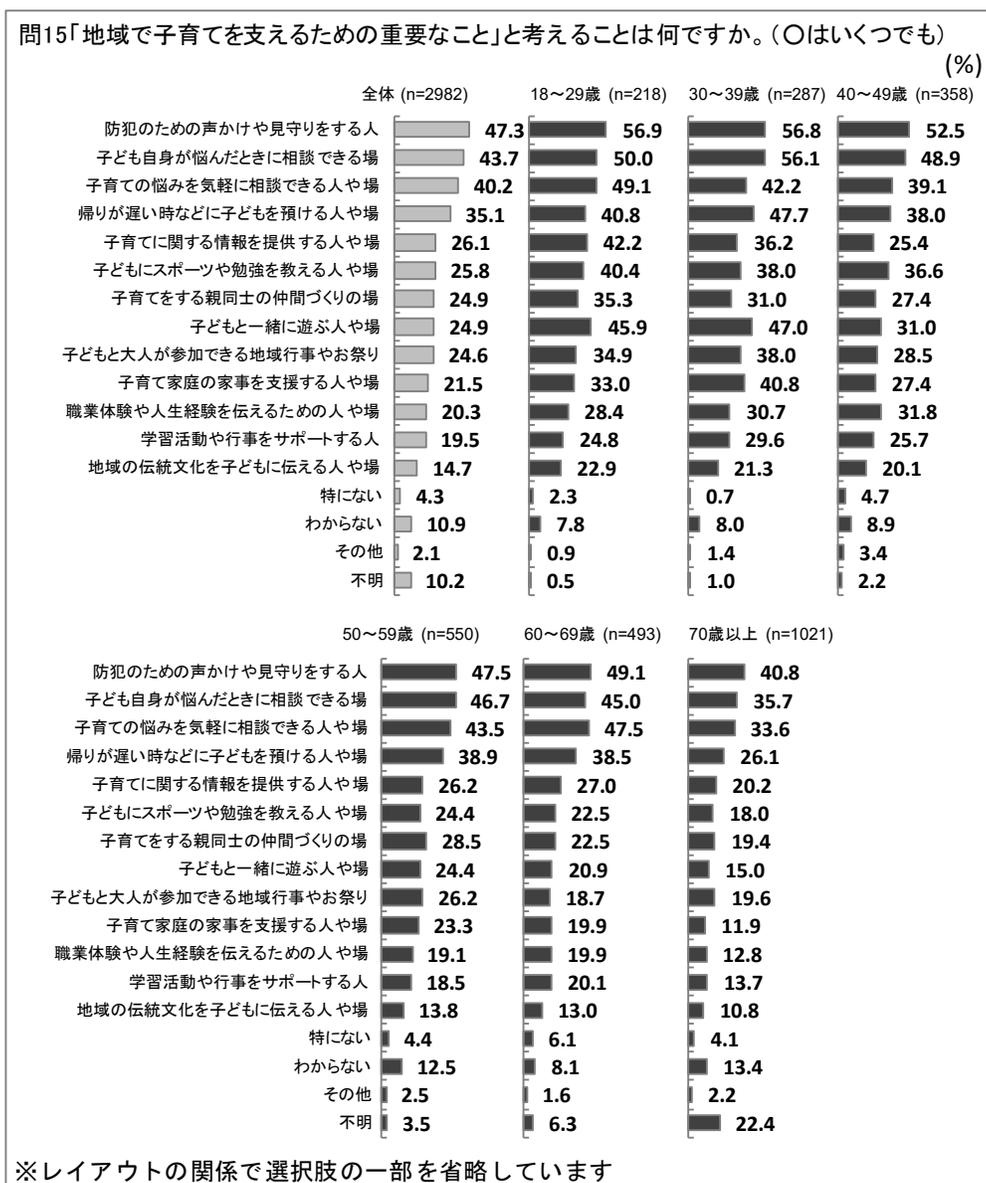
## イ 地域で子育てを支えるために重要なこと：全体・性別

- ・性別に関わらず、上位3つの順位は全体と同様であるが、いずれも女性の方が割合が多い。性別で最も大きな差が見られるのは「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」で、男性は27.3%に対し、女性は41.2%である。



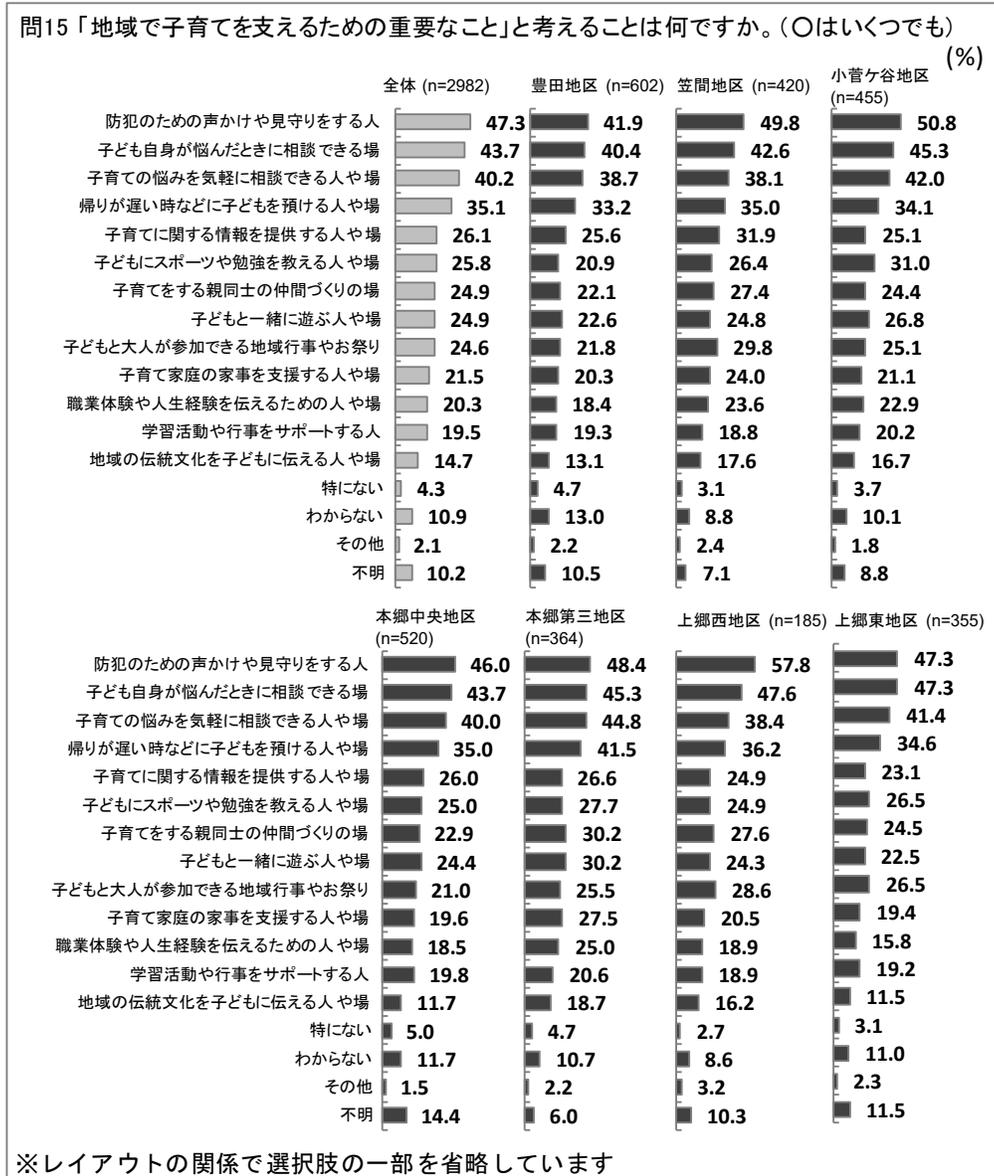
## イ 地域で子育てを支えるために重要なこと：年齢別

- ・いずれの年代も「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り～をする人がいること」が最も多い。「60～69歳」を除く年代で、「子ども自身が悩んだときに相談できる場があること」が2位に挙げられている。
- ・「30～39歳」は、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（47.7%）が3位に挙げられ、全体より12.6ポイント多い。



## ウ 地域で子育てを支えるために重要なこと：居住地区別

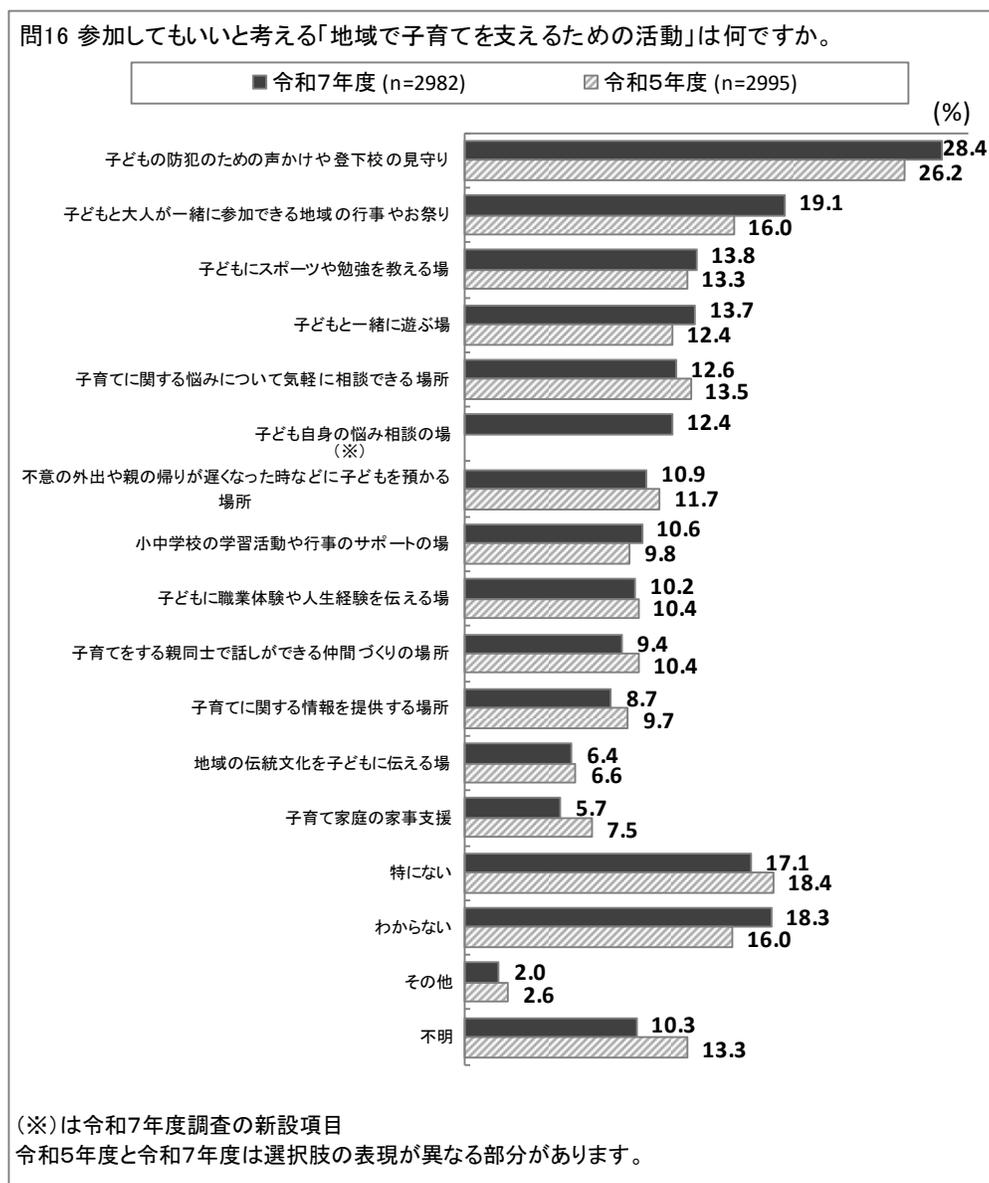
- ・いずれの居住地区も「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が最も多い。とりわけ「上郷西地区」では57.8%と多く、全体より10.5ポイント上回っている。
- ・「上郷東地区」では「子ども自身が悩んだときに相談できる場があること」が同率で1番目に多い回答となっている。



(3) 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」(問16)

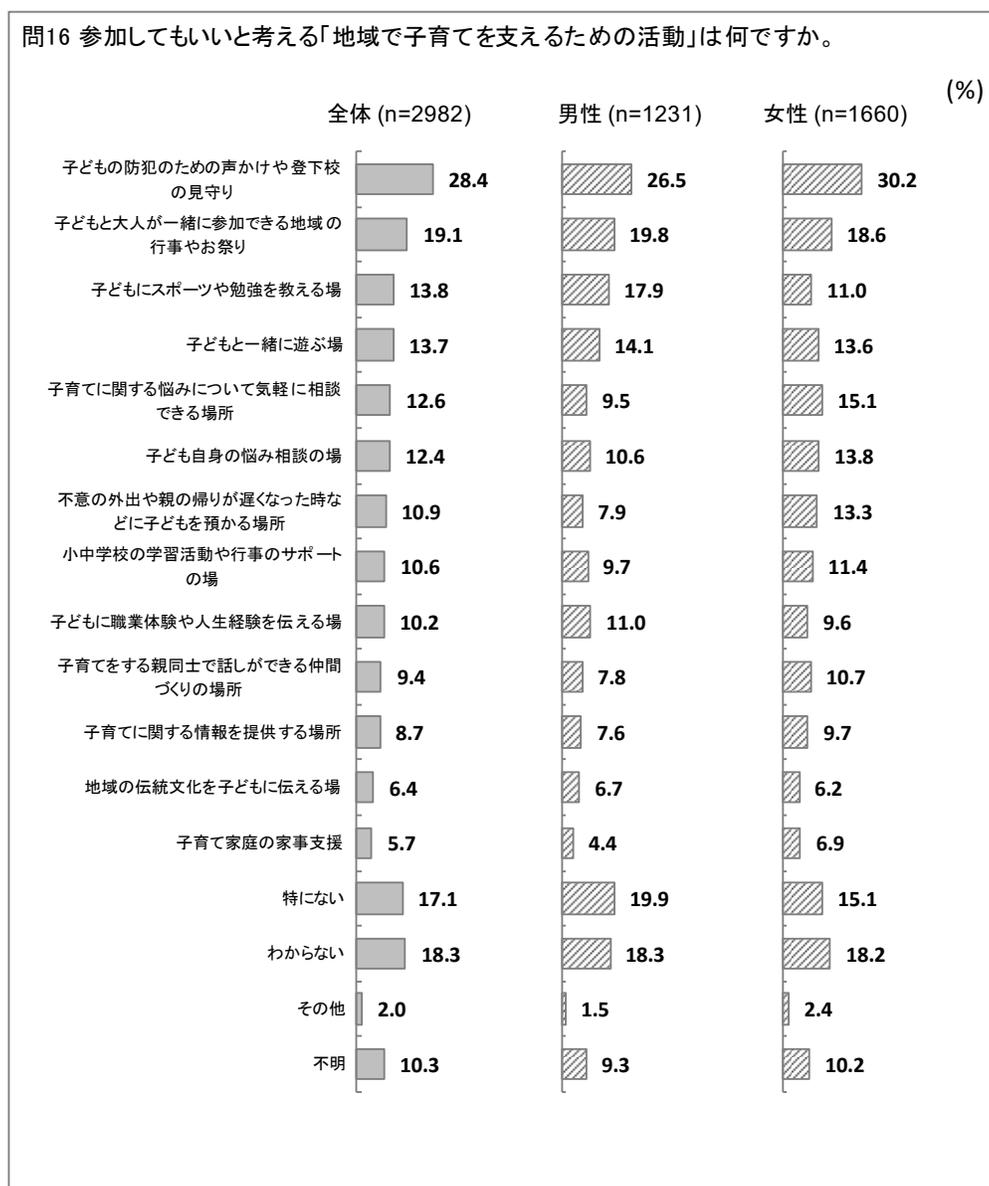
ア 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：全体・時系列

- ・全体では「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り」(28.4%)が最も多く、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭り」(19.1%)が続く。
- ・前回調査と上位2つの項目は同じであるが、その割合は微増している。



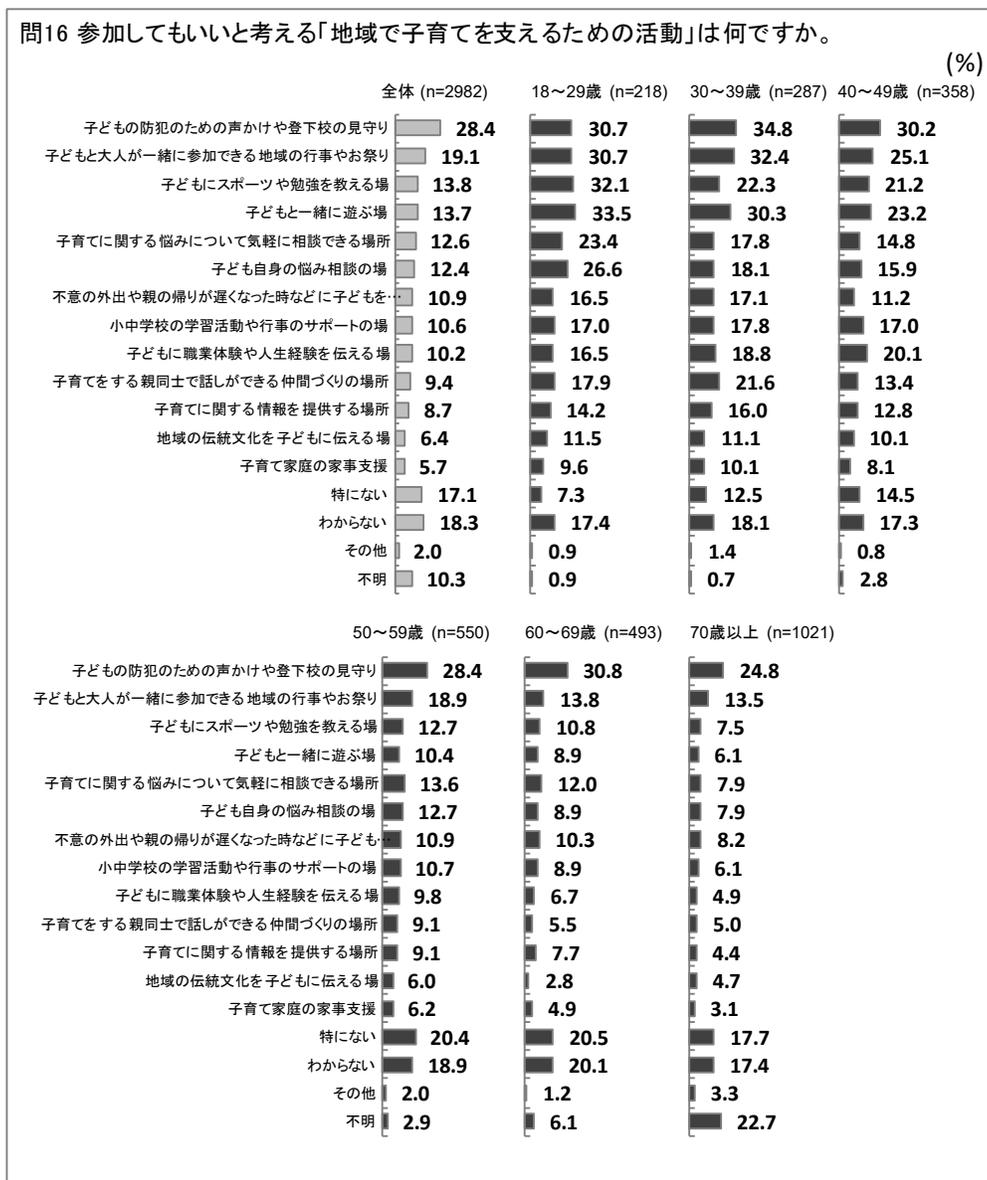
## イ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：性別

- ・男女とも「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り」が最も多く、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭り」が続く
- ・男女差が最も大きいのは、「子どもにスポーツや勉強を教える場」で男性が女性を6.9ポイント上回っている。2番目に大きいのは「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる場所」で、女性が男性を5.6ポイント上回っている。



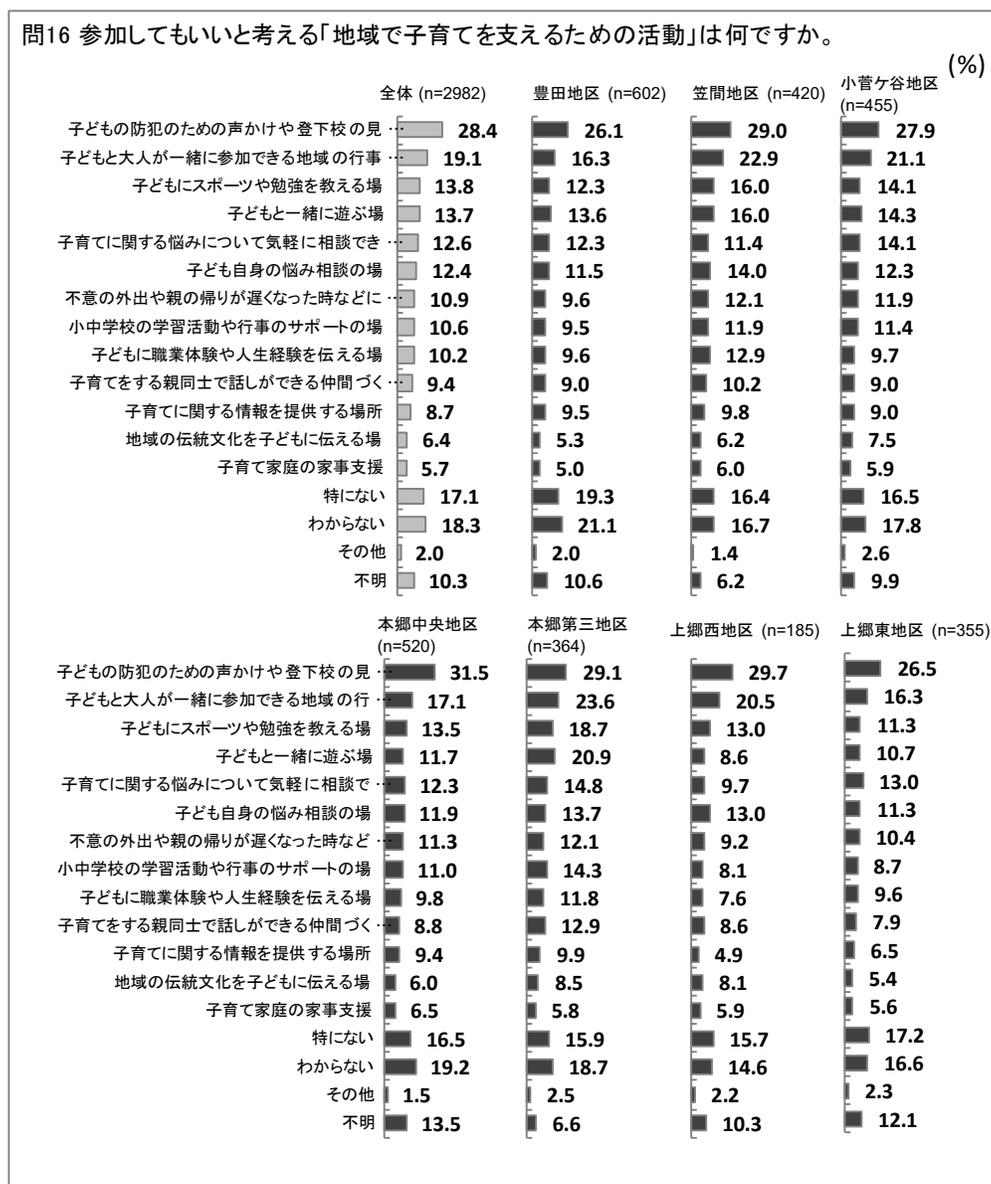
## イ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：年齢別

- ・「18～29歳」を除くいずれの年代も「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り」が最も多く、「30～39歳」では34.8%と全体より6.4ポイント多い。
- ・「18～29歳」では「子どもと一緒に遊ぶ場」（33.5%）が最も多く、「子どもにスポーツや勉強を教える場」（32.1%）が続く。



## ウ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：居住地区別

- ・いずれの居住地区も「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り」が最も多く、居住地区別で大きな差は見られない。



オ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：「その他」の内容

- ・その他の内容は、「食事関係」（4件）、「得意分野を活かした活動」（3件）、「地域の交流」（3件）などが記されている。

問16 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」は何ですか。

「15. その他」の内容 (件)

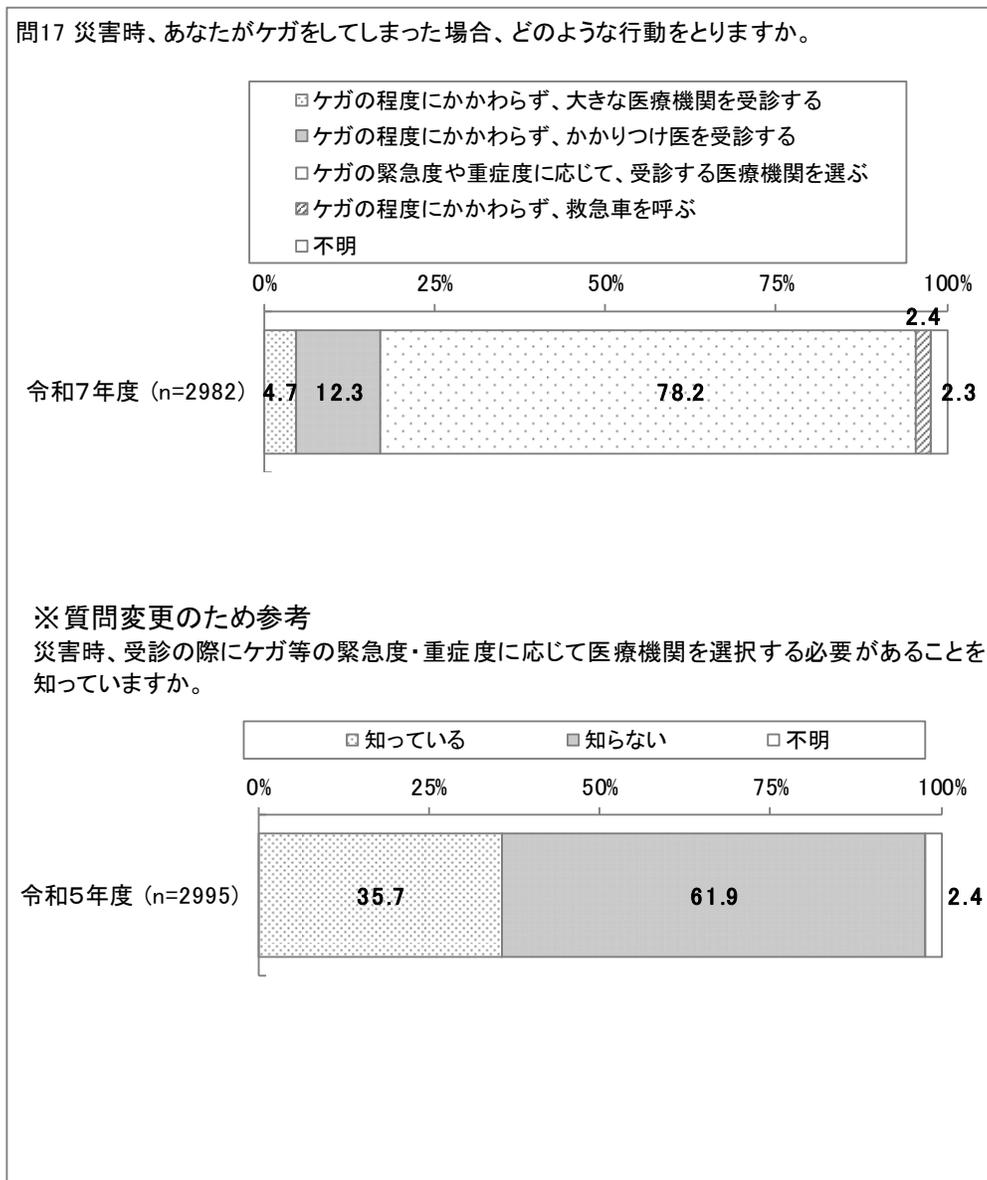
食事関係	4	具体的ではないが、参加意向あり	2
子ども食堂など	2	子どもがいない・よくわからない	11
給食の充実	1	その他	12
困窮家庭等への食の支援	1	活動ができない理由	43
得意分野を活かした活動	3		
中学校の部活動指導	1		
英語教育	1		
音楽活動	1		
地域の交流	3		
地域の交流	1		
交流手伝い	1		
情報提供	1		

## 7 防災について

### (1) 災害時の緊急度・重症度に応じた医療機関の選択の認知度（問17）

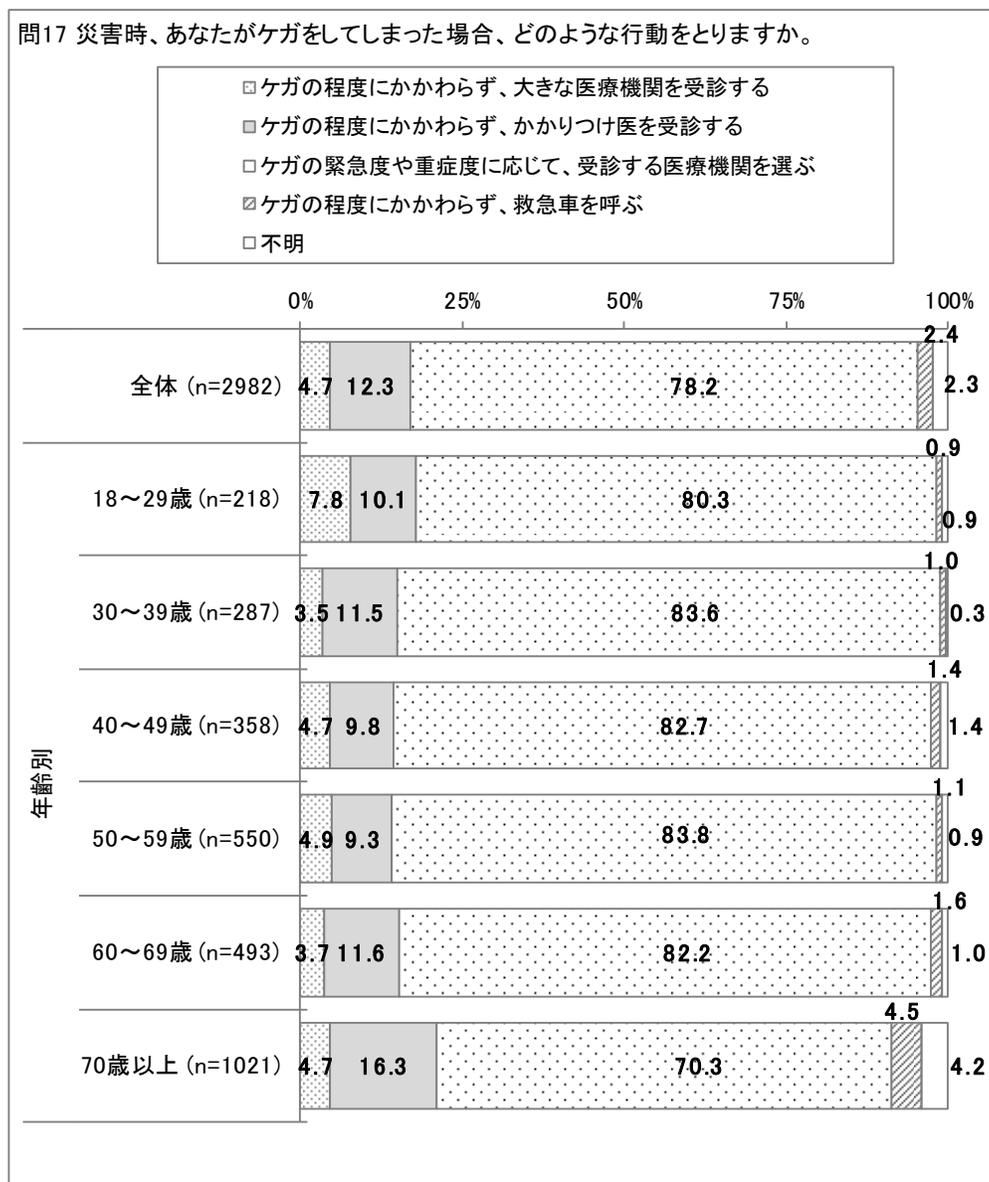
#### ア 災害時の緊急度・重症度に応じた医療機関の選択の認知度：全体

- ・全体では「ケガの緊急度や重症度に応じて、受診する医療機関を選ぶ」が最も多く、78.2%となっている。



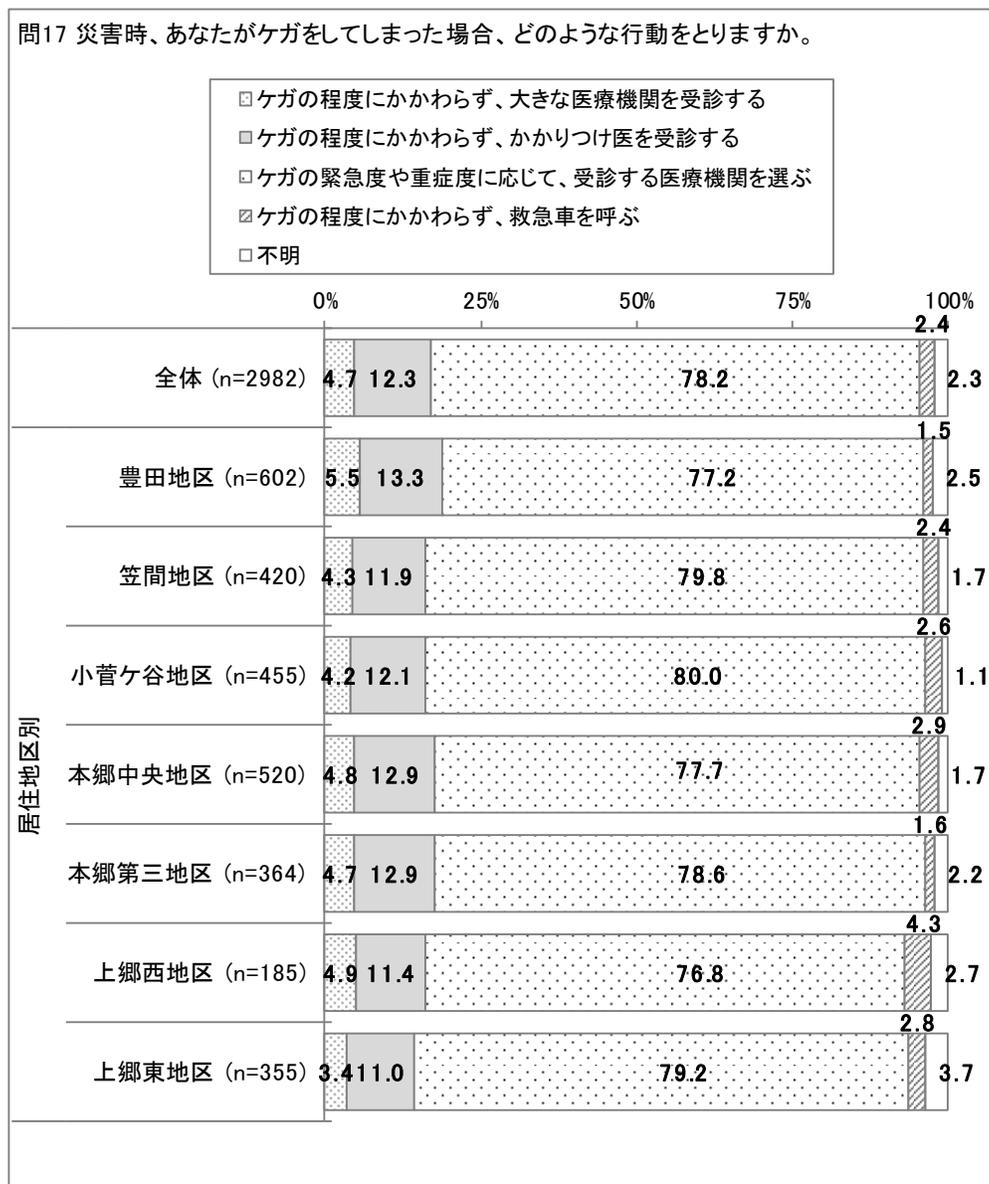
## イ 災害時の緊急度・重症度に応じた医療機関の選択の認知度：全体・年齢別

- ・いずれの年代も「ケガの緊急度や重症度に応じて、受診する医療機関を選ぶ」が最も多く、「70歳以上」を除くと8割以上の回答となっている。
- ・「70歳以上」は「ケガの程度にかかわらず、かかりつけ医を受診する」（16.3%）が全体より5ポイント以上多い。



## ウ 災害時の緊急度・重症度に応じた医療機関の選択の認知度：居住地 区別

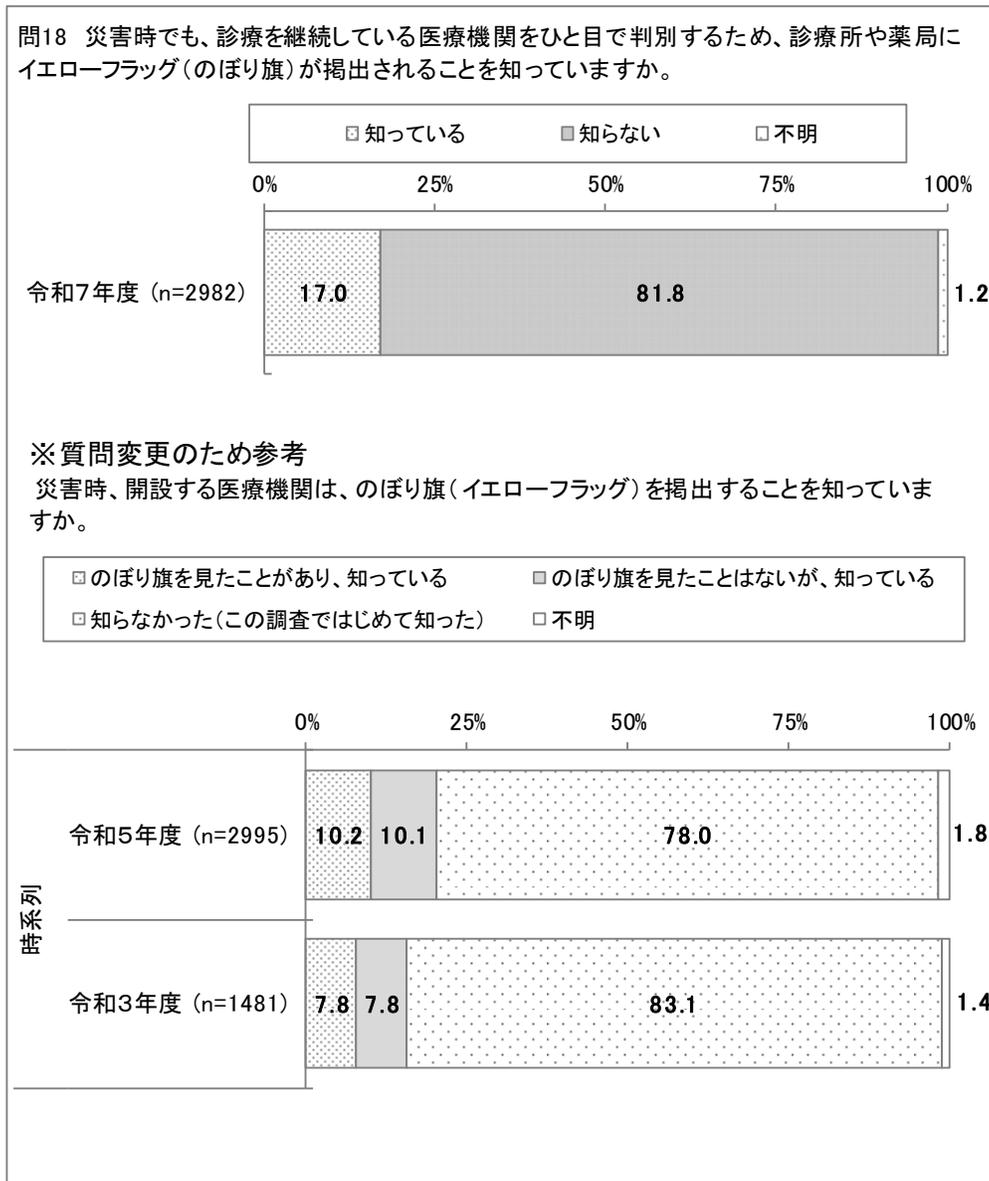
- ・いずれの地区も「ケガの緊急度や重症度に応じて、受診する医療機関を選ぶ」が最も多く、約8割の回答となっている。



(2) のぼり旗を掲出することの認知度 (問 18)

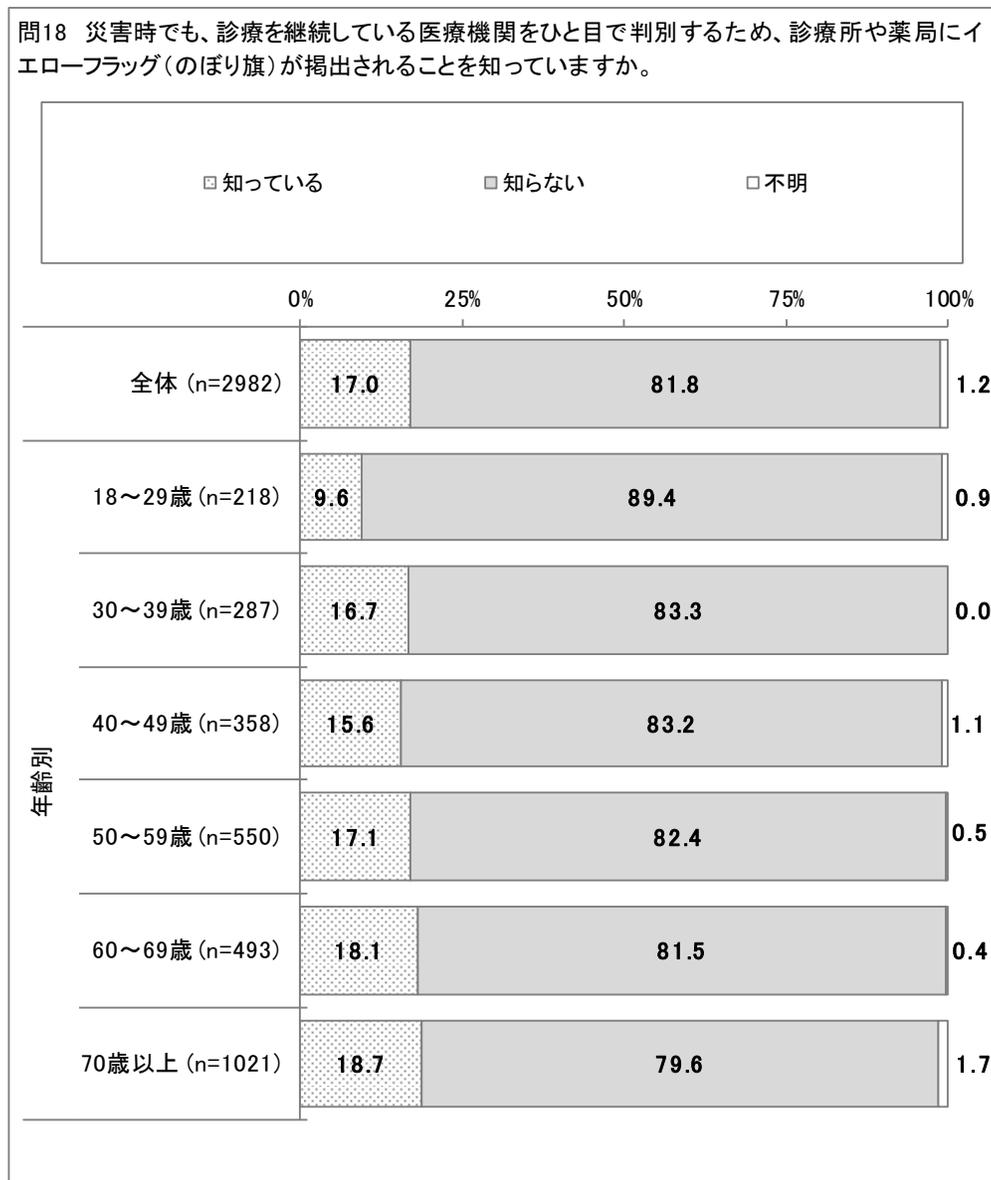
ア のぼり旗を掲出することの認知度：全体

- ・「知らない」(81.8%)は8割を超え、「知っている」(17.0%)を大きく上回っている。



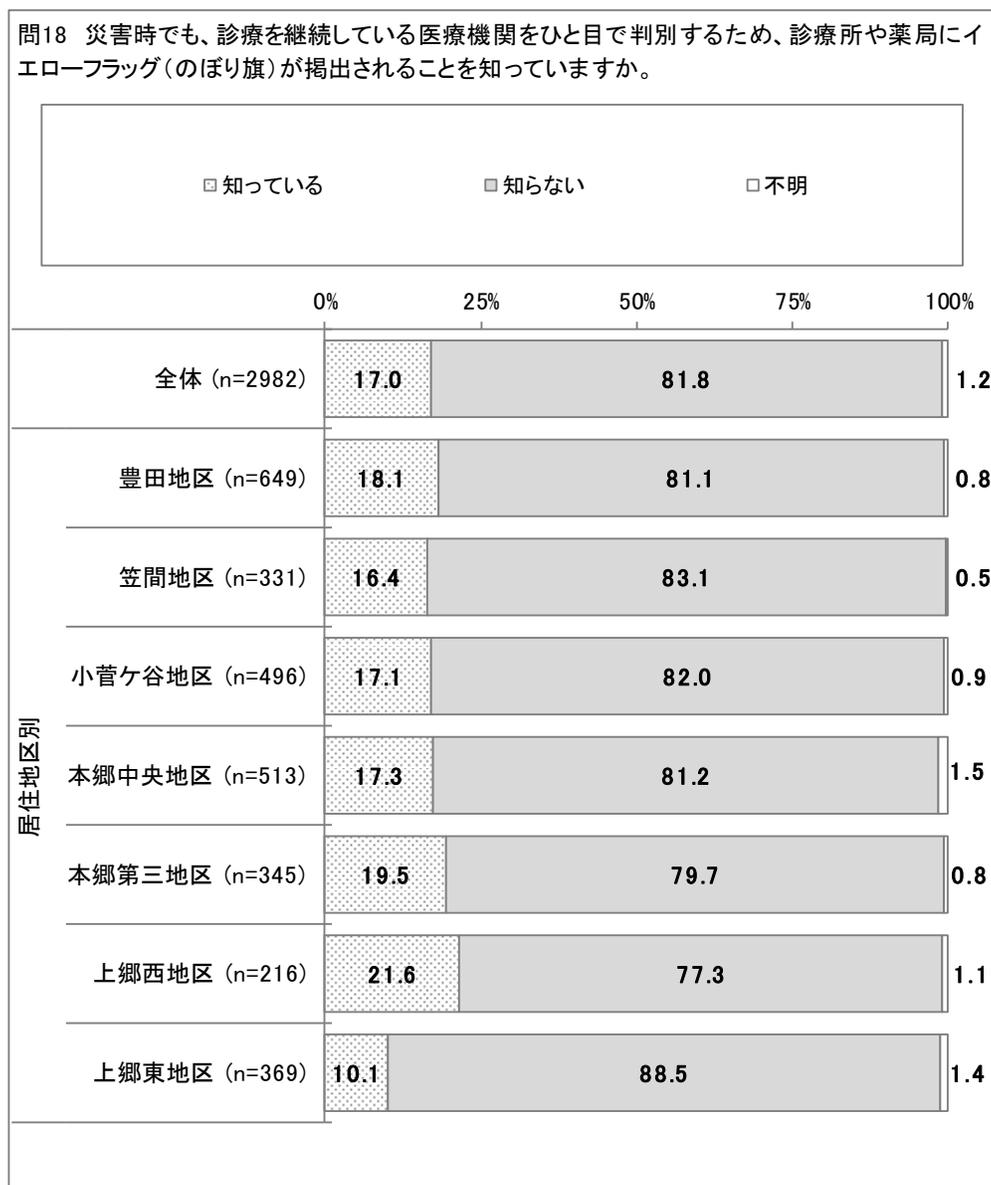
## イ のぼり旗を掲出することの認知度：年齢別

- ・「知らない」の割合は、「18～29歳」は89.4%と全体より7.6ポイント多い。



## ウ のぼり旗を掲出することの認知度：居住地区別

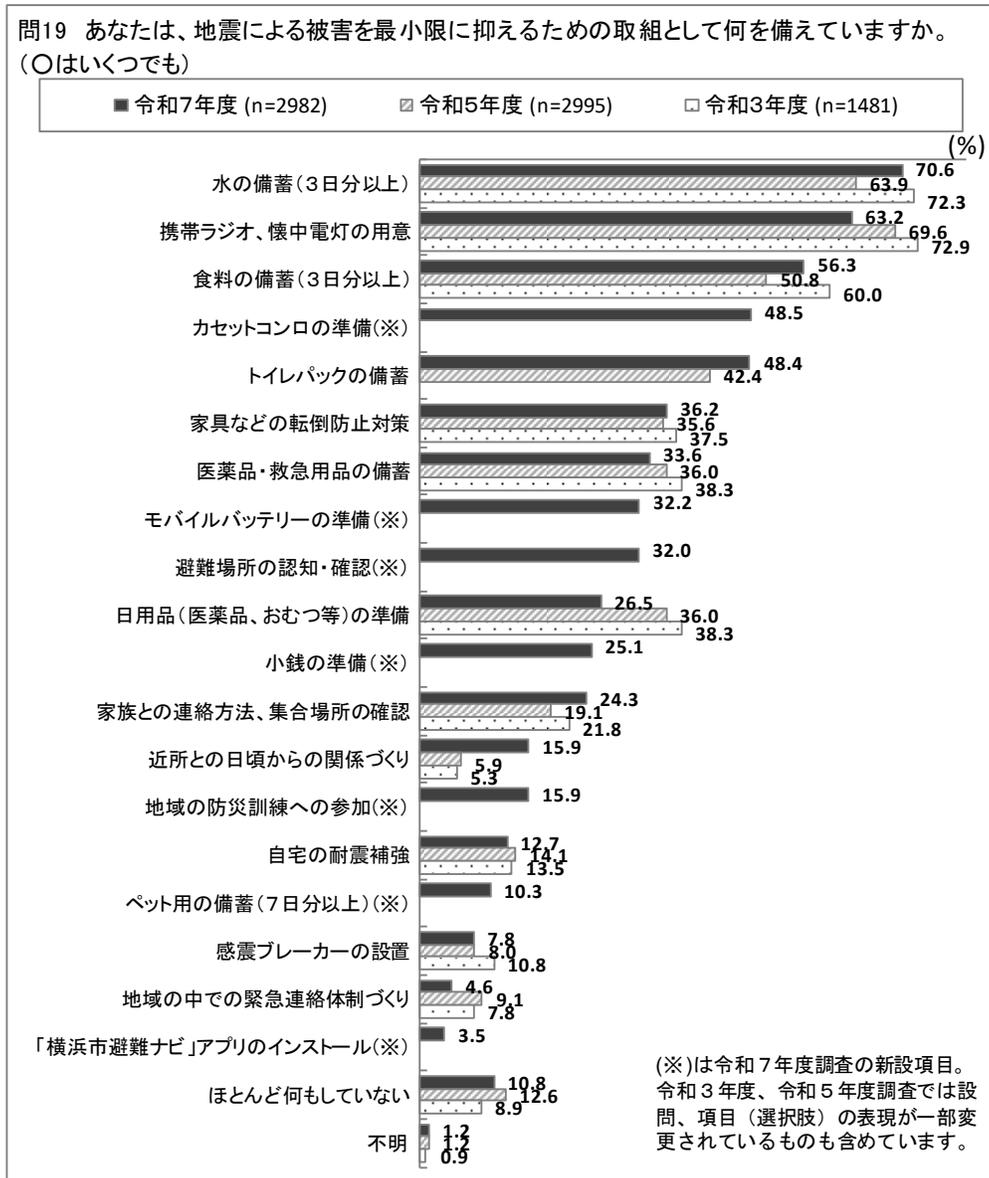
- ・「上郷西地区」では「知っている」の割合が最も多く 21.6%である。「上郷東地区」では「知っている」（10.1%）が全体より 6.9ポイント下回っている。



### (3) 災害に対する備え（問 19）

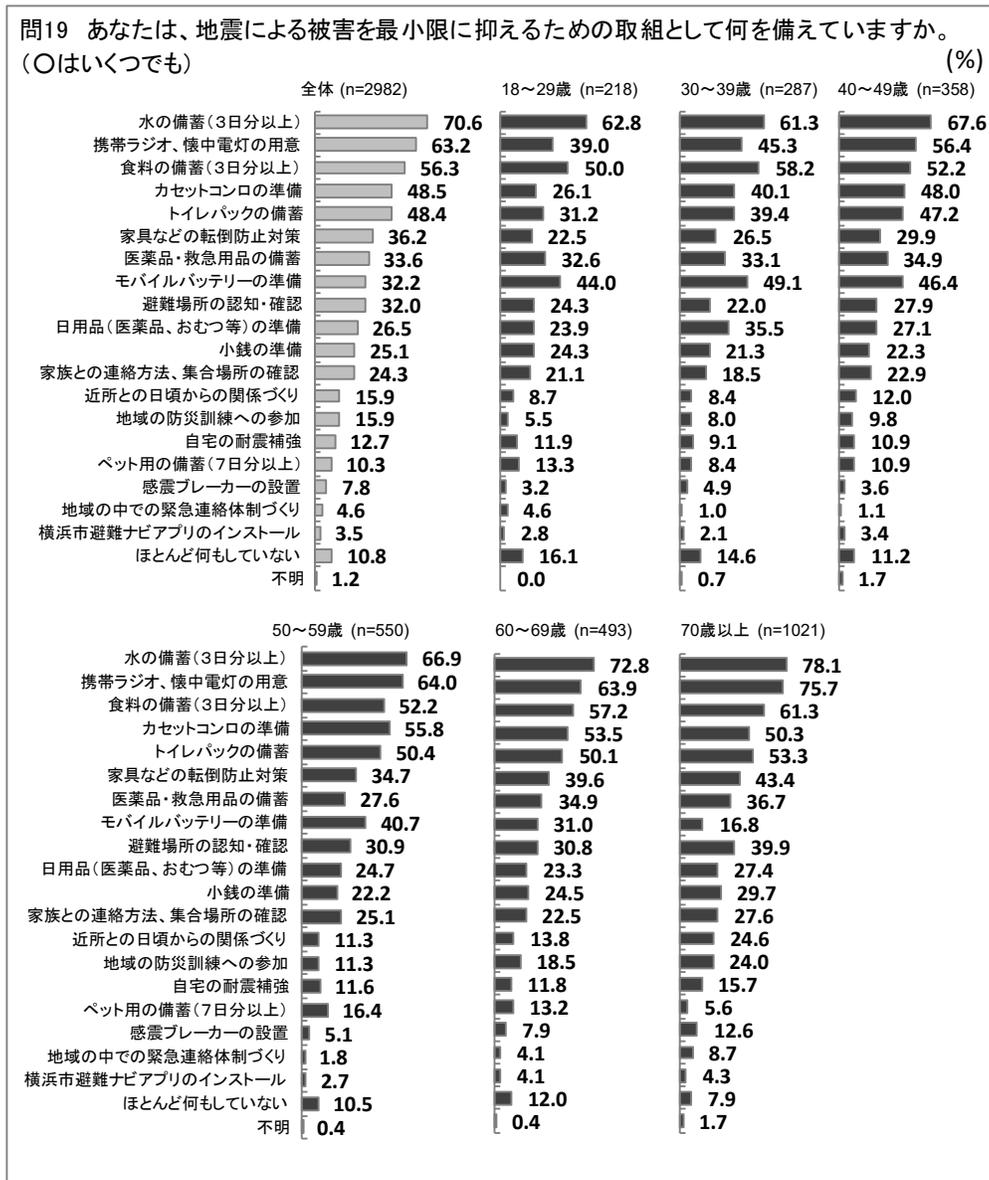
#### ア 災害に対する備え：全体・時系列

- ・全体では「水の備蓄（3日分以上）」（70.6%）が最も多く、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」（63.2%）、「食料の備蓄（3日分以上）」（56.3%）が続く。



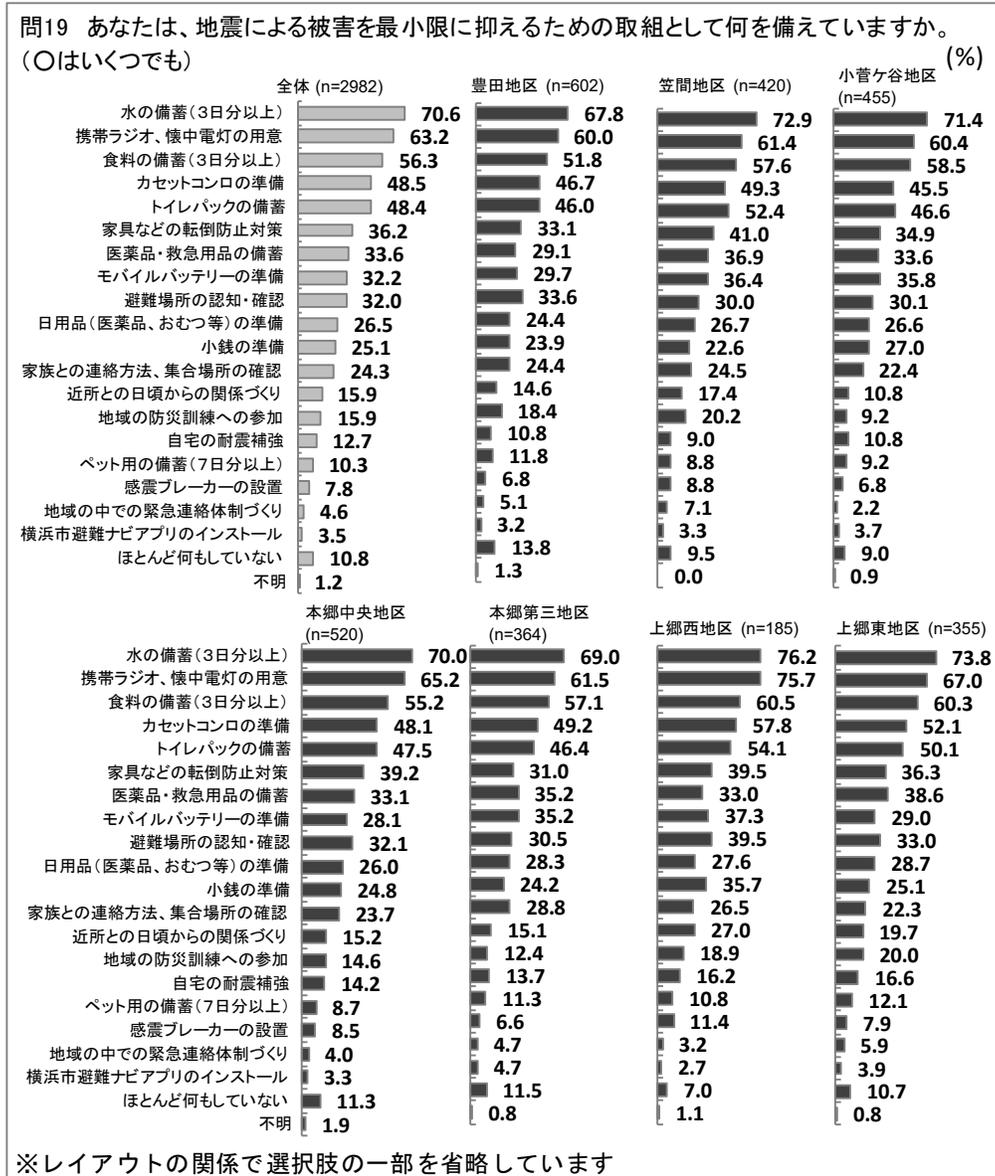
## イ 災害に対する備え：年齢別

- ・いずれの年代も「水の備蓄（3日分以上）」が1位であるが、最も多い「70歳以上」（78.1%）と最も少ない「30～39歳」（61.3%）では16.8ポイントの差がある。
- ・「60～69歳」と「70歳以上」を除くと「モバイルバッテリーの準備」が40%を超えており、「18～29歳」と「30～39歳」では3位に挙げられている。



## ウ 災害に対する備え：居住地区別

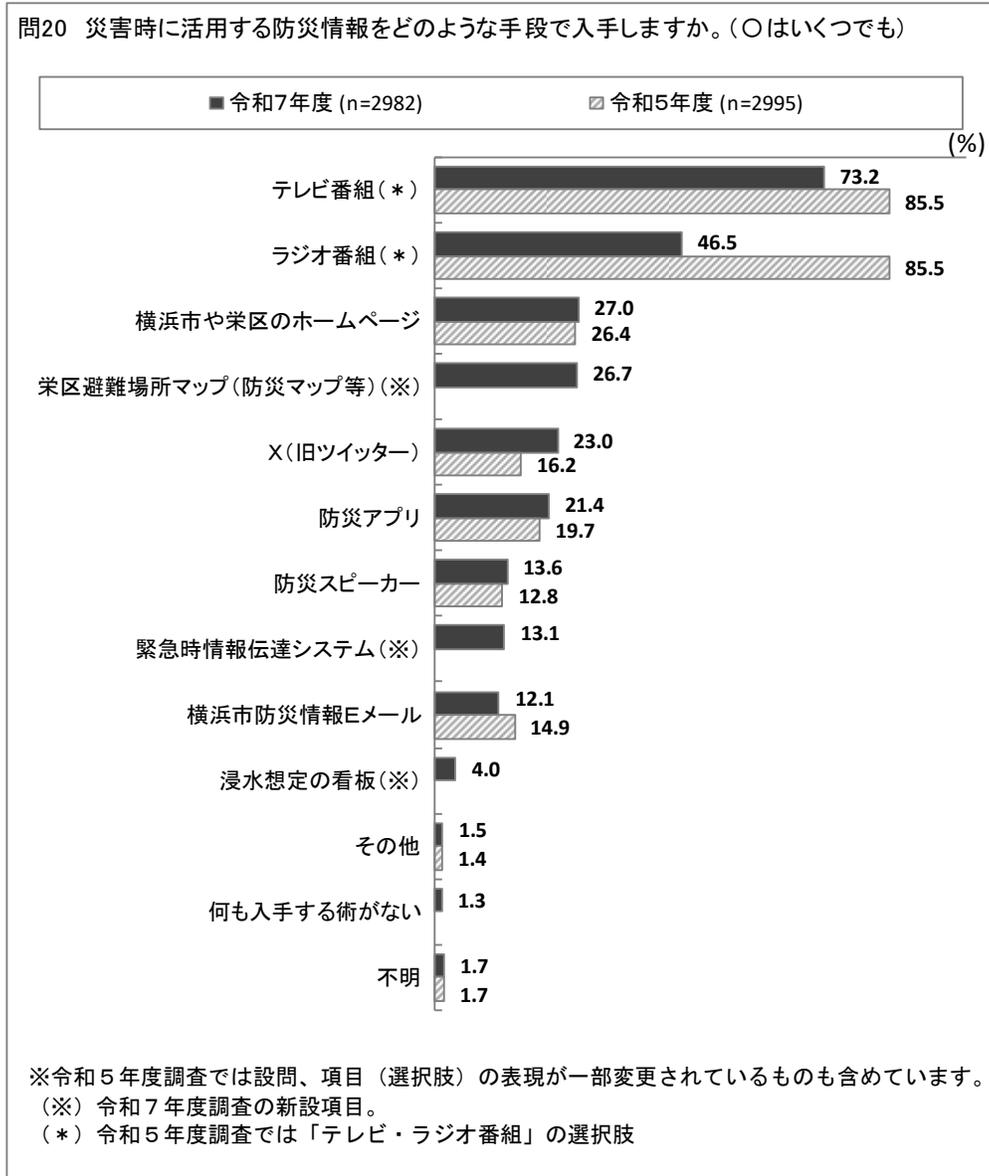
- ・いずれの居住地区も全体と同じく、「水の備蓄（3日分以上）」が最も多く、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「食料の備蓄（3日分以上）」が続く。
- ・「上郷西地区」では「水の備蓄（3日分以上）」と「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」が、他地区より多い回答となっている。



#### (4) 災害時の避難情報の入手手段（問 20）

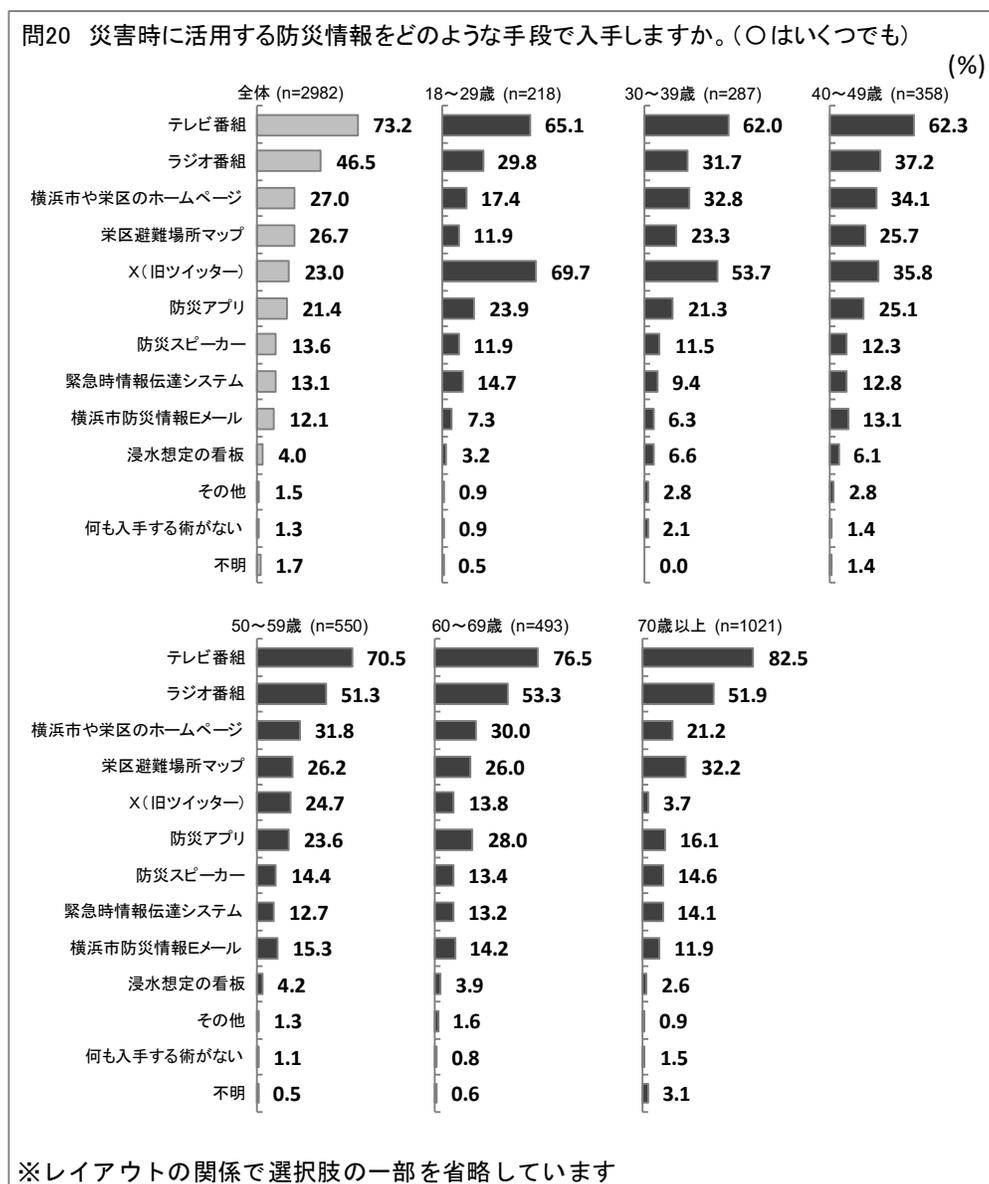
##### ア 災害時の避難情報の入手手段：全体・時系列

- ・全体では「テレビ番組」（73.2%）が最も多く、「ラジオ番組」（46.5%）が続く。
- ・「X（旧ツイッター）」（23.0%）は前回調査に比べ6.8ポイント多くなっている。



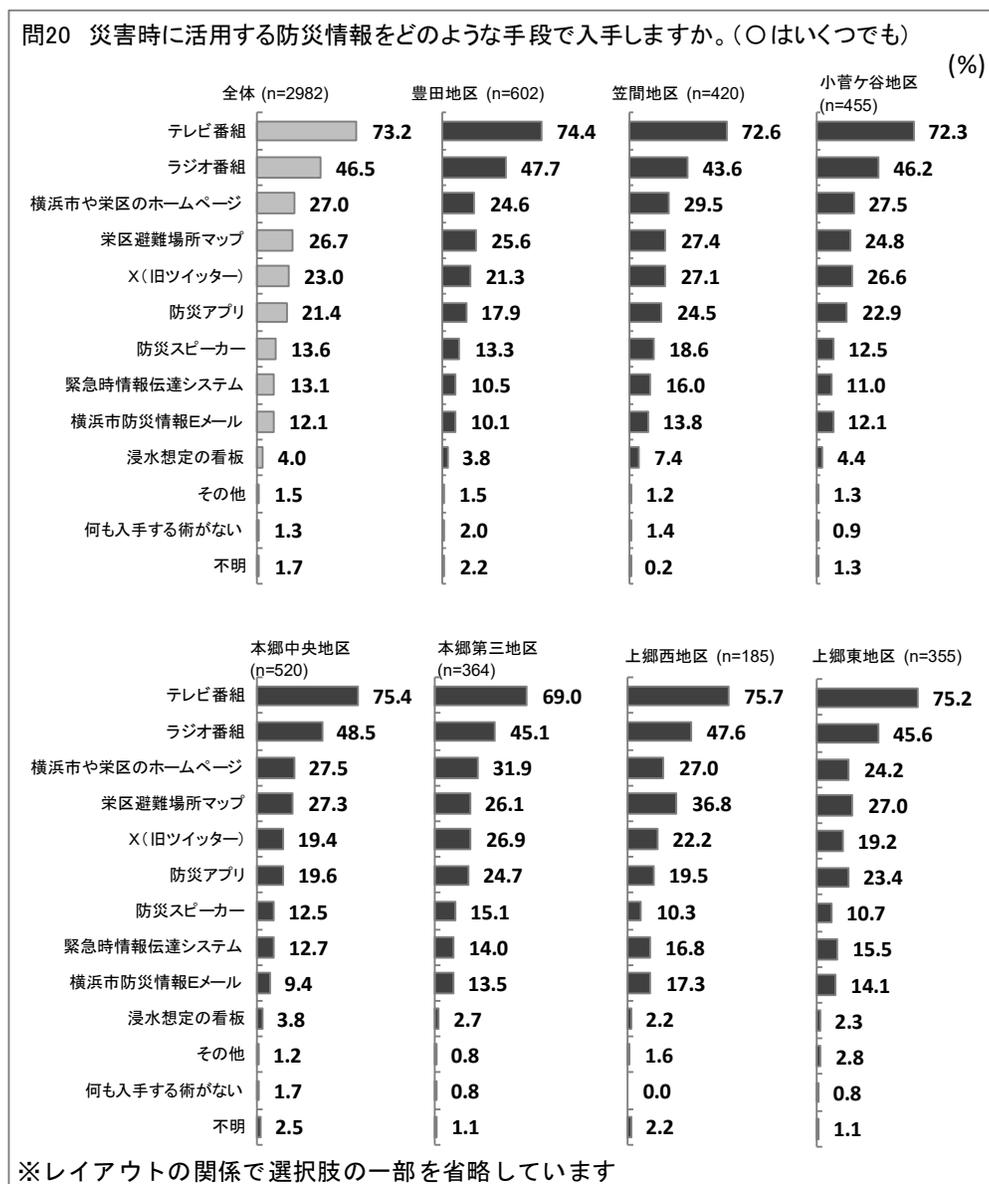
## イ 災害時の避難情報の入手手段：年齢別

- ・「18～29歳」を除くいずれの年代も「テレビ番組」が最も多く、年代が上がるほど割合が高くなる傾向が見られる。
- ・「18～29歳」と「30～39歳」では「X（旧ツイッター）」が50%以上となっており、「18～29歳」では1位に挙げられている。



## ウ 災害時の避難情報の入手手段：居住地区別

- ・いずれの居住地区も全体と同じく、「テレビ番組」が最も多く、「ラジオ番組」が続く。

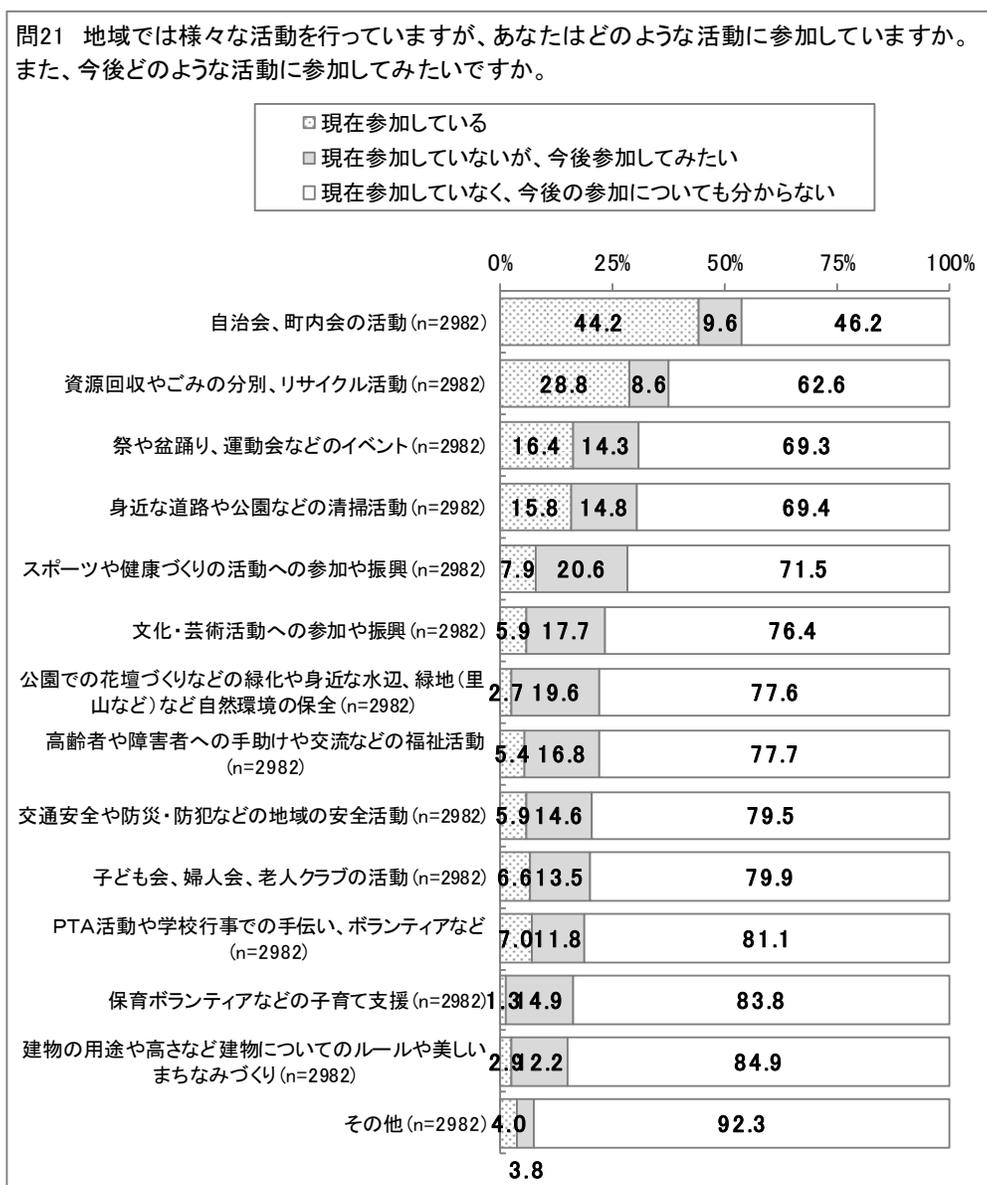


## 8 地域のつながりについて

### (1) 地域活動への参加状況と参加意向（問 21）

#### ア 地域活動への参加：全体

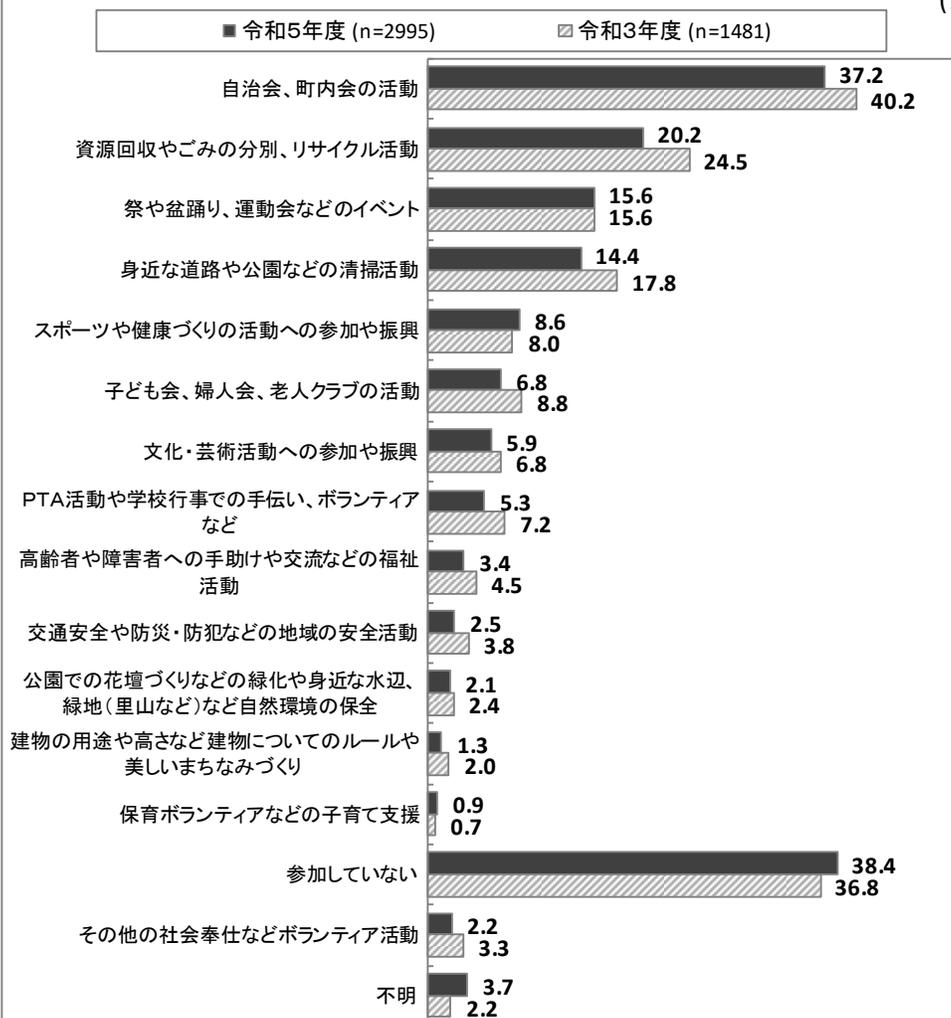
- ・現在参加している地域活動で最も多いのは「自治会、町内会の活動」（44.2%）で、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」（28.8%）が続く。
- ・現在参加していないが、今後参加してみたい地域活動で最も多いのは「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」（20.6%）で、「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）自然環境の保全」（19.6%）が続く。



※質問変更のため参考

あなたはどのような地域活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

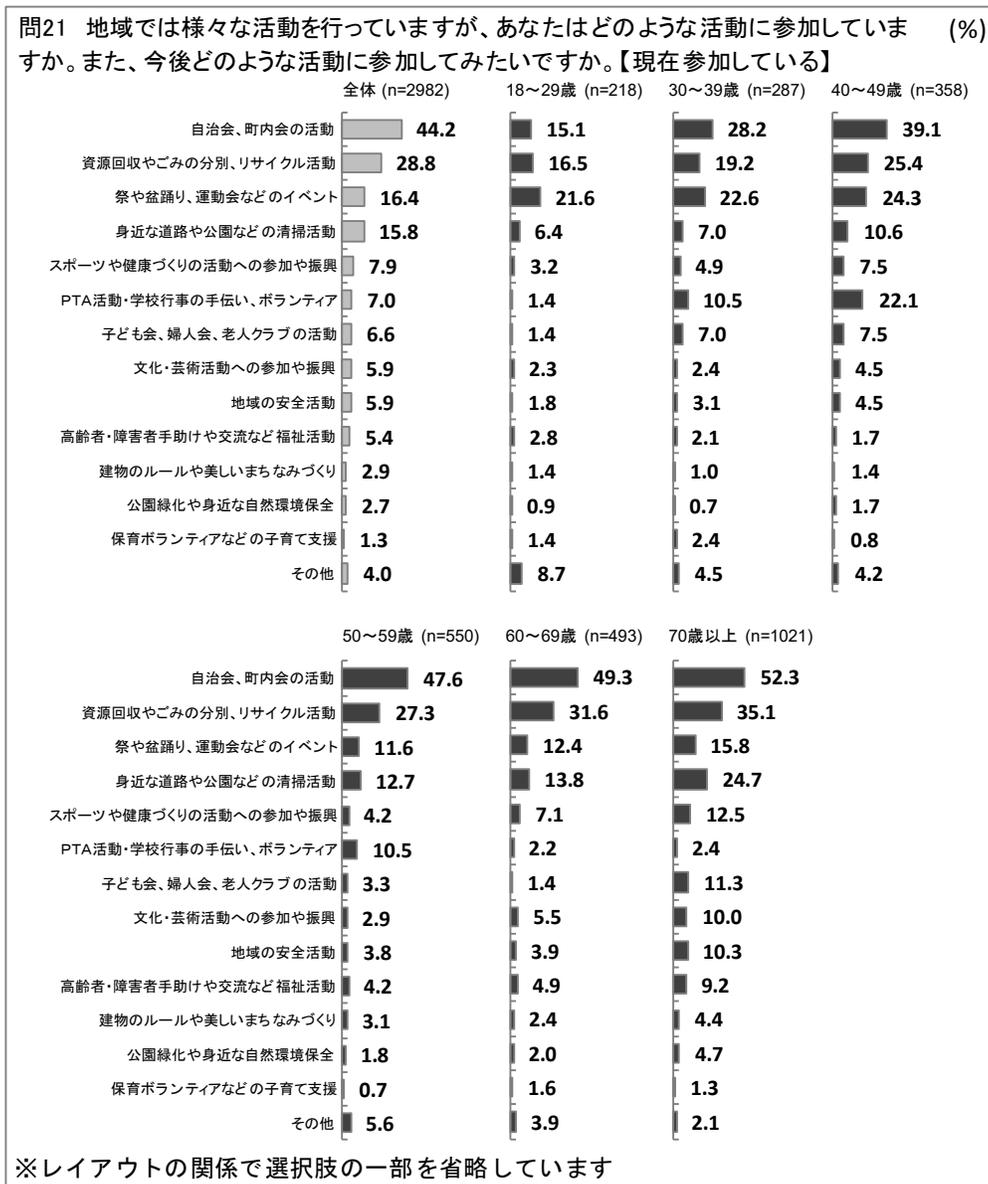
(%)



※レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています

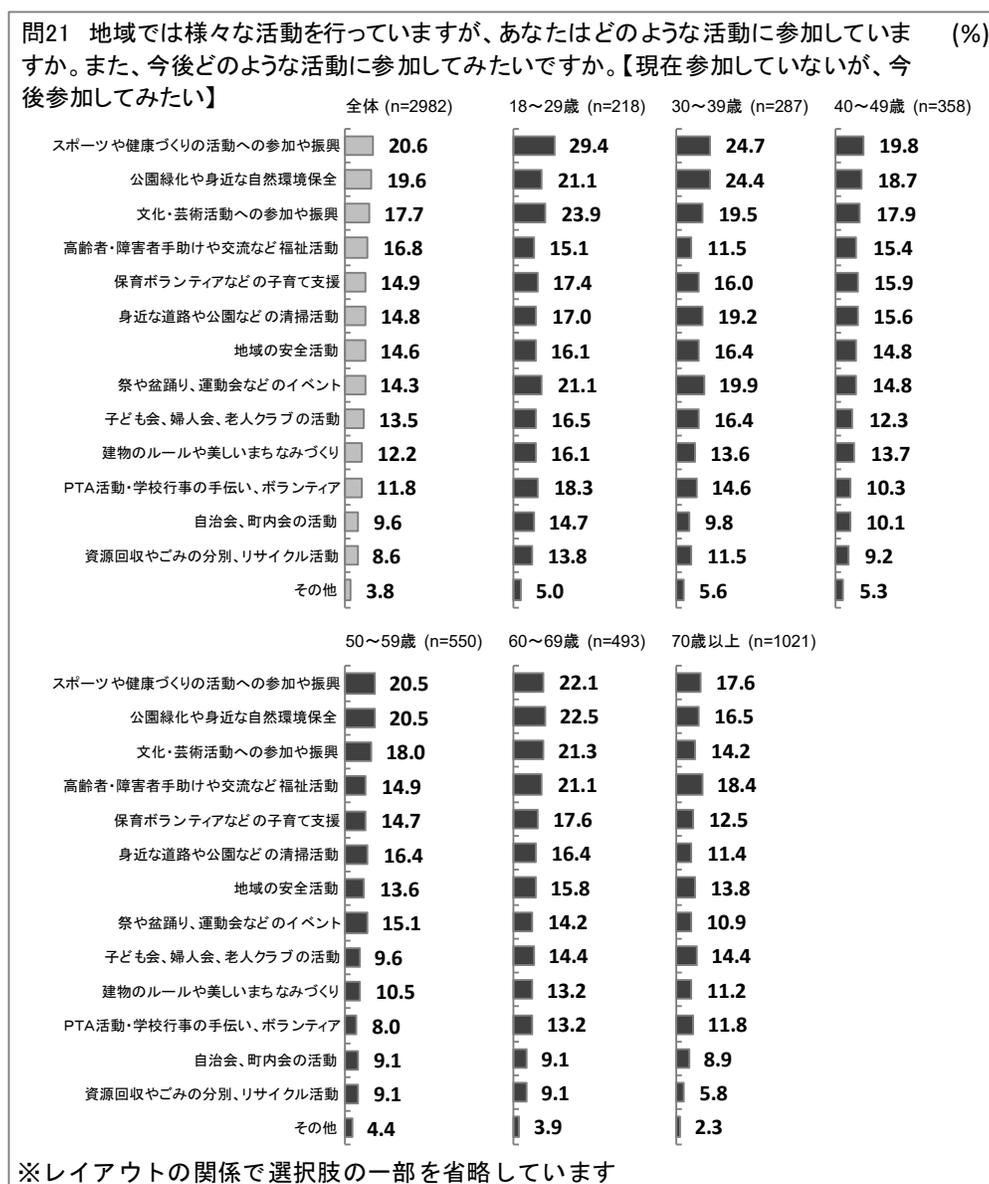
## イ 地域活動への参加状況：年齢別

- ・参加状況を年代別にみると、「自治会、町内会の活動」は年代が上がるほど割合が高くなり、「18～29歳」では15.1%、「70歳以上」では52.3%となっている。
- ・「18～29歳」は「祭や盆踊り、運動会などのイベント」（21.6%）が最も多い。「40～49歳」では「PTA活動・学校行事の手伝い、ボランティアなど」（22.1%）が4位に挙げられ、全体より15.1ポイント多い。



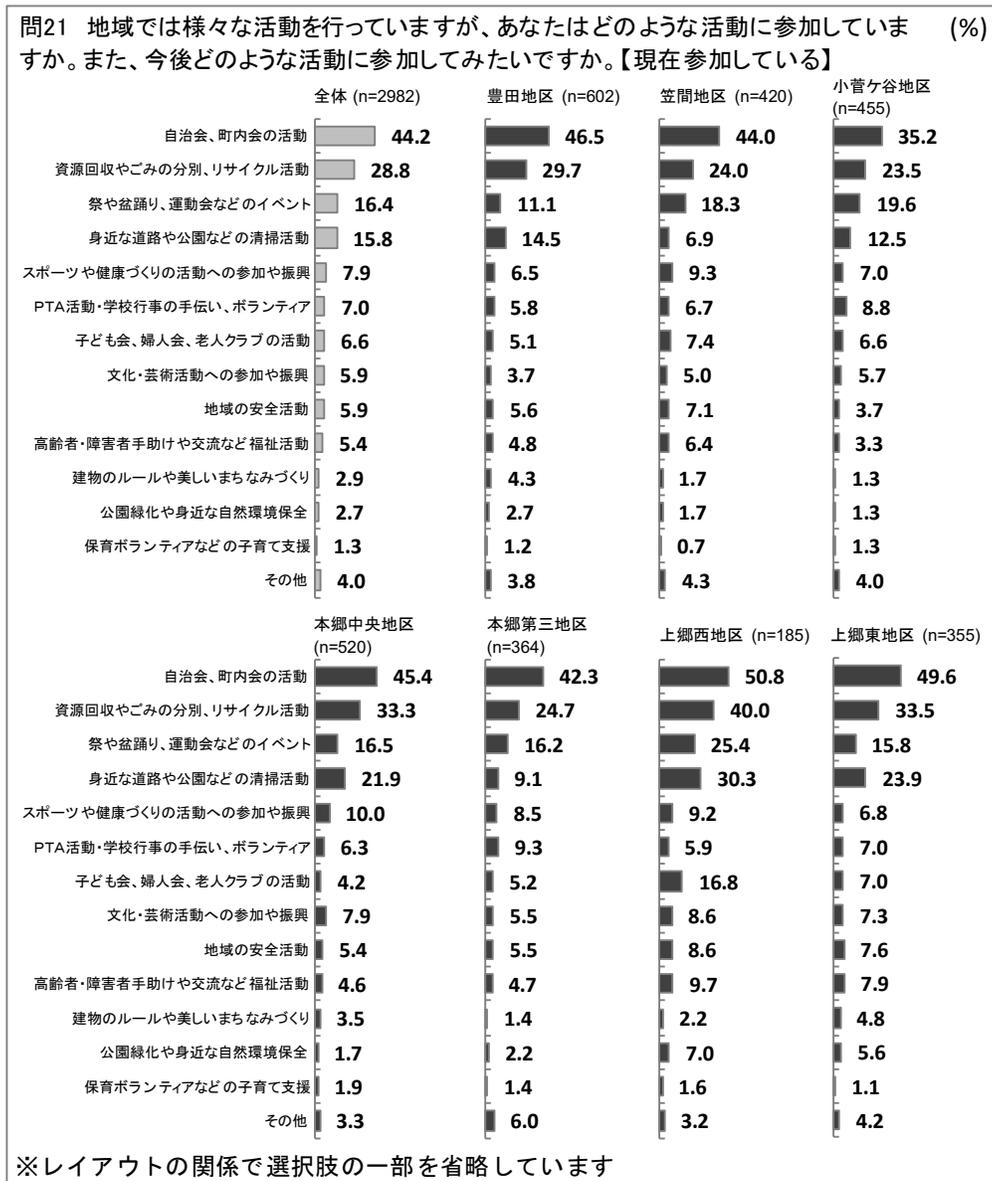
## ウ 地域活動への参加意向：年齢別

- ・「60～69歳」と「70歳以上」を除くと、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が最も多く、特に「18～29歳」では29.4%と全体を8.8ポイント上回っている。
- ・「60～69歳」では「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）自然環境の保全」が最も多く、「70歳以上」では「高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動」が最も多い。



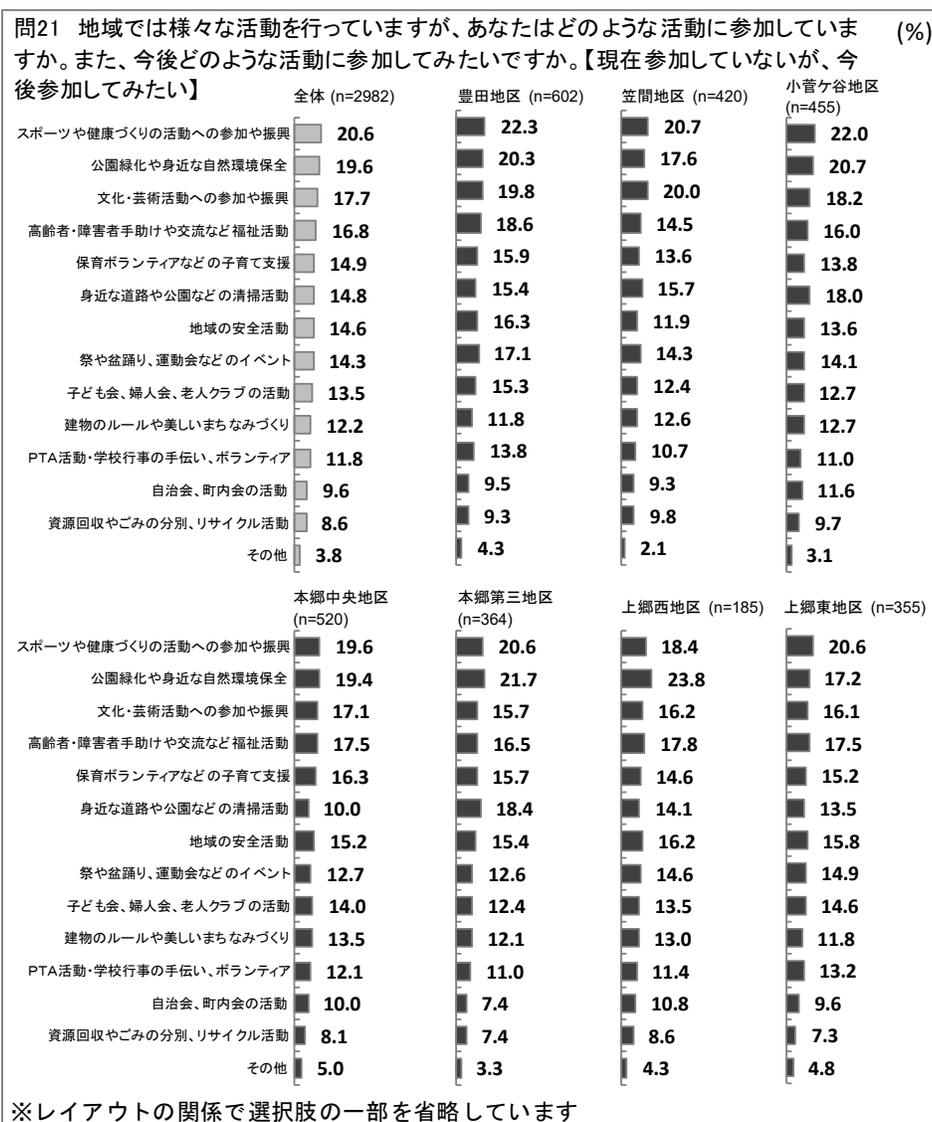
## エ 地域活動への参加状況：居住地区別

- ・いずれの居住地区でも「自治会、町内会の活動」が最も多く、「資源回収やごみ分別、リサイクル活動」が続く。
- ・「上郷西地区」は「自治会、町内会の活動」、「資源回収やごみ分別、リサイクル活動」、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、「身近な道路や公園などの清掃活動」、「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」の5項目で全体より5ポイント以上多い。



## オ 地域活動への参加意向：居住地区別

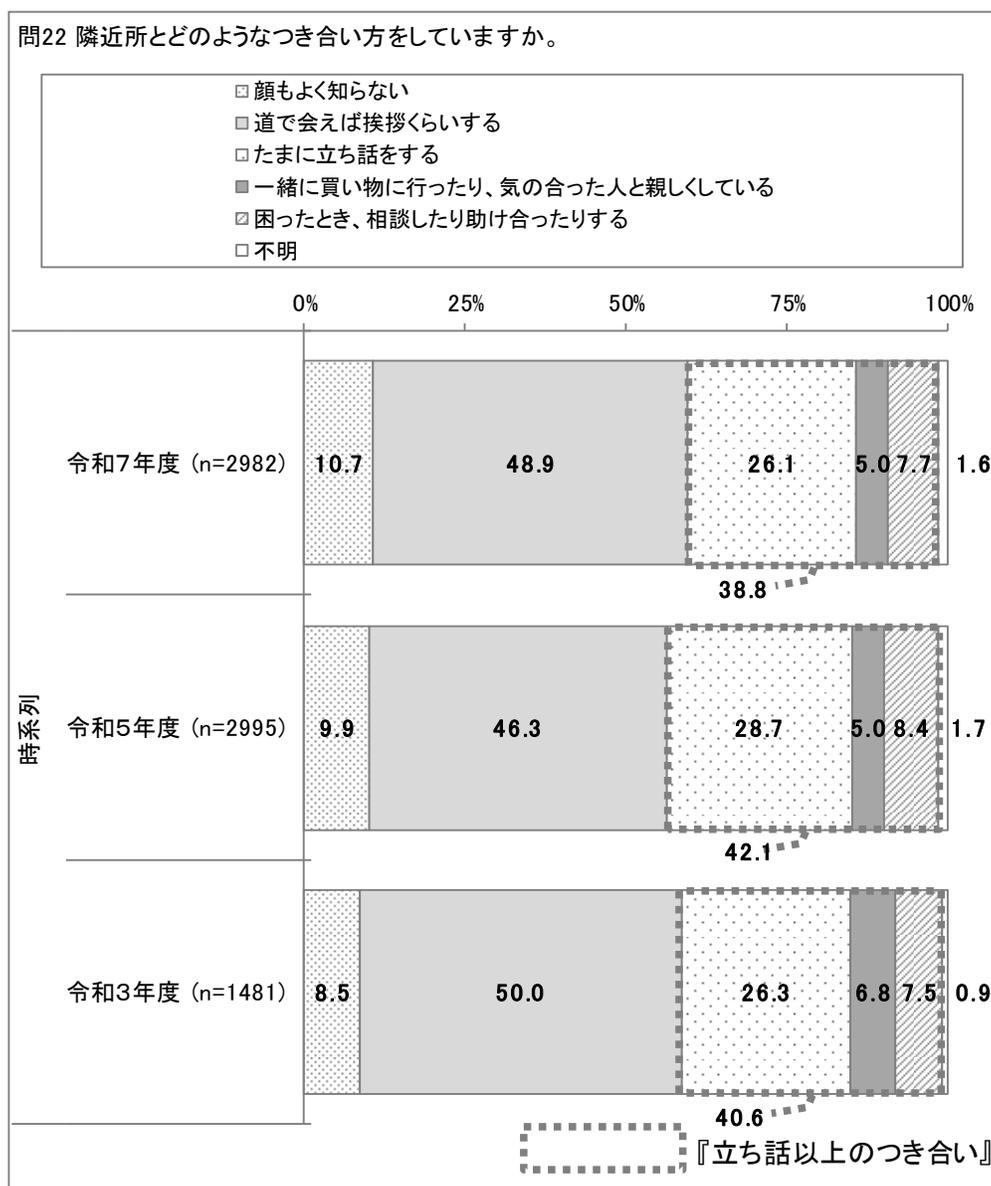
- ・「豊田地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」では、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が最も多く、「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）自然環境の保全」が続く。
- ・「笠間地区」では「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が最も多く、「文化・芸術活動への参加や振興」が続く。
- ・「本郷第三地区」と「上郷西地区」では「公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地（里山など）自然環境の保全」が最も多く、「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が続く。
- ・「上郷東地区」では「スポーツや健康づくりの活動への参加や振興」が最も多く、「高齢者・障害者への手助けや交流など福祉活動」が続く。



## (2) 隣近所とのつき合い方（問 22）

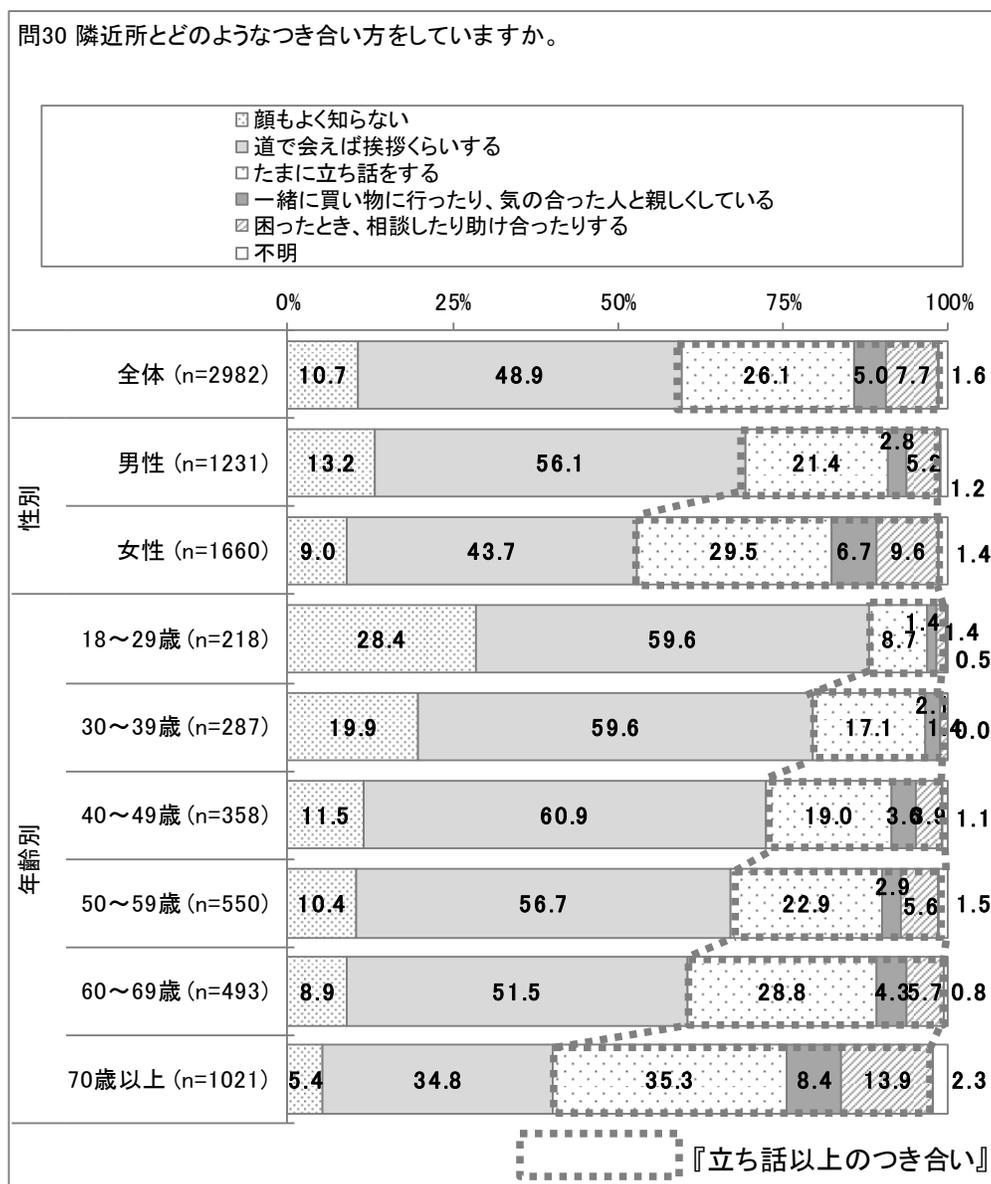
### ア 隣近所とのつき合い方：全体・時系列

- ・全体では『立ち話以上のつき合い』（「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の合計）が38.8%となっている。
- ・前回調査に比べ『立ち話以上のつき合い』は3.3ポイント微減している。



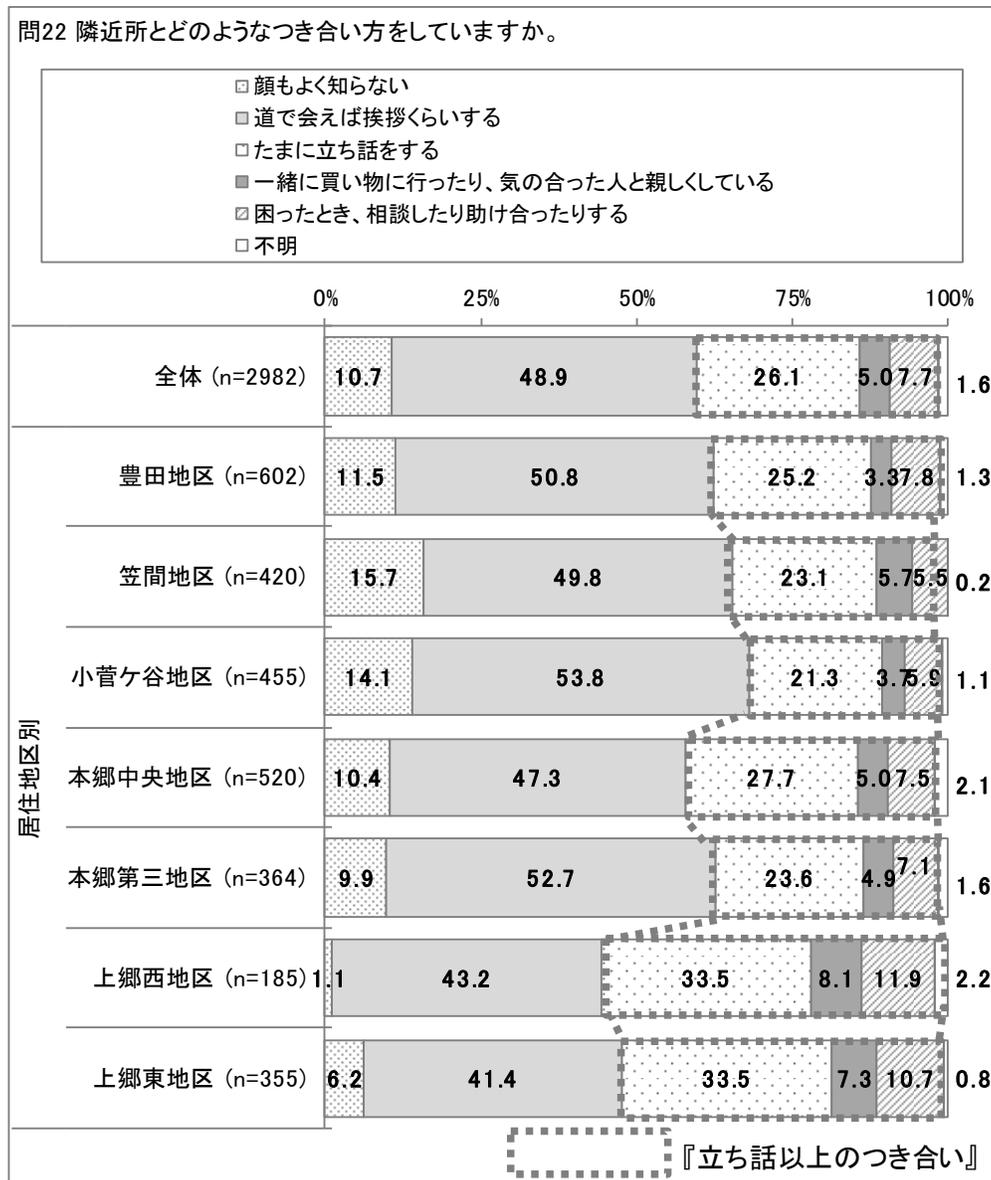
## イ 隣近所とのつき合い方：性別・年齢別

- ・『立ち話以上のつき合い』をしているのは、男性は29.4%、女性は45.8%と、女性は男性より16.4ポイント多い。
- ・年代が上がるにつれ『立ち話以上のつき合い』をしている割合は多くなっており、「70歳以上」では57.6%となっている。



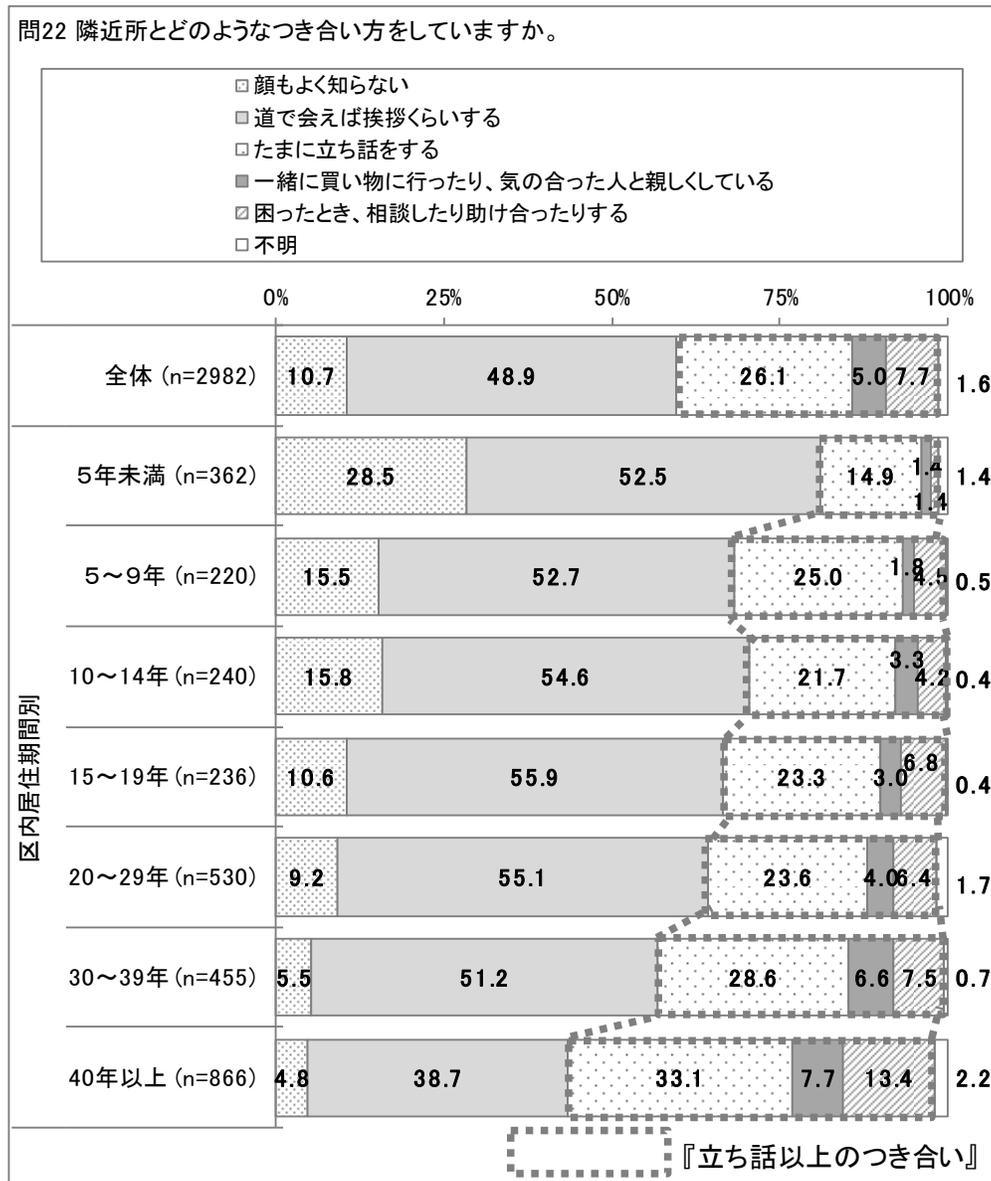
## ウ 隣近所とのつき合い方：居住地区別

- ・『立ち話以上のつき合い』の割合は、「上郷西地区」（53.5%）、「上郷東地区」（51.5%）が全体より10ポイント以上多い。
- ・一方、「笠間地区」では「顔もよく知らない」が全体より5ポイント多い。



## エ 隣近所とのつき合い方：区内居住期間別

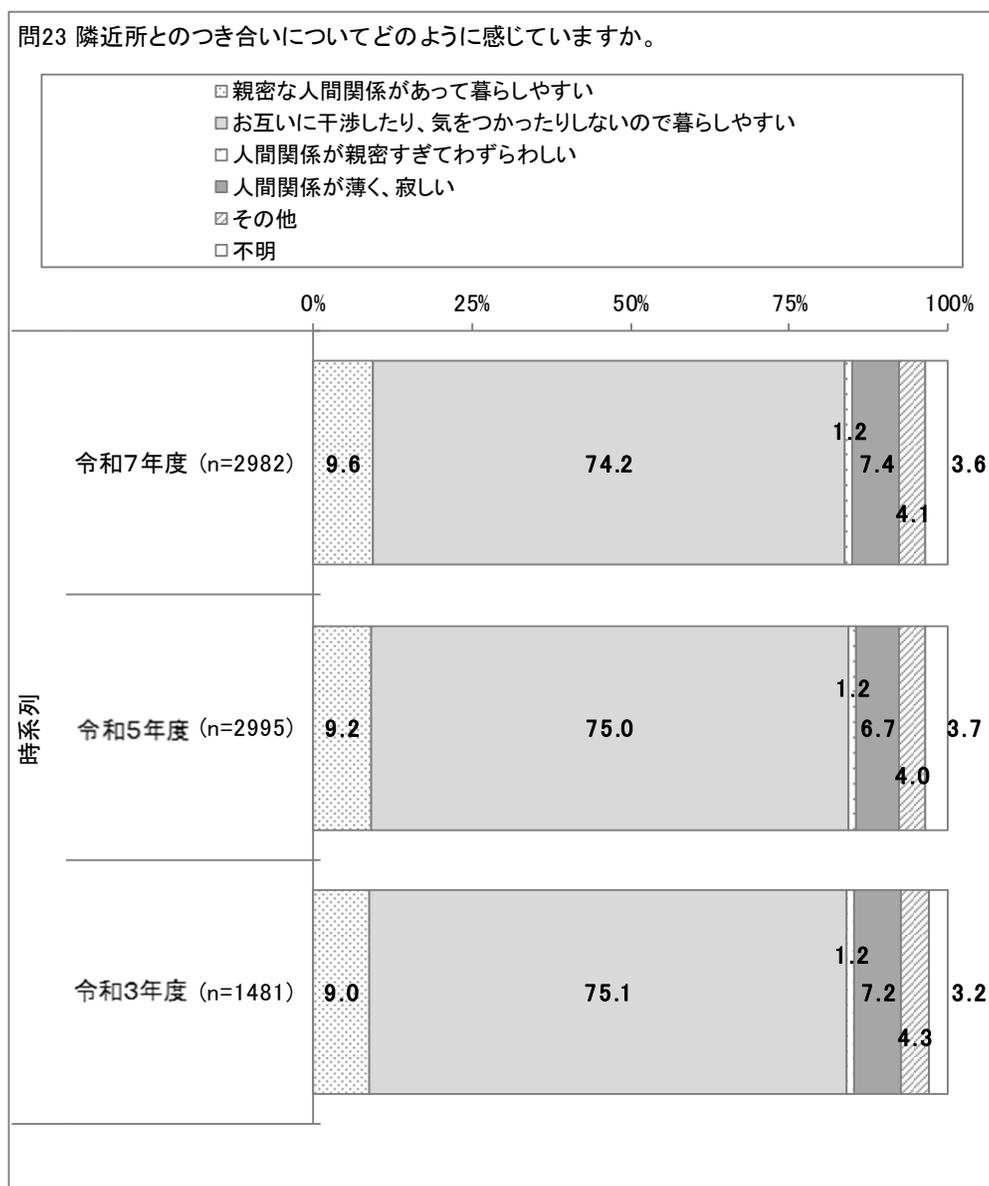
- ・区内居住期間が長くなるにつれ『立ち話以上のつき合い』をしている割合は多くなる傾向が見られ、「40年以上」では54.2%となっている。



### (3) 隣近所のつき合いについて感じる事（問 23）

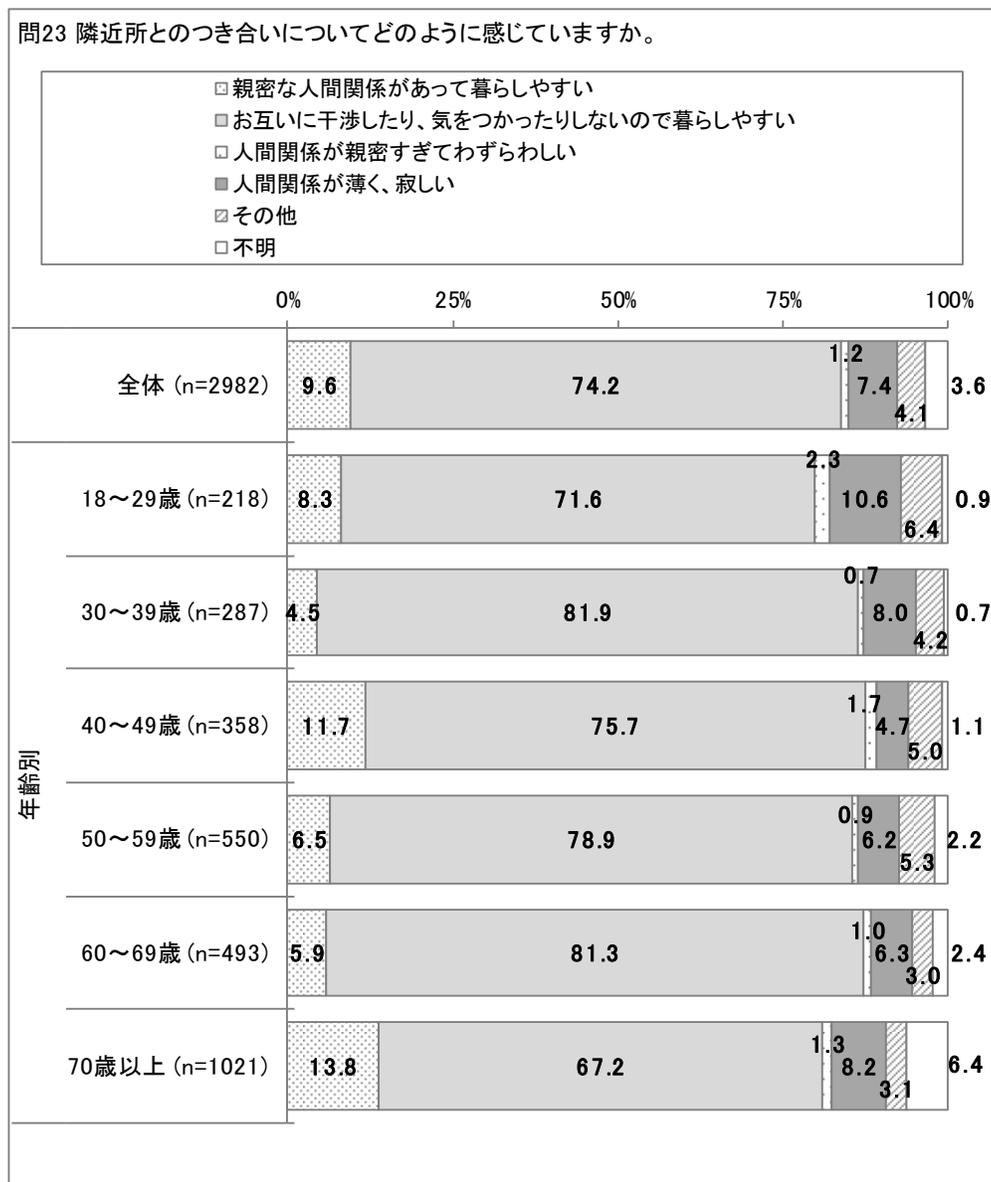
#### ア 隣近所のつき合いについて感じる事：全体・時系列

- ・全体では「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」（74.2%）が最も多く、「親密な人間関係があって暮らしやすい」（9.6%）、「人間関係が薄く、寂しい」（7.4%）が続く。
- ・「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」は前回調査では75.0%で、今回調査と概ね同様の傾向である。



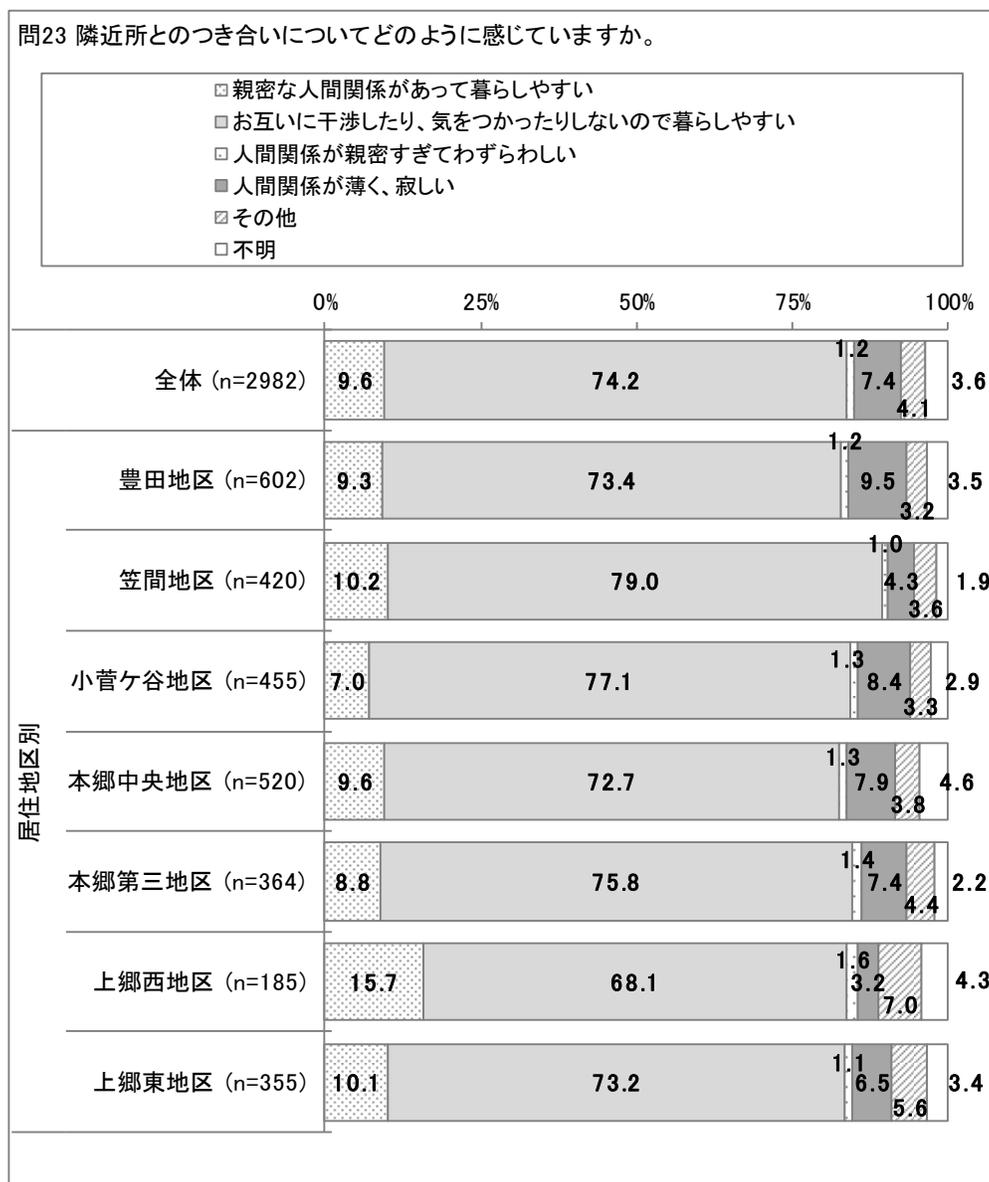
## イ 隣近所のつき合いについて感じる事：年齢別

- ・いずれの年代も「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」が最も多く、「30～39歳」では全体より7.7ポイント多い。
- ・「人間関係が薄く、寂しい」は「18～29歳」で10.6%と1割を超えている。



## ウ 隣近所のつき合いについて感じる事：居住地区別

- ・いずれの居住地区も「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」が最も多い。
- ・「親密な人間関係があって暮らしやすい」は「上郷西地区」(15.7%)、「笠間地区」(10.2%)、「上郷東地区」(10.1%)で1割を超えている。



## 9 環境行動について

### (1) 環境行動の実践（問 24）

#### ア 環境行動の実践：全体・時系列

- ・ 9項目の環境行動のうち「ごみをきちんと分別して出す」（96.5%）が最も「している」の割合が多く、「マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす」（86.5%）、「食べ残しや食品のムダ（食品ロス）を減らす」（80.9%）が続く。
- ・ 前回調査と比べ、いずれの項目も大きな増減は見られない。

問24 次にあげる個人でできる環境にやさしい行動(=「環境行動」)をしていますか。

#### 【ごみをきちんと分別して出す】

時系列	割合	増減	差
令和7年度 (n=2982)	96.5	1.5	0.6
令和5年度 (n=2995)	94.7	1.8	1.3
令和3年度 (n=1481)	96.4	1.1	2.3

#### 【マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす】

時系列	割合	増減	差
令和7年度 (n=2982)	86.5	7.8	2.6
令和5年度 (n=2995)	86.7	6.2	4.2
令和3年度 (n=1481)	89.1	5.1	3.9

#### 【使い捨てのプラスチック製品(レジ袋、ストロー、スプーンなど)をできるだけ使わない】

時系列	割合	増減	差
令和7年度 (n=2982)	64.0	23.9	9.1
令和5年度 (n=2995)	66.2	22.4	6.5
令和3年度 (n=1481)	63.9	25.6	6.2

#### 【食べ残しや食材のムダ(食品ロス)を減らす】

時系列	割合	増減	差
令和7年度 (n=2982)	80.9	14.5	2.2
令和5年度 (n=2995)	79.2	14.5	2.0
令和3年度 (n=1481)	76.8	17.6	4.3

#### 【横浜産の野菜や果物を選んで購入する】

時系列	割合	増減	差
令和7年度 (n=2982)	24.6	34.7	37.1
令和5年度 (n=2995)	28.6	33.6	32.8
令和3年度 (n=1481)	25.5	34.5	35.1

問24 次にあげる個人でできる環境にやさしい行動(=「環境行動」)をしていますか。

【電気やガス、水のムダづかいに気をつける】

時系列	令和7年度 (n=2982)	76.5	17.5	3.9	2.1
	令和5年度 (n=2995)	78.7	14.2	2.9	4.1
	令和3年度 (n=1481)	76.1	17.2	3.0	3.8

【花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる】

時系列	令和7年度 (n=2982)	43.0	21.0	33.0	3.0
	令和5年度 (n=2995)	44.6	21.7	28.8	4.9
	令和3年度 (n=1481)	47.5	21.5	26.3	4.7

【公園や森、水辺など身近な自然環境とふれあう】

時系列	令和7年度 (n=2982)	42.4	28.8	25.3	3.5
	令和5年度 (n=2995)	46.3	27.5	21.4	4.8
	令和3年度 (n=1481)	45.8	28.5	20.6	5.1

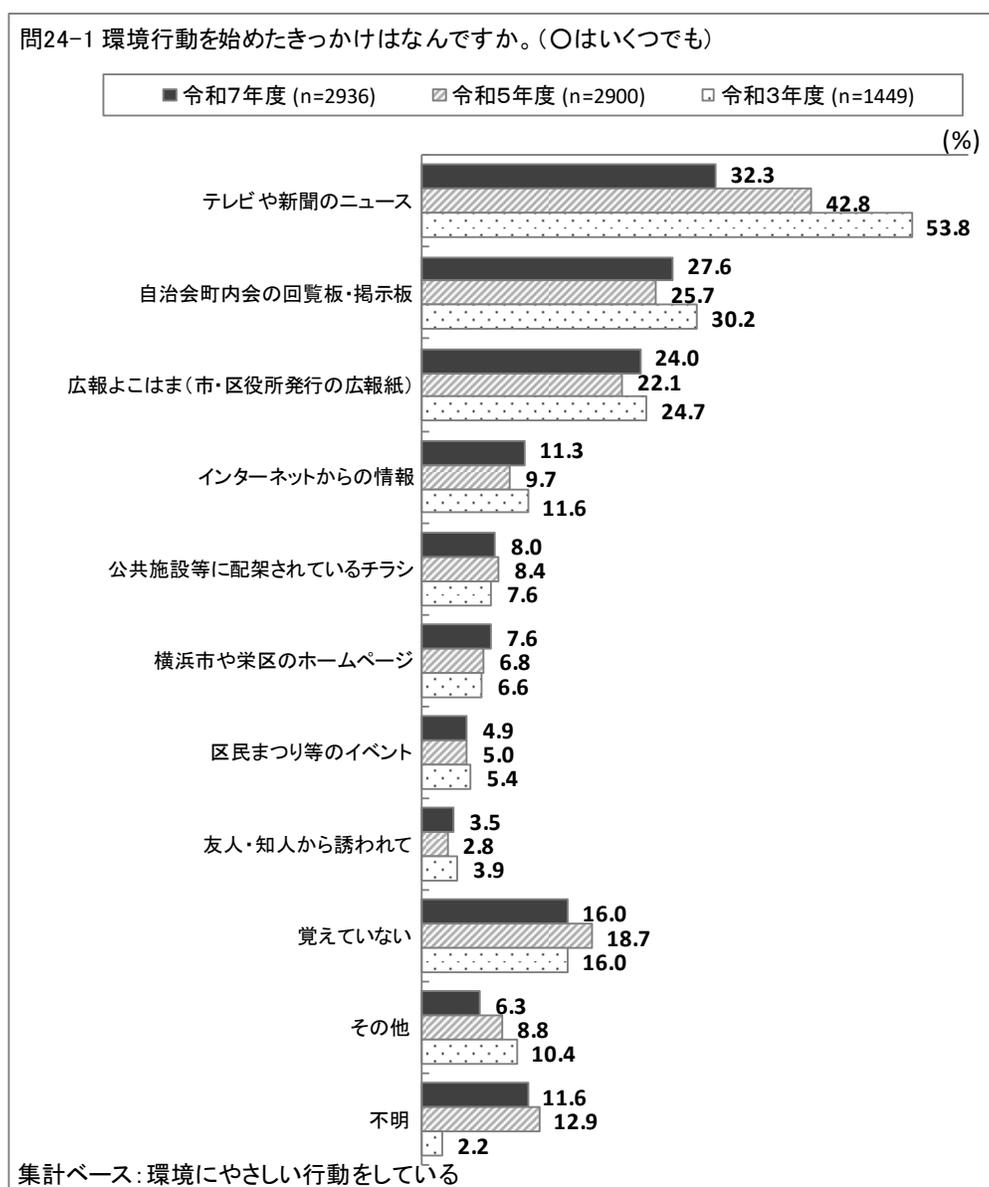
【その他】

時系列	令和7年度 (n=2982)	5.4	6.8	30.4	57.4
	令和5年度 (n=2995)	4.3	2.8	15.6	77.3
	令和3年度 (n=1481)	3.5	1.0	10.7	84.7

## (2) 環境行動を始めたきっかけ（問 24-1）

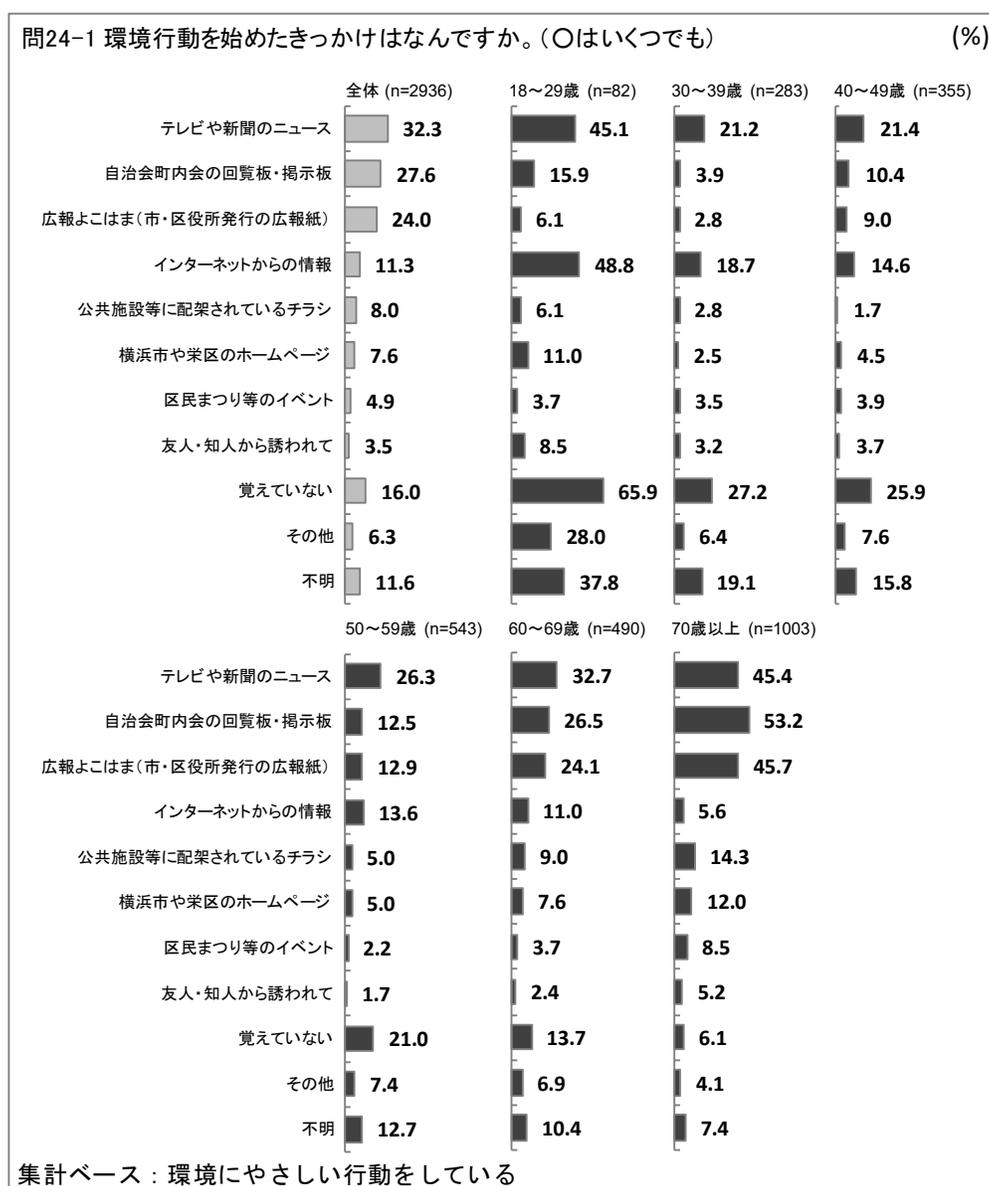
### ア 環境行動を始めたきっかけ：全体・時系列

- ・全体では「テレビや新聞のニュース」（32.3%）が最も多く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」（27.6%）、「広報よこはま（市・区役所発行の広報紙）」（24.0%）が続く。
- ・前回調査と上位の項目は同様だが、「テレビや新聞のニュース」は前回（42.8%）より10.5ポイント減少している。一方、「自治会町内会の回覧板・掲示板」（1.9ポイント増）、「広報よこはま（市・区役所発行の広報紙）」（1.9ポイント増）は増加している。



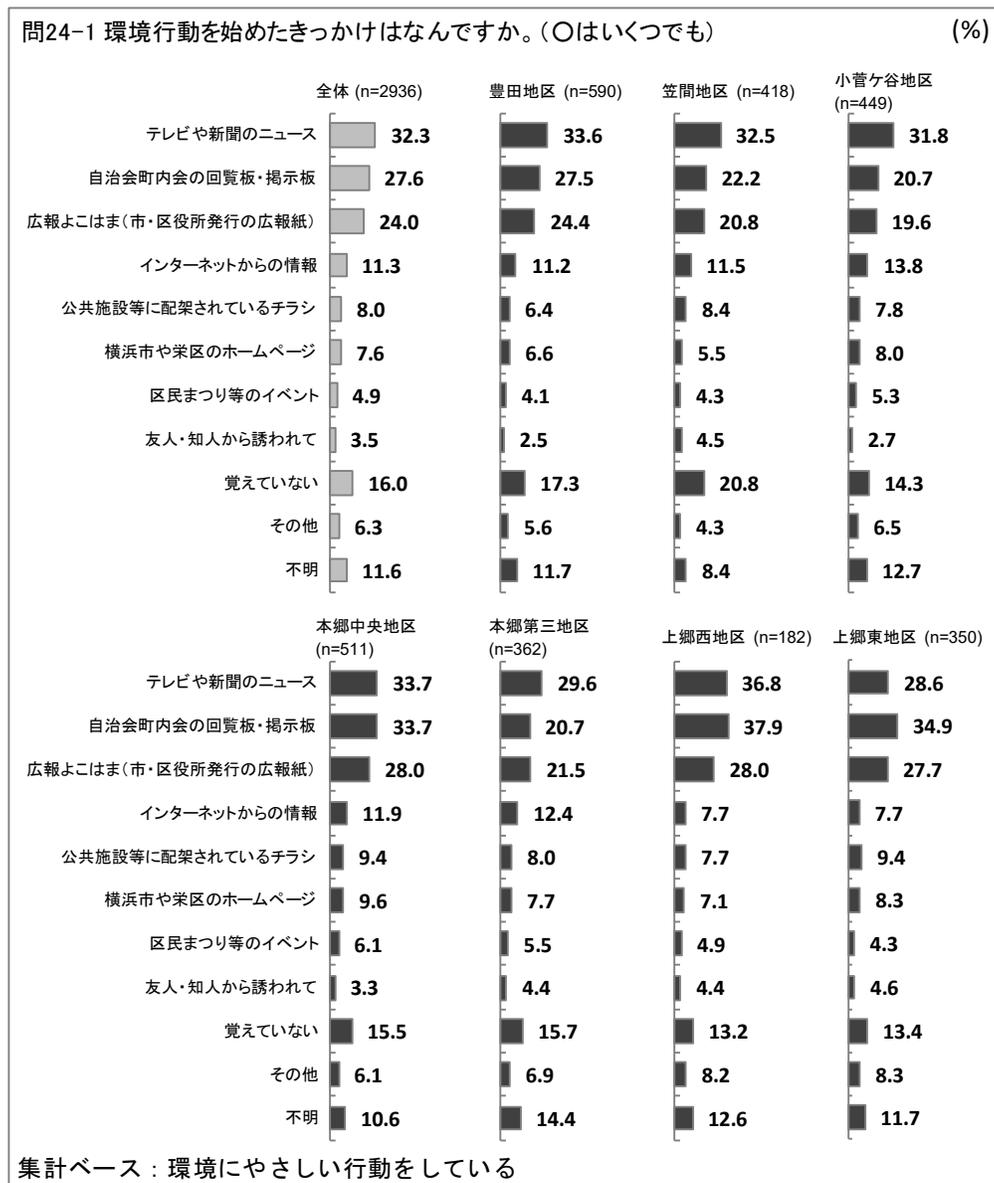
## イ 環境行動を始めたきっかけ：年齢別

- ・年代により異なる傾向が見られ、「18～29歳」と「70歳以上」を除くと「テレビや新聞のニュース」が最も多いが、2位以下は各年代で異なっている。
- ・「18～29歳」は「インターネットからの情報」（48.8%）が最も多く、「テレビや新聞のニュース」（45.1%）が続く。
- ・「70歳以上」では、「自治会町内会の回覧板・掲示板」が最も多く、「広報よこはま（市・区役所発行の広報誌）」（45.7%）、「テレビや新聞のニュース」（45.4%）が続く。



## ウ 環境行動を始めたきっかけ：居住地区別

- ・「豊田地区」、「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」では「テレビや新聞のニュース」が最も多い。
- ・「本郷中央地区」では「テレビや新聞のニュース」と「自治会町内会の回覧板・掲示板」が同率の1位、「上郷西地区」と「上郷東地区」では「自治会町内会の回覧板・掲示板」が最も多く、「テレビや新聞のニュース」が続く。

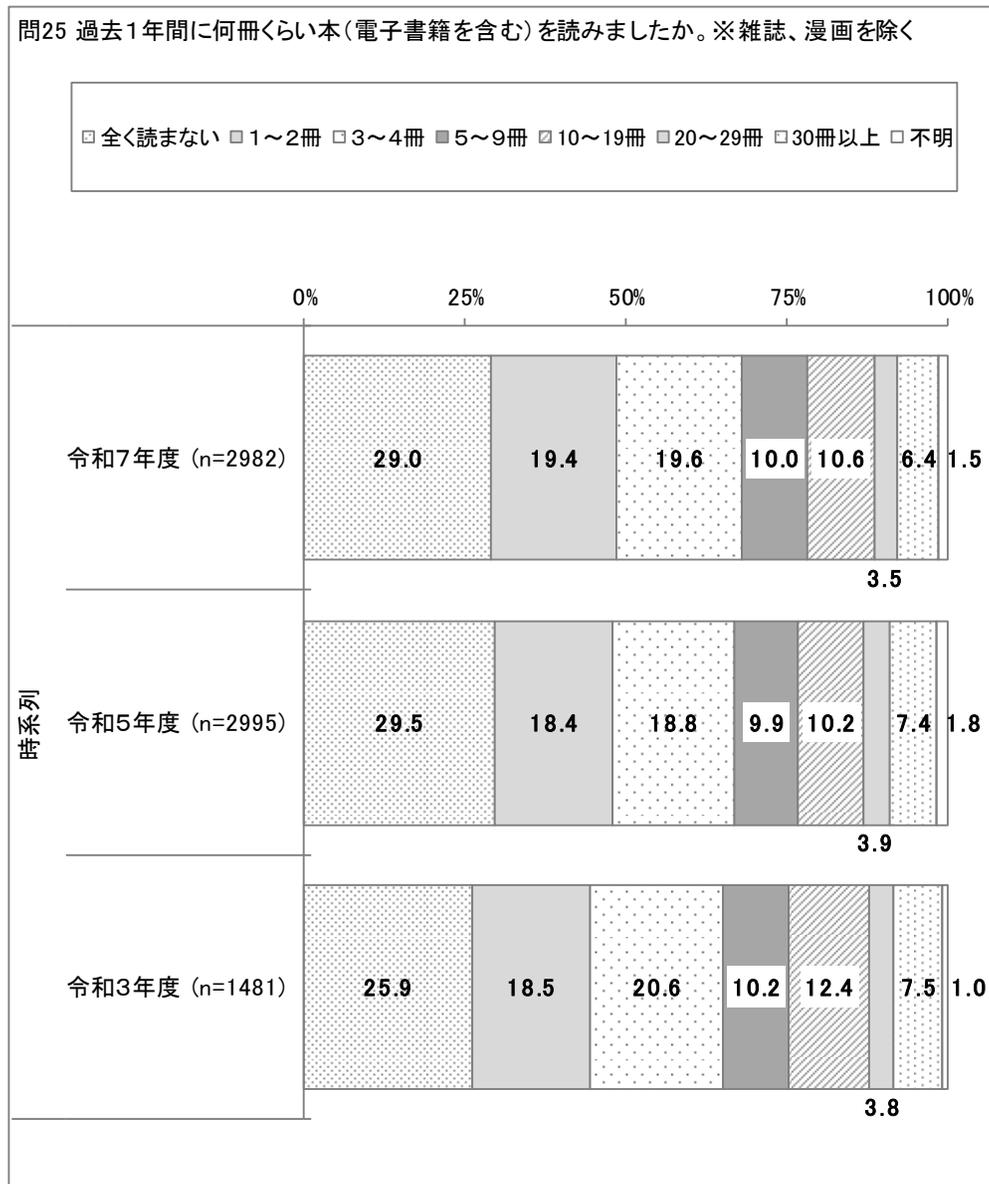


## 10 読書について

### (1) 1年間に読む本（問25）

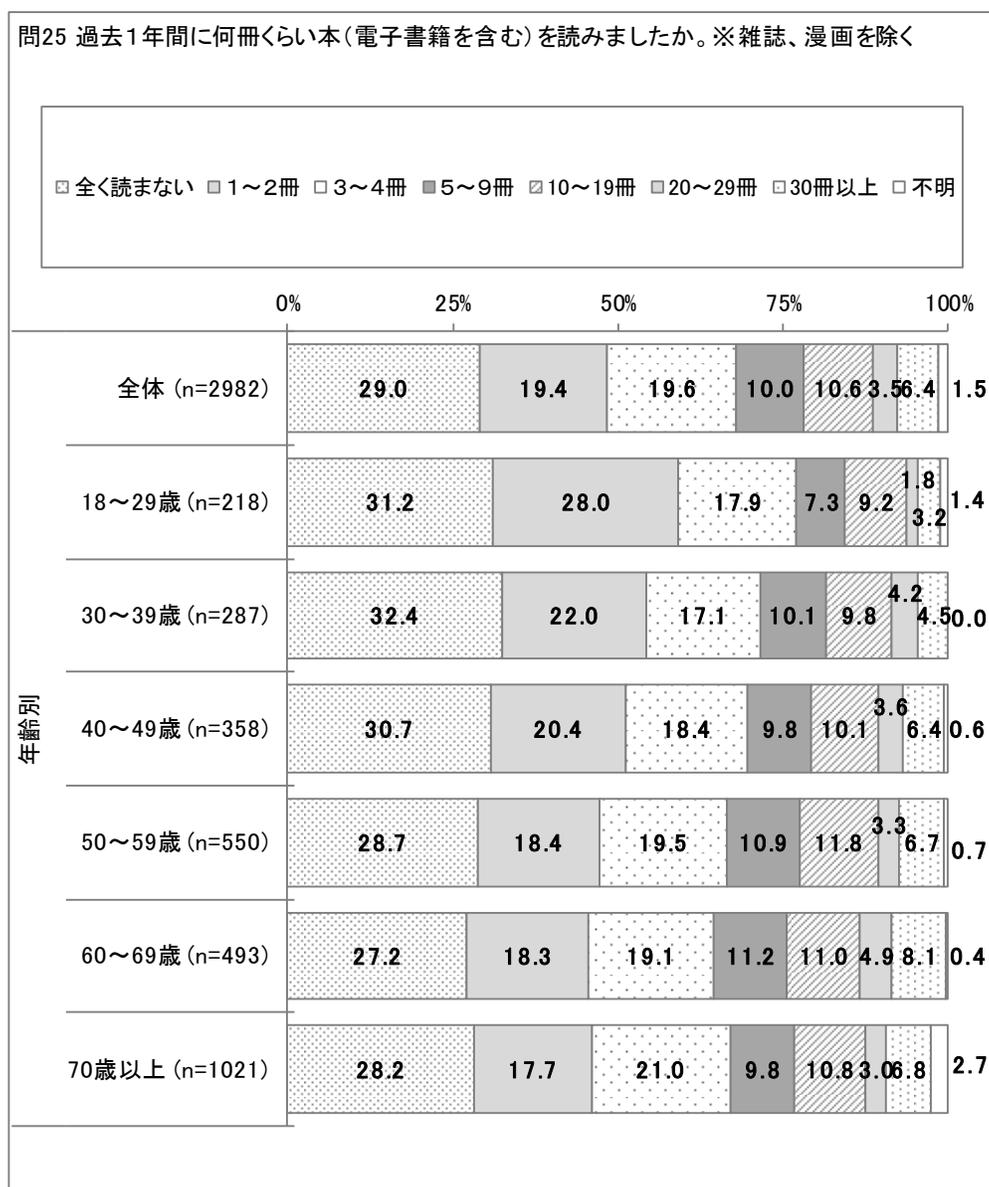
#### ア 1年間に読む本：全体・時系列

- ・全体では「全く読まない」（29.0%）が最も多く、「3～4冊」（19.6%）、「1～2冊」（19.4%）が続く。
- ・前回調査と比べると「全く読まない」は0.5ポイント減で、ほぼ同傾向である。



## イ 1年間に読む本：年齢別

- ・いずれの年代も「全く読まない」が最も多い。「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」では「1～2冊」が続くが、「50～59歳」、「60～69歳」、「70歳以上」では「3～4冊」が続く。

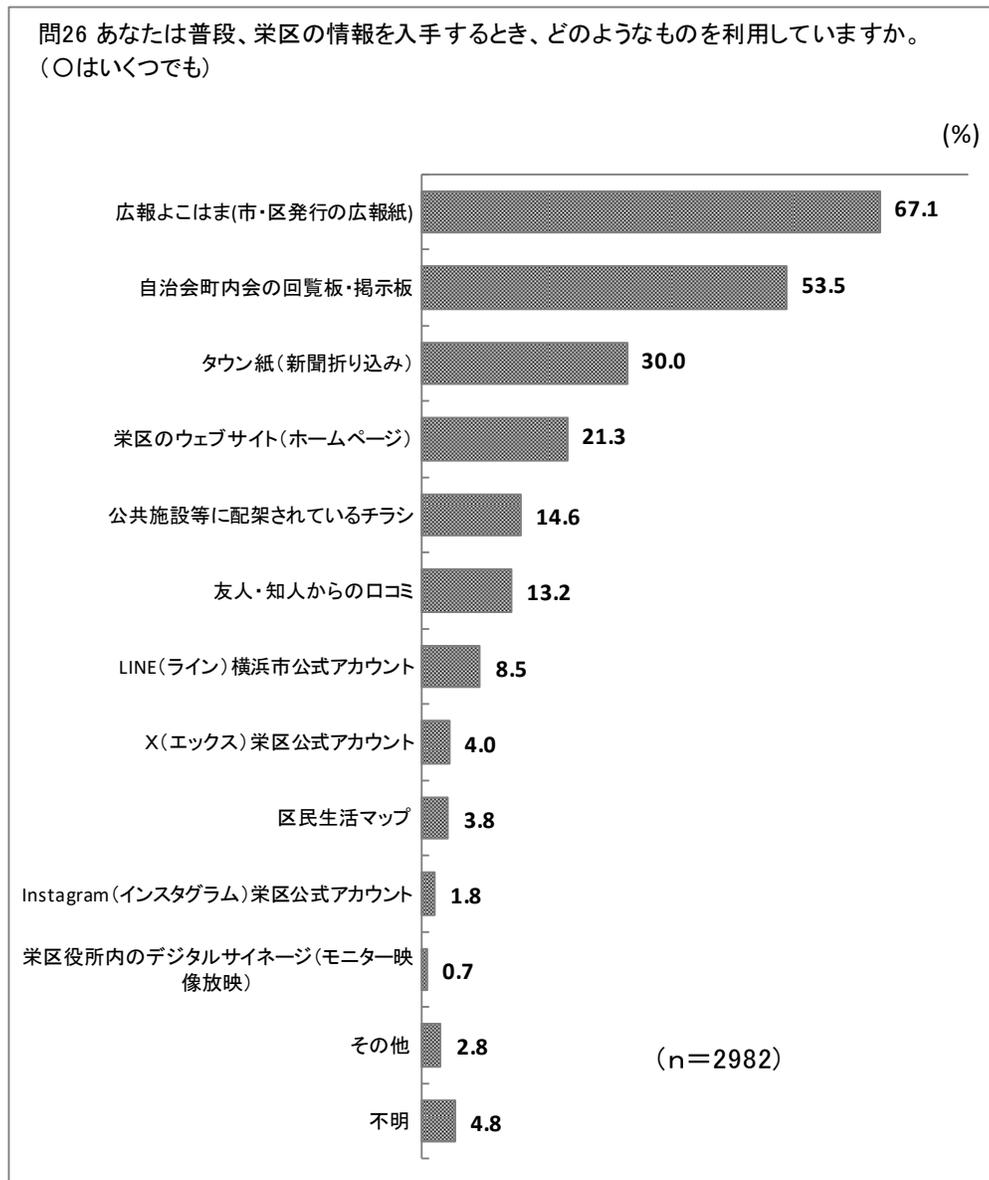


## 11 広報について

### (1) 栄区の情報を得ている媒体（問 26）

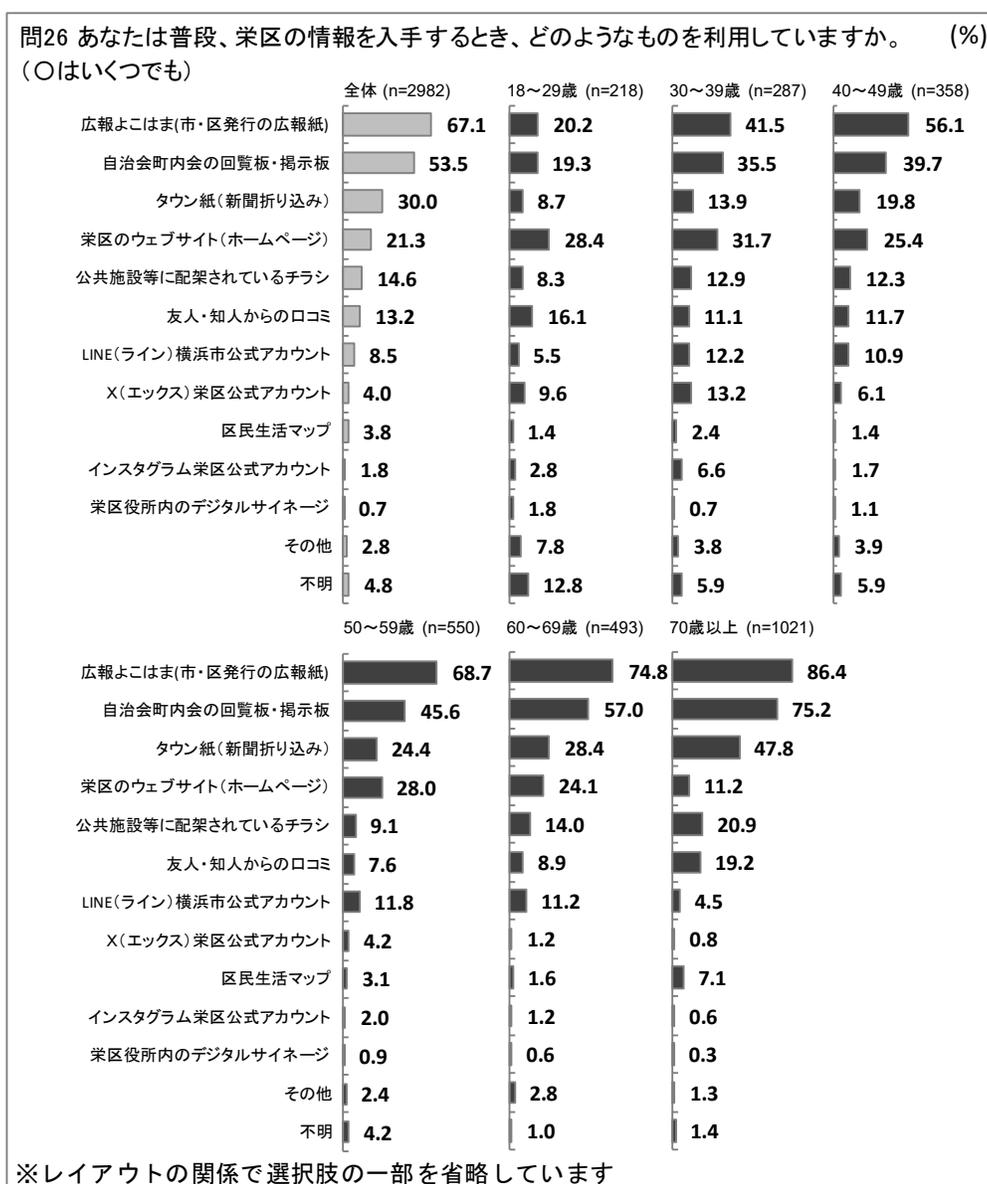
#### ア 栄区の情報を得ている媒体：全体

- ・「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」（67.1%）が最も多く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」（53.5%）、「タウン紙（新聞折り込み）」（30.0%）が続く。



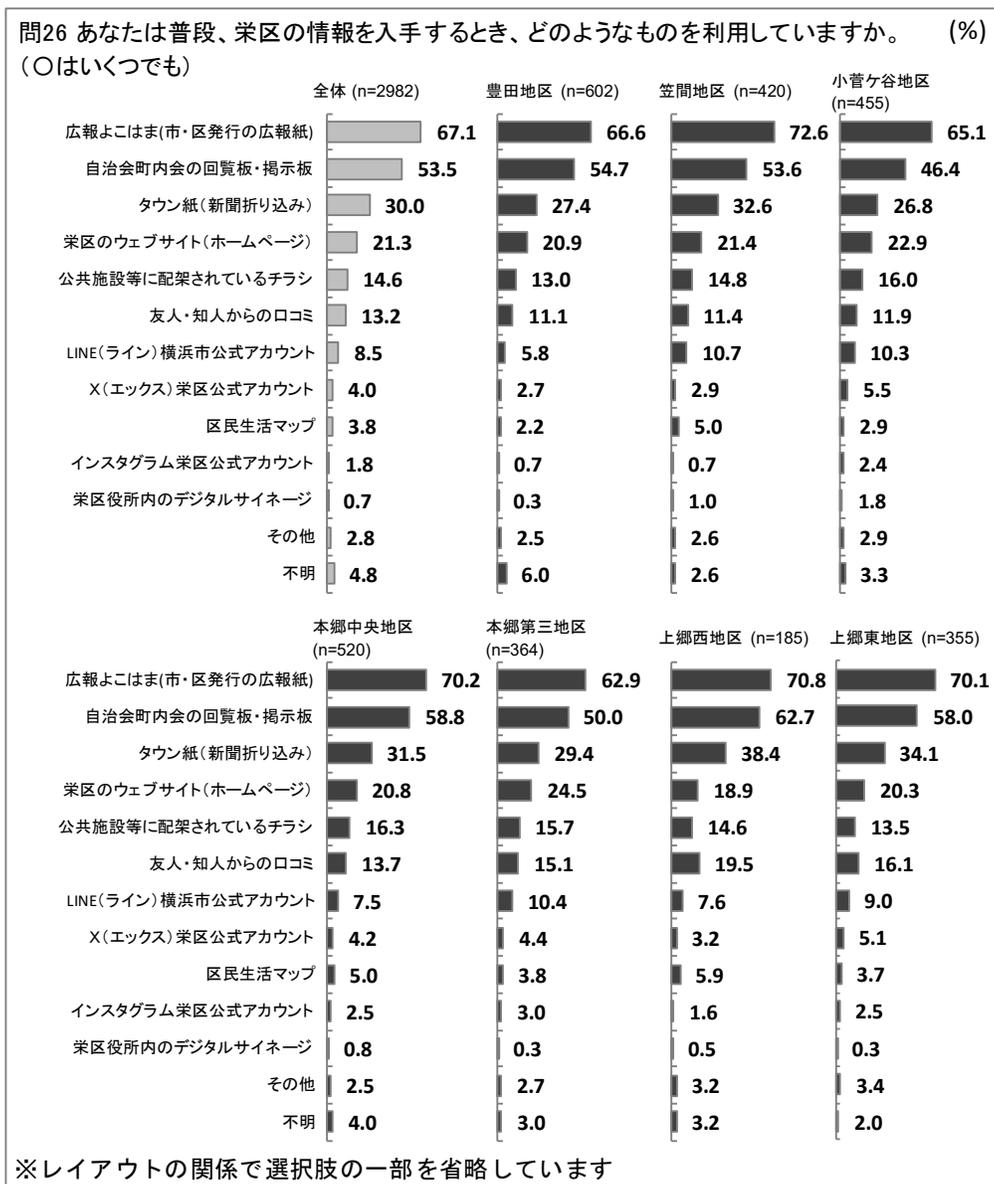
## イ 栄区の情報を得ている媒体：年齢別

- ・「18～29歳」を除くと、「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」が最も多く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」が続く。上位2位の項目は、年代が上がるにつれ割合が多くなる傾向が見られる。
- ・「18～29歳」では「栄区のウェブサイト（ホームページ）」（28.4%）が最も多く、「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」が続く。
- ・「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」では3位に「栄区のウェブサイト（ホームページ）」が挙げられ、「30～39歳」では全体より10ポイント以上多い。



## ウ 栄区の情報を得ている媒体：居住地区別

- ・いずれの居住地区でも「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」が最も多く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」、「タウン紙（新聞折り込み）」が続く。
- ・「小菅ヶ谷地区」では「自治会町内会の回覧板・掲示板」が5ポイント以上少なく、「本郷中央地区」、「上郷西地区」では5ポイント以上多い。
- ・「上郷西地区」では「タウン紙（新聞折り込み）」、「友人・知人からの口コミ」が全体より5ポイント以上多い。





## 資料編

1. 地区ごとの主な回答結果
2. 調査票



## 資料1 地区ごとの主な回答結果



- 豊田地区： 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目  
 笠間地区： 笠間一丁目～五丁目  
 小菅ヶ谷地区： 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目  
 本郷中央地区： 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町  
 本郷第三地区： 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町  
 上郷西地区： 犬山町、尾月、上之町、亀井町  
 上郷東地区： 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町

※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

各地区の冒頭のコメントは、以下の基準を基本として、ピックアップしています。  
 (条件にあてはまる場合でも、スペースの関係で割愛した部分もあります)

- ・属性 (F1～F7) : 全体より5ポイント以上多く、7地区の1位になっているもの。
- ・問1 : 『満足』が全体より5ポイント以上多く、7地区の1位になっているもの。
- ・問2 : 『感じる』、「どちらともいえない」が全体より5ポイント以上多く、7地区の1位になっているもの。
- ・問3 : 各項目で全体より5ポイント以上多く、7地区の1位になっているもの。
- ・問4 : 『住み続けたい』が全体より5ポイント以上多いもの。
- ・問6 : 各項目で『満足』が全体より10ポイント以上若しくは5ポイント以上多いもの。
- ・問8 : 各項目で全体より5ポイント以上多く、7地区の1位になっているもの。
- ・問15 : 各項目で全体より5ポイント以上多く、7地区の1位になっているもの。
- ・問21 : 各項目で全体より5ポイント以上多く、7地区の1位になっているもの。
- ・問22 : 『立ち話以上』が全体より10ポイント以上多いもの(1位、2位が該当)。
- ・問23 : 全体より5ポイント以上多いもの。



【豊田地区】

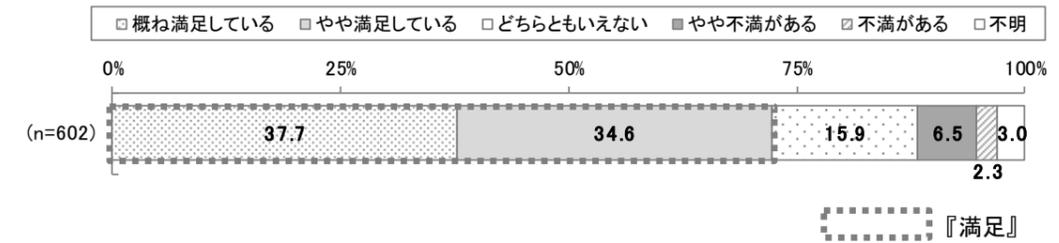
・栄区、周辺地域への愛着は「どちらともいえない」が7地区で1番目に多い（問2）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		602	100.0
F 1 性別	男性	254	42.2
	女性	336	55.8
F 2 年齢（統合）	18～29歳	51	8.5
	30～39歳	41	6.8
	40～49歳	76	12.6
	50～59歳	115	19.1
	60～69歳	101	16.8
	70歳以上	213	35.4
F 3 居住期間	5年未満	63	10.5
	5～9年	45	7.5
	10～14年	42	7.0
	15～19年	35	5.8
	20～29年	116	19.3
	30～39年	109	18.1
	40年以上	184	30.6
F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	74	12.3
	夫婦2人	202	33.6
	親と子（18歳未満の子がいる）	93	15.4
	親と子（18歳未満の子はいない）	166	27.6
	親と子と孫（3世代）	27	4.5
	その他	31	5.1
	F 6 住居形態	持家（一戸建て）	340
持家（マンション・共同住宅）		109	18.1
借家（一戸建て）		13	2.2
借家（県営・市営の共同住宅）		19	3.2
借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）		42	7.0
社宅、公務員住宅		4	0.7
民間アパート、民間賃貸マンション		70	11.6
その他		2	0.3
F 7 通勤・通学先	栄区内	63	10.5
	横浜市内他区	127	21.1
	鎌倉市内	23	3.8
	神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	46	7.6
	東京都内	65	10.8
	その他	9	1.5
	通勤・通学していない	231	38.4

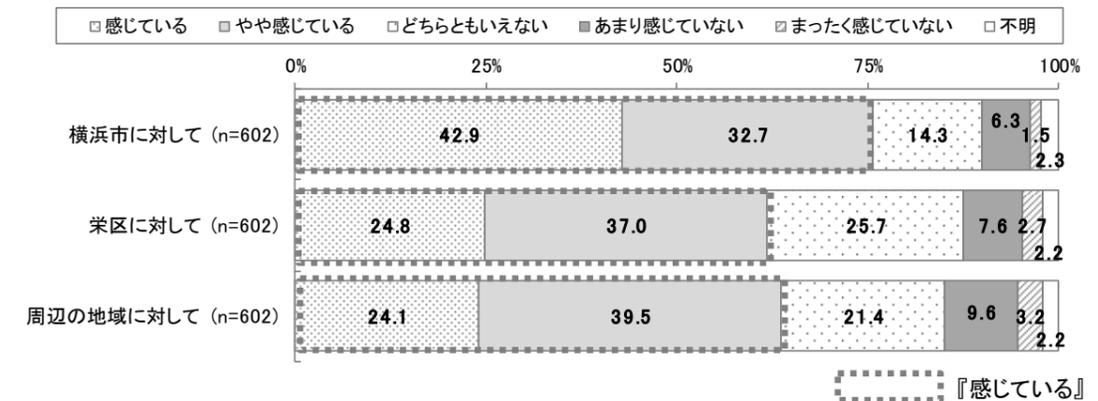
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



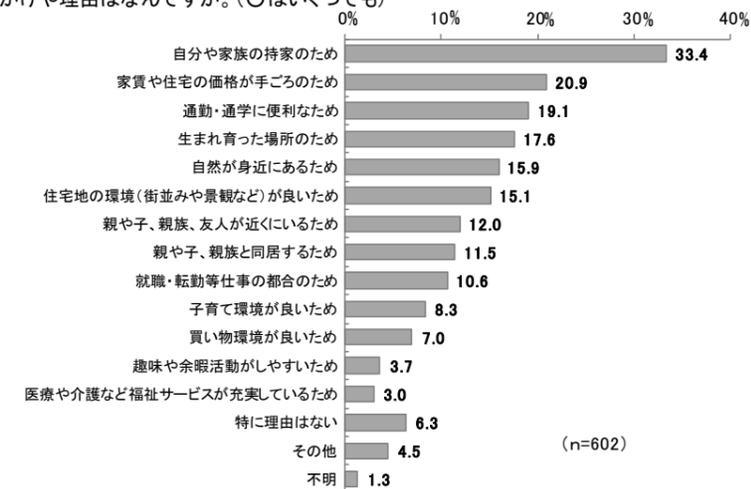
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



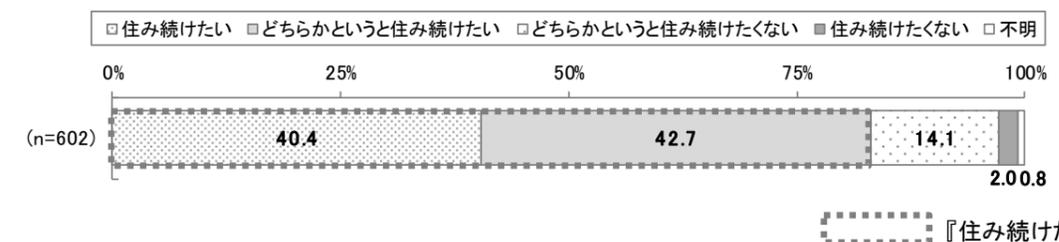
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



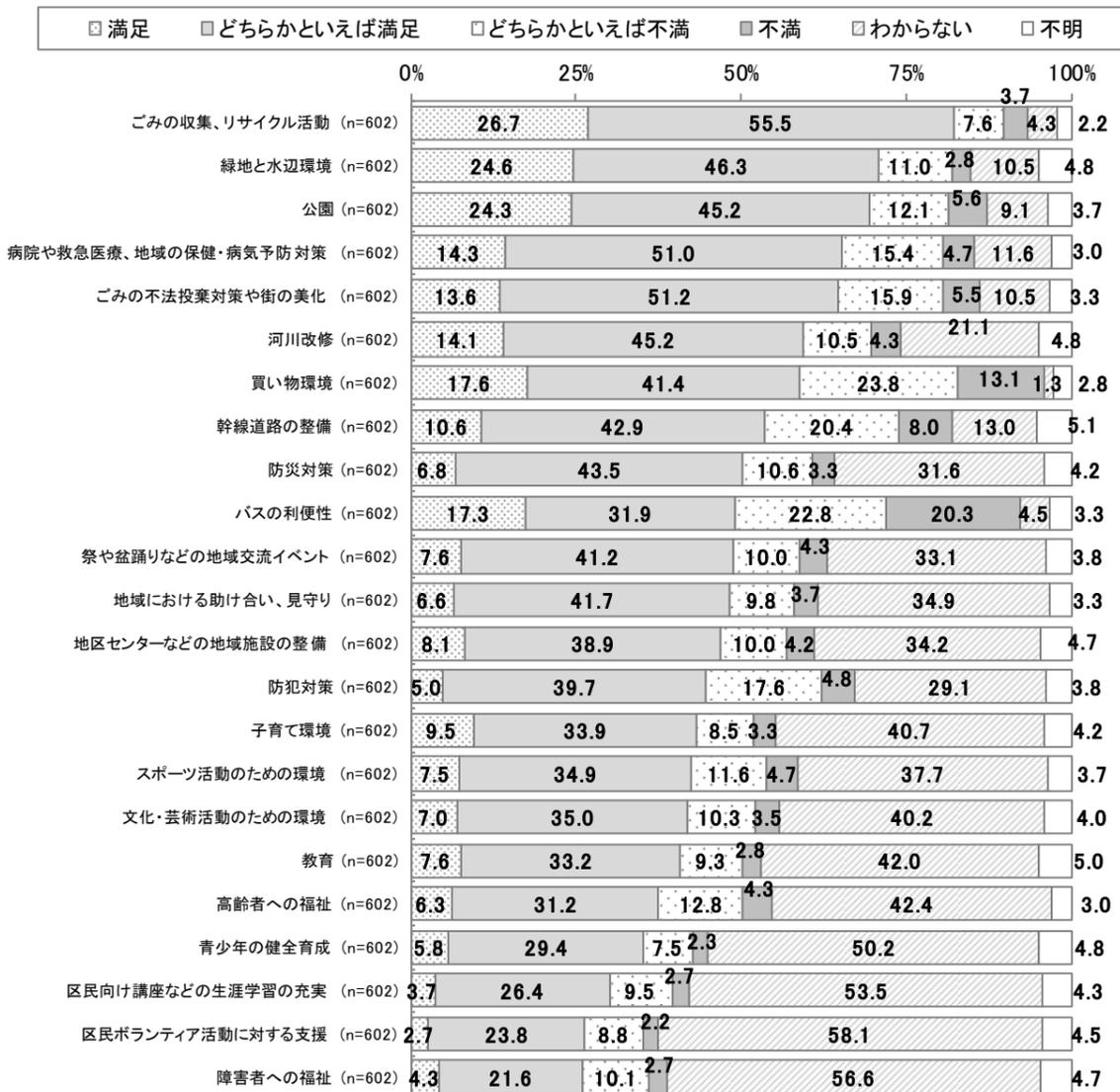
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



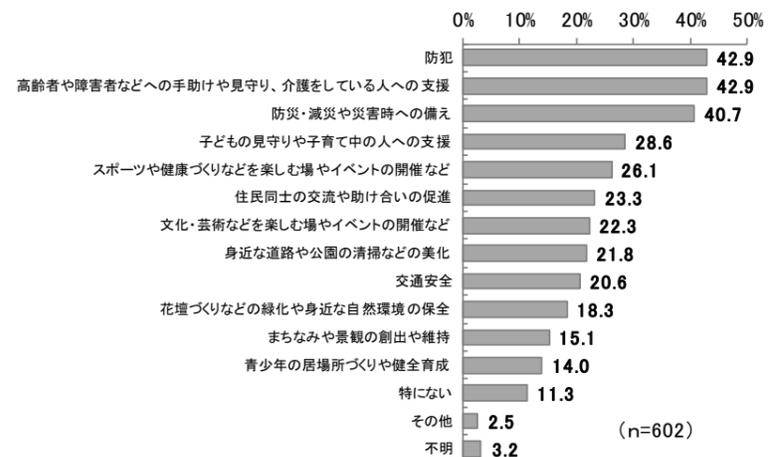
## (6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



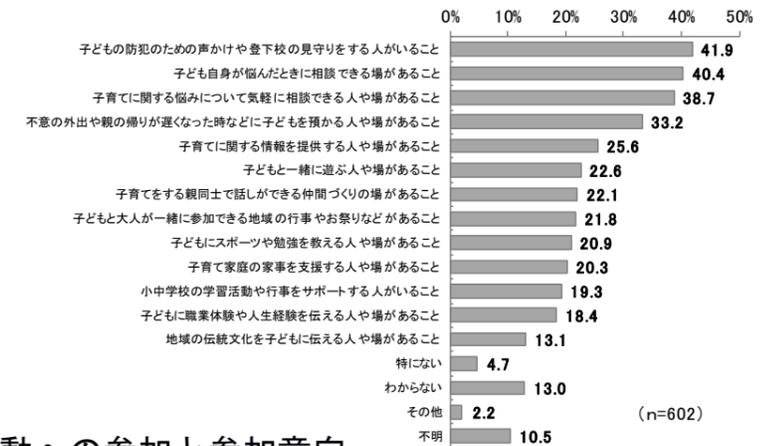
## (7) お住まいの地域にあると良い地域活動

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)



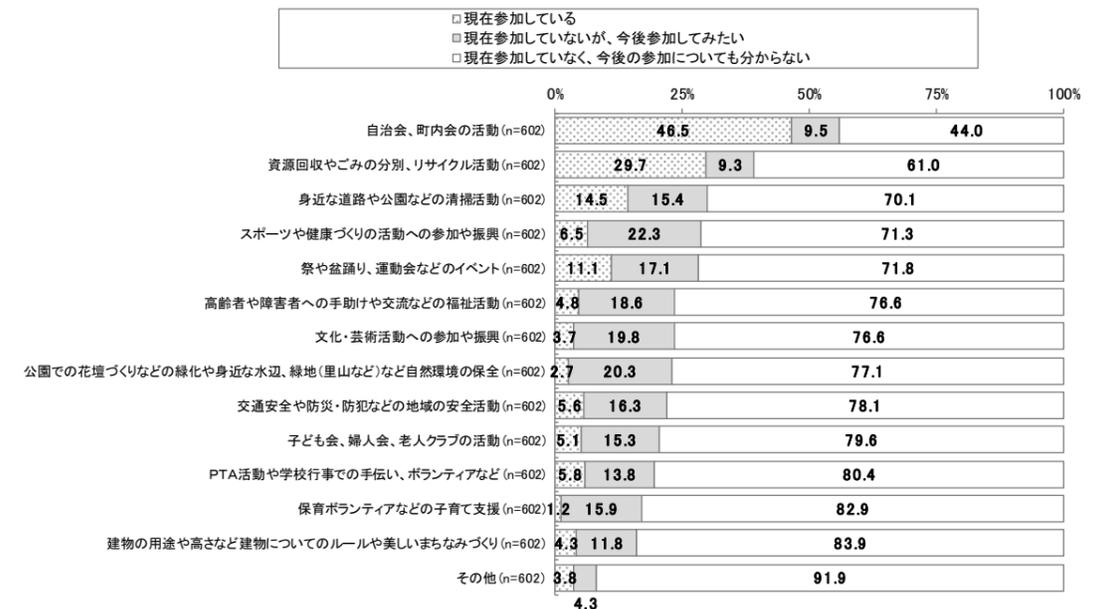
## (8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



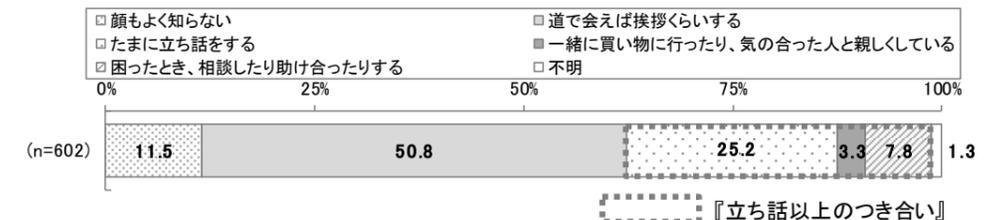
## (9) 地域活動への参加と参加意向

問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。



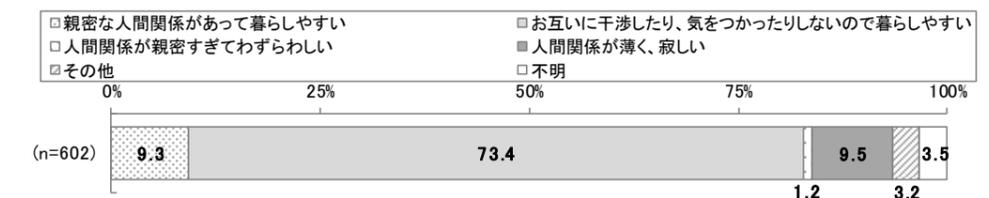
## (10) 隣近所とのつき合い方

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



## (11) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)



【笠間地区】

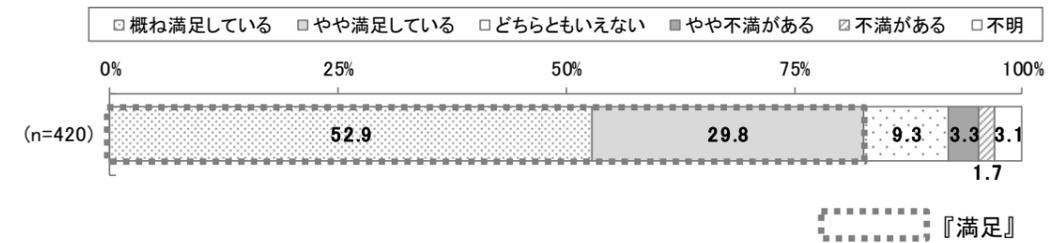
- ・居住形態の「持家（マンション・共同住宅）」（61.9%）が7地区で最も多い（F6）。
- ・栄区に住んだきっかけ・理由は「通勤・通学に便利のため」（40.7%）、「買い物環境が良いため」（28.1%）が7地区で最も多い（問3）。
- ・定住意向は『住み続けたい』（93.1%）が7地区で最も多い（問4）。
- ・生活環境のうち「買い物環境」、「バスの利便性」について『満足』が7地区で最も多い（問6）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		420	100.0
F 1 性別	男性	181	43.1
	女性	235	56.0
F 2 年齢（統合）	18～29歳	38	9.0
	30～39歳	42	10.0
	40～49歳	59	14.0
	50～59歳	86	20.5
	60～69歳	76	18.1
	70歳以上	118	28.1
F 3 居住期間	5年未満	64	15.2
	5～9年	25	6.0
	10～14年	36	8.6
	15～19年	43	10.2
	20～29年	104	24.8
	30～39年	57	13.6
F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	47	11.2
	夫婦2人	138	32.9
	親と子（18歳未満の子がいる）	78	18.6
	親と子（18歳未満の子はいない）	117	27.9
	親と子と孫（3世代）	13	3.1
	その他	19	4.5
F 6 住居形態	持家（一戸建て）	98	23.3
	持家（マンション・共同住宅）	260	61.9
	借家（一戸建て）	3	0.7
	借家（県営・市営の共同住宅）	2	0.5
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	0	0.0
	社宅、公務員住宅	8	1.9
	民間アパート、民間賃貸マンション	41	9.8
	その他	5	1.2
F 7 通勤・通学先	栄区内	29	6.9
	横浜市内他区	77	18.3
	鎌倉市内	21	5.0
	神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	43	10.2
	東京都内	84	20.0
	その他	10	2.4
	通勤・通学していない	137	32.6

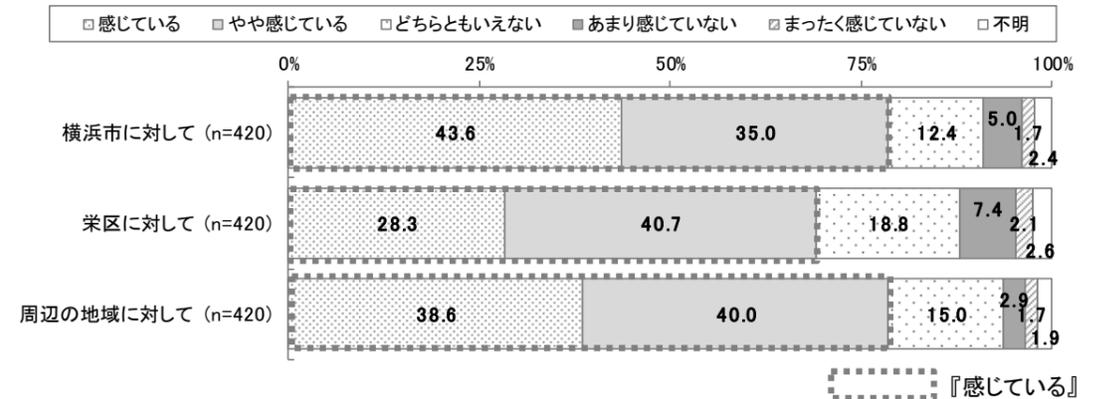
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



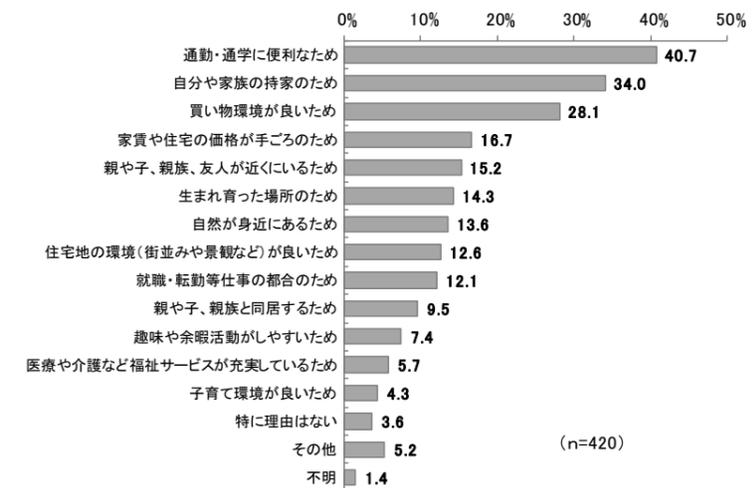
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



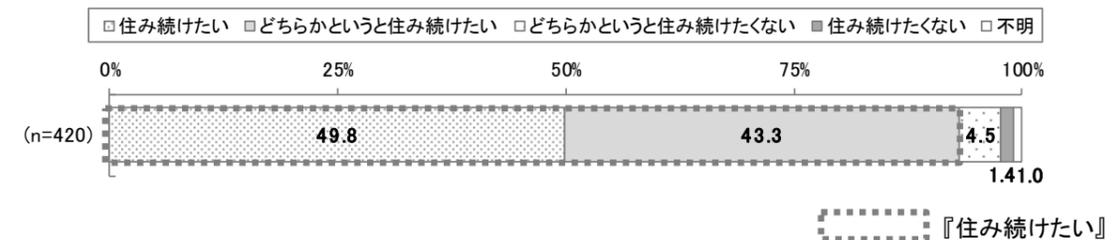
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



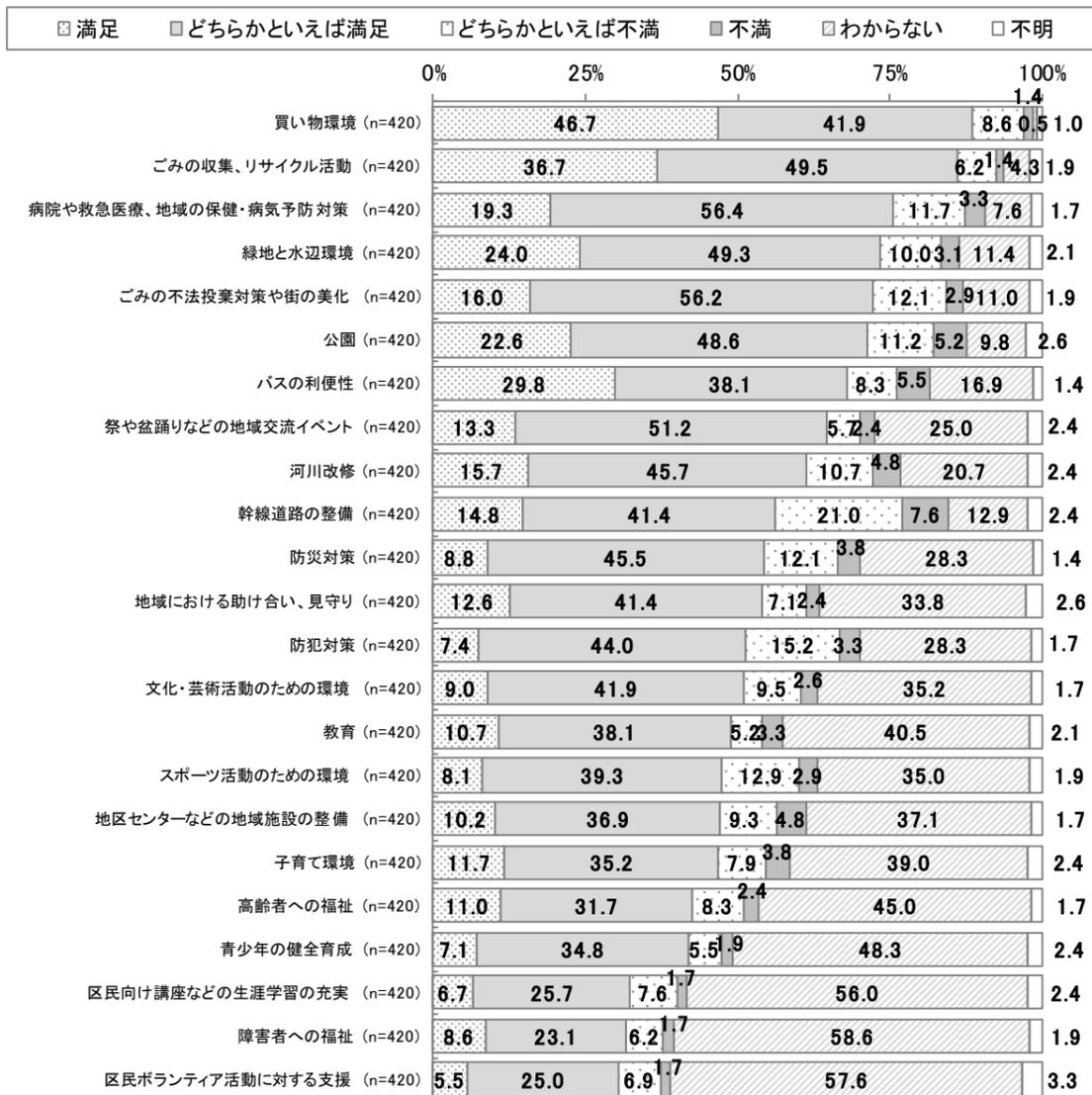
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



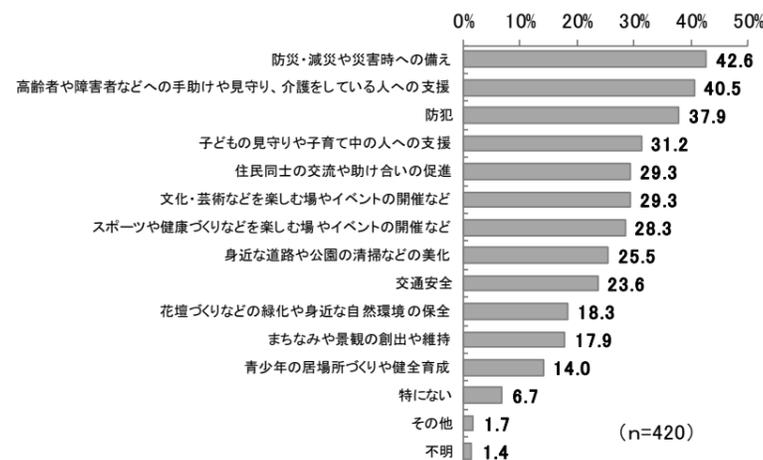
## (6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



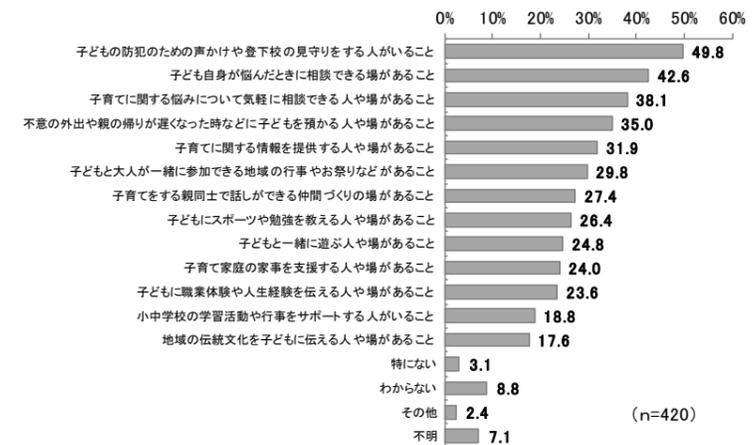
## (7) お住まいの地域にあると良い地域活動

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)



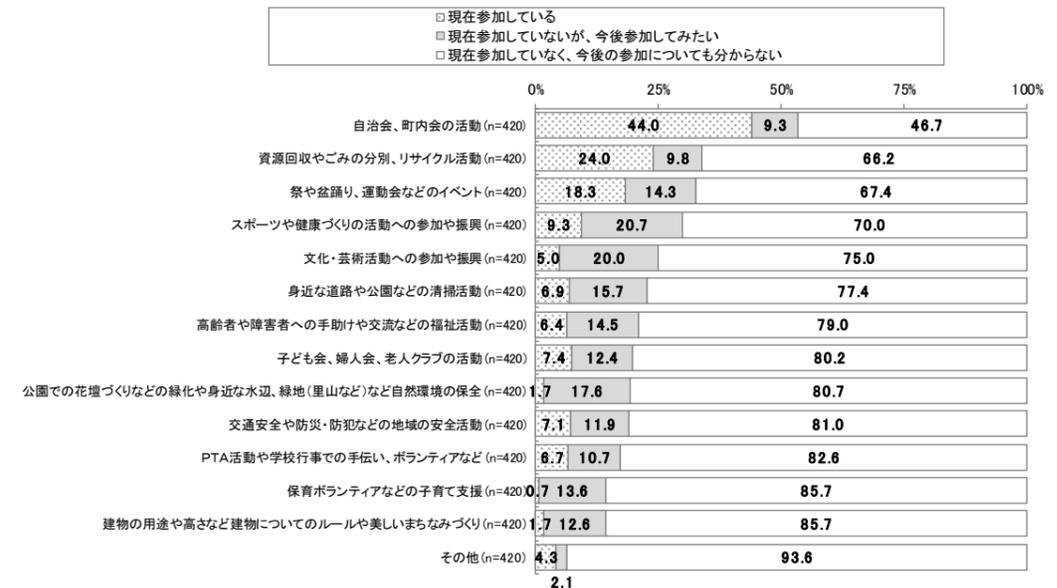
## (8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



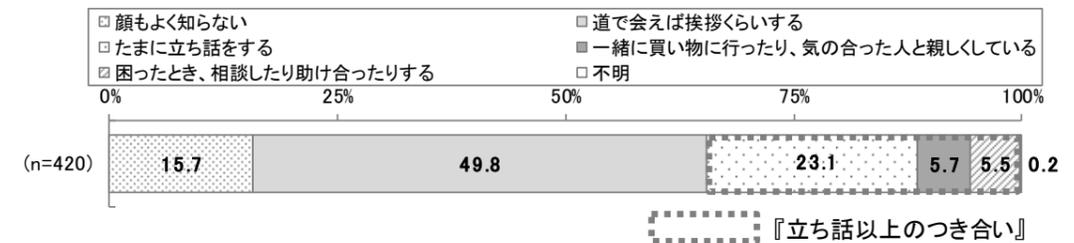
## (9) 地域活動への参加と参加意向

問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。



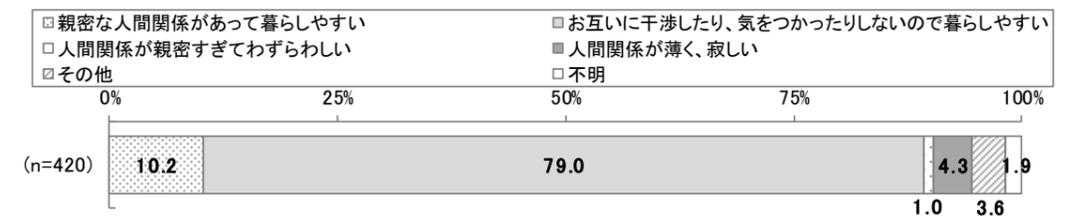
## (10) 隣近所とのつき合い方

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



## (11) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)



【小菅ヶ谷地区】

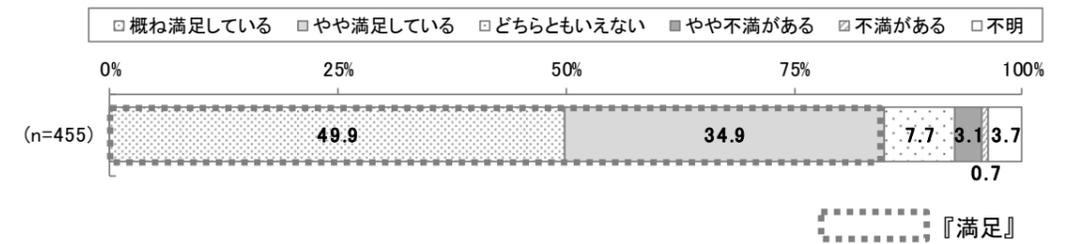
- ・家族形態では「親と子（18歳未満の子がいる）」（26.6%）が7地区で最も多い。（F4）
- ・栄区での生活満足度の『満足』が7地区で最も多い（84.8%）（問1）。
- ・栄区に対して愛着や誇りを『感じている』（77.3%）が7地区で最も多い（問2）。
- ・生活環境については、「緑地と水辺環境」、「病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策」、「祭や盆踊りなどの地域交流イベント」、「河川改修」、「幹線道路の整備」、「文化・芸術活動のための環境」、「スポーツ活動のための環境」、について、『満足』が7地区で最も多い（問6）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		455	100.0
F 1 性別	男性	176	38.7
	女性	271	59.6
F 2 年齢（統合）	18～29歳	36	7.9
	30～39歳	55	12.1
	40～49歳	72	15.8
	50～59歳	97	21.3
	60～69歳	72	15.8
	70歳以上	123	27.0
F 3 居住期間	5年未満	95	20.9
	5～9年	36	7.9
	10～14年	45	9.9
	15～19年	50	11.0
	20～29年	81	17.8
	30～39年	47	10.3
F 4 世帯の家族形態	40年以上	96	21.1
	ひとり暮らし	68	14.9
	夫婦2人	119	26.2
	親と子（18歳未満の子がいる）	121	26.6
	親と子（18歳未満の子はいない）	102	22.4
	親と子と孫（3世代）	18	4.0
F 6 住居形態	その他	21	4.6
	持家（一戸建て）	163	35.8
	持家（マンション・共同住宅）	173	38.0
	借家（一戸建て）	4	0.9
	借家（県営・市営の共同住宅）	16	3.5
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	24	5.3
	社宅、公務員住宅	0	0.0
	民間アパート、民間賃貸マンション	64	14.1
F 7 通勤・通学先	その他	5	1.1
	栄区内	41	9.0
	横浜市内他区	120	26.4
	鎌倉市内	16	3.5
	神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	34	7.5
	東京都内	66	14.5
	その他	9	2.0
通勤・通学していない	142	31.2	

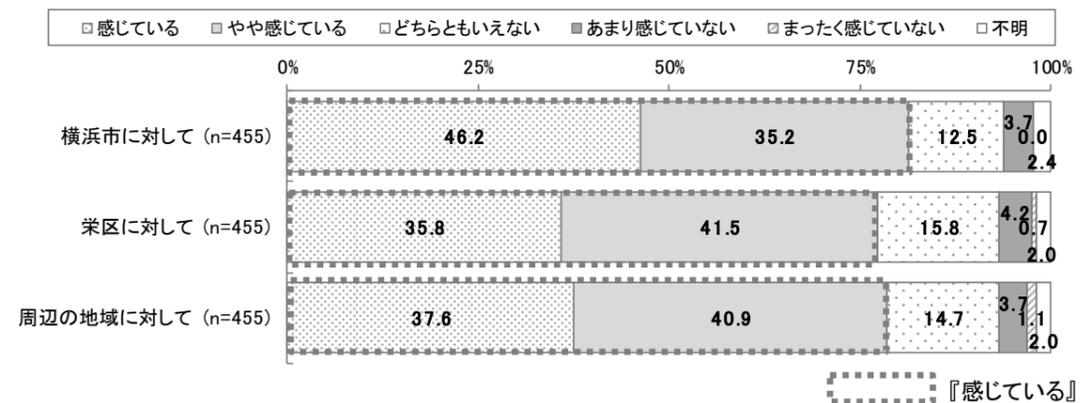
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



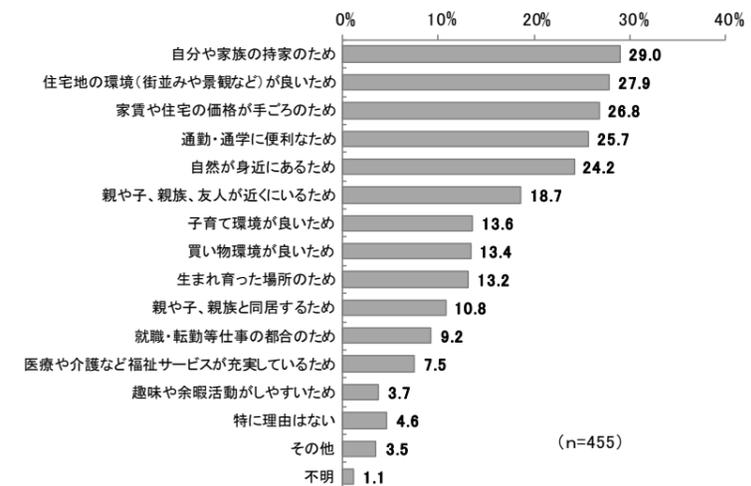
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



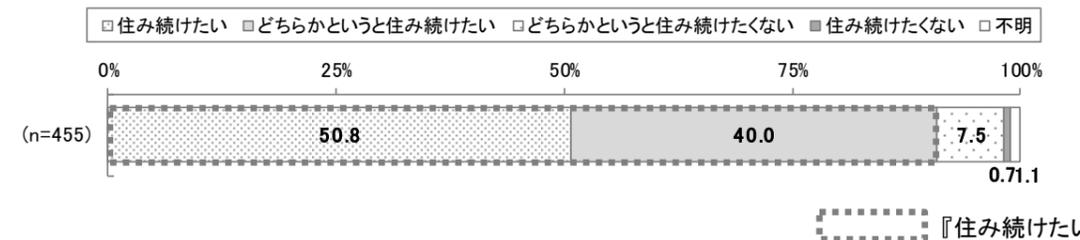
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



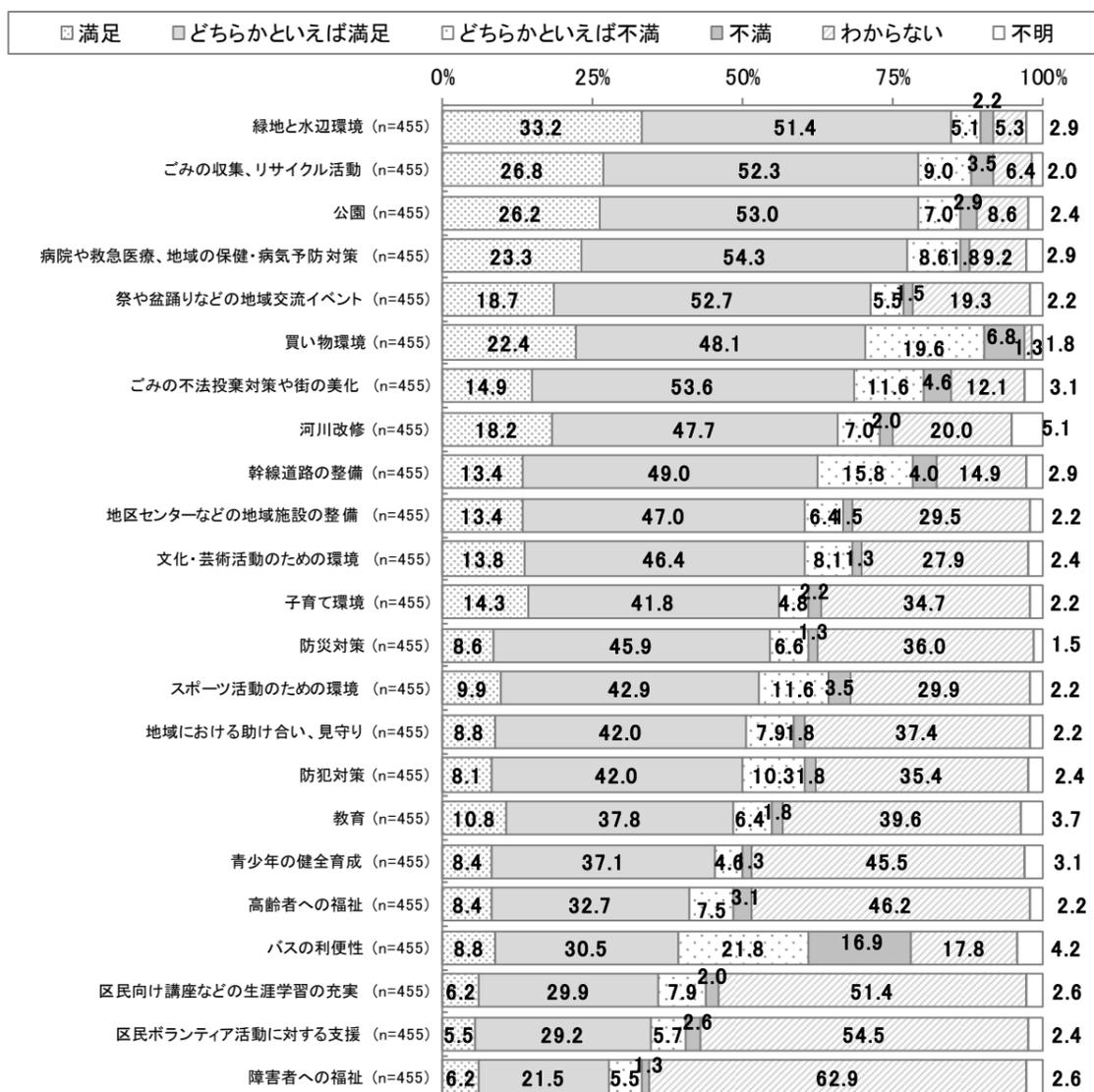
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



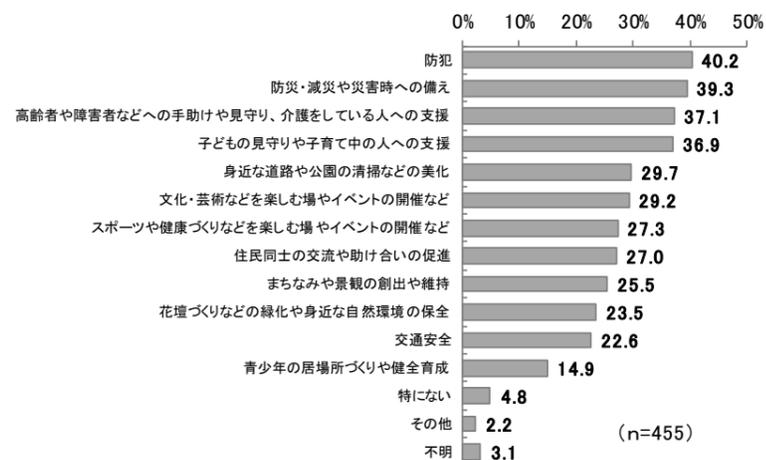
## (6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



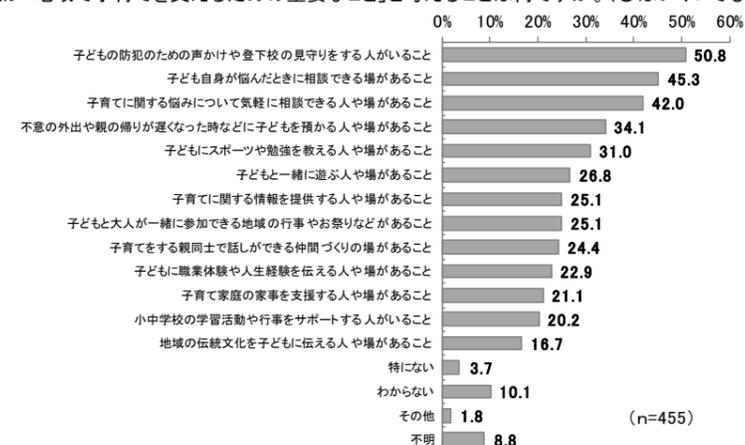
## (7) お住まいの地域にあると良い地域活動

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)



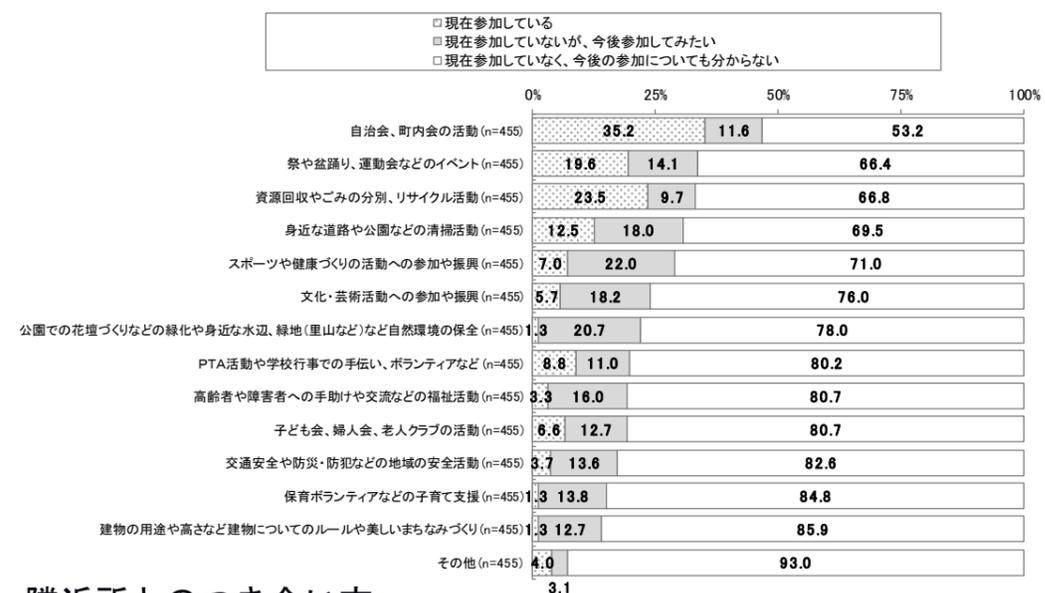
## (8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



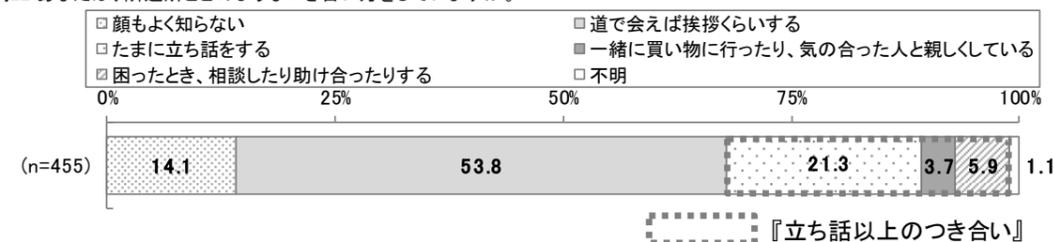
## (9) 地域活動への参加と参加意向

問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。



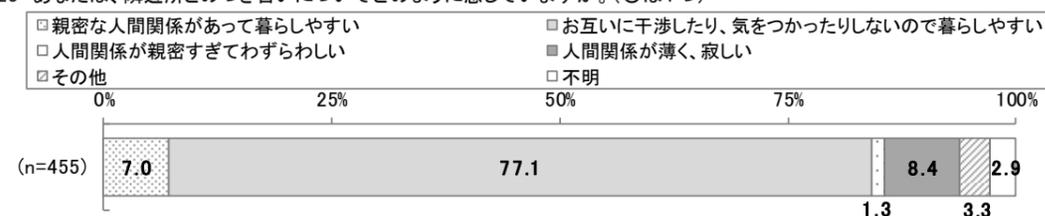
## (10) 隣近所とのつき合い方

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



## (11) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)



【本郷中央地区】

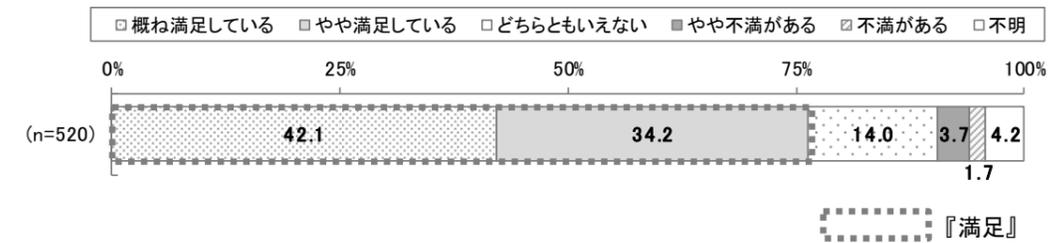
・生活環境について、「高齢者への福祉」、「障害者への福祉」について、『満足』が7地区で最も多い（問6）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%	
全体		520	100.0	
F 1 性別	男性	238	45.8	
	女性	269	51.7	
F 2 年齢（統合）	18～29歳	33	6.3	
	30～39歳	49	9.4	
	40～49歳	45	8.7	
	50～59歳	88	16.9	
	60～69歳	91	17.5	
	70歳以上	212	40.8	
F 3 居住期間	5年未満	54	10.4	
	5～9年	39	7.5	
	10～14年	36	6.9	
	15～19年	39	7.5	
	20～29年	70	13.5	
	30～39年	83	16.0	
	40年以上	196	37.7	
F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	80	15.4	
	夫婦2人	182	35.0	
	親と子（18歳未満の子がいる）	79	15.2	
	親と子（18歳未満の子はいない）	117	22.5	
	親と子と孫（3世代）	32	6.2	
	その他	20	3.8	
F 6 住居形態	持家（一戸建て）	320	61.5	
	持家（マンション・共同住宅）	102	19.6	
	借家（一戸建て）	5	1.0	
	借家（県営・市営の共同住宅）	6	1.2	
	借家（都市再生機構[旧公団]・会社の共同住宅）	41	7.9	
	社宅、公務員住宅	4	0.8	
	民間アパート、民間賃貸マンション	38	7.3	
	その他	3	0.6	
	F 7 通勤・通学先	栄区内	57	11.0
		横浜市内他区	107	20.6
鎌倉市内		25	4.8	
神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）		32	6.2	
東京都内		46	8.8	
その他		6	1.2	
通勤・通学していない		198	38.1	

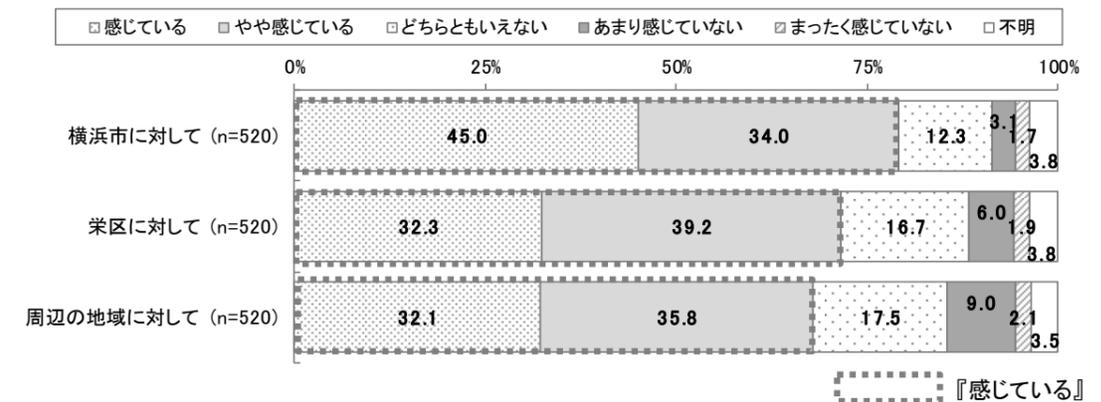
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



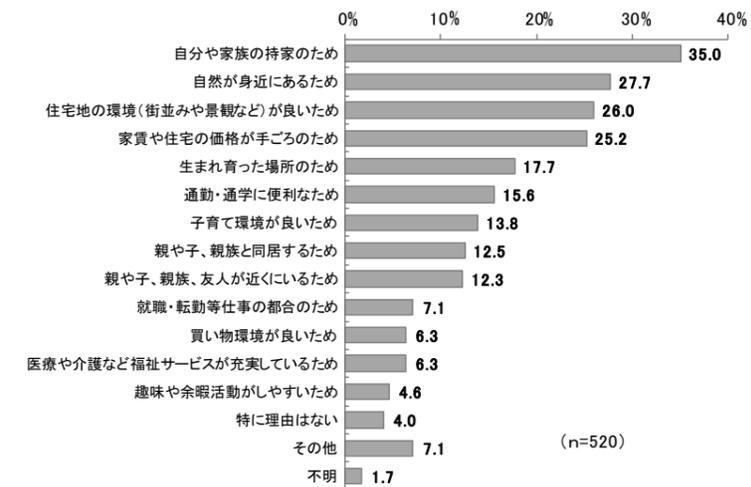
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



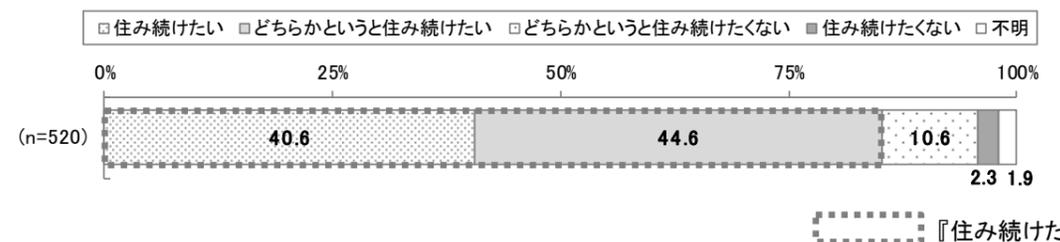
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



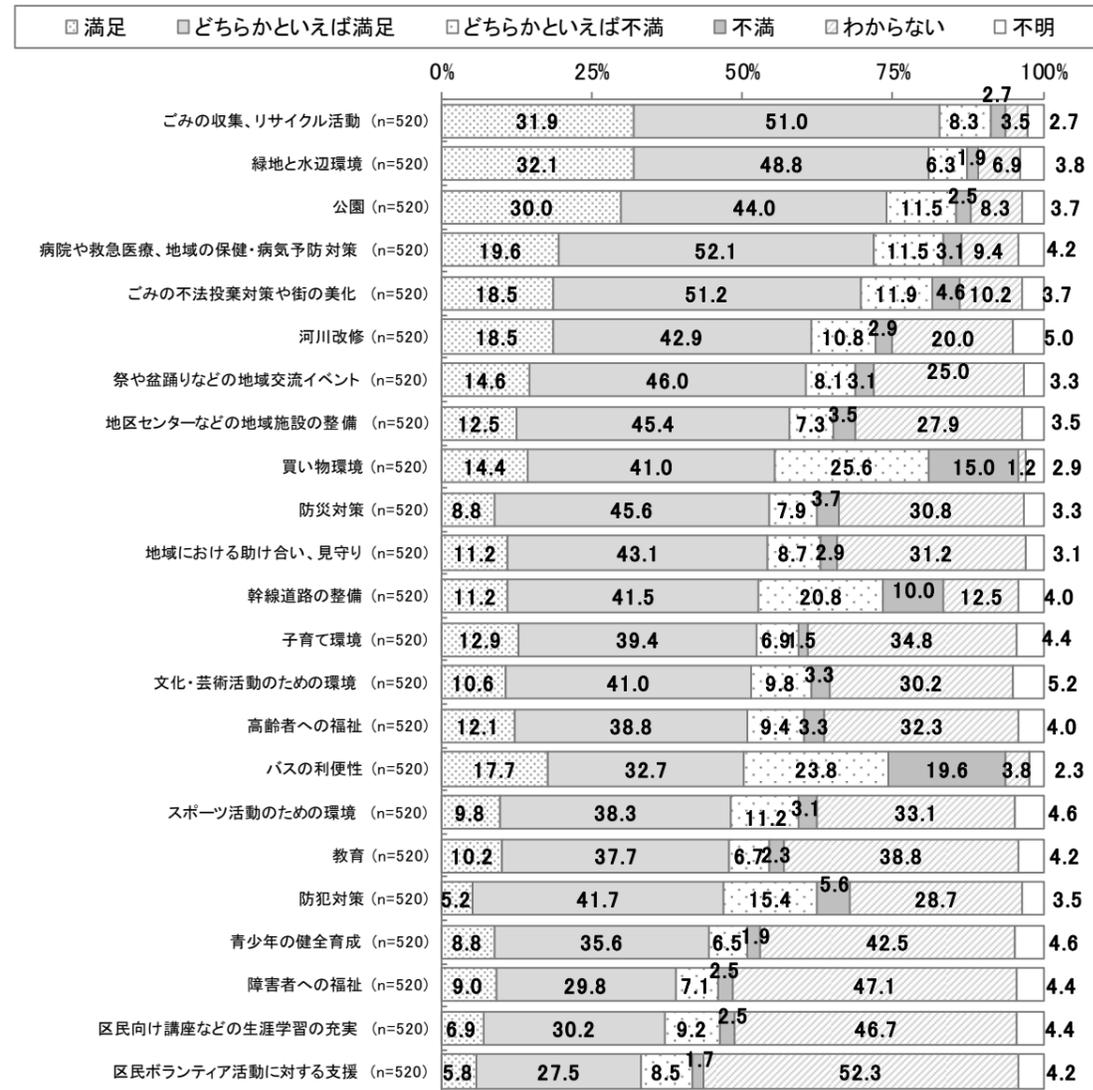
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



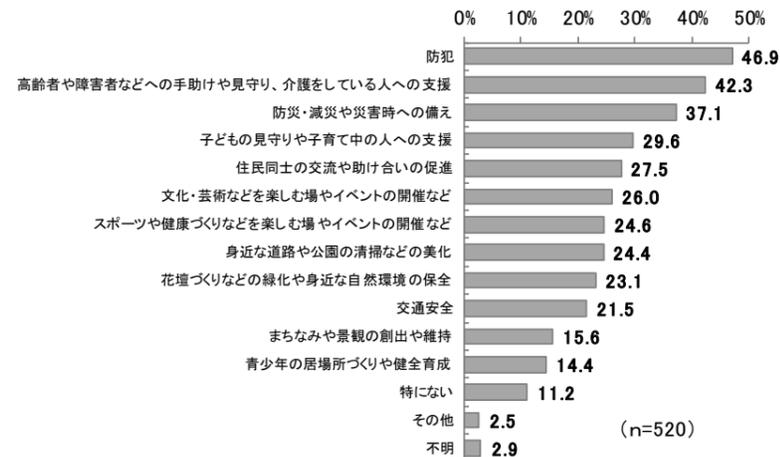
## (6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



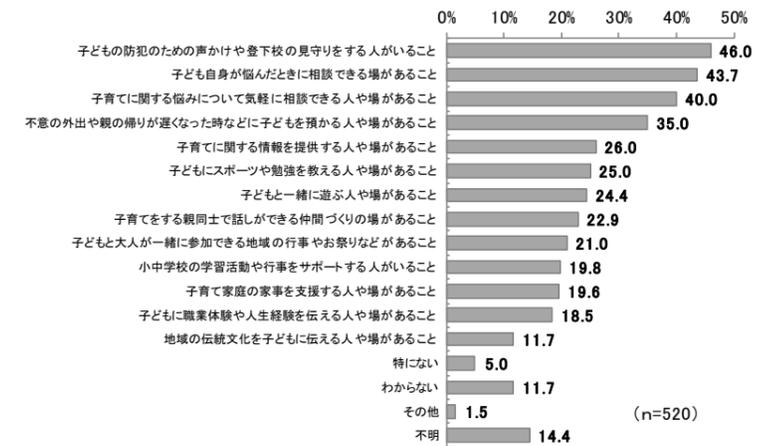
## (7) お住まいの地域にあると良い地域活動

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)



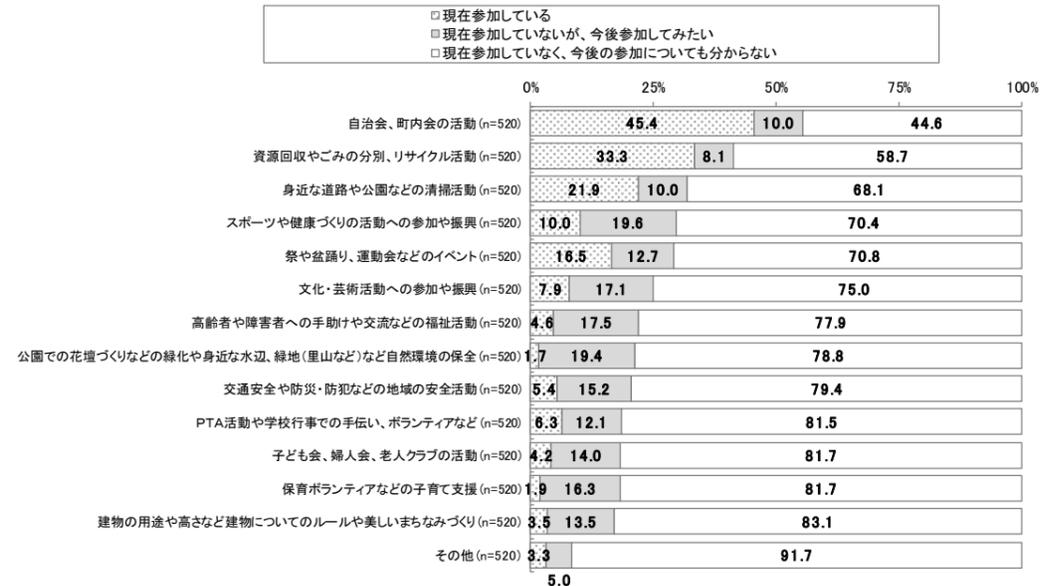
## (8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



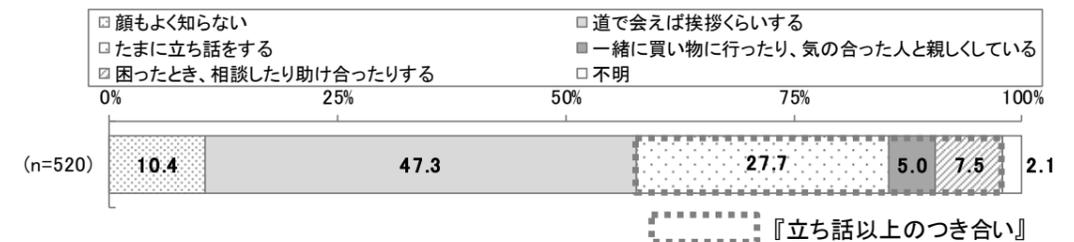
## (9) 地域活動への参加と参加意向

問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。



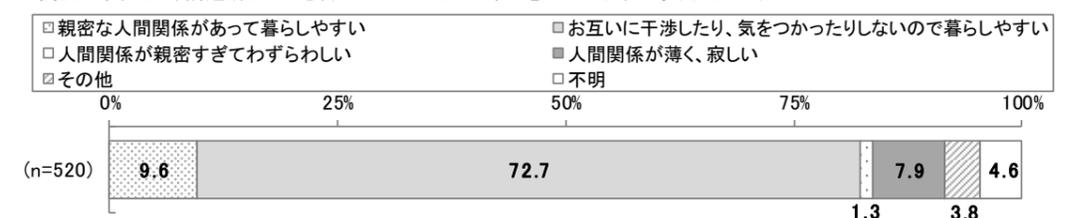
## (10) 隣近所とのつき合い方

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



## (11) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)



【本郷第三地区】

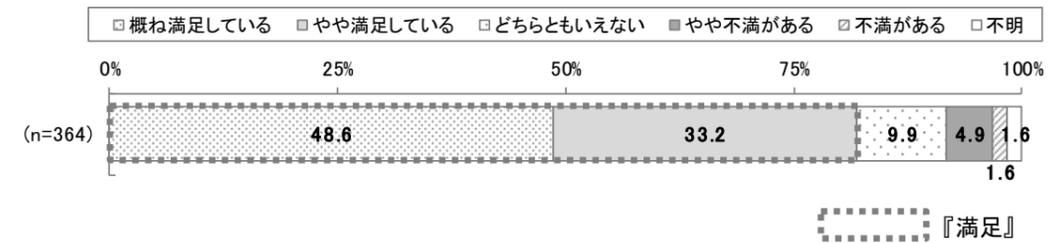
- ・ 居住形態の「民間アパート、民間賃貸マンション」（17.0%）が7地区で最も多い（F6）。
- ・ 生活環境について「幹線道路の整備」（64.0%）が全体より5ポイント以上『満足』が多く、7地区で最も多い（問6）。
- ・ 地域で子育てを支えるための重要なこととして、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること」、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」、「子育て家庭の家事を支援する人や場があること」が全体より5ポイント以上多く7地区で最も多い（問15）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		364	100.0
F 1 性別	男性	160	44.0
	女性	195	53.6
F 2 年齢（統合）	18～29歳	31	8.5
	30～39歳	50	13.7
	40～49歳	53	14.6
	50～59歳	65	17.9
	60～69歳	72	19.8
	70歳以上	90	24.7
F 3 居住期間	5年未満	40	11.0
	5～9年	40	11.0
	10～14年	34	9.3
	15～19年	32	8.8
	20～29年	79	21.7
	30～39年	51	14.0
F 4 世帯の家族形態	40年以上	85	23.4
	ひとり暮らし	47	12.9
	夫婦2人	104	28.6
	親と子（18歳未満の子がいる）	80	22.0
	親と子（18歳未満の子はいない）	101	27.7
	親と子と孫（3世代）	11	3.0
F 6 住居形態	その他	15	4.1
	持家（一戸建て）	235	64.6
	持家（マンション・共同住宅）	50	13.7
	借家（一戸建て）	9	2.5
	借家（県営・市営の共同住宅）	1	0.3
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	2	0.5
	社宅、公務員住宅	2	0.5
	民間アパート、民間賃貸マンション	62	17.0
F 7 通勤・通学先	その他	3	0.8
	栄区内	41	11.3
	横浜市内他区	95	26.1
	鎌倉市内	15	4.1
	神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	23	6.3
	東京都内	59	16.2
	その他	1	0.3
通勤・通学していない	106	29.1	

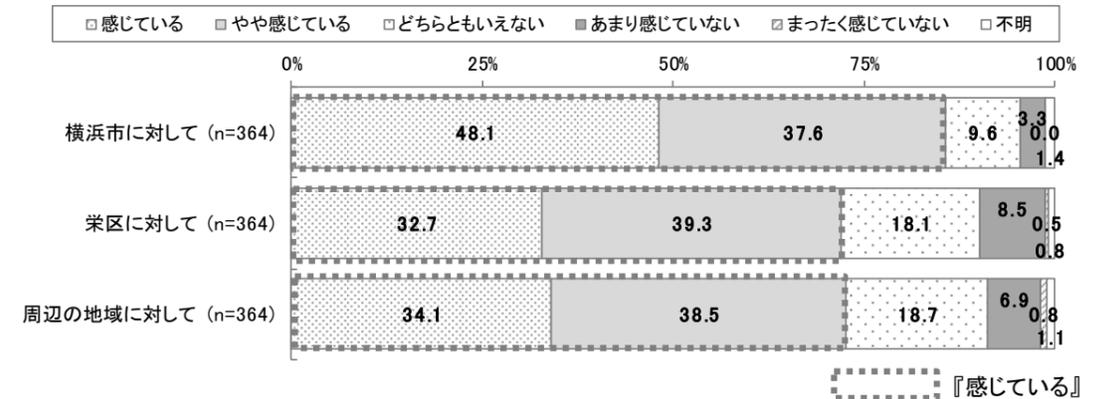
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



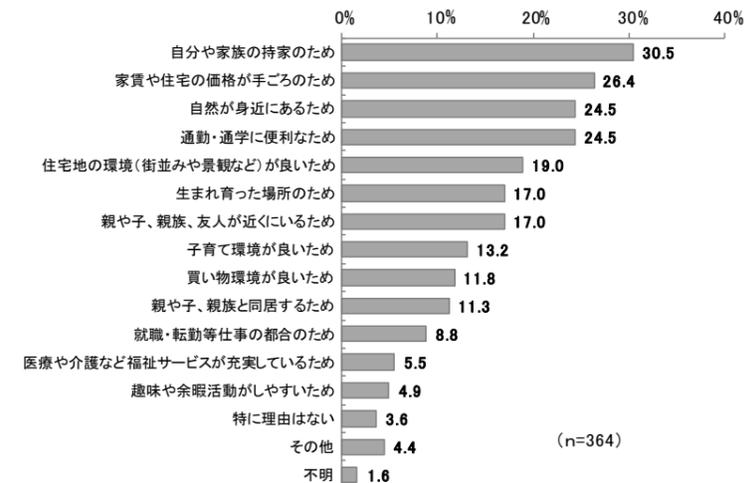
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



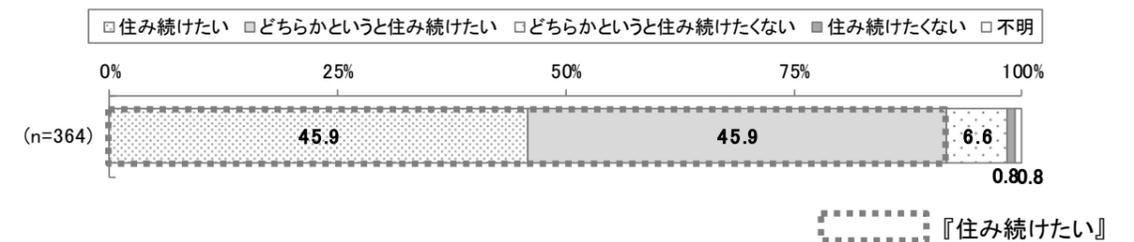
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



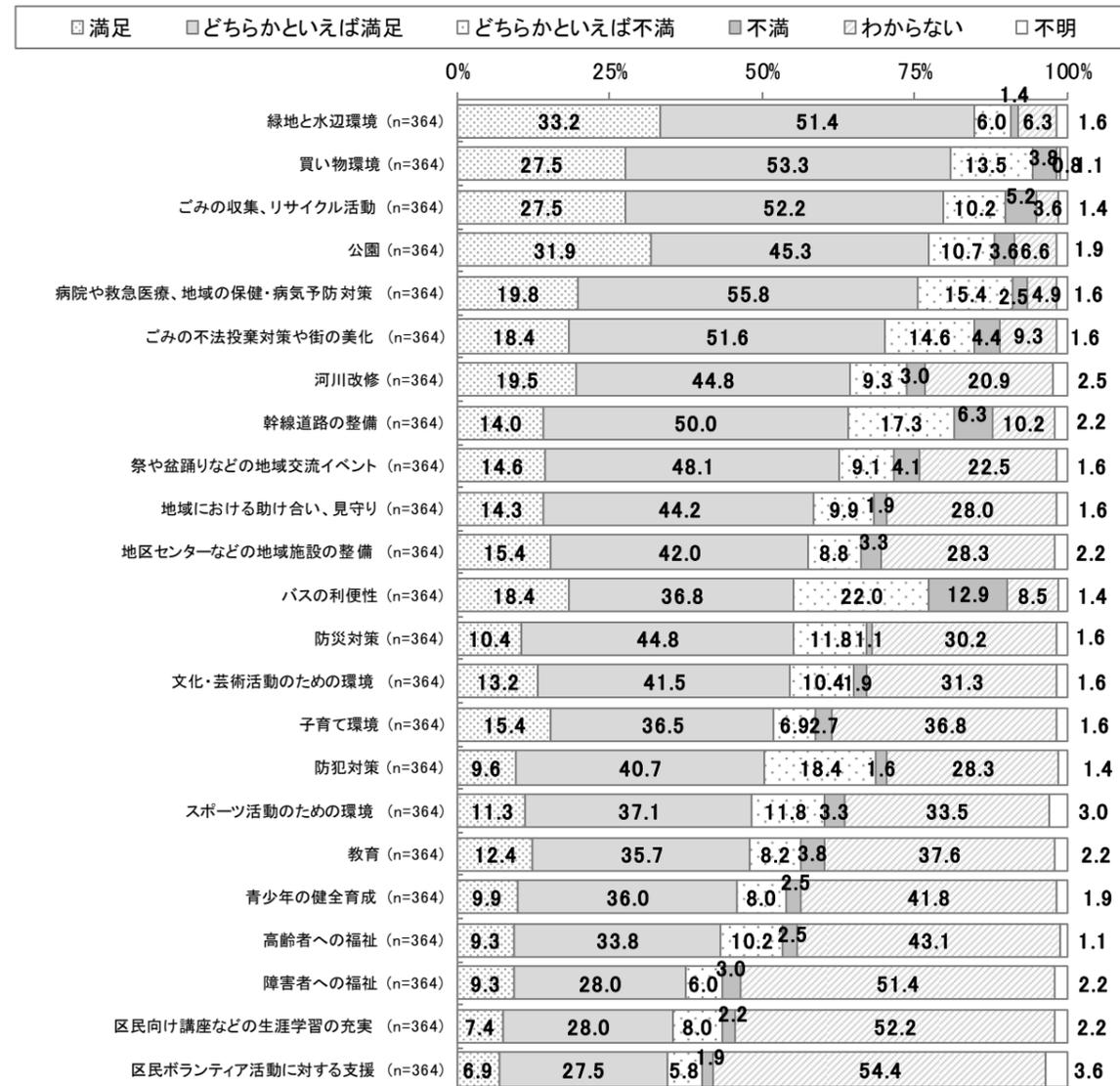
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



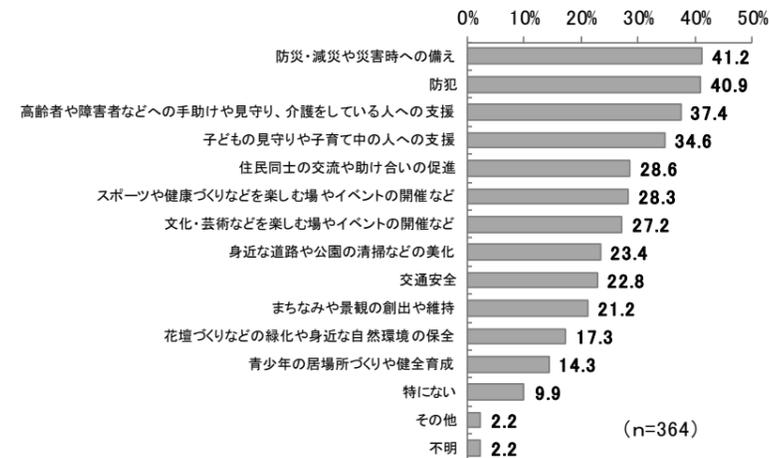
## (6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



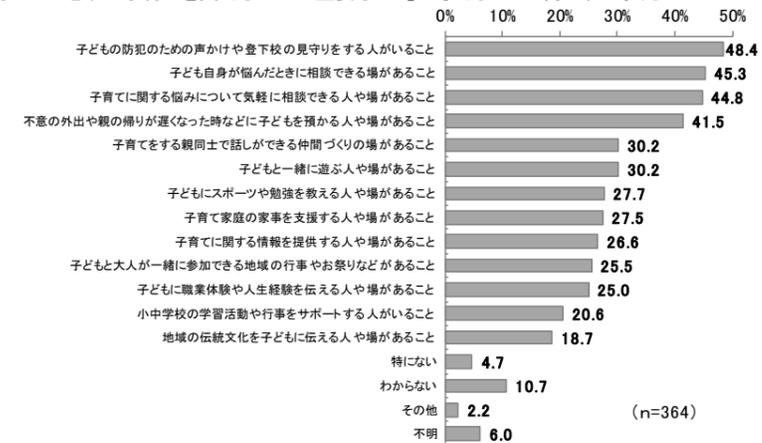
## (7) お住まいの地域にあると良い地域活動

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)



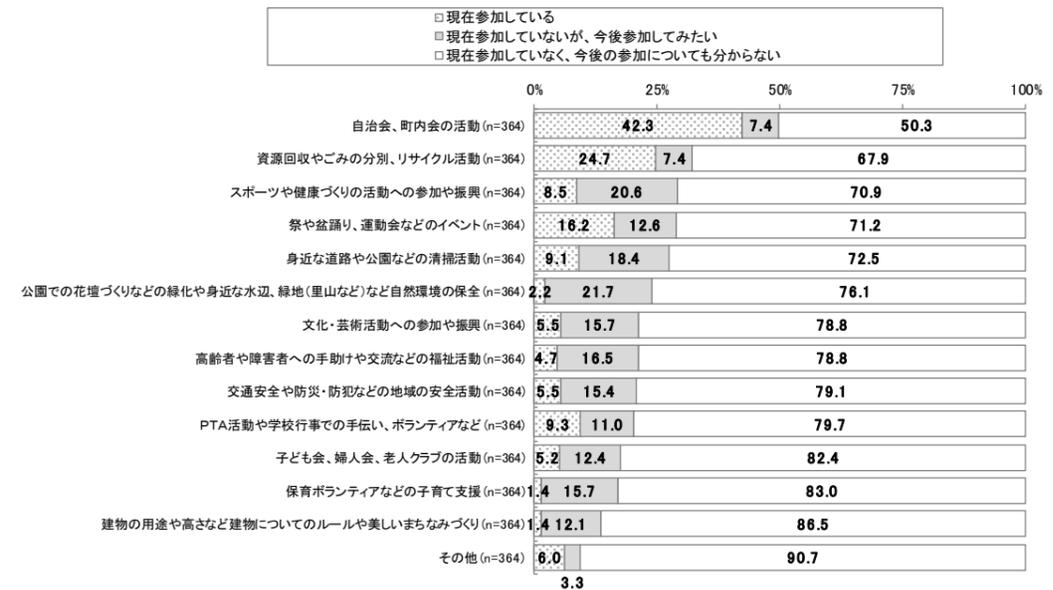
## (8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



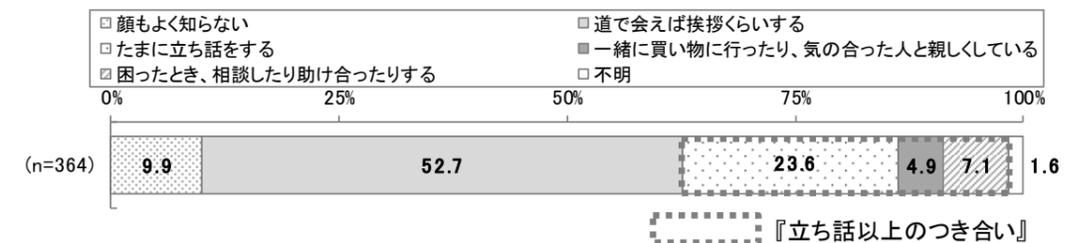
## (9) 地域活動への参加と参加意向

問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。



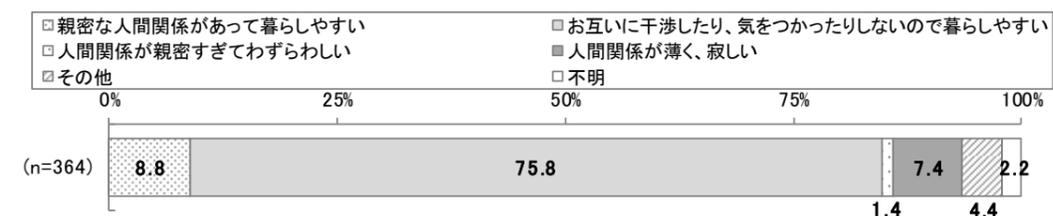
## (10) 隣近所とのつき合い方

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



## (11) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)



【上郷西地区】

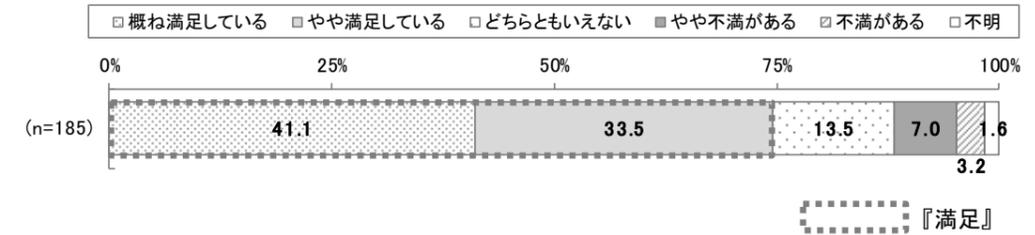
- ・回答者の年代は「70歳以上」（41.1%）が7地区で最も多い（F2）。
- ・居住期間は「40年以上」（43.8%）が7地区で最も多い（F3）。
- ・居住形態の「持家（一戸建て）」（92.4%）が7地区で最も多い（F6）。
- ・現在参加している地域活動について、「自治会、町内会の活動」、「子ども会、婦人会、老人クラブの活動」、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、「身近な道路や公園などの清掃活動」、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」が全体より5ポイント以上多く7地区で最も多い（問21）。
- ・隣近所とのつき合いは、『立ち話以上のつき合い』（53.5%）が全体より10ポイント以上多く、7地区で最も多い（問22）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%	
全体		185	100.0	
F 1 性別	男性	67	36.2	
	女性	116	62.7	
F 2 年齢（統合）	18～29歳	11	5.9	
	30～39歳	19	10.3	
	40～49歳	16	8.6	
	50～59歳	26	14.1	
	60～69歳	21	11.4	
	70歳以上	91	49.2	
F 3 居住期間	5年未満	19	10.3	
	5～9年	7	3.8	
	10～14年	13	7.0	
	15～19年	13	7.0	
	20～29年	21	11.4	
	30～39年	27	14.6	
	40年以上	81	43.8	
	F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	24	13.0
夫婦2人		56	30.3	
親と子（18歳未満の子がいる）		35	18.9	
親と子（18歳未満の子はいない）		42	22.7	
親と子と孫（3世代）		13	7.0	
その他		10	5.4	
F 6 住居形態		持家（一戸建て）	171	92.4
		持家（マンション・共同住宅）	3	1.6
	借家（一戸建て）	2	1.1	
	借家（県営・市営の共同住宅）	0	0.0	
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	0	0.0	
	社宅、公務員住宅	1	0.5	
	民間アパート、民間賃貸マンション	5	2.7	
	その他	2	1.1	
F 7 通勤・通学先	栄区内	18	9.7	
	横浜市内他区	41	22.2	
	鎌倉市内	2	1.1	
	神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	13	7.0	
	東京都内	14	7.6	
	その他	1	0.5	
	通勤・通学していない	73	39.5	

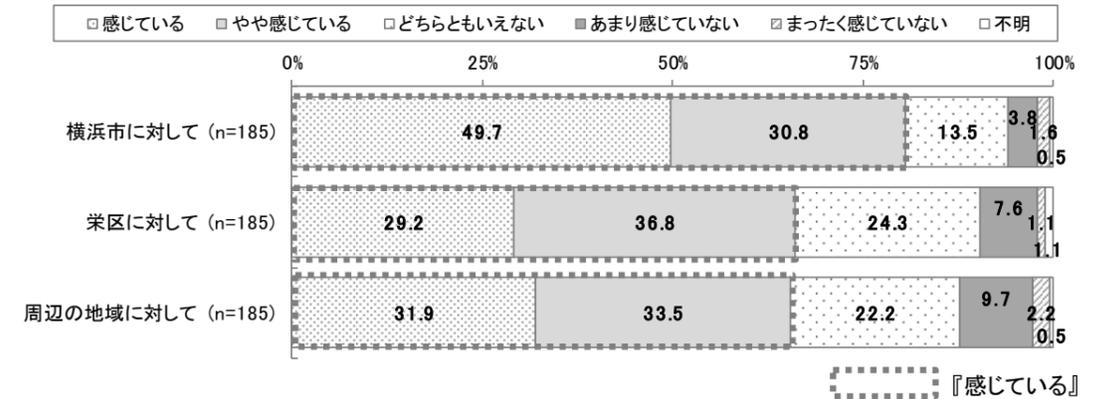
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



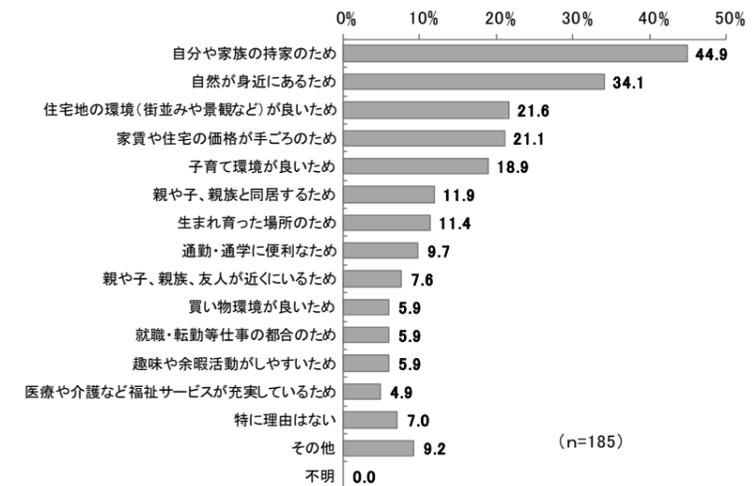
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



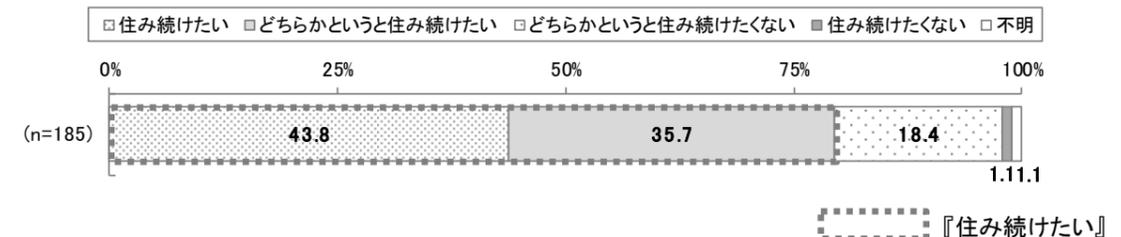
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(○はいくつでも)



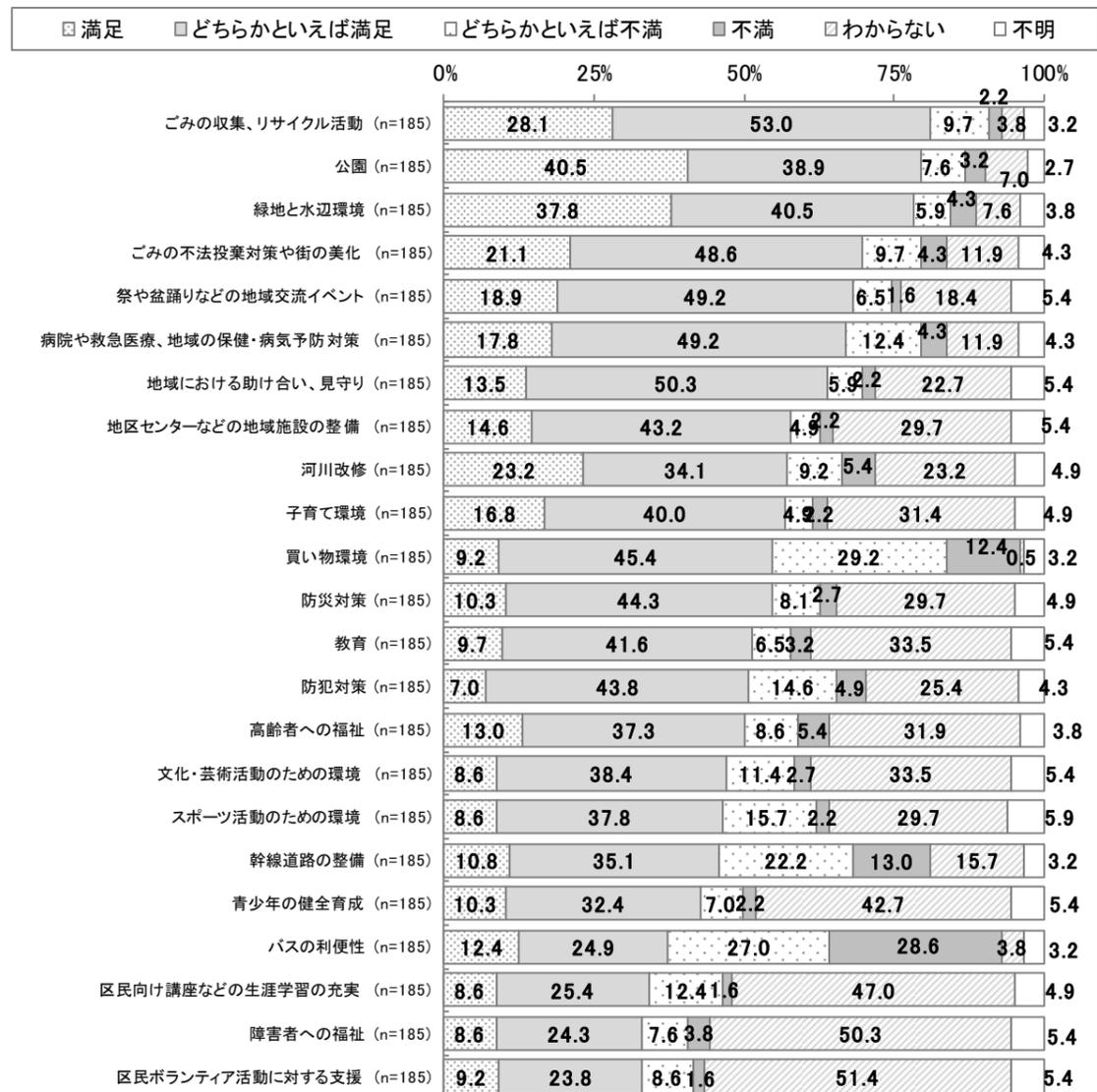
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



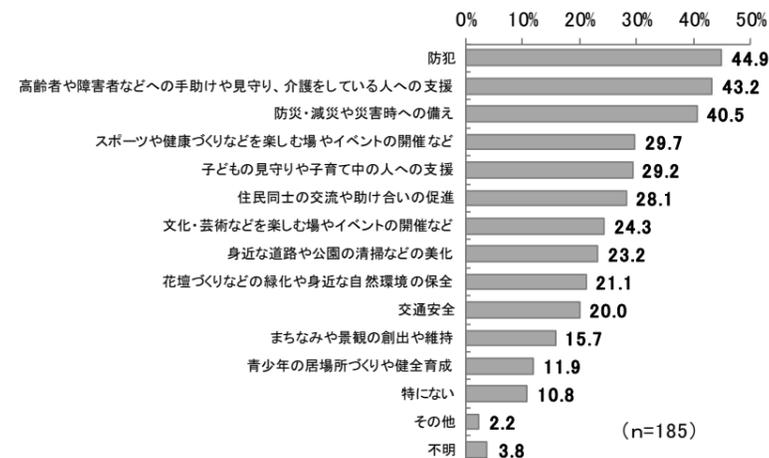
## (6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



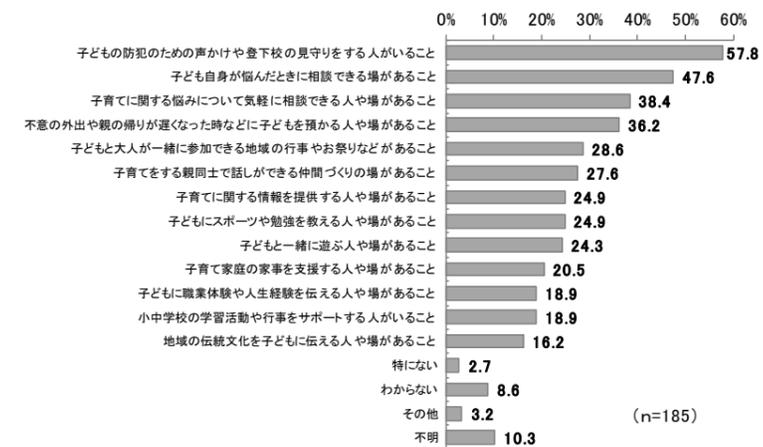
## (7) お住まいの地域にあると良い地域活動

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)



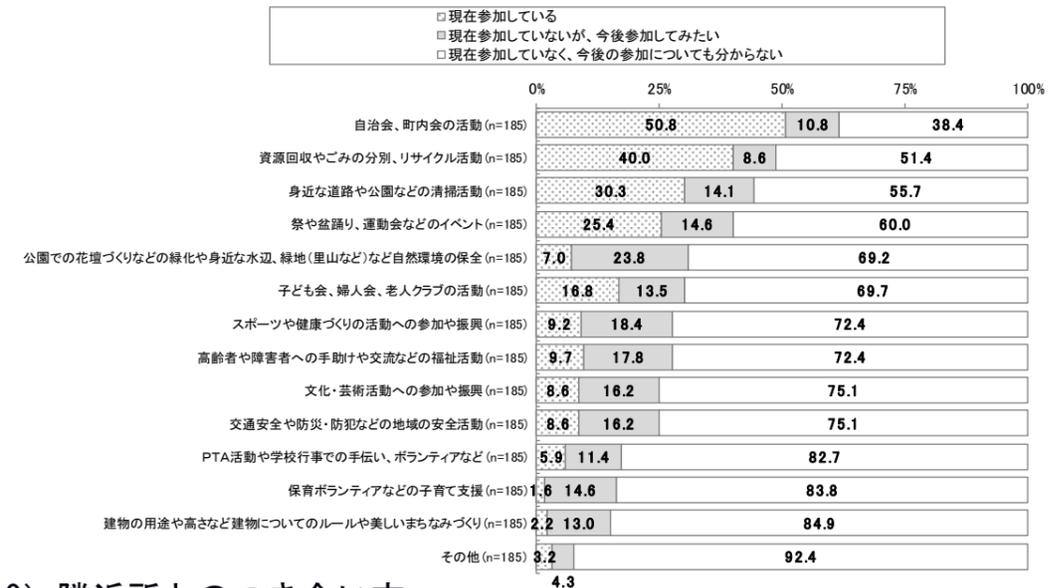
## (8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



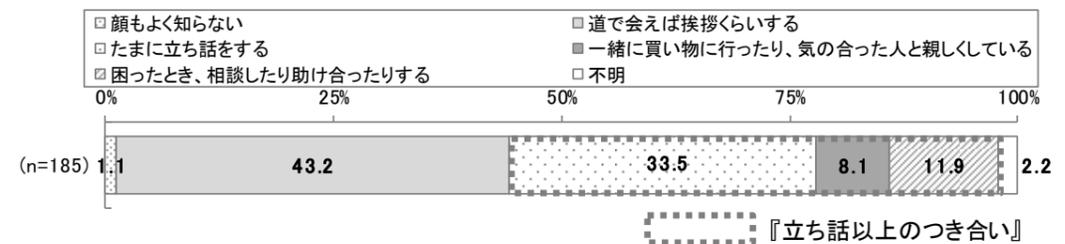
## (9) 地域活動への参加と参加意向

問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。



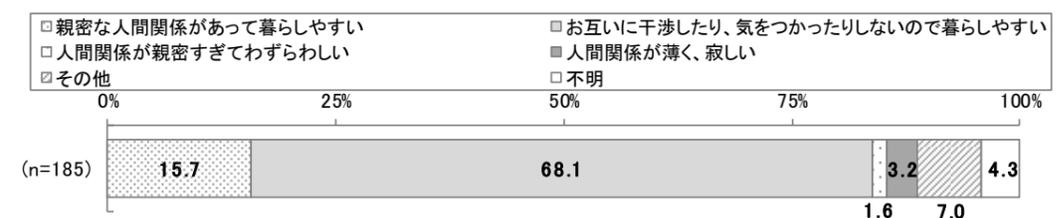
## (10) 隣近所とのつき合い方

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



## (11) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)



【上郷東地区】

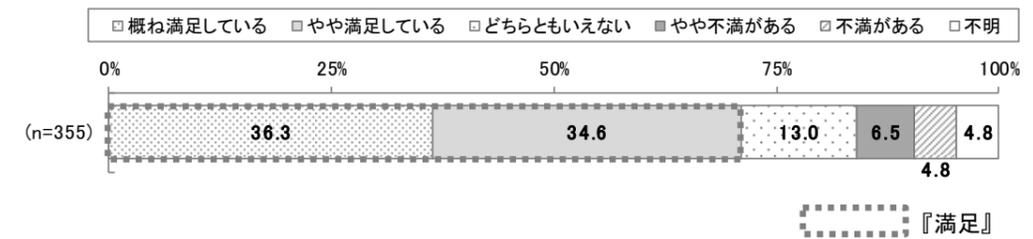
- ・上郷東地区の世帯の家族形態は「夫婦2人」（41.1%）が7地区で最も多く（F6）。
- ・栄区に住んだきっかけ・理由は「自然が身近にあるため」（45.6%）が7地区で最も多く、全体より20ポイント以上多い（問3）。
- ・生活環境について「ごみの収集、リサイクル活動」、「公園」が全体より5ポイント以上『満足』が多く、7地区で最も多い（問6）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%	
全体		355	100.0	
F1 性別	男性	141	39.7	
	女性	212	59.7	
F2 年齢（統合）	18～29歳	16	4.5	
	30～39歳	25	7.0	
	40～49歳	35	9.9	
	50～59歳	61	17.2	
	60～69歳	53	14.9	
	70歳以上	165	46.5	
F3 居住期間	5年未満	24	6.8	
	5～9年	26	7.3	
	10～14年	29	8.2	
	15～19年	23	6.5	
	20～29年	51	14.4	
	30～39年	70	19.7	
	40年以上	128	36.1	
F4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	36	10.1	
	夫婦2人	146	41.1	
	親と子（18歳未満の子がいる）	53	14.9	
	親と子（18歳未満の子はいない）	82	23.1	
	親と子と孫（3世代）	15	4.2	
	その他	14	3.9	
	F6 住居形態	持家（一戸建て）	238	67.0
		持家（マンション・共同住宅）	70	19.7
借家（一戸建て）		7	2.0	
借家（県営・市営の共同住宅）		10	2.8	
借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）		8	2.3	
社宅、公務員住宅		1	0.3	
民間アパート、民間賃貸マンション		20	5.6	
その他		0	0.0	
F7 通勤・通学先		栄区内	39	11.0
		横浜市内他区	81	22.8
	鎌倉市内	8	2.3	
	神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	21	5.9	
	東京都内	29	8.2	
	その他	4	1.1	
	通勤・通学していない	153	43.1	

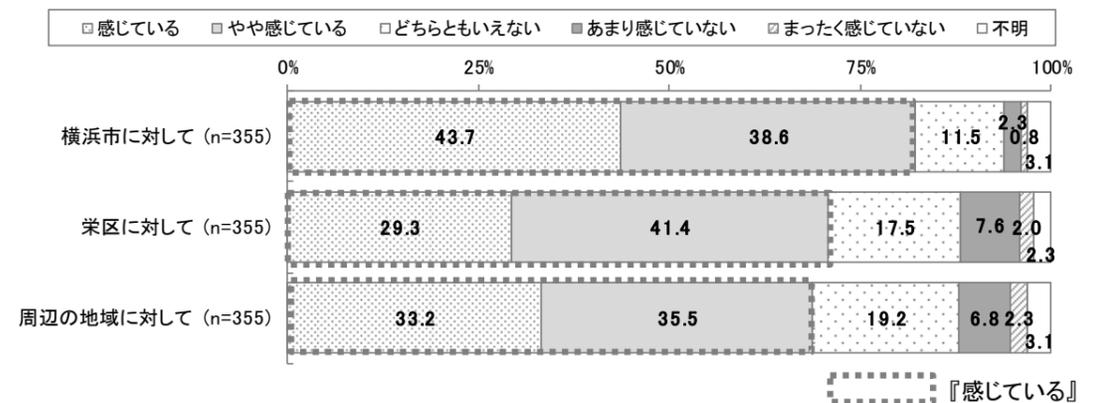
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



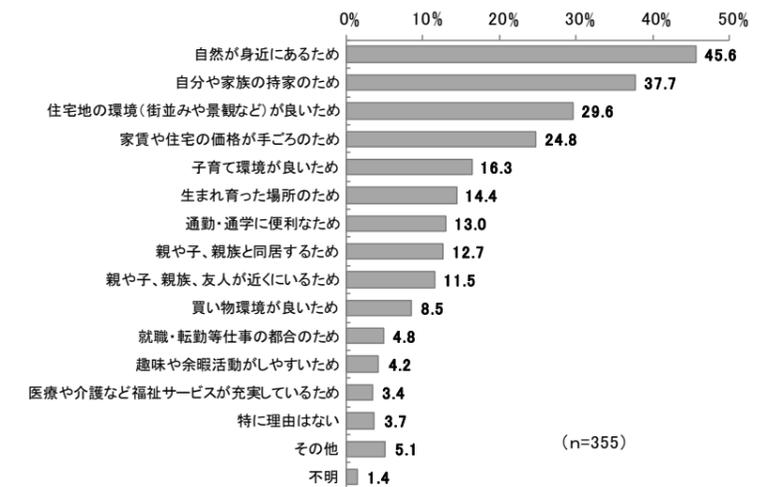
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



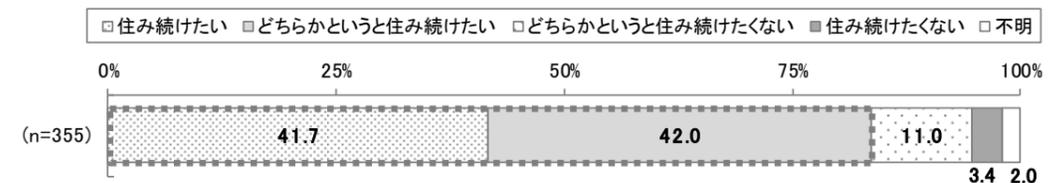
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由は何ですか。(〇はいくつでも)



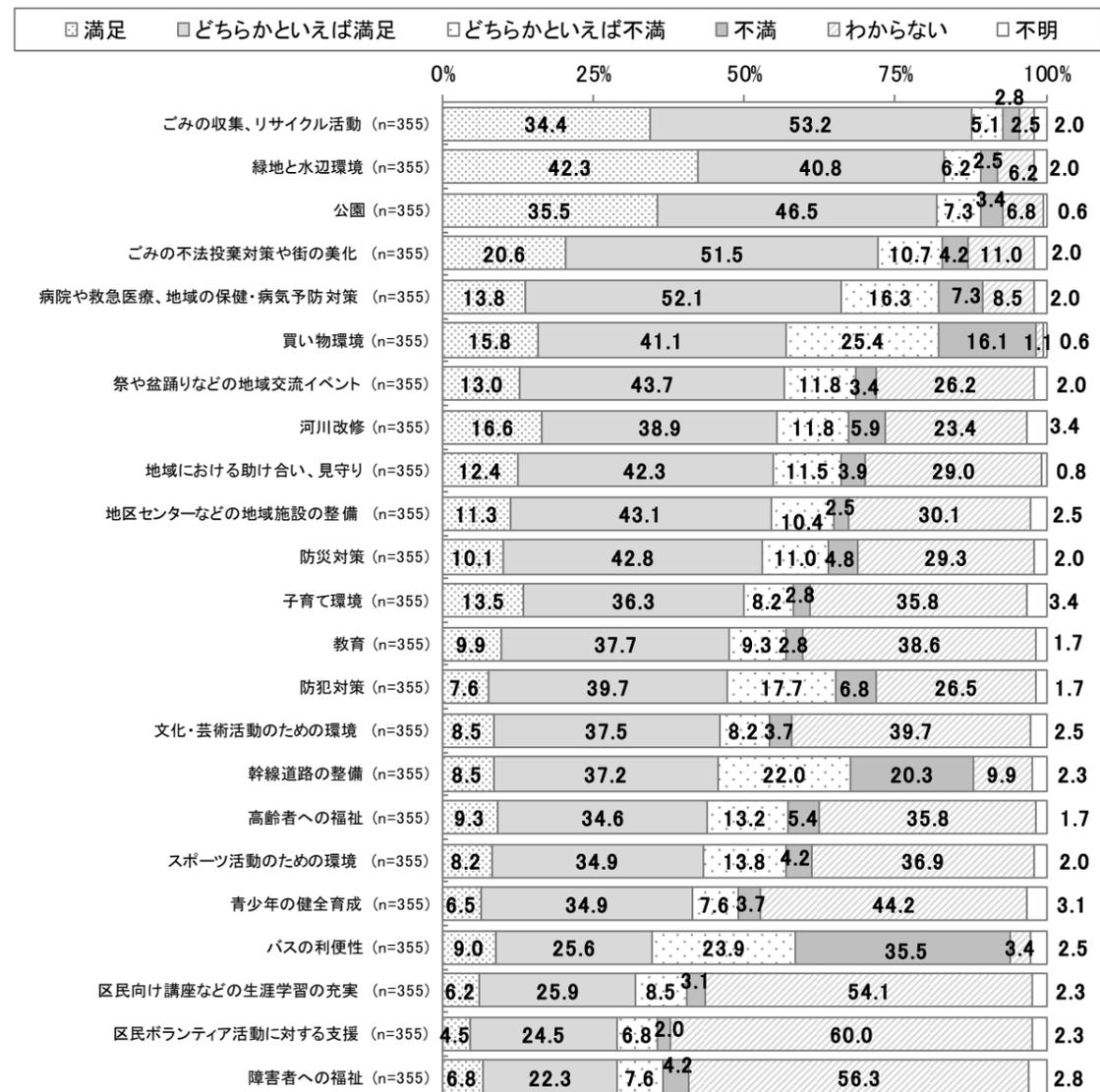
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



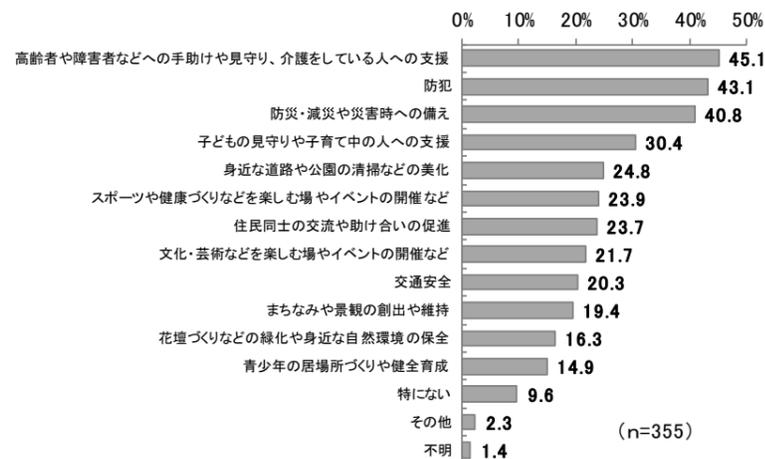
## (6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



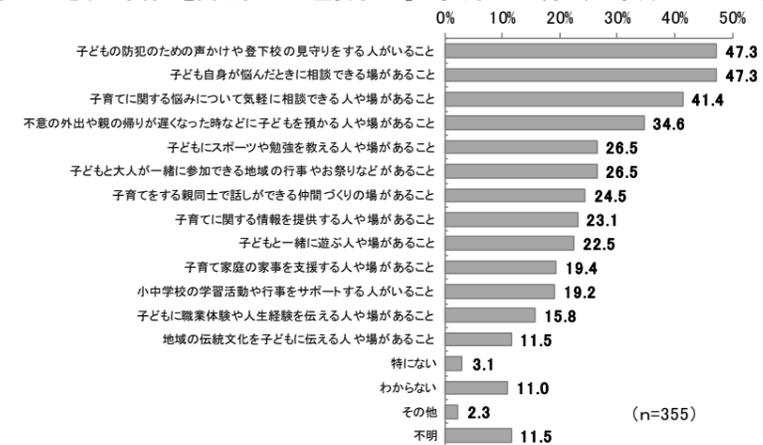
## (7) お住まいの地域にあると良い地域活動

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)



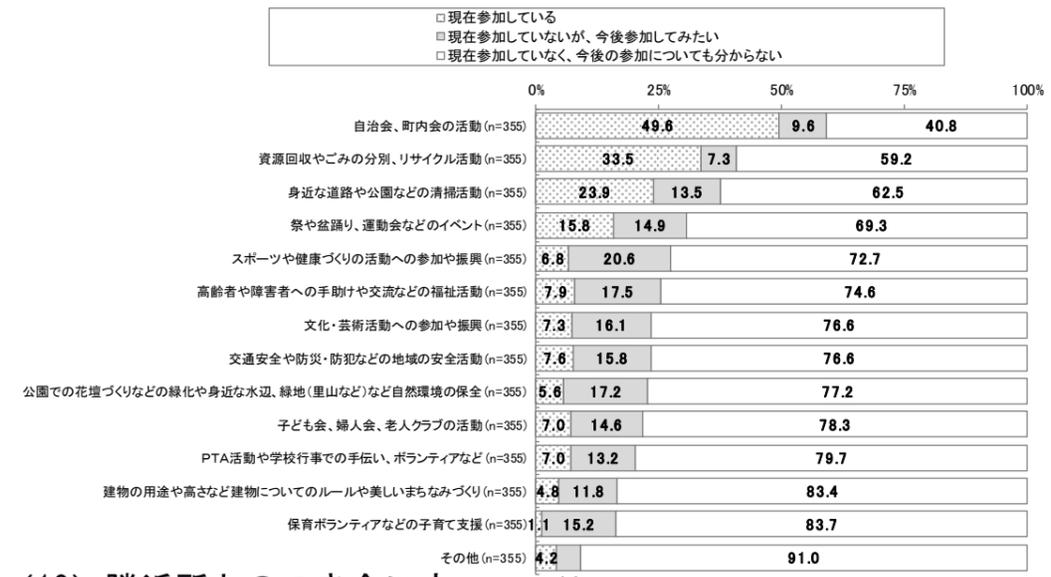
## (8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問15 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



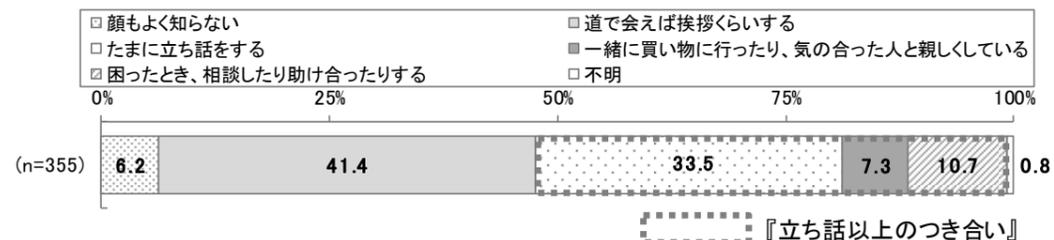
## (9) 地域活動への参加と参加意向

問21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。



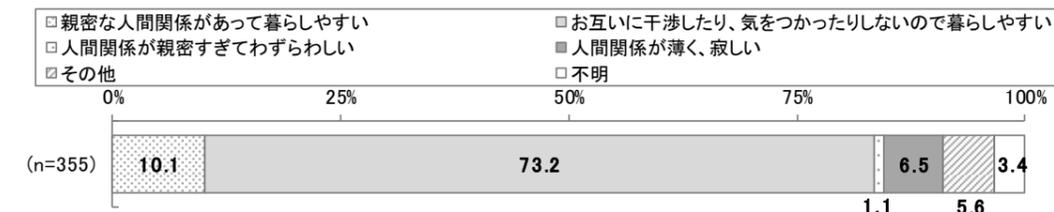
## (10) 隣近所とのつき合い方

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



## (11) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(〇は1つ)



## 資料2 調査票

# 栄区みんなの本音アンケート（区民意識調査）にご協力ください

栄区にお住まいの皆様、栄区で生活するうえでの満足や不安、生活スタイルなどに対するご意見をお伺いします。この調査の集計結果は、今後の区政を進める基礎資料とし、「栄区に住んでいて本当によかった、これからも栄区に住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

栄区長 松永 朋美



### 1 郵送回答

①調査票を記入



②同封の返信用封筒(切手不要)に入れる



③ポストに投函



### 2 インターネット回答

①横浜市のウェブサイトへアクセス

※「栄区みんなの本音アンケート」で検索

<https://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/kusei/tokei/chosa/kumin-isikityousa.html>



②横浜市電子申請・届出サービスへアクセスし、右記の整理番号を入力

整理番号は、1人が複数回答することを避けるためのものであり、整理番号から個人が特定されることはありません。

整理番号

令和7年11月28日(金)までにポストに投函又はインターネットでの回答をお願いいたします。

回答に要する時間は10分程度です。

### ◆ ◆ ◆ 調査票のご回答にあたって ◆ ◆ ◆

本調査は、区内にお住いの18歳以上の方6,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただいております。

調査結果につきましては、個人情報保護の趣旨に基づき統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

※ご返送の際も住所、氏名の記入は必要ありません。

調査結果は令和8年3月頃、栄区ホームページにて公表します。

【担当】栄区役所区政推進課企画調整係 片柳、大辻

電話：894-8161 Fax：894-9127

E-Mail：[sa-kikaku@city.yokohama.lg.jp](mailto:sa-kikaku@city.yokohama.lg.jp)

【1 満足度】

問1 あなたは、栄区での生活に満足していますか。(○は1つ)

1 概ね満足している	3 どちらともいえない	5 不満がある
2 やや満足している	4 やや不満がある	

問2 あなたは、横浜市や栄区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	感じている	やや感じている	いえない どちらとも	あまり感じて ない	まったく感じて ない
1 横浜市に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
2 栄区に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
3 お住まいの周辺の地域に対して	ア	イ	ウ	エ	オ

【2 定住意向】

問3 あなたが、栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(○はいくつでも)

1 生まれ育った場所のため	9 趣味や余暇活動がしやすいため
2 自分や家族の持家のため	10 買い物環境が良いため
3 家賃や住宅の価格が手ごろのため	11 医療や介護など福祉サービスが充実しているため
4 親や子、親族と同居するため	12 住宅地の環境(街並みや景観など)が良いため
5 親や子、親族、友人が近くにいるため	13 自然が身近にあるため
6 通勤・通学に便利のため	14 特に理由はない
7 就職・転勤等仕事の都合のため	15 その他(具体的に )
8 子育て環境が良いため	

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)

1 住み続けたい	3 どちらかというに住み続けたくない
2 どちらかというに住み続けたい	4 住み続けたくない

(問4で「3」または「4」と答えた方にお聞きます)

問4-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(○は3つまで)

1 教育・文化環境が良くなる	
2 交通の便が良くなる	
3 都市基盤(道路、公園等)が整備される	
4 スーパーや商店が増え、買い物が便利になる	
5 医療や介護など福祉サービスが充実される	
6 通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる	
7 近所づき合いが親密になる	
8 その他(具体的に )	

【3 生活意識】

問5 栄区は安全・安心なまちだと感じますか。(○は1つ)

1 感じる	3 どちらかといえば感じない
2 どちらかといえば感じる	4 感じない

問6 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つずつ)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
1 買い物環境	ア	イ	ウ	エ	オ
2 公園	ア	イ	ウ	エ	オ
3 緑地と水辺環境	ア	イ	ウ	エ	オ
4 河川改修	ア	イ	ウ	エ	オ
5 バスの利便性	ア	イ	ウ	エ	オ
6 幹線道路の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
7 ごみの収集、リサイクル活動	ア	イ	ウ	エ	オ
8 ごみの不法投棄対策や街の美化	ア	イ	ウ	エ	オ
9 子育て環境	ア	イ	ウ	エ	オ
10 教育	ア	イ	ウ	エ	オ
11 青少年の健全育成	ア	イ	ウ	エ	オ
12 文化・芸術活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
13 スポーツ活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
14 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策	ア	イ	ウ	エ	オ
15 高齢者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
16 障害者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
17 区民向け講座などの生涯学習の充実	ア	イ	ウ	エ	オ
18 区民ボランティア活動に対する支援	ア	イ	ウ	エ	オ
19 祭や盆踊りなどの地域交流イベント	ア	イ	ウ	エ	オ
20 地域における助け合い、見守り	ア	イ	ウ	エ	オ
21 地区センターなどの地域施設の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
22 防災対策	ア	イ	ウ	エ	オ
23 防犯対策	ア	イ	ウ	エ	オ

問7 あなたは、近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

1 自分の病気や老後のこと	8 環境問題
2 家族の健康や生活上の問題	9 事故や災害のこと
3 失業・倒産や収入が減ること	10 犯罪や防犯のこと
4 仕事や職場のこと	11 住宅のこと
5 景気や生活費のこと	12 現在及び将来の土地・建物の管理や相続のこと
6 子どもの保育や教育のこと	13 心配ごとや困っていることはない
7 近隣からの悪臭・騒音	14 その他(具体的に )

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、どのような地域活動があると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

- |    |                                 |
|----|---------------------------------|
| 1  | 住民同士の交流や助け合いの促進                 |
| 2  | 高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援 |
| 3  | 子どもの見守りや子育て中の人への支援              |
| 4  | 青少年の居場所づくりや健全育成                 |
| 5  | 文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など          |
| 6  | スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など     |
| 7  | 交通安全                            |
| 8  | 防犯                              |
| 9  | 防災・減災や災害時への備え                   |
| 10 | 身近な道路や公園の清掃などの美化                |
| 11 | 花壇づくりなどの緑化や身近な自然環境の保全           |
| 12 | まちなみや景観の創出や維持                   |
| 13 | 特にない                            |
| 14 | その他(具体的に )                      |

【4 道路・交通】

問9 よく利用する場所までの主な交通手段は何ですか。(〇はいくつでも)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	
	徒歩	自転車	ク 原付・ バイ	自家用車	バス	タクシー	鉄道	この場所は 利用しない	
1	食料品・日用品の買い物	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
2	食料品・日用品以外の買い物	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
3	友人や知人との会食など	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
4	かかりつけの病院・診療所	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
5	子どもを預ける場所(保育所等)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
6	高齢者施設(介護施設等)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
7	その他(具体的に )	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

【5 健康・福祉】

問10 あなたは、現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。(〇は1つ)

1	健康	2	まあ健康	3	あまり健康でない	4	健康でない
---	----	---	------	---	----------	---	-------

問 11 健康に関する以下の項目について、それぞれ当てはまるものに○をつけてください。(項目ごとに○は1つずつ)

	ア	イ
	はい	いいえ
1 この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を、1回30分以上、週に2回以上やっていますか。	ア	イ
2 過去1年間にがん検診を受けましたか。	ア	イ
3 過去1年間に生活習慣病の早期発見・重症化予防のために健康診断を受けましたか。	ア	イ
4 デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯の手入れをしていますか。	ア	イ
5 朝食を週に6日以上食べていますか。	ア	イ
6 1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べる日は週に6日以上ありますか。 (参考) 主食：ごはん、パン、めん 主菜：肉、魚、卵、大豆、大豆製品を使ったメインのおかず 副菜：野菜、きのこ、いも、海藻中心のつけあわせ、小鉢、サラダ、汁物など	ア	イ

問 12 乳がんの早期発見・治療にはプレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）が大切であると言われています。プレスト・アウェアネスのポイントのうちあなたがやっているものはありますか。(○はいくつでも)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 普段の乳房の状態を知り、変化に気をつける      |
| 2 変化に気づいたらすぐ医師へ相談するよう心掛けている |
| 3 40歳になったら2年に1回乳がん検診をうける    |
| 4 いずれも行っていない                |

問 13 あなたは、もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(○はいくつでも)

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1 日々の生活の介助 | 5 必要な介護サービスを受けられるか |
| 2 経済的負担    | 6 不安はない            |
| 3 外出の難しさ   | 7 その他（具体的に )       |
| 4 周囲の理解のなさ |                    |

#### 【6 子育て】

問 14 あなたは、子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- |                                |                                  |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1 自分が親になることへの漠然とした不安           | 9 障害がある子どもへの支援                   |
| 2 自分の身体的・精神的な健康                | 10 保育施設が少ない                      |
| 3 子育て費用                        | 11 買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない |
| 4 不安や悩みを気軽に相談できる相手がない          | 12 いじめなど子ども同士の関係への不安             |
| 5 子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない | 13 学校での教育環境への不安                  |
| 6 子育てに関する情報不足                  | 14 放課後児童の居場所が少ない                 |
| 7 子育てと仕事の両立                    | 15 SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安      |
| 8 子どものしつけ                      | 16 その他（具体的に )                    |

問15 あなたが「地域で子育てを支えるために重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること
- 2 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること
- 3 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること
- 4 子育てに関する情報を提供する人や場があること
- 5 子育て家庭の家事を支援する人や場があること
- 6 不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること
- 7 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること
- 8 子どもと一緒に遊ぶ人や場があること
- 9 子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること
- 10 地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること
- 11 小中学校の学習活動や行事をサポートする人がいること
- 12 子どもに職業体験や人生経験を伝える人や場があること
- 13 子ども自身が悩んだときに相談できる場があること
- 14 特にない
- 15 わからない
- 16 その他(具体的に )

問16 あなたが、参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守り
- 2 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる場所
- 3 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場所
- 4 子育てに関する情報を提供する場所
- 5 子育て家庭の家事支援
- 6 不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる場所
- 7 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭り
- 8 子どもと一緒に遊ぶ場
- 9 子どもにスポーツや勉強を教える場
- 10 地域の伝統文化を子どもに伝える場
- 11 小中学校の学習活動や行事のサポートの場
- 12 子どもに職業体験や人生経験を伝える場
- 13 子ども自身の悩み相談の場
- 14 特にない
- 15 わからない
- 16 その他(具体的に )

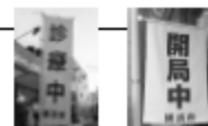
#### 【7 防災】

問17 災害時、あなたがケガをしてしまった場合、どのような行動をとりますか。(〇は1つ)

- 1 ケガの程度にかかわらず、大きな医療機関を受診する
- 2 ケガの程度にかかわらず、かかりつけ医を受診する
- 3 ケガの緊急度や重症度に応じて、受診する医療機関を選ぶ(例：重症の場合は災害拠点病院、中等度の場合は災害時救急病院、軽症の場合は診療所など)
- 4 ケガの程度にかかわらず、救急車を呼ぶ

問18 災害時でも、診療を継続している医療機関をひと目で判別するため、診療所や薬局にイエローフラッグ(のぼり旗)が掲出されることを知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない



問 19 あなたは、地震による被害を最小限に抑えるための取組として何を備えていますか。(〇はいくつでも)

1 水の備蓄 (3日分以上)	11 家具などの転倒防止対策
2 食料の備蓄 (3日分以上)	12 自宅の耐震補強
3 トイレパックの備蓄 (3日分以上)	13 感震ブレーカーの設置
4 医薬品・救急用品の備蓄	14 家族との連絡方法、集合場所の確認
5 ベット用の備蓄 (7日分以上)	15 地域の防災訓練への参加
6 携帯ラジオ、懐中電灯の用意	16 近所との日頃からの関係づくり
7 日用品 (医薬品、おむつ等) の準備	17 地域の中での緊急連絡体制づくり
8 モバイルバッテリーの準備	18 避難場所の認知・確認
9 カセットコンロの準備	19 「横浜市避難ナビ」アプリのインストール
10 小銭の準備	20 ほとんど何もしていない

問 20 災害時に活用する防災情報をどのような手段で入手しますか。(〇はいくつでも)

1 テレビ番組	7 緊急時情報伝達システム
2 ラジオ番組	8 防災スピーカー
3 X (旧ツイッター)	9 浸水想定看板
4 横浜市や栄区のホームページ	10 栄区避難場所マップ (防災マップ等)
5 横浜市防災情報 E メール	11 その他 (具体的に )
6 防災アプリ	12 何も入手する術がない

【8 地域のつながり】

問 21 地域では様々な活動を行っていますが、あなたはどのような活動に参加していますか。また、今後どのような活動に参加してみたいですか。(〇は1~14の各項目ごとに1つまで)

	ア	イ
	参加している	今後参加してみたい
1 自治会、町内会の活動	ア	イ
2 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	ア	イ
3 保育ボランティアなどの子育て支援	ア	イ
4 PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど	ア	イ
5 子ども会、婦人会、老人クラブの活動	ア	イ
6 文化・芸術活動への参加や振興	ア	イ
7 祭や盆踊り、運動会などのイベント	ア	イ
8 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興	ア	イ
9 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	ア	イ
10 身近な道路や公園などの清掃活動	ア	イ
11 資源回収やごみの分別、リサイクル活動	ア	イ
12 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地 (里山など) など自然環境の保全	ア	イ
13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	ア	イ
14 その他 (具体的に )	ア	イ

問22 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。(○は1つ)

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 1 顔もよく知らない     | 4 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている |
| 2 道で会えば挨拶くらいする | 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする        |
| 3 たまに立ち話をする    |                              |

問23 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(○は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1 親密な人間関係があって暮らしやすい            |
| 2 お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい |
| 3 人間関係が親密すぎてわずらわしい             |
| 4 人間関係が薄く、寂しい                  |
| 5 その他(具体的に )                   |

【9 環境行動】

問24 あなたは普段、次あげる個人でできる環境にやさしい行動(=「環境行動」)をしていますか。  
(○はそれぞれ1つ)

	ア	イ	ウ
	している	思っていた方がいいと思っていないが	していない
1 ごみをきちんと分別して出す	ア	イ	ウ
2 マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす	ア	イ	ウ
3 使い捨てのプラスチック製品(レジ袋、ストロー、スプーンなど)をできるだけ使わない	ア	イ	ウ
4 食べ残しや食材のムダ(食品ロス)を減らす	ア	イ	ウ
5 横浜産の野菜や果物を選んで購入する	ア	イ	ウ
6 電気やガス、水のムダづかいに気をつける	ア	イ	ウ
7 花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる	ア	イ	ウ
8 公園や森、水辺など身近な自然環境とふれあう	ア	イ	ウ
9 その他(具体的に )	ア	イ	ウ

(問24で「ア している」と答えた方にお聞きします)

問24-1 その環境行動を始めたきっかけはなんですか。(○はいくつでも)

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1 テレビや新聞のニュース         | 6 公共施設等に配架されているチラシ |
| 2 インターネットからの情報        | 7 自治会町内会の回覧板・掲示板   |
| 3 区民まつり等のイベント         | 8 友人・知人から誘われて      |
| 4 広報よこはま(市・区役所発行の広報紙) | 9 覚えていない           |
| 5 横浜市や栄区のホームページ       | 10 その他(具体的に )      |

【10 読書】

問25 あなたは、過去1年間に何冊くらい本(電子書籍を含む)を読みましたか。※雑誌、漫画を除く(○は1つ)

- |          |        |          |         |
|----------|--------|----------|---------|
| 1 全く読まない | 3 3~4冊 | 5 10~19冊 | 7 30冊以上 |
| 2 1~2冊   | 4 5~9冊 | 6 20~29冊 |         |

【11 広報】

問 26 あなたは普段、栄区の情報を入手するとき、どのようなものを利用していますか。(〇はいくつでも)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 広報よこはま (市・区発行の広報紙)            |
| 2 栄区のウェブサイト (ホームページ)            |
| 3 X (エックス) 栄区公式アカウント            |
| 4 LINE (ライン) 横浜市公式アカウント         |
| 5 Instagram (インスタグラム) 栄区公式アカウント |
| 6 区民生活マップ                       |
| 7 栄区役所内のデジタルサイネージ (モニター映像放映)    |
| 8 公共施設等に配架されているチラシ              |
| 9 タウン紙 (新聞折り込み)                 |
| 10 自治会町内会の回覧板・掲示板               |
| 11 友人・知人からの口コミ                  |
| 12 その他 (具体的に )                  |

【12 あなたのこと】

最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理され、個人が特定されることはありませんので、ご協力をお願いします。

F 1 性別 (〇は1つ) ※選択することに違和感がある場合は、回答不要です。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 年齢 (〇は1つ)

- |          |          |          |           |           |
|----------|----------|----------|-----------|-----------|
| 1 18～19歳 | 4 30～34歳 | 7 45～49歳 | 10 60～64歳 | 13 75～79歳 |
| 2 20～24歳 | 5 35～39歳 | 8 50～54歳 | 11 65～69歳 | 14 80歳以上  |
| 3 25～29歳 | 6 40～44歳 | 9 55～59歳 | 12 70～74歳 |           |

F 3 栄区にお住まいの期間 (〇は1つ) ※栄区内で転居した場合は通算してください。

- |        |          |          |         |
|--------|----------|----------|---------|
| 1 5年未満 | 3 10～14年 | 5 20～29年 | 7 40年以上 |
| 2 5～9年 | 4 15～19年 | 6 30～39年 |         |

F 4 現在のお住まいの世帯の家族形態 (〇は1つ)

- |          |                     |               |
|----------|---------------------|---------------|
| 1 ひとり暮らし | 3 親と子 (18歳未満の子がいる)  | 5 親と子と孫 (3世代) |
| 2 夫婦2人   | 4 親と子 (18歳未満の子はいない) | 6 その他 (具体的に ) |

F 5 現在お住まいの地区 (〇は1つ)

- |            |            |            |           |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1 飯島町      | 15 桂台西二丁目  | 29 小菅ヶ谷四丁目 | 43 野七里二丁目 |
| 2 犬山町      | 16 桂台東     | 30 小山台一丁目  | 44 柏陽     |
| 3 尾月       | 17 桂台南一丁目  | 31 小山台二丁目  | 45 東上郷町   |
| 4 笠間一丁目    | 18 桂台南二丁目  | 32 庄戸一丁目   | 46 本郷台一丁目 |
| 5 笠間二丁目    | 19 桂町      | 33 庄戸二丁目   | 47 本郷台二丁目 |
| 6 笠間三丁目    | 20 金井町     | 34 庄戸三丁目   | 48 本郷台三丁目 |
| 7 笠間四丁目    | 21 上郷町     | 35 庄戸四丁目   | 49 本郷台四丁目 |
| 8 笠間五丁目    | 22 上之町     | 36 庄戸五丁目   | 50 本郷台五丁目 |
| 9 鍛冶ヶ谷町    | 23 亀井町     | 37 田谷町     | 51 元大橋一丁目 |
| 10 鍛冶ヶ谷一丁目 | 24 公田町     | 38 長尾台町    | 52 元大橋二丁目 |
| 11 鍛冶ヶ谷二丁目 | 25 小菅ヶ谷町   | 39 長倉町     | 53 若竹町    |
| 12 桂台北     | 26 小菅ヶ谷一丁目 | 40 長沼町     |           |
| 13 桂台中     | 27 小菅ヶ谷二丁目 | 41 中野町     |           |
| 14 桂台西一丁目  | 28 小菅ヶ谷三丁目 | 42 野七里一丁目  |           |

F6 現在のお住まい (〇は1つ)

1 持家 (一戸建て)	5 借家 (都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅)
2 持家 (マンション・共同住宅)	6 社宅、公務員住宅
3 借家 (一戸建て)	7 民間アパート、民間賃貸マンション
4 借家 (県営・市営の共同住宅)	8 その他 (具体的に )

F7 通勤・通学先はどちらですか。(〇は1つ) ※複数ある場合は、主な通勤・通学先をお答えください。

1 栄区内	5 東京都内
2 横浜市内他区	6 その他 (具体的に )
3 鎌倉市内	7 通勤・通学していない
4 神奈川県内 (横浜市、鎌倉市を除く)	

(以下については、F7で「1」～「6」と答えた方にお聞きます)

F7-1 通勤・通学に利用する駅はどこですか。(〇は1つ)

1 本郷台駅	5 金沢八景駅
2 大船駅	6 上大岡駅
3 港南台駅	7 その他 (具体的に )
4 戸塚駅	

F7-2 通勤・通学に利用する駅までの主な交通手段をお答えください。(〇は1つ)

1 バス	4 自転車
2 自家用車 (家族の送迎も含む)	5 徒歩
3 原付・バイク	6 その他 (具体的に )

F7-3 通勤・通学時間 (片道) はどのくらいですか。複数ある場合は、主な通勤・通学先までの所要時間をお答えください。(〇は1つ)

1 30分未満	4 1時間30分から2時間未満
2 30分から1時間未満	5 2時間以上
3 1時間から1時間30分未満	

※ ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れて、**令和7年11月28日(金)までに**ポストへ投函してください。(切手は不要です)